

機械設備設計図集

令和3年版

(2021)

- 標準部品編
- 部分詳細編



独立行政法人 都市再生機構

標準部品編

令和3年版

(2021)



独立行政法人都市再生機構

共通事項

1. 本図集の目的 汎用的に用いる部品類について、設計内容の明確化、施工の品質確保及び設計施工の業務の合理化を図ることを目的とする。

2. 本図集の適用の範囲 独立行政法人 都市再生機構（以下「都市機構」）が建設する集合住宅の設計施工に適用する。

3. その他
 1) 仕様や部品についての規定は「公共住宅建設工事共通仕様書」による。
 2) 設計図集としての取扱いは、特記無き限り本図面に示された通りの内容が適用される。

仕
様

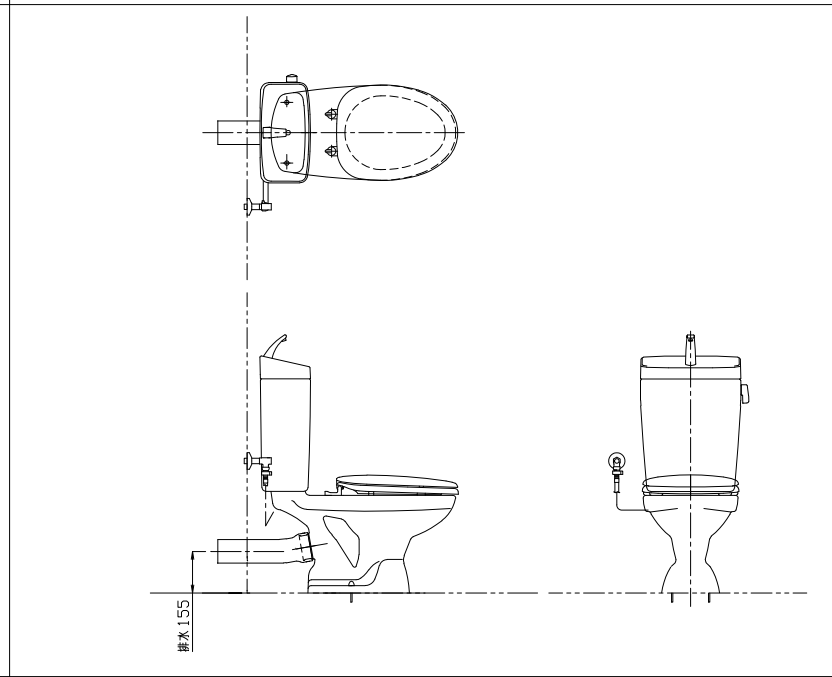
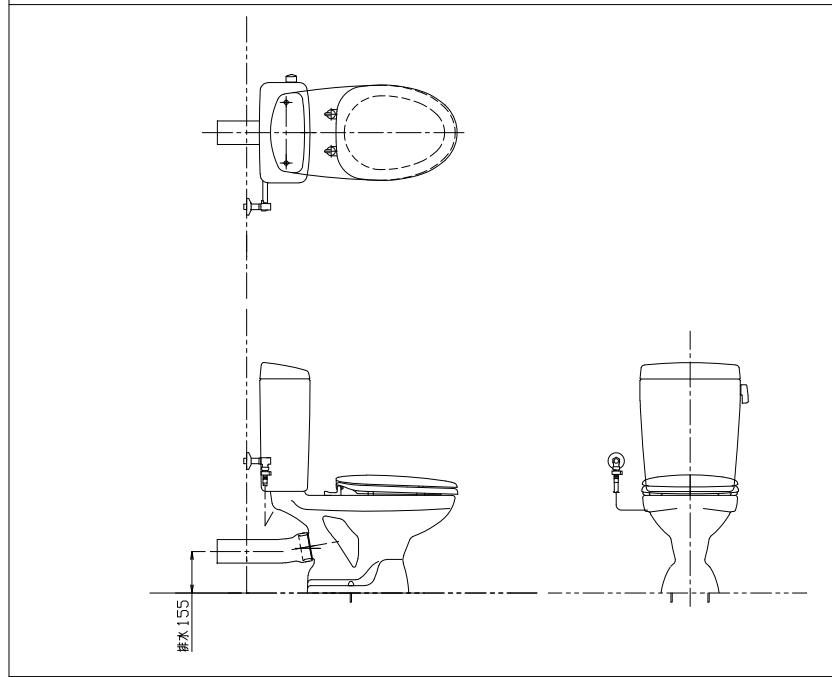
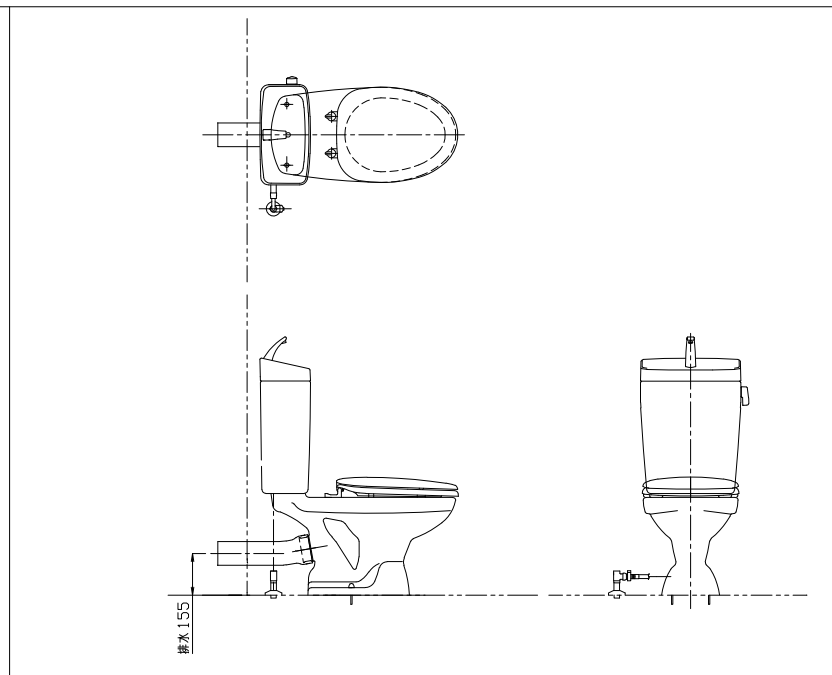
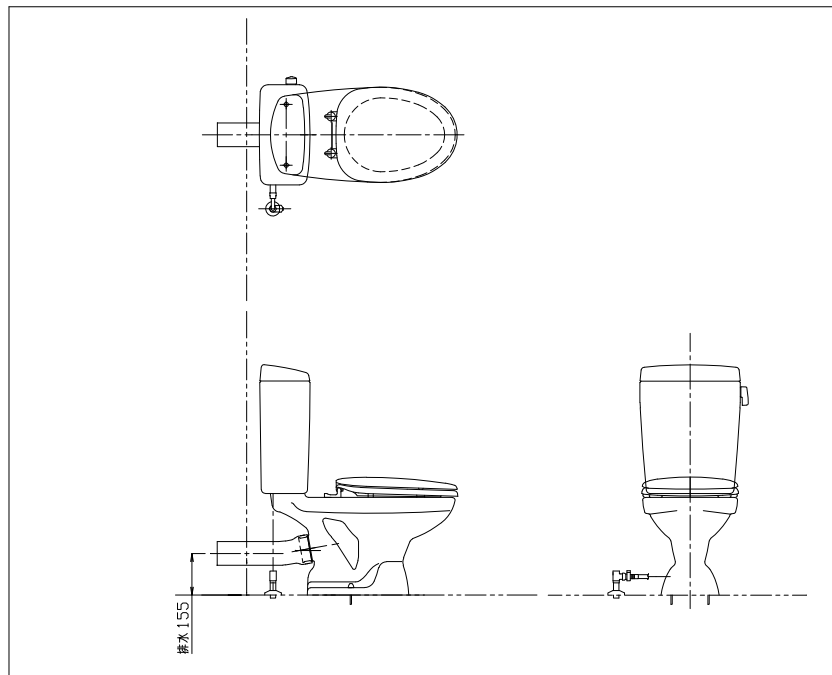
付
記
事
項

改定事項 1 3. 2) 文字修正

名称 共通事項

縮尺

-



手洗い無し

手洗い付

1	水洗方式	I形
2	タンク洗浄水量	8.5ℓ以下

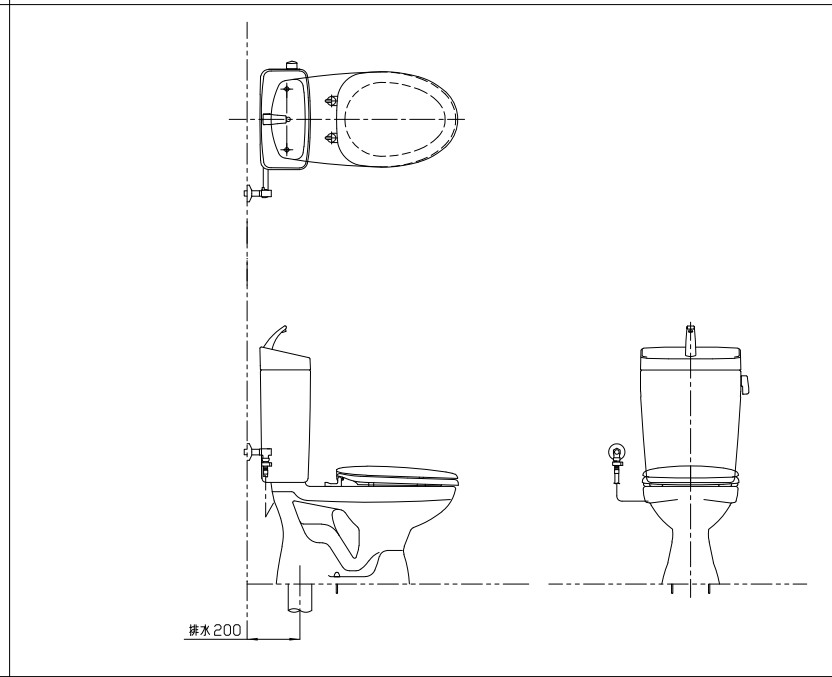
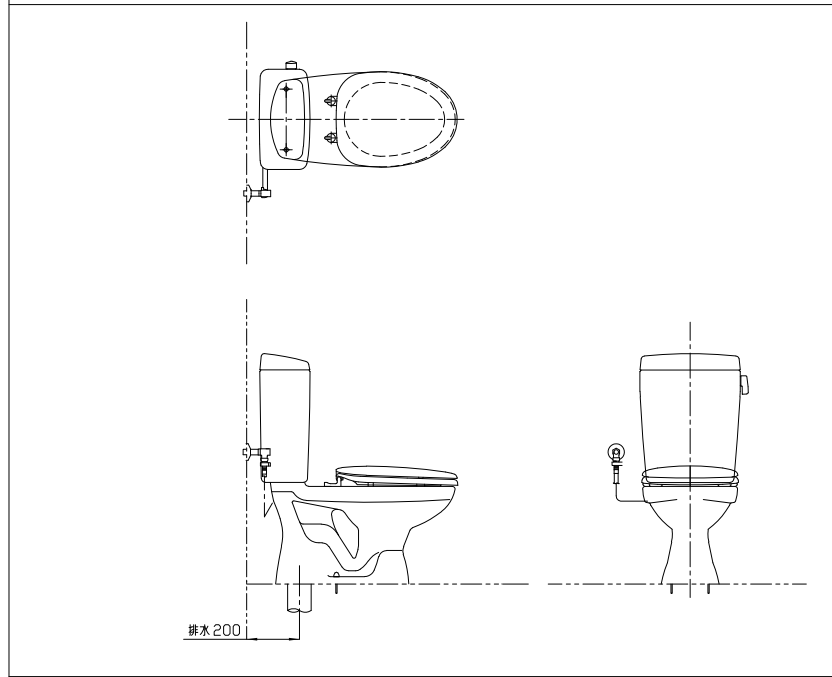
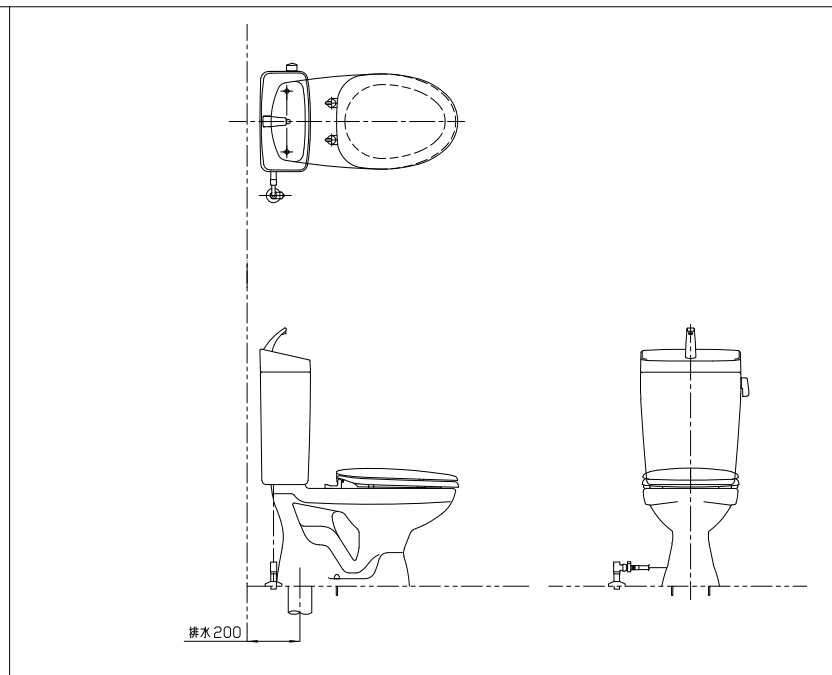
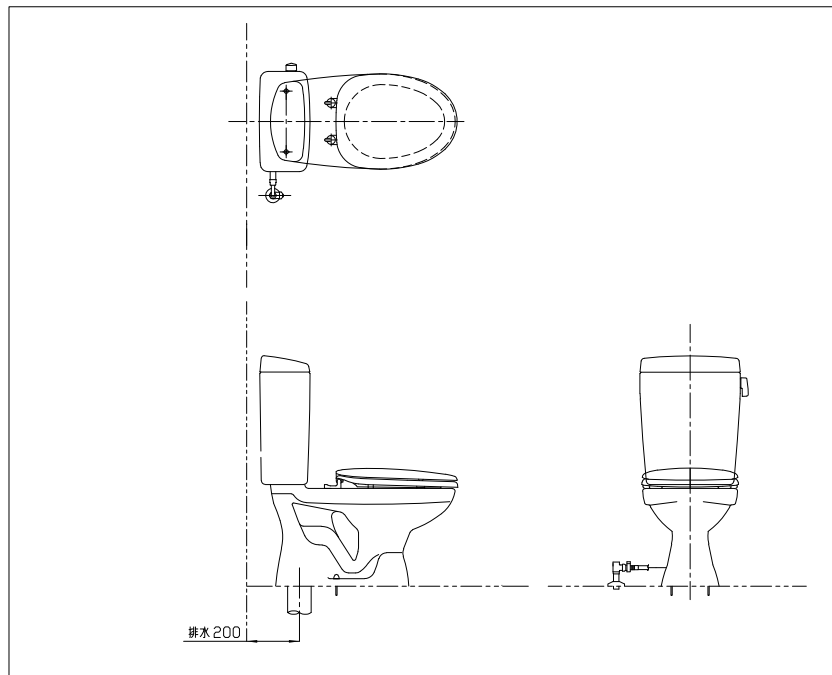
番号	品名	主たる材質	個数
1	便器		1
2	防露タンク		1
3	ボールタップ		1
4	吐水管*	ステンレス又は合成樹脂	1
5	ハンドル付排水弁	黄銅・合成樹脂及び合成ゴム	1
6	止水栓		1
7	タンク取付ボルト・ナット (パッキン共)		2本
8	ふた付便座		1
9	便器接続管(別送)	特記による	1
10	同上パッキン(別送)	特記による	1
11	水出し・ワッシャー・化繊キャップ	ステンレス	2本
12	紙巻き器 (ワンタッチ式)	ABS樹脂又はポリプロピレン樹脂 (ステンレスビス又はAYボルト付)	1
13	給水管付アングル型止水栓		1
14	固定片		1
15	洗浄レバー		1
16	給水フレキ管		1

- 付記事項
- 1 本図の形状及び寸法は一例を示す
 - 2 ハンドルは右側を標準とする
 - 3 給水管立上り(壁取出、床取出)位置は、左側を原則とする
 - 4 ロータンクの操作ハンドルは、大・小切換え型とする
 - 5 コンクリート床の場合、便器の固定はAYボルト(SUS)または樹脂プラグとする
 - 6 上表*印は手洗い付の仕様を示す
 - 7 給水金具は耐食黄銅、黄銅管、銅管又は樹脂管とする

- 改定事項
- ・水洗方式名称を変更
 - ・仕様番号4、5に主たる材質を記載
 - ・仕様番号11の品名変更
 - ・付記事項6を修正
 - ・図面名称を変更

名称
ロータンク密結型洋風便器
I形(壁排水形)

縮尺
NO SCALE S-101



手洗い無し

手洗い付

1	水洗方式	I形
2	タンク洗浄水量	8.5ℓ以下

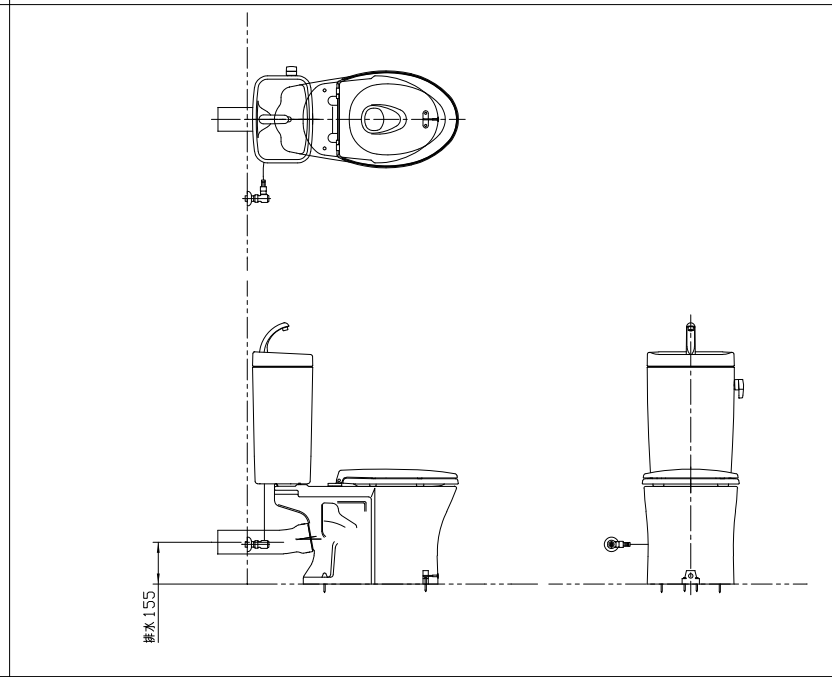
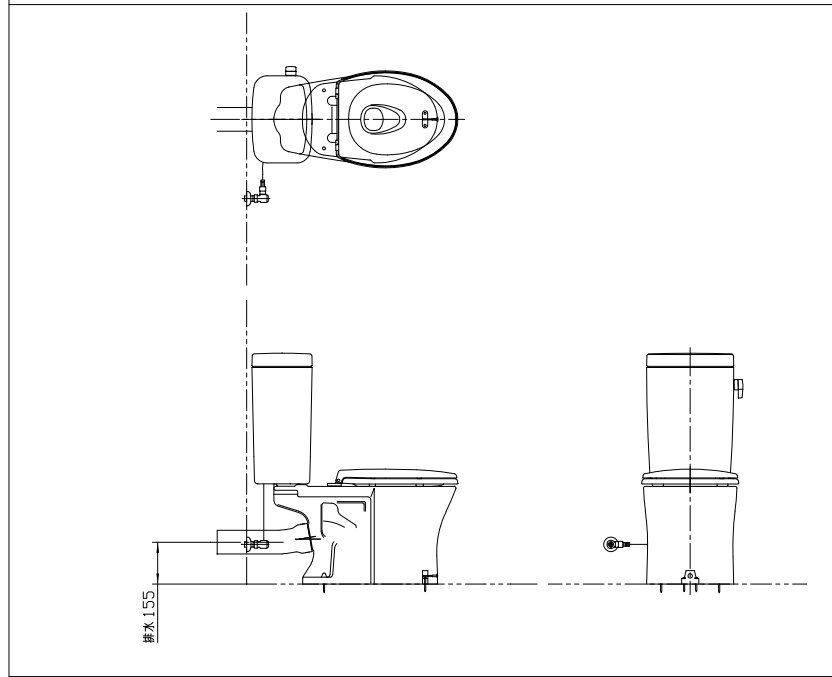
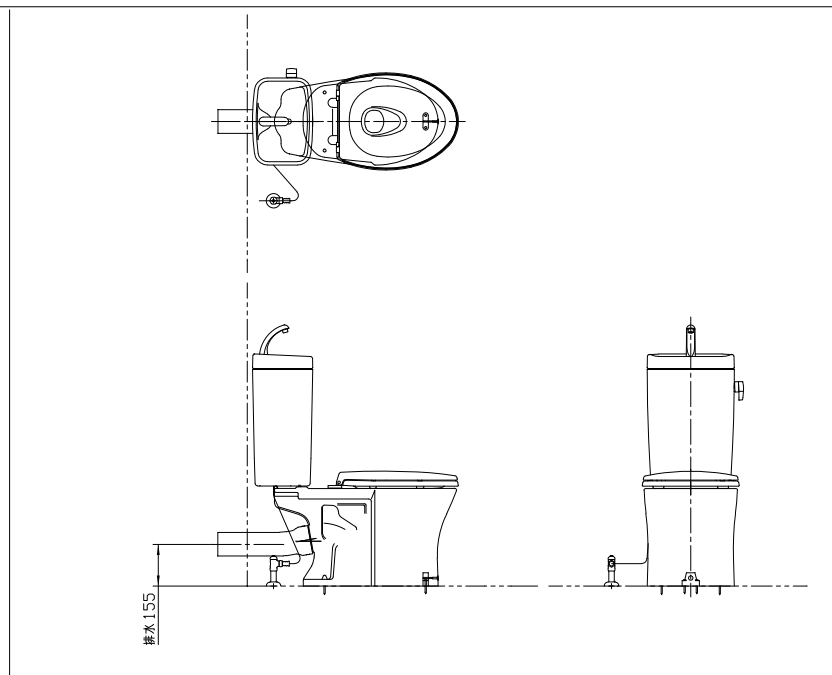
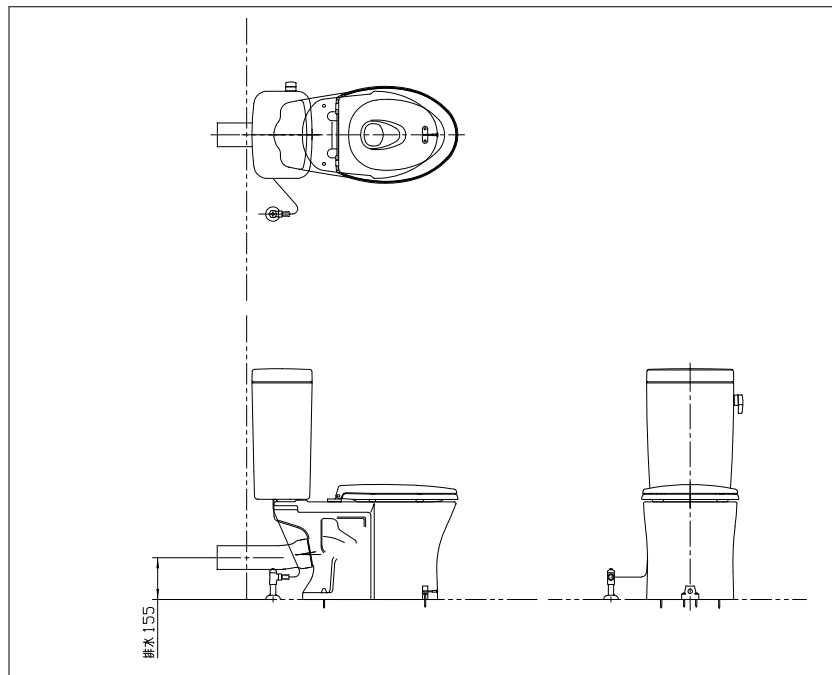
番号	品名	主たる材質	個数
1	便器		1
2	防露タンク		1
3	ボールタップ		1
4	吐水管*	ステンレス又は合成樹脂	1
5	ハンドル付排水弁	真鍮・合成樹脂及び合成ゴム	1
6	止水栓		1
7	タンク取付ボルト・ナット (パッキン共)		2本
8	ふた付便座		1
9	木じ・ワッシャー・化粧キャップ		2本
10	紙巻器 (ワンタッチ式)	ABS樹脂又はポリプロピレン樹脂 (ステンレスビス又はAYボルト付)	1
11	給水管付アングル型止水栓		1
12	固定片		1
13	洗浄レバー		1
14	給水フレキ管		1
15	排水ソケット		1

- 付記事項
- 1 本図の形状及び寸法は一例を示す
 - 2 ハンドルは右側を標準とする
 - 3 給水管立上り（壁取出、床取出）位置は、左側を原則とする
 - 4 ロータンクの操作ハンドルは、大・小切換え型とする
 - 5 コンクリート床の場合、便器の固定はAYボルト（SUS）または樹脂プラグとする
 - 6 上表※印は手洗い付の仕様を示す
 - 7 給水金具は耐食黄銅、黄銅管、銅管又は樹脂管とする

- 改定事項
- ・水洗方式名称を変更
 - ・仕様5に主たる材質を記載
 - ・仕様番号9の品名変更
 - ・付記事項6を修正
 - ・図面名称を変更
 - ・排水芯を追記

名称
ロータンク密結型洋風便器
I形（床排水形）

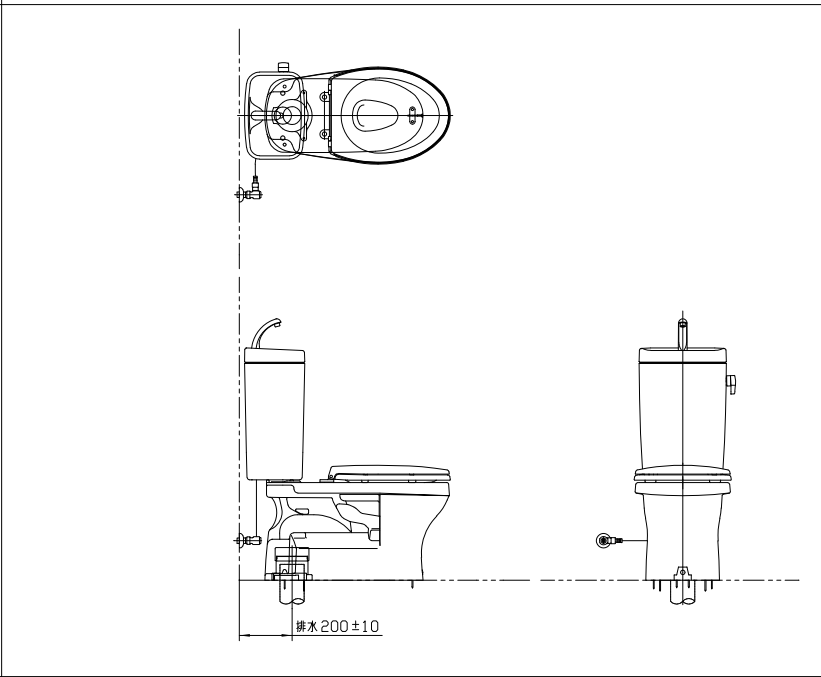
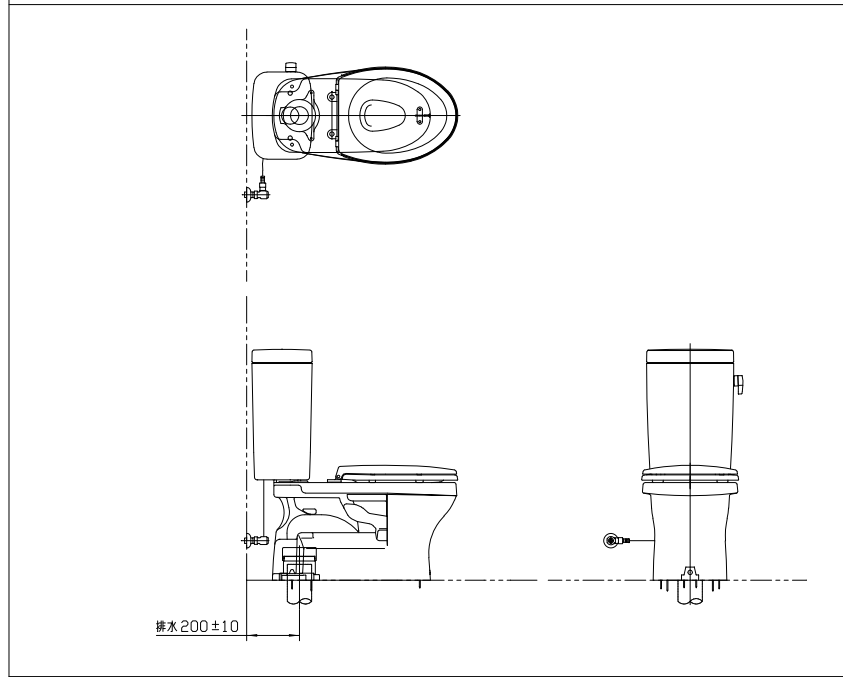
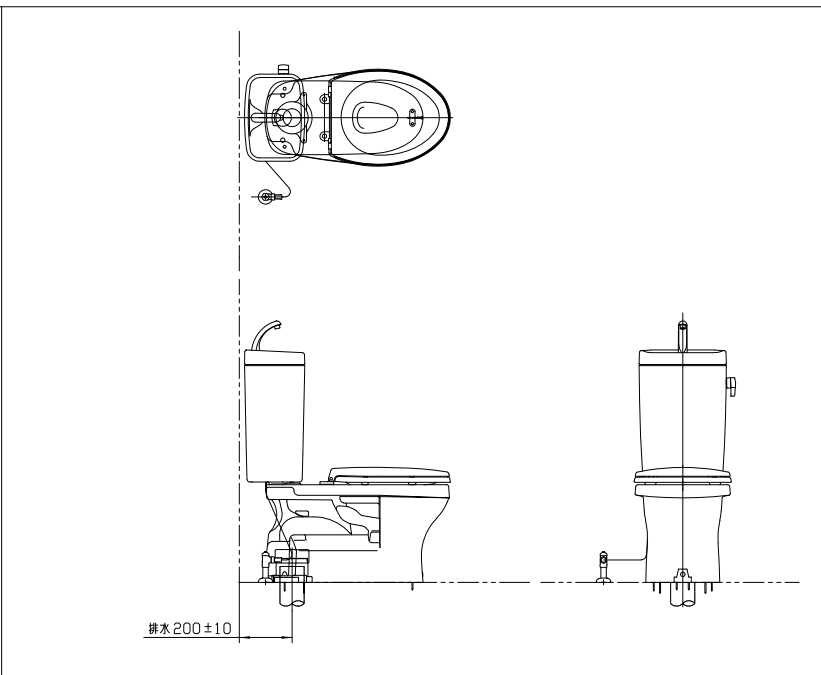
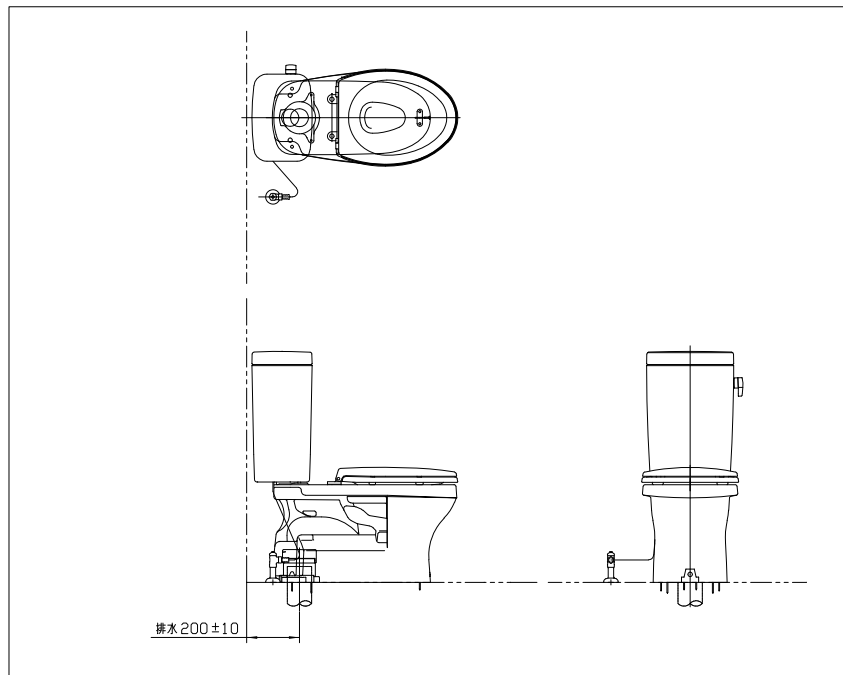
縮尺	NO SCALE	S-102
----	----------	-------



手洗い無し

手洗い付

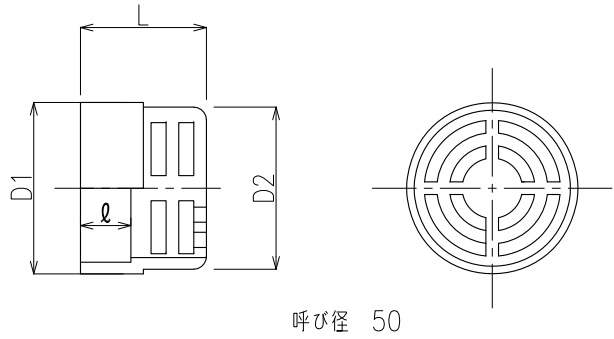
仕	1	水洗方式	Ⅱ形	
	2	タンク洗浄水量	6.5ℓ以下	
様	番号	品名	主たる材質	個数
	1	便器		1
	2	防露タンク		1
	3	ボールタップ		1
	4	吐水管*	ステンレス又は合成樹脂	1
	5	ハンドル付排水弁	黄銅・合成樹脂及び合成ゴム	1
	6	止水栓		1
	7	タンク取付ボルト (パッキン共)		2本
	8	ふた付便座		1
	9	便器接続管(別途)	特記による	1
	10	同上パッキン(別途)	特記による	1
	11	木ねじ・ワッシャー・化粧キャップ	ステンレス	3~4本
	12	紙巻器 (ワンタッチ式)	ABS樹脂又はポリプロピレン樹脂 (ステンレスビス又はAYボルト付)	1
	13	給水管付アングル型止水栓		1
	14	固定片		1
	15	洗浄レバー		1
16	給水フレキ管		1	
付記事項	1	本図の形状及び寸法は一例を示す		
	2	ハンドルは右側を標準とする		
	3	給水管立上り(壁取出、床取出)位置は、左側を原則とする		
	4	ロータンクの操作ハンドルは、大・小切換え型とする		
	5	コンクリート床の場合、便器の固定はAYボルト(SUS)または樹脂プラグとする		
	6	上表*印は手洗い付の仕様を示す		
	7	給水金具は耐食黄銅・黄銅管・銅管又は樹脂管とする		
改定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・水洗方式名称を変更 ・図面名称を変更 ・仕様番号11の品名変更 			
名称	ロータンク密結型洋風便器 Ⅱ形(壁排水形)			
	縮尺	NO SCALE	S-103	



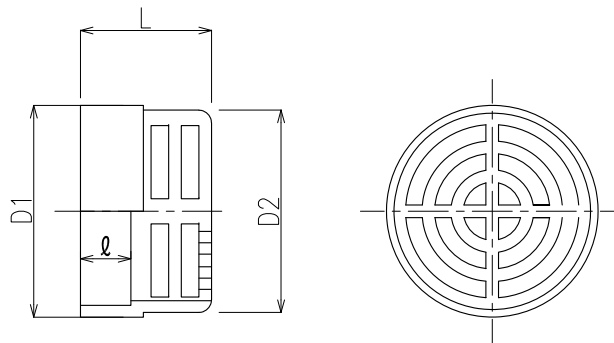
手洗い無し

手洗い付

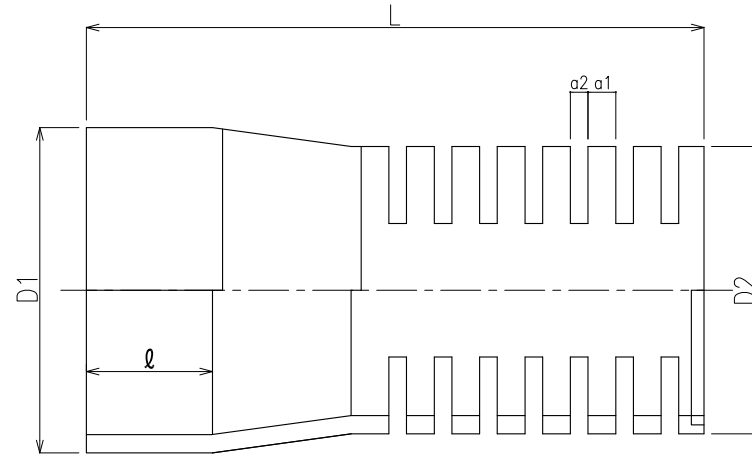
仕	1	水洗方式	Ⅱ形	
	2	タンク洗浄水量	6.5ℓ以下	
様	番号	品名	主たる材質	個数
	1	便器		1
	2	防露タンク		1
	3	ボールタップ		1
	4	吐水管*	ステンレス又は合成樹脂	1
	5	ハンドル付排水弁	黄銅・黄銅・合成樹脂及び合成ゴム	1
	6	止水栓		1
	7	タンク取付ボルト (パッキン共)		2本
	8	ふた付便座		1
	9	木じ・ワッシャー・化粧キャップ	ステンレス	2~4本
	10	紙巻器 (ワンタッチ式)	ABS樹脂又はポリプロピレン樹脂 (ステンレスビス又はAYボルト付)	1
	11	給水管付アングル型止水栓		1
	12	固定片		1
	13	洗浄レバー		1
	14	給水フレキ管		1
15	排水ソケット		1	
付 記 事 項	1	本図の形状及び寸法は一例を示す		
	2	ハンドルは右側を標準とする		
	3	給水管立上り(壁取出、床取出)位置は、左側を原則とする		
	4	ロータンクの操作ハンドルは、大・小切換え型とする		
	5	コンクリート床の場合、便器の固定はAYボルト(SUS)または樹脂プラグとする		
	6	上表*印は手洗い付の仕様を示す		
	7	給水金具は耐食黄銅・黄銅管・銅管又は樹脂管とする		
改 定 事 項		<ul style="list-style-type: none"> ・水洗方式名称を変更 ・図面名称を変更 ・仕様番号9の品名変更 		
名 称	ロータンク密結型洋風便器 Ⅱ形(床排水形)			
縮 尺	NO SCALE	S-104		



呼び径 50



呼び径 65 , 75



単位：mm

呼び径	D1	D2	L	l
50	68	64.3	50	22±2
65	84	80.3	52	22±2
75	97	93.3	54	22±2

呼び径	D1	D2	L	l	a1	a2
65	85	76	190	35	11	7
75	100	89	190	40	11	7
100	129	114	245	50	11	7
125	155	140	250	65	11	7

注. パイプ加工品であり原管はVP (JIS K 6741) を使用する。

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

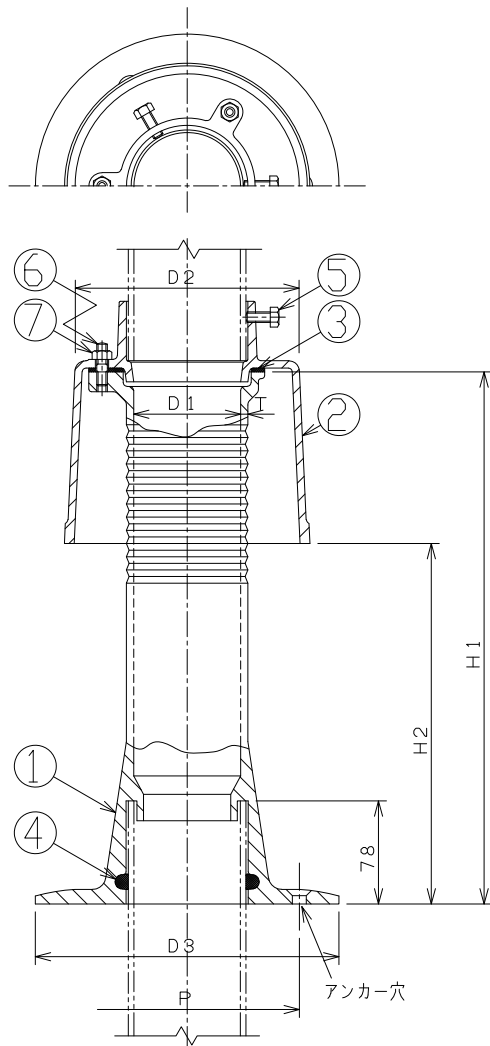
縮
尺

1 本図の形状及び寸法は一例を示す

ビニル製通気口

NO SCALE

J-401



寸法表 (mm)

呼び径	D1	D2	D3	P	T
65	68	150	220	160	5
80	81	170	230	170	5.5
100	105	195	250	195	6
125	131	222	280	240	7
150	155	244	310	270	7

高さ	H1	H2
低	280	150
中	400	273
高	500	370
高長	700	570

仕様

構成部品表

番号	部品名称	材質	表面処理
1	本体	FC150 鋳鉄	錆止め塗装
2	カバー	FC150 鋳鉄	錆止め塗装
3	ナット	NR 天然ゴム	-
4	パッキン	CR クロプロレンゴム	-
5	固定ボルト	SUS304ステンレス	-
6	スクリュー	SUS304ステンレス	-
7	ナット	SUS304ステンレス	-

付記事項

1 本図の形状及び寸法は一例を示す

改定事項

名称

防水継手

縮尺

NO SCALE

J-501

部分詳細編

令和3年版

(2021)



独立行政法人都市再生機構

部分詳細編 目次

区分	図面番号	図面名称	頁	区分	図面番号	図面名称	頁
		図面目録-1	目-1	MB・ 給湯器廻り	P-501	各戸型パイプシャフト配管図	29
		図面目録-2	目-2		P-502-1	共用型パイプシャフト配管図-1	30
		共通事項	共-1		P-502-2	共用型パイプシャフト配管図-2	31
					P-503	給湯暖房機設置型戸別メーターボックス配管図	32
便所廻り	P-101	ロータンク密結型洋風便器据付図-1	01		P-504-1	給湯暖房機設置型共用メーターボックス配管図-1	33
	P-102	ロータンク密結型洋風便器据付図-2	02		P-504-2	給湯暖房機設置型共用メーターボックス配管図-2	34
	P-103	ロータンク密結型洋風便器据付図-3	03		P-504-3	給湯暖房機設置型共用メーターボックス配管図-3	35
	P-104	ロータンク密結型洋風便器据付図-4	04		P-504-4	給湯暖房機設置型共用メーターボックス配管図-4	36
	P-105	ロータンク密結型洋風便器据付図(排水用耐火二層管使用時の一例)	05		P-505-1	バルコニー設置型給湯暖房機廻り配管-1	37
洗面化粧台	P-151	洗面化粧ユニット据付図(750型)	06		P-505-2	バルコニー設置型給湯暖房機廻り配管-2	38
					P-505-3	バルコニー設置型熱源機取付方式	39
洗濯排水	P-201	洗濯機置場廻り配管及び水栓設置例	07		P-601~604	欠番	—
	P-202	洗濯機置場廻り配管図-1	08		P-605	床暖リモコン取付図	40
	P-203-1	洗濯機置場廻り配管図-2	09		P-606	浴室暖房乾燥機用リモコン取付図 (浴室暖房乾燥機リモコン)	41
	P-203-2	洗濯機置場廻り配管図-3	10		エアコン 設備	P-751-1	エアコン設備据付要領図(天吊型)-1
	P-204-1	給水ヘッダー廻り洗濯機置場廻り配管図-1	11	P-751-2		エアコン設備据付要領図(天吊型)-2	43
	P-204-2	給水ヘッダー廻り洗濯機置場廻り配管図-2	12	P-751-3		エアコン設備据付要領図(天吊型)-3	44
	P-204-3	給水ヘッダー廻り洗濯機置場廻り配管図-3	13	P-751-4		エアコン設備据付要領図(床置型)-1	45
	P-205	洗濯機用防水パン 固定方法	14	P-751-5		エアコン設備据付要領図(床置型)-2	46
			P-751-6	エアコン設備据付要領図(床置型)-3		47	
			換気設備	P-801-1		台所換気扇取付図(150φ)	48
				P-801-2		台所換気扇取付図(125φ)	49
				P-802-1	換気平面図(常時小風量換気扇)	50	
				P-802-2	換気立面図(常時小風量換気扇)	51	
				P-803~805	欠番	—	
				P-806-1	換気平面図(常時小風量換気機能付浴室暖房乾燥機)	52	
				P-806-2	浴室上部換気平面図(常時小風量換気機能付浴室暖房乾燥機)	53	
				P-806-3	浴室上部換気立面図(常時小風量換気機能付浴室暖房乾燥機)	54	
流し回り	P-301-1	流し廻り(1型)配管図-1	15	P-806-4	吸込グリル 排気口 自然給気口設置要領図	55	
	P-301-2	流し廻り(1型)配管図-2	16	P-806-5	F D付排気口及び耐火二層管施工要領	56	
	P-301-3	流し廻り(1型)配管図-3	17				
	P-301-4	流し廻り(1型)配管図-4	18				
	P-301-5	流し廻り(1型)配管図-5	19				
	P-301-6	流し廻り(1型)配管図-6(排水用耐火二層管使用時の一例)	20				
	P-301-7	流し廻り(1型)配管図-7(排水用耐火二層管使用時の一例)	21				
	P-302	欠番	—				
P-303	コンクリート貫通部、排水立管及び通気管詳細図	22					
浴室廻り	P-401-1	浴室ユニット配管図-1	23				
	P-401-2	浴室ユニット配管図-2	24				
	P-402-1	浴室ユニット配管図-3	25				
	P-402-2	浴室ユニット配管図-4	26				
	P-402-3	浴室ユニット内浴室用リモコン取付図	27				
	P-403	浴室廻り配管図	28				

共通事項

- 1. 本図集の目的
汎用的に用いる部分詳細について、標準的な設計施工の納まりを示し、設計内容の明確化、施工の品質確保及び設計施工業務の合理化を図ることを目的とする。
- 2. 本図集の適用の範囲
独立行政法人 都市再生機構（以下「都市機構」）が建設する集合住宅の設計施工に適用する。
- 3. その他
 - 1) 仕様や部品についての規定は「公共住宅建設工事共通仕様書」による。
 - 2) 設計図集としての取扱は、特記無き限り本図面に示された通りの内容が適用される。
 - 3) 本図集における部品等は、原則として標準部品編に収録されているものを用いて作成されている。なお、部品の取扱いについては、標準部品編による。
 - 4) 本図集においては、「都市機構標準詳細設計図集」は建築A I-〇〇〇とA E-〇〇〇、「電気設備標準詳細設計図集」は電気E C-〇〇〇として示す。

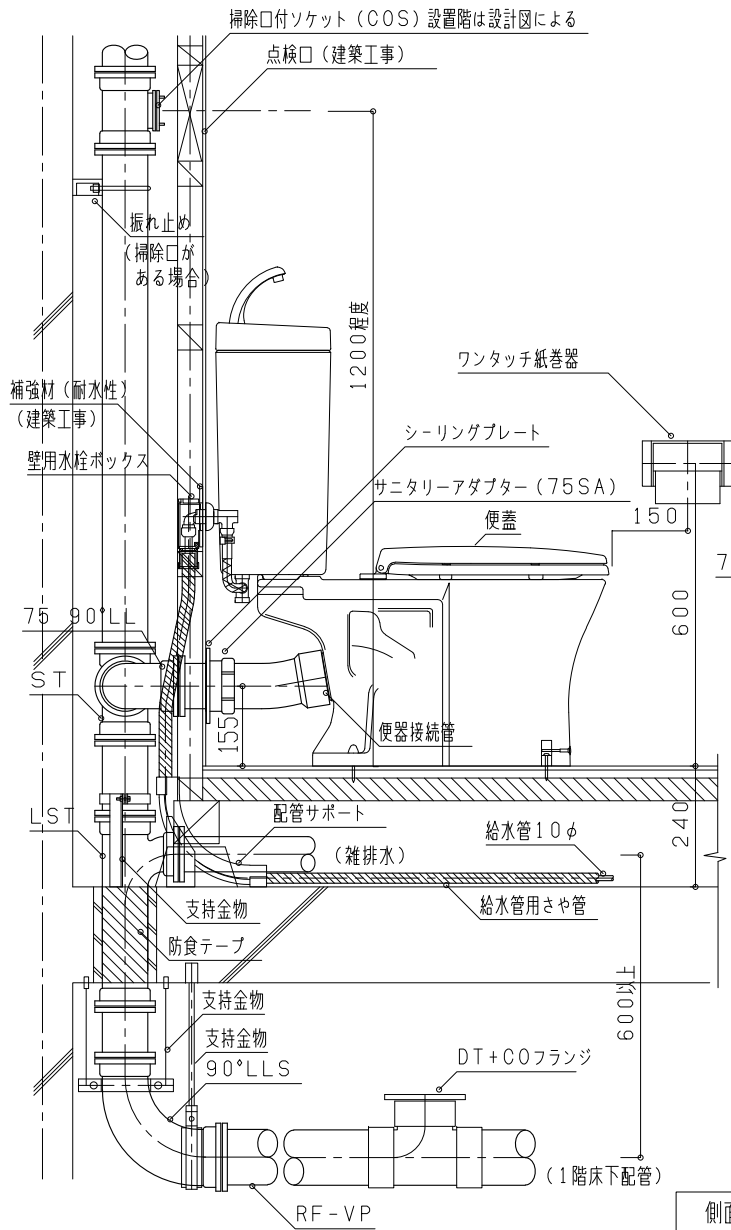
仕様

付記事項

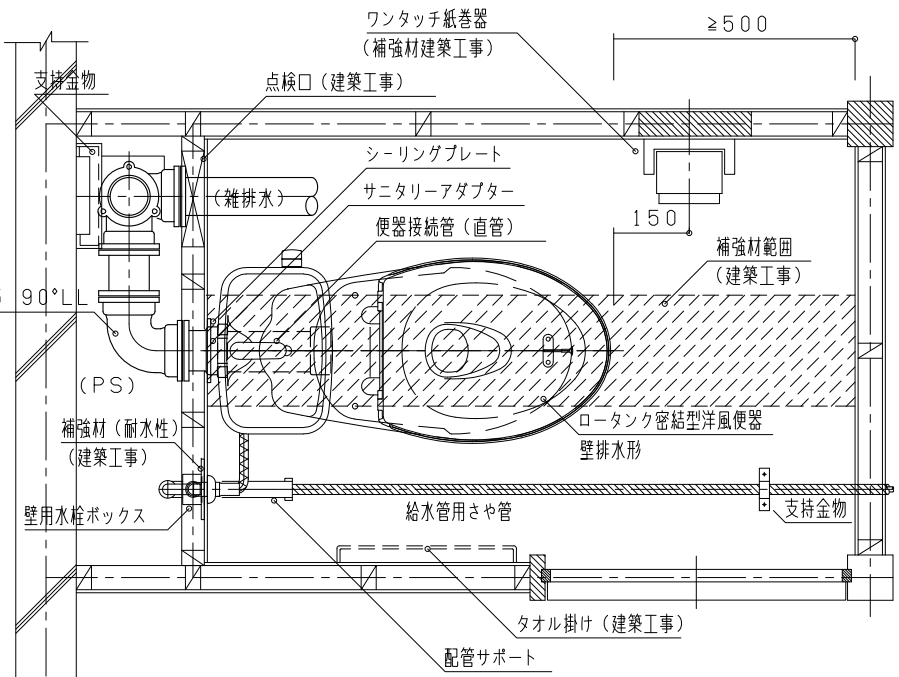
改定事項 1 3.2) 文字修正

名称 共通事項

縮尺 -



側面図



平面図

仕
様

給水壁取り出し

付
記
事
項

- 1 本図はロータンク密結型洋風便器床上排水型の一例を示す
- 2 補強材 (建築工事) の設置位置は便器の選定段階で調整をはかること
- 3 共用立管の掃除口の設置階は「住宅性能評価」の申請内容を確認し設ける
- 4 専用配管と共用配管の接続が確認できる位置に点検口 (建築工事) を設ける
- 5 立て管への雑排水管接続の一例を示す

改
定
事
項

- ・付記事項3を変更
- ・付記事項5を追加
- ・ヘリユーズ管接続の場合を削除
- ・排水立て管の掃除口高さを変更
- ・便器の名称を変更
- ・文字修正

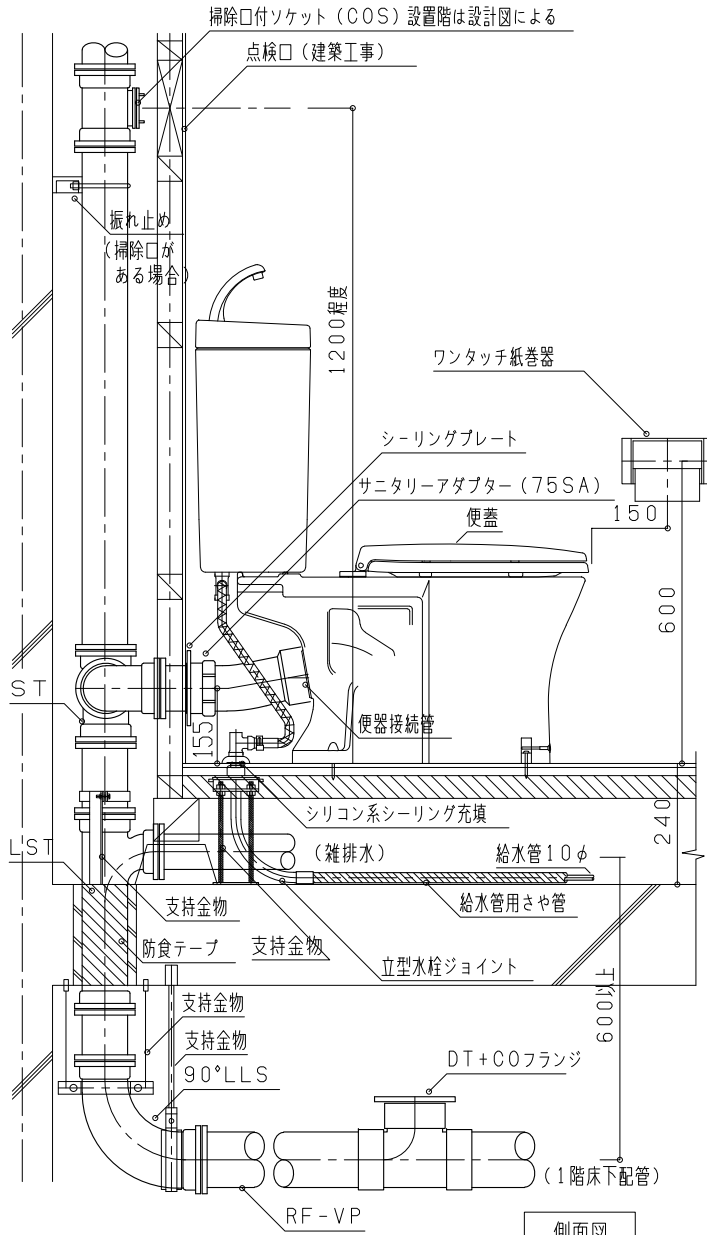
名
称

ロータンク密結型洋風便器据付図-1

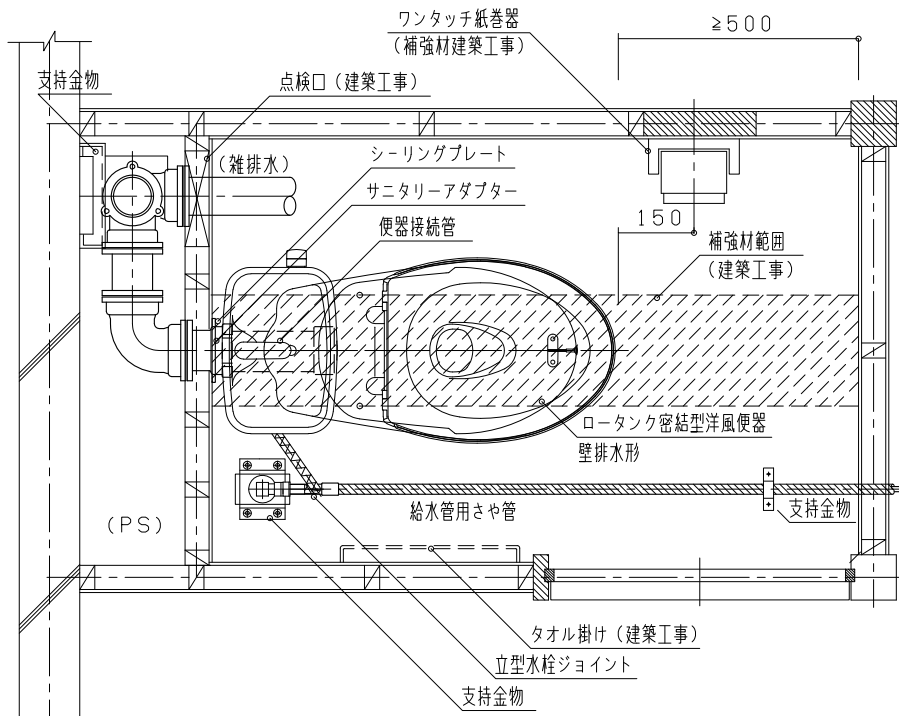
縮
尺

NO SCALE

P-101



側面図



平面図

仕
様

給水床取り出し

付
記
事
項

- 1 本図はロータンク密結型洋風便器床
上排水型の一例を示す
- 2 補強材（建築工事）の設置位置は便
器の選定段階で調整をはかること
- 3 共用立管の掃除口の設置階は「住宅
性能評価」の申請内容を確認し設
ける
- 4 専用配管と共用配管の接続が確認で
きる位置に点検口（建築工事）を設
ける
- 5 立て管への雑排水管接続の一例を示す

改
定
事
項

- ・付記事項3を変更
- ・付記事項5を追加
- ・ヘリューズ管接続の場合を削除
- ・排水立て管の掃除口高さを変更
- ・便器の名称を変更
- ・文字修正

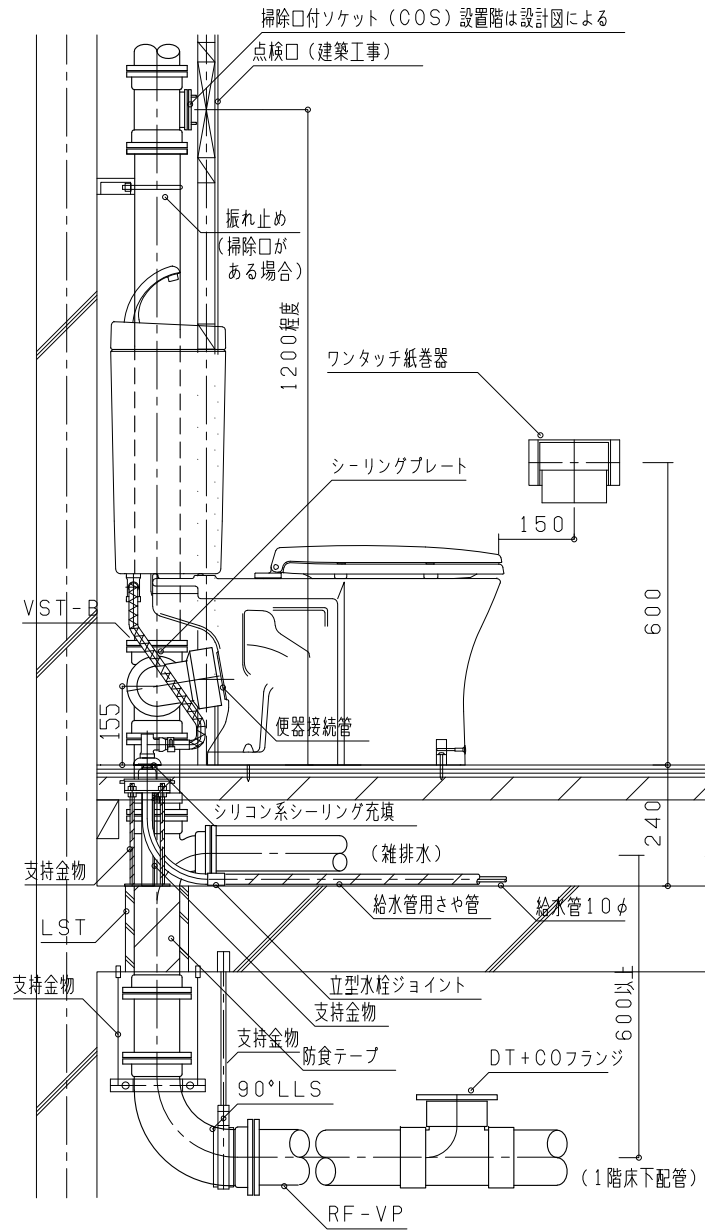
名
称

ロータンク密結型洋風便器据付図-2

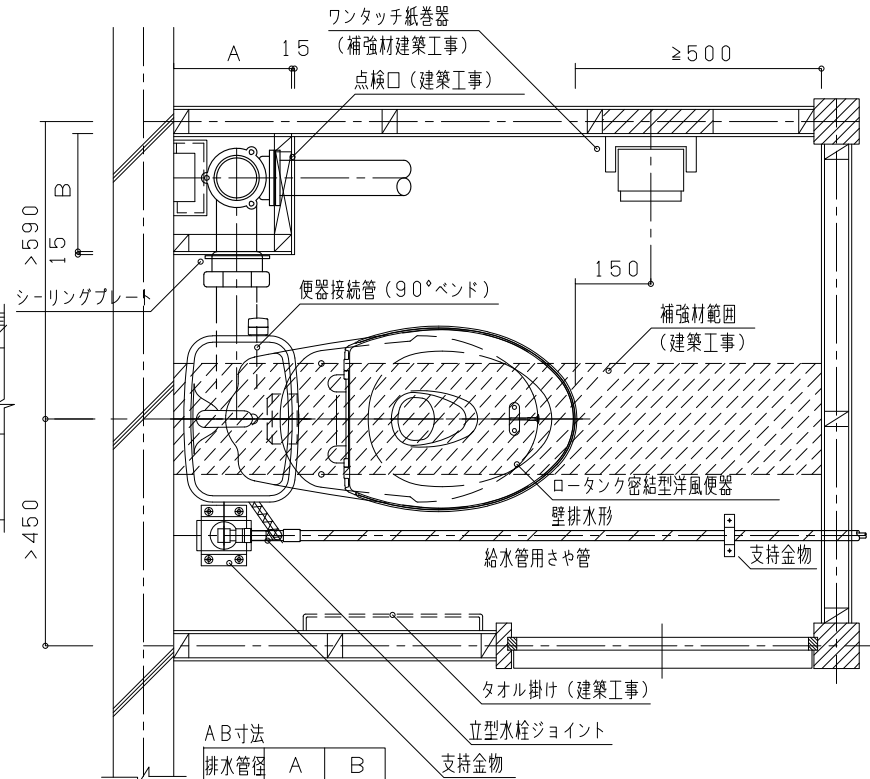
縮
尺

NO SCALE

P-102



側面図



平面図

AB寸法

排水管径	A	B
75	250	280
100	250	300
125	250	320

仕様

給水床取り出し、PS模型

付記事項

- 1 本図はロータンク密結型洋便器床上排水型の一例を示す
- 2 補強材 (建築工事) の設置位置は便器の選定段階で調整をはかること
- 3 共用立管の掃除口の設置階は「住宅性能評価」の申請内容を確認し設ける
- 4 専用配管と共用配管の接続が確認できる位置に点検口 (建築工事) を設ける
- 5 立て管への雑排水管接続の一例を示す

改定事項

- ・付記事項3を変更
- ・付記事項5を追加
- ・ヘリユーズ管接続の場合を削除
- ・排水立て管の掃除口高さを変更
- ・便器の名称を変更
- ・排水芯の修正
- ・文字修正

名称

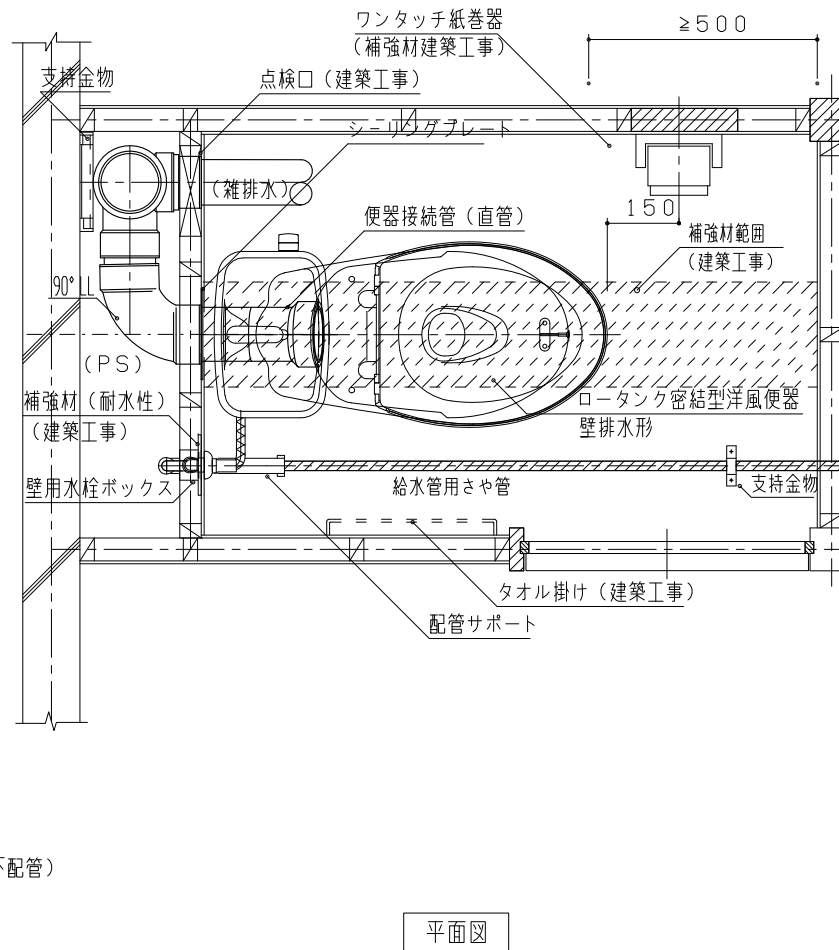
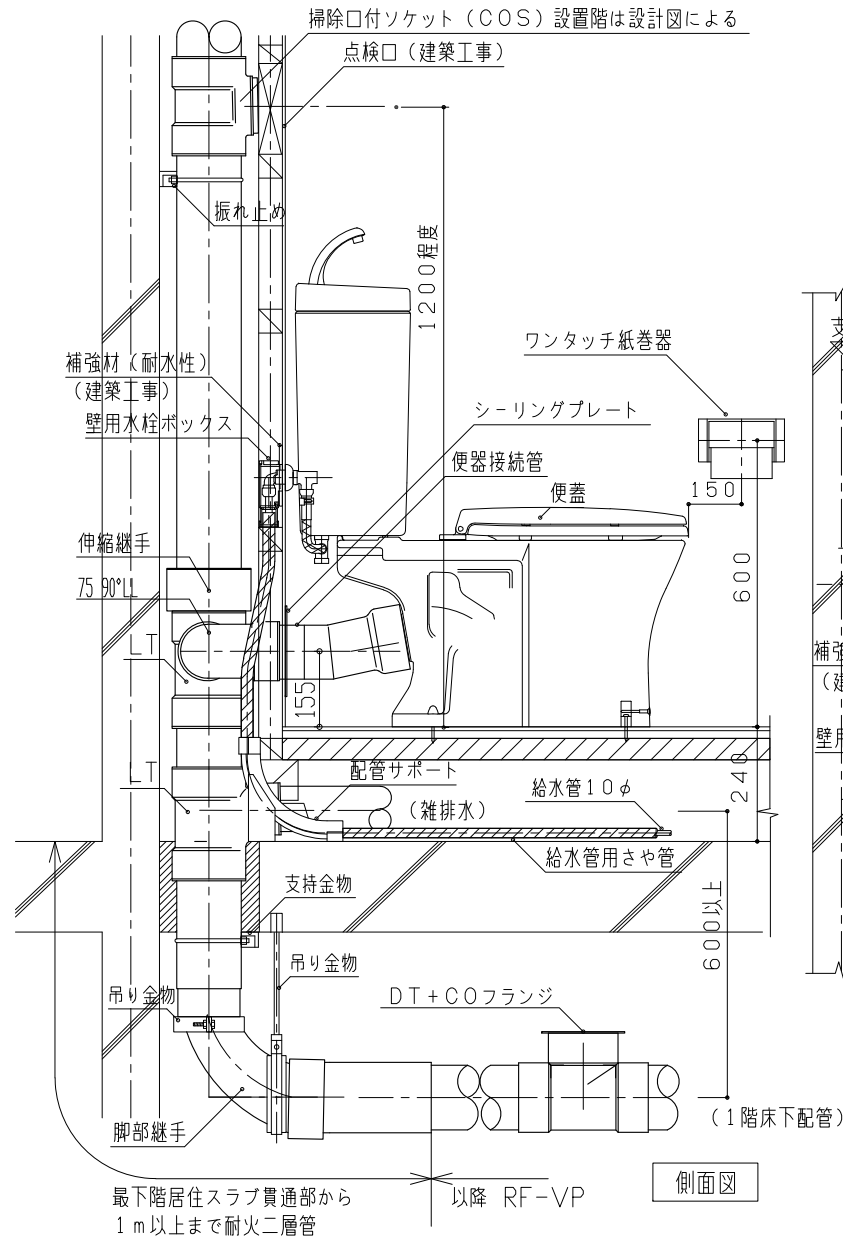
ロータンク密結型洋便器据付図-3

縮尺

NO SCALE

P-103

	<p>給水壁取り出し</p> <p>仕 様</p>
	<p>付 記 事 項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本図はロータンク密結型洋風便器床下排水型の一例を示す 2 補強材 (建築工事) の設置位置は便器の選定段階で調整をはかること 3 大引きの切欠きに注意を要す
	<p>改 定 事 項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘリユーズ管接続の場合を削除 ・便器の名称を変更 ・文字修正
<p>側面図</p> <p>平面図</p>	<p>名 称</p> <p>ロータンク密結型洋風便器据付図-4</p> <p>縮 尺</p> <p>NO SCALE P-104</p>



仕様

給水壁取り出し

付記事項

- 1 本図はロータンク密結型洋風便器床上排水型の一例を示す
- 2 補強材 (建築工事) の設置位置は便器の選定段階で調整をはかること
- 3 共用立管の掃除口の設置階は「住宅性能評価」の申請内容を確認し設ける
- 4 専用配管と共用配管の接続が確認できる位置に点検口 (建築工事) を設ける
- 5 立て管脚部の継手は異径大曲り継手若しくは異径ソケットと大曲り継手の組み合わせとする。
- 6 LLと便器接続管の接続部がPS内となる場合、接続部を触手・目視確認できる位置に点検口 (建築工事) を設ける
- 7 立て管への雑排水管接続の一例を示す

改定事項

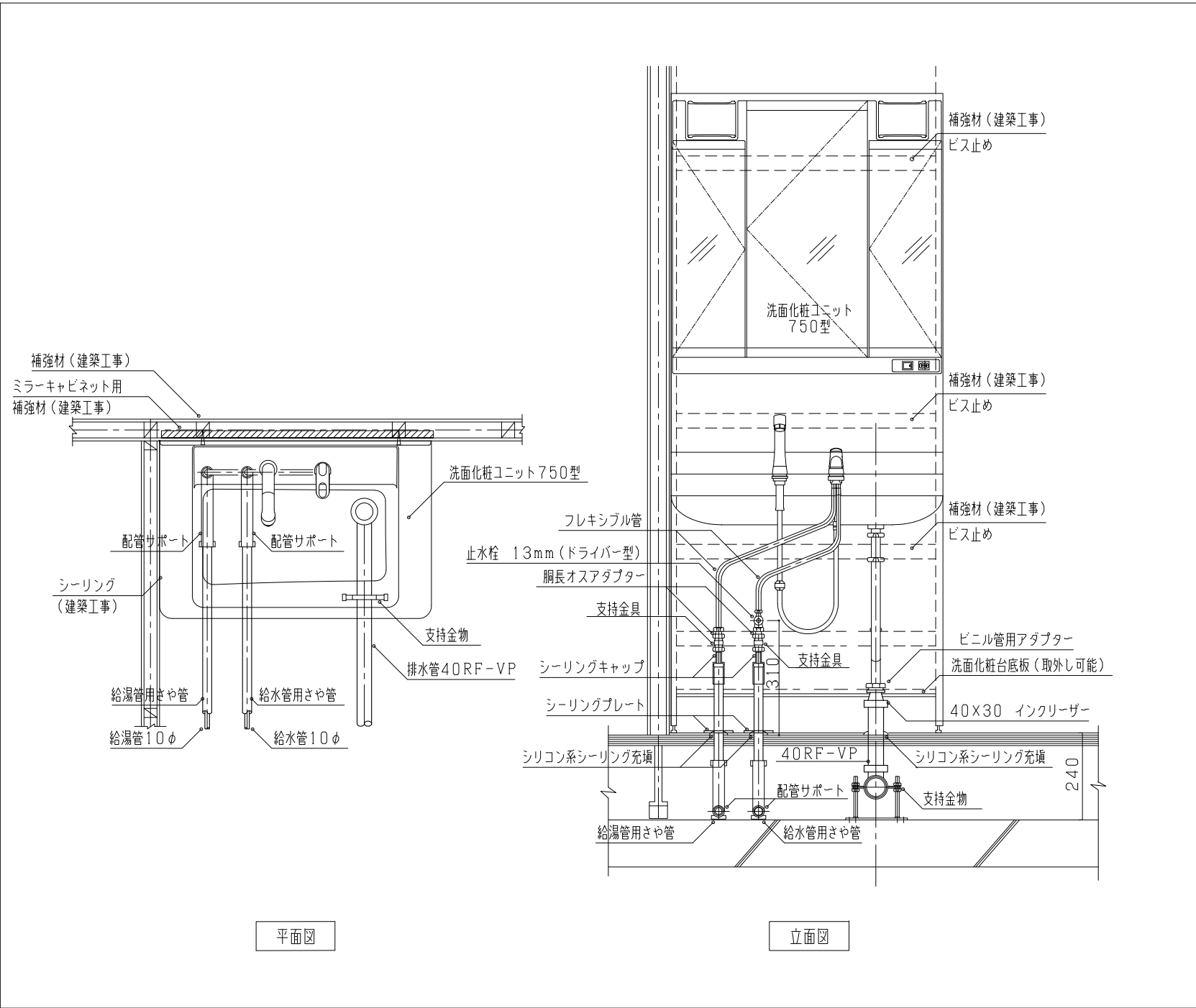
- ・付記事項3を変更
- ・付記事項7を追加
- ・ヘリユース管接続の場合を削除
- ・排水立て管の掃除口高さを変更
- ・便器の名称を変更
- ・最下階スラブ下の耐火二層管範囲を追記

名称

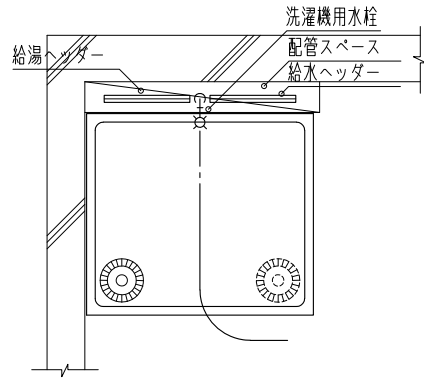
ロータンク密結型洋風便器据付図 (排水用耐火二層管使用時の一例)

縮尺

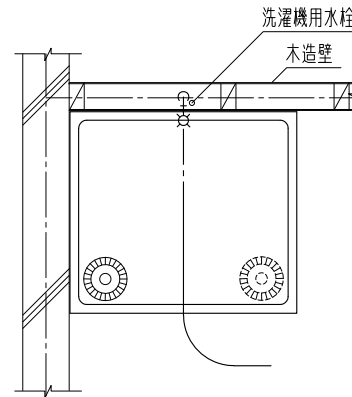
NO SCALE P-105



仕 様	750型洗面化粧台	
付 記 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1 本図は洗面化粧ユニット750型の一例を示す 2 壁と洗面化粧台の隙間は10mm以下を標準とする。隙間はシーリング(建築工事)を施す 3 洗面化粧台の戸当たり対策を考慮すること 4 配管サポートは床面から突き出さないよう高さに注意すること 5 コンセントの位置は洗面化粧台の上部又は側面上部とする。 [電気EC-110-1-B, C参照] 6 配管の支持固定は、胴長オスアダプターを使用し、支持バンド(防振ゴム付き)で固定する 7 給水管、給湯管の床材貫通部処理は一例を示す 隙間が開かないよう建築工事と十分調整すること 	
改 定 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・付記事項7を追加 ・キャビネットの補強材を修正 ・補強材の表記を修正 ・平面図に排水管支持金物を追加 ・付記事項2のシーリング箇所を平面図に追加 ・洗面化粧台、水栓を変更 	
名 称	洗面化粧ユニット据付図(750型)	
縮 尺	NO SCALE	P-151

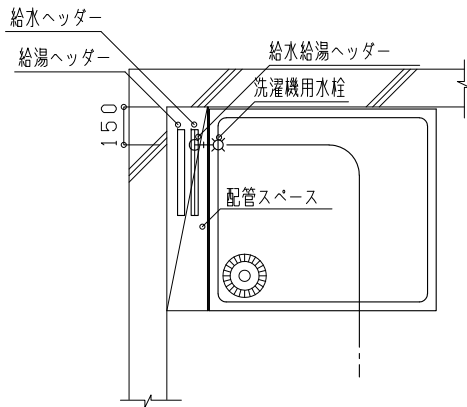


設置例-1

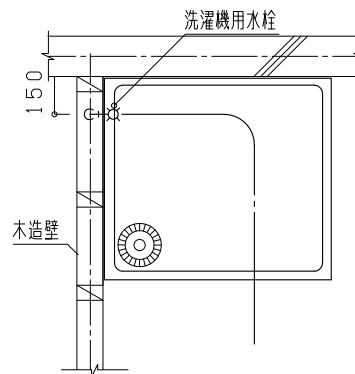


設置例-2

水栓位置が中央の場合



設置例-3



設置例-4

水栓位置が左右の場合

仕様

1 800型以上に適用

付記事項

- 1 ヘッダー（給水、給湯）を設置する場合は、点検口（建築工事）を設ける
- 2 水栓の取付位置は正面中央又は左右とし、左右の場合の排水口は水栓側に設置する。

改定事項

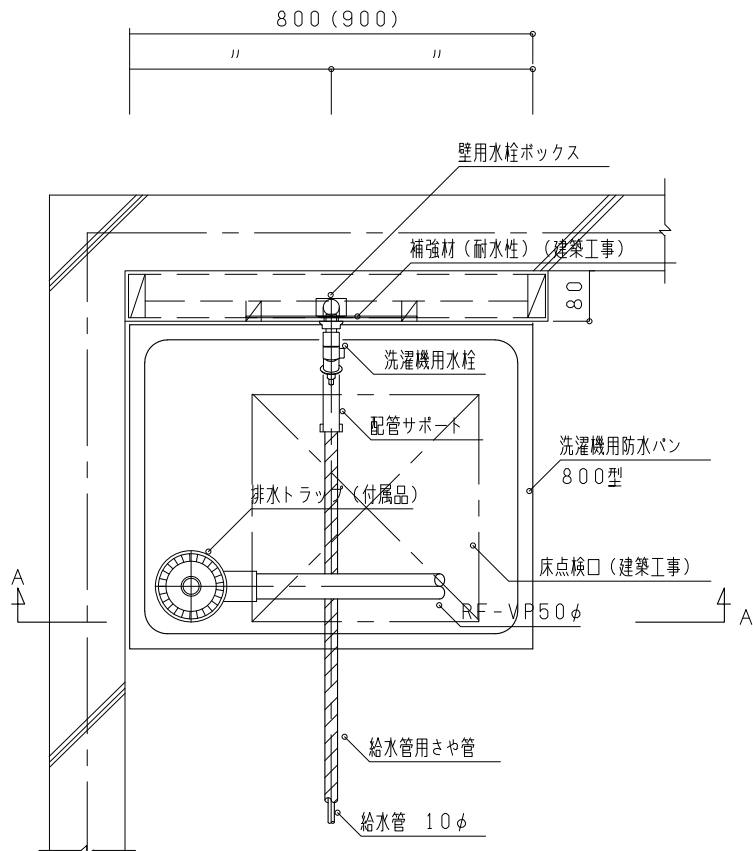
名称

洗濯機置場廻り配管及び水栓設置例

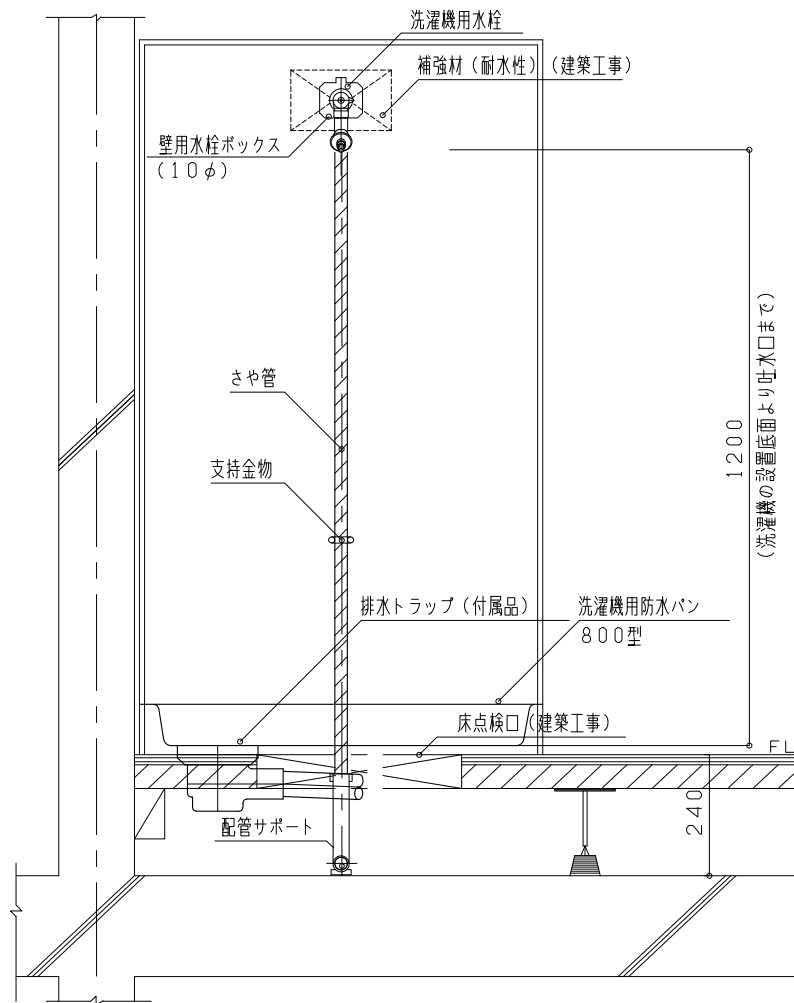
縮尺

NO SCALE

P-201



設置例-1 平面図



A-A 立面図

仕様

付記事項

改定事項

名称

縮尺

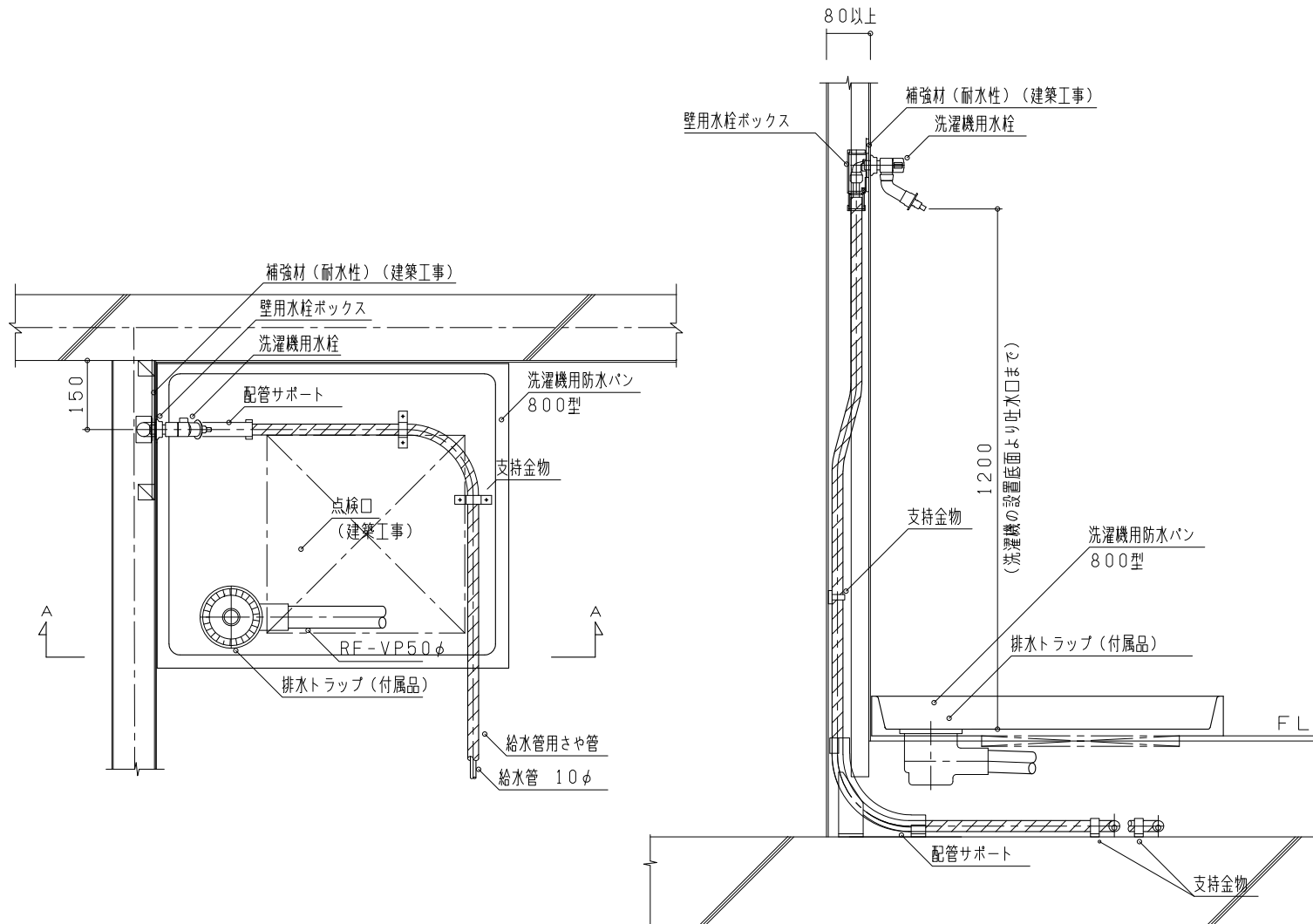
- 1 正面木造壁に水栓取付の場合を示す (ヘッダー置場でない場合)
- 2 支持金物は一例を示す

- ・ライニングの寸法値を修正
- ・水洗面補強材表記を修正
- ・文字を修正

洗濯機置場廻り配管図-1

NO SCALE

P-202



設置例-4 平面図

A-A断面図

仕
様

付
記
事
項

1 左側木造壁に水栓取付の例を示す

改
定
事
項

- ・水洗用補強材表記を修正
- ・文字を修正

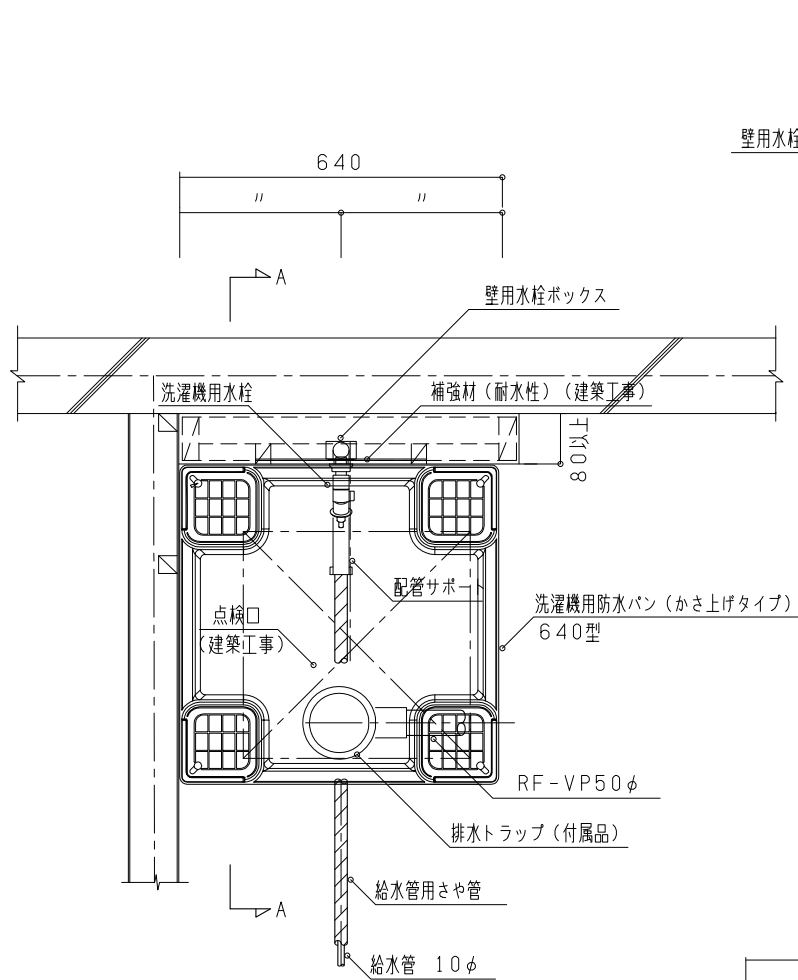
名
称

洗濯機置場廻り配管図-2

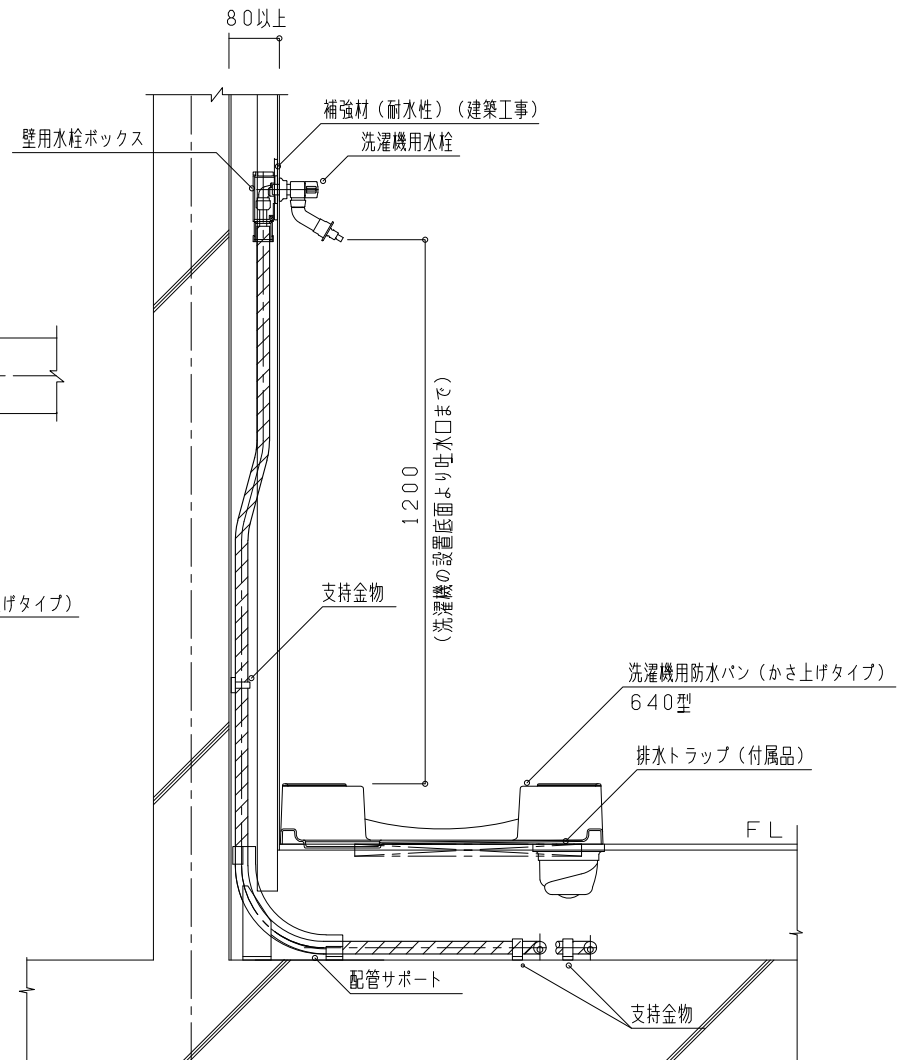
縮
尺

NO SCALE

P-203-1



平面図



A-A断面図

仕様

付記事項

- 1 正面に水栓取付の例を示す
- 2 排水トラップは前面を標準とする

改定事項

- ・洗濯機用防水パンを変更
- ・水栓用補強材表記を修正
- ・文字を修正

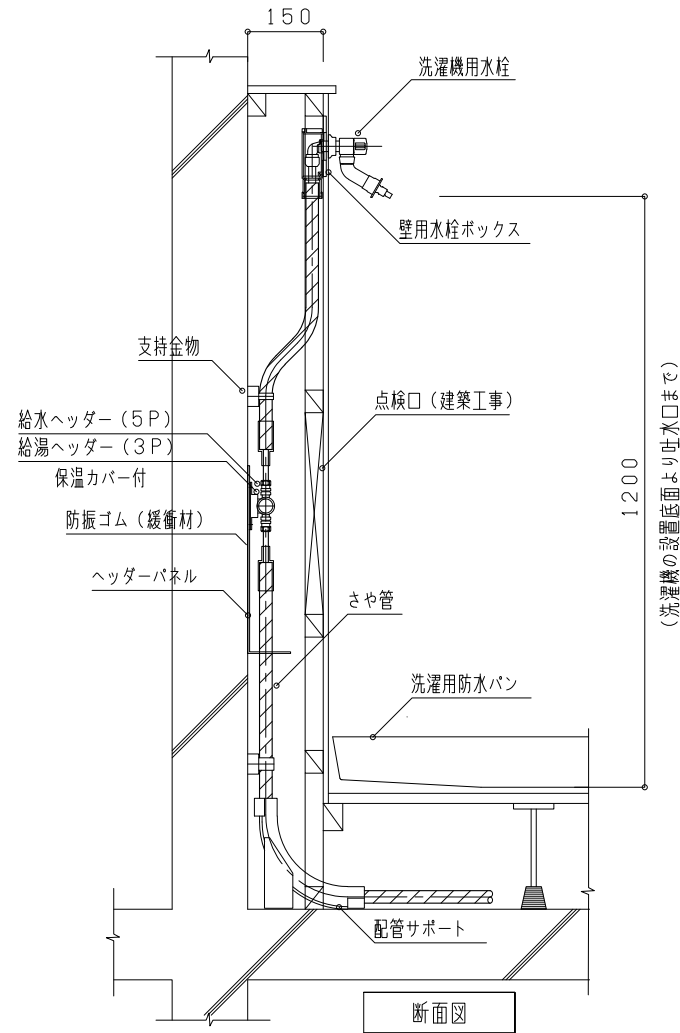
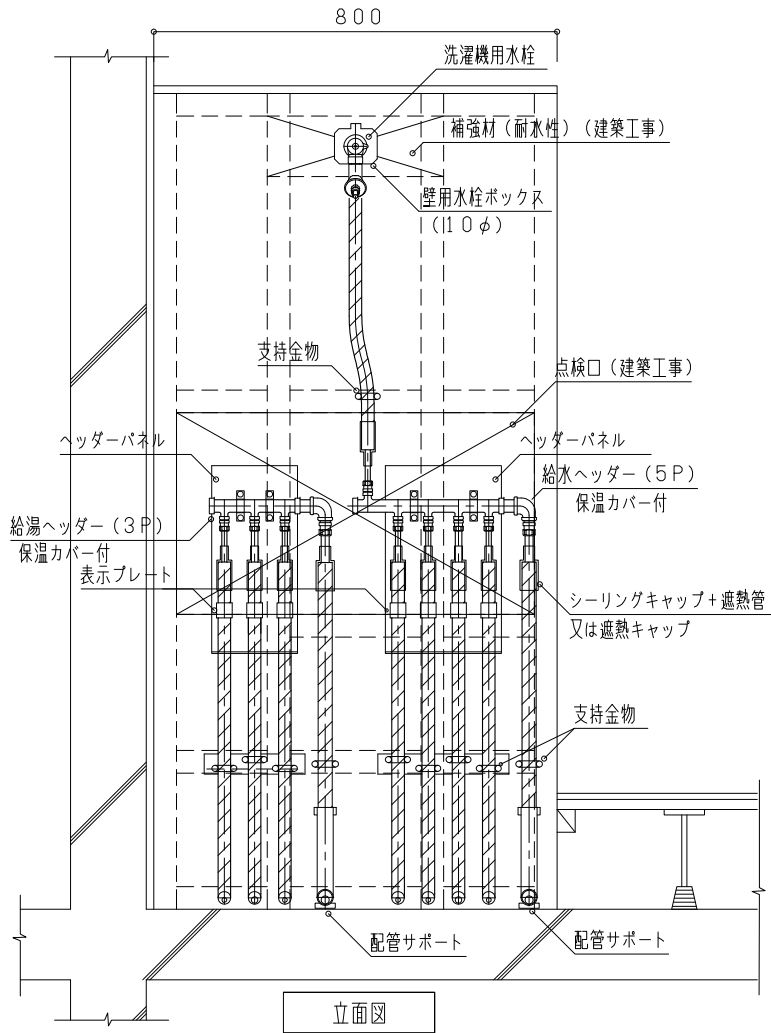
名称

洗濯機置場廻り配管図-3

縮尺

NO SCALE

P-203-2



仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

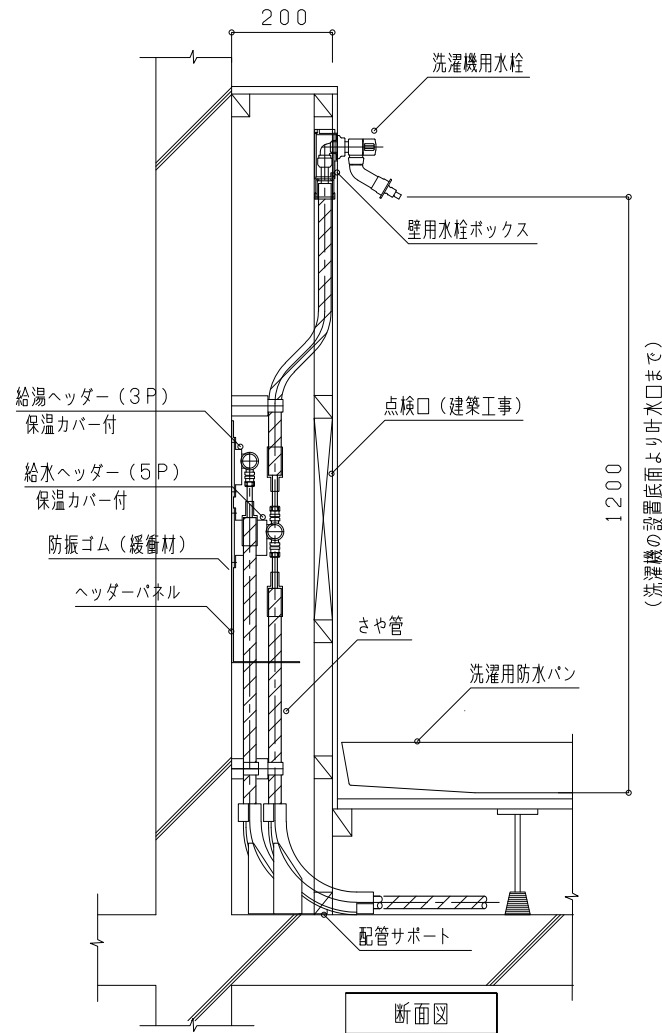
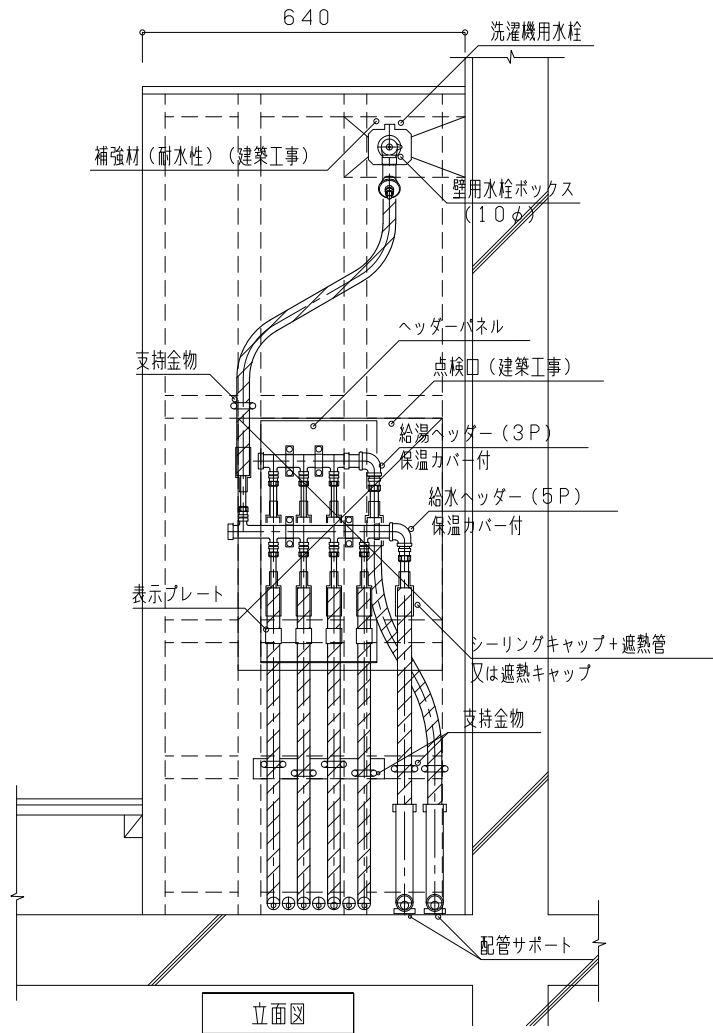
縮
尺

- 1 ヘッダー取付配管には行先名を表示すること
- 2 洗濯水栓接続の場合は上向き取出しとする（ヘッダー末端）
- 3 ヘッダー固定部の架台はゴム付とする。
- 4 点検口は、樹脂管が取替え可能な大きさ、形状、場所とし、ヘッダーの納まりよりも大きなもので行先名が容易に確認できるようにする
- 5 ヘッダーがBL認定品の場合のBLマークは、ヘッダーの保温材の上、又はバンド（ステンレス又はアルミ板）を巻き、その上に貼る

- ・水洗用補強材表記を修正
- ・付記事項4を修正
- ・文字を修正

給水ヘッダー廻り
洗濯機置場廻り配管図-1

NO SCALE P-204-1



仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

- 1 ヘッダー取付配管には行先名を表示すること
- 2 洗濯水栓接続の場合は上向き取出しとする（ヘッダー末端）
- 3 ヘッダー固定部の架台はゴム付とする。
- 4 点検口は、樹脂管が取替え可能な大きさ、形状、場所とし、ヘッダーの納まりよりも大きなもので行先名が容易に確認できるようにする
- 5 ヘッダーがBL認定品の場合のBLマークは、ヘッダーの保温材の上、又はバンド（ステンレス又はアルミ板）を巻き、その上に貼る

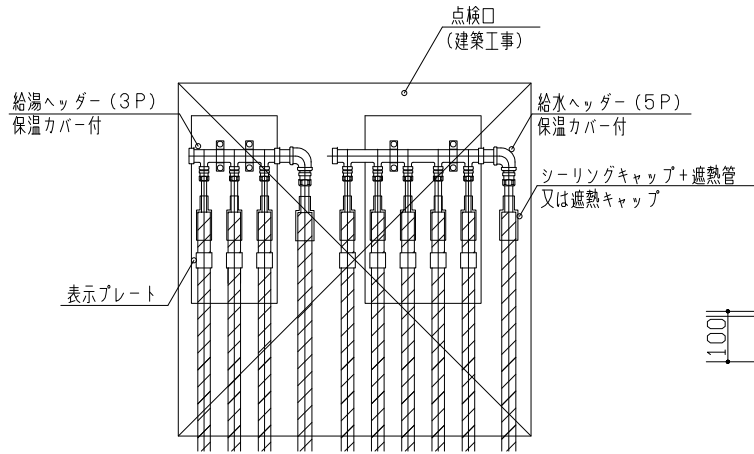
- ・水洗用補強材表記を修正
- ・付記事項4を修正
- ・断面図を立面図に合わせて修正
- ・文字を修正

給水ヘッダー廻り
洗濯機置場廻り配管図-2

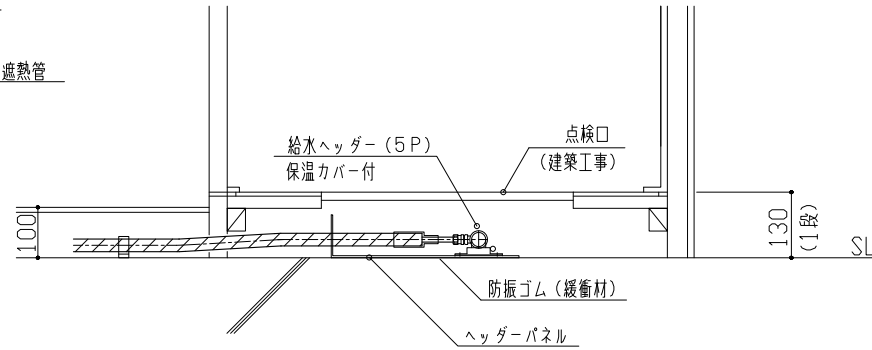
NO SCALE

P-204-2

ヘッダーパネル1段

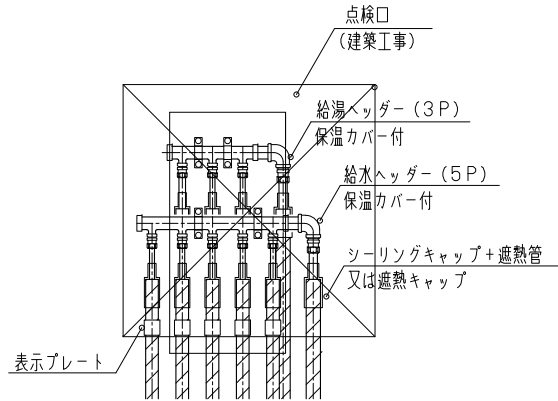


平面図

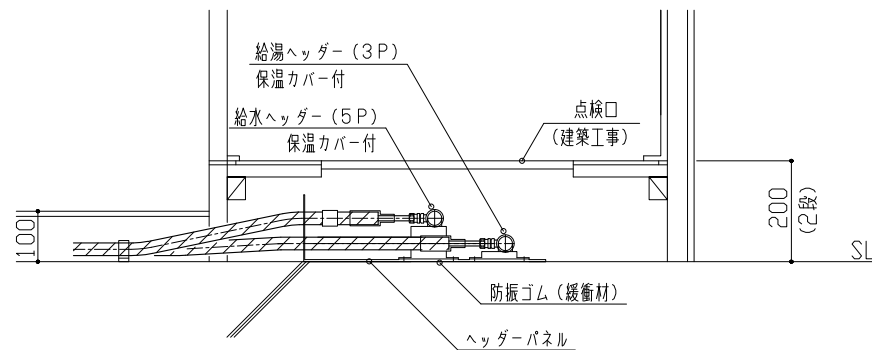


スラブ面取付図

ヘッダーパネル2段



平面図



スラブ面取付図

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

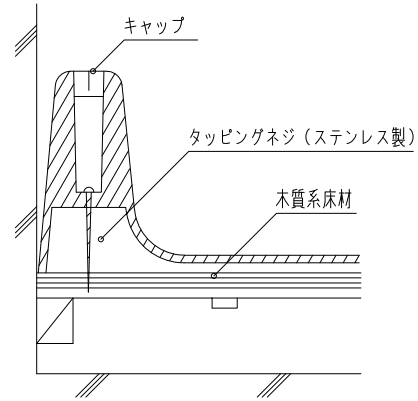
縮
尺

- 1 ヘッダー取付配管には行先名を表示すること
- 2 ヘッダー固定部の架台はゴム付とする。
- 3 点検口は、樹脂管が取替え可能な大きさ、形状、場所とし、ヘッダーの納まりよりも大きなもので行先名が容易に確認できるようにする
- 4 BL認定品の場合は、BLマークはヘッダーの保温材の上、又はバンド(ステンレス又はアルミ板)を巻き、その上に貼る

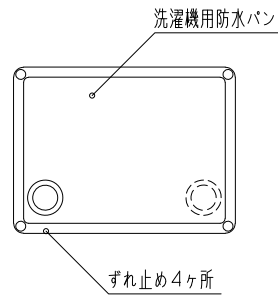
- ・付記事項3を修正
- ・誤記を修正
- ・点検口サイズを削除
- ・スラブ面取付図に文字を追記

給水ヘッダー廻り
洗濯機置場廻り配管図-3

NO SCALE P-204-3



断面図



平面図

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

・付記事項1 削除

洗濯機用防水パン 固定方法

NO SCALE

P-205

2550 1型配列平面図

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

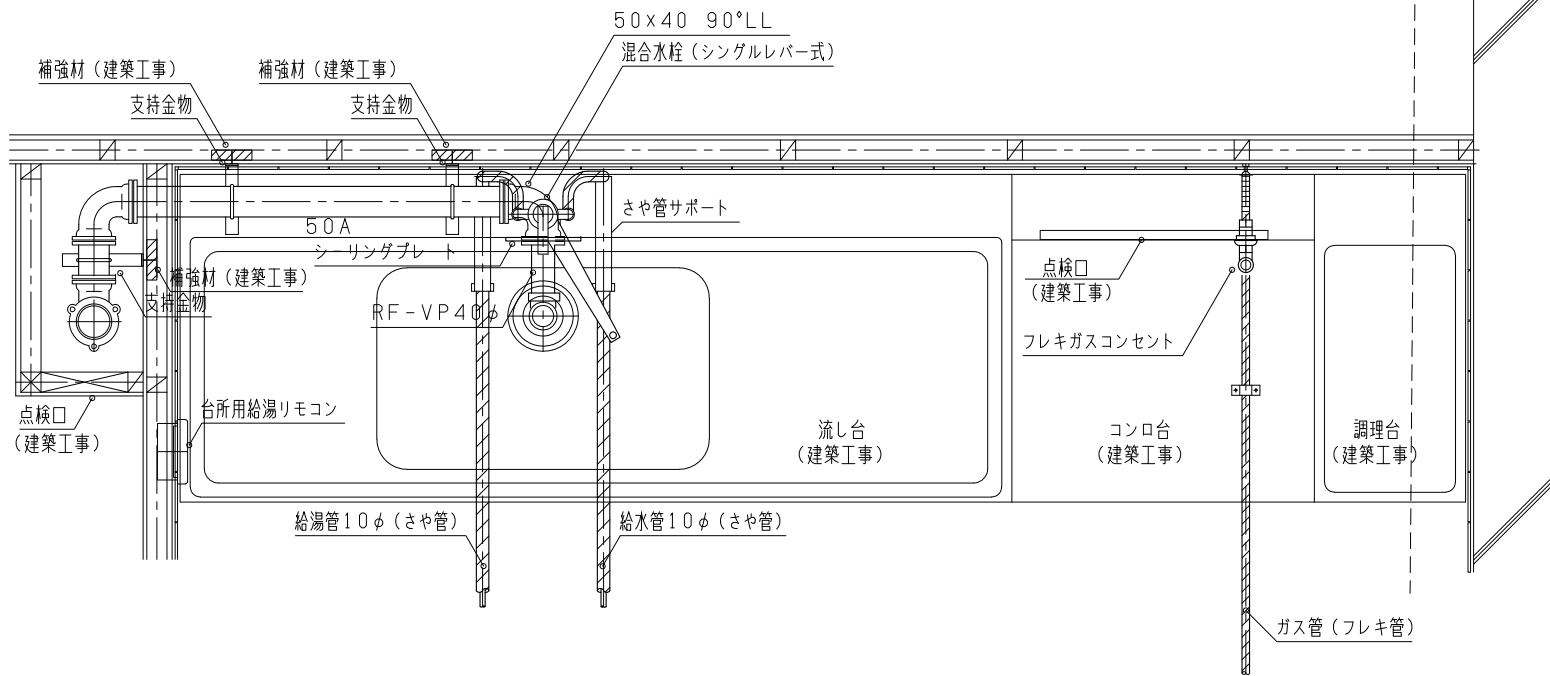
- 1 本図は流し台2550型の一例を示す
- 2 流しトラップは建築工事とする
- 3 共用配管と専用配管の接合部が点検可能な点検口（建築工事）を設ける
- 4 立て管への配管接続系統は一例を示す

- ・付記事項4を追加
- ・文字修正

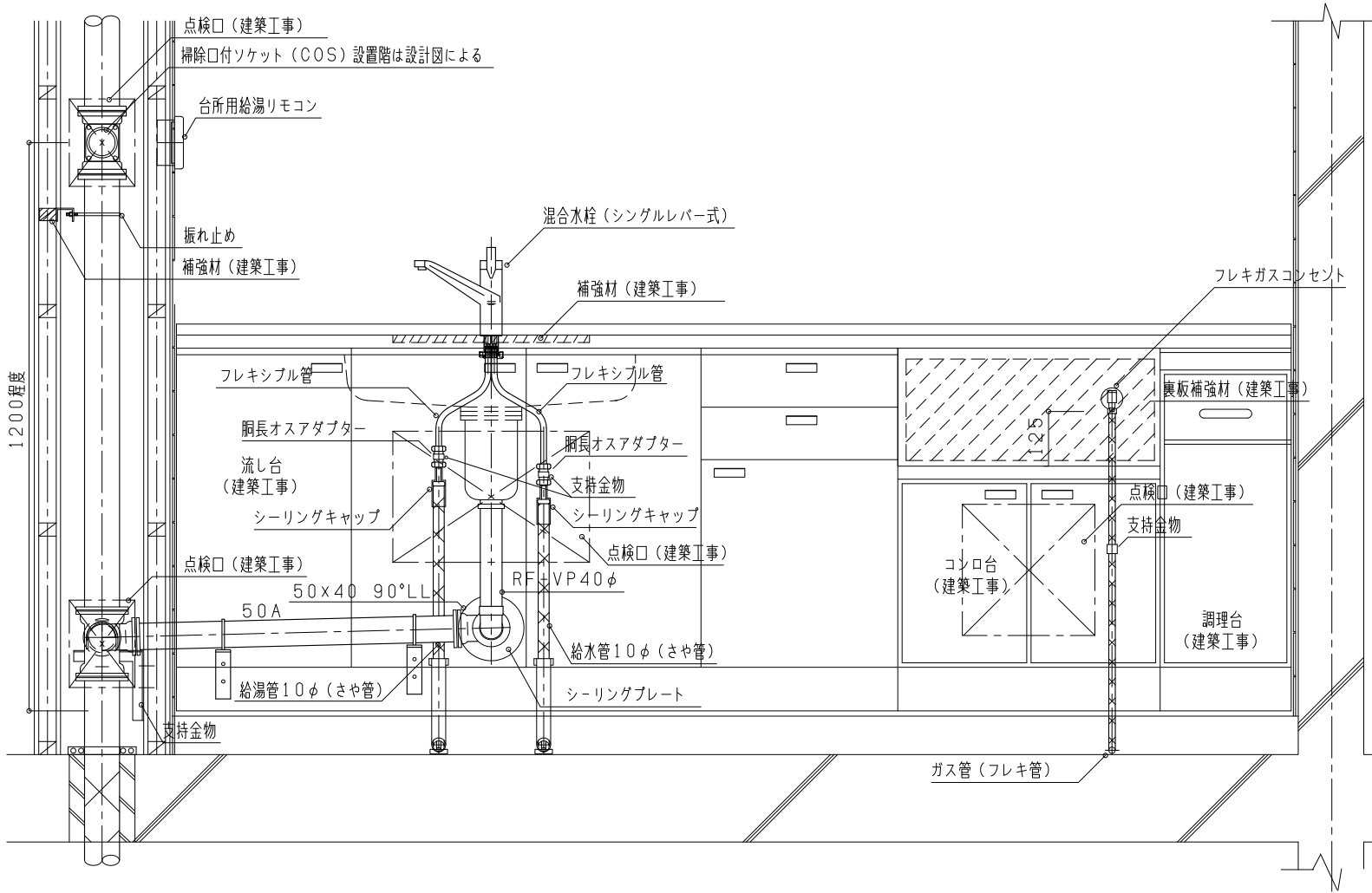
流し廻り（1型）配管図-1

NO SCALE

P-301-1



平面図



立断面図

仕様

2550 1型配列正面図

付記事項

- 1 本図は流し台2550型の一例を示す
- 2 共用配管と専用配管の接合部が点検可能な点検口（建築工事）を設ける
- 3 混合水栓の接続はワンタッチ接合方式でも可とする
- 4 台所用給湯リモコンの設置高さはFLから1,300を標準とし、他の電気設備がある場合はそれらと整合した高さとする
- 5 流しトラップは建築工事とする
- 6 配管の支持固定は、銅長オスアダプターを使用し、支持バンド（防振ゴム付き）で固定する
- 7 立て管への配管接続系統は一例を示す

改定事項

- ・付記事項7を追加
- ・排水立て管の掃除口高さを変更
- ・水栓の逆止弁を削除
- ・文字修正

名称

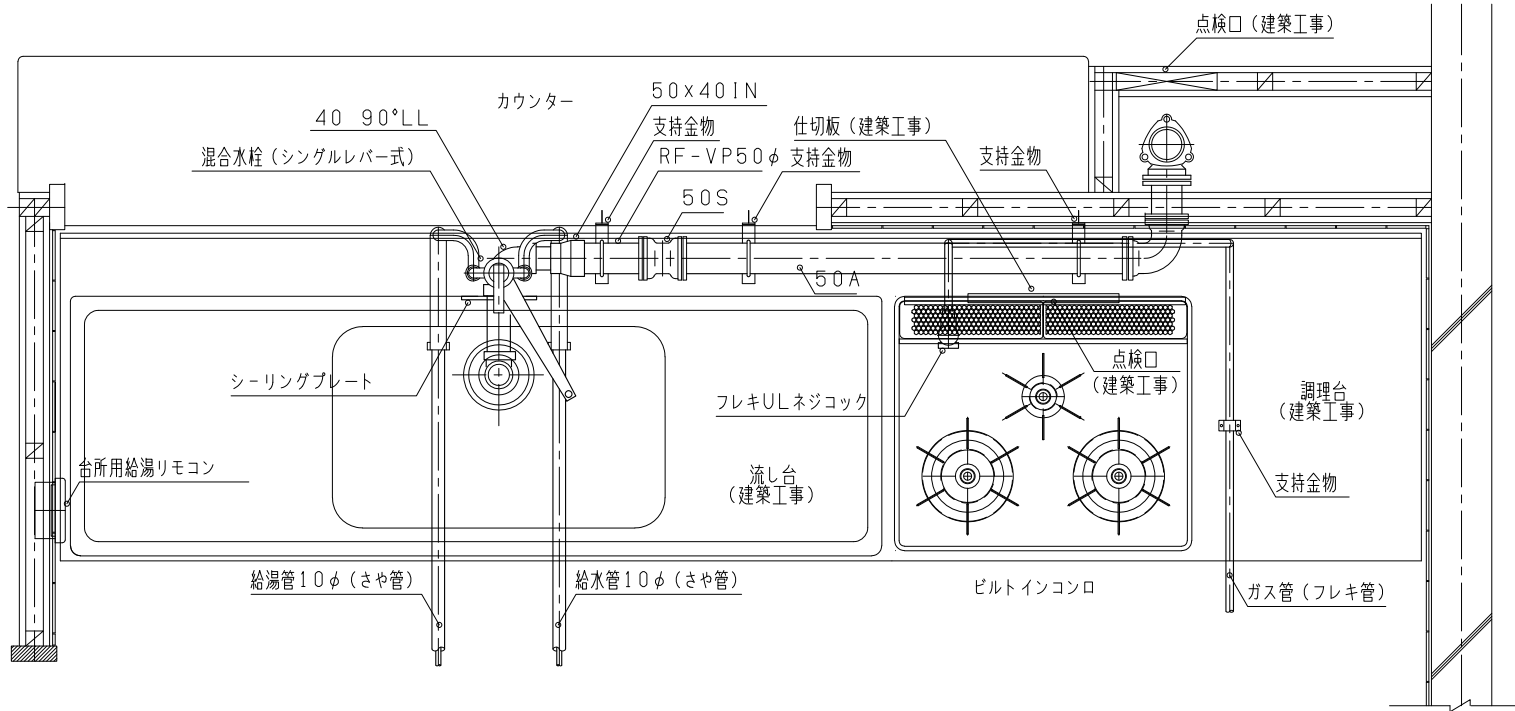
流し廻り（1型）配管図-2

縮尺

NO SCALE

P-301-2

2700対面キッチン平面図



平面図

仕
様

付
記
事
項

- 1 本図は流し台2700型、対面キッチン
の一例を示す
- 2 流しトラップは建築工事とする
- 3 共用配管と専用配管の接合部が点検可能
な点検口(建築工事)を設ける
- 4 ビルトインコンロでハイカロリーバーナー
と標準バーナーの両方の機能が備わる
機器を設置する場合は、ハイカロリー
バーナーがシンク側になることを標準
とする
- 5 ビルトインコンロを設置する場合の仕切
り板(建築工事)は隙間のないように
設置する
- 6 立て管への配管接続系統は一例を示す

改
定
事
項

- ・付記事項6を追加
- ・排水管継手寸法を追記
- ・文字修正

名
称

流し廻り(1型)配管図-3

縮
尺

NO SCALE

P-301-3

2700対面キッチン正面図

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

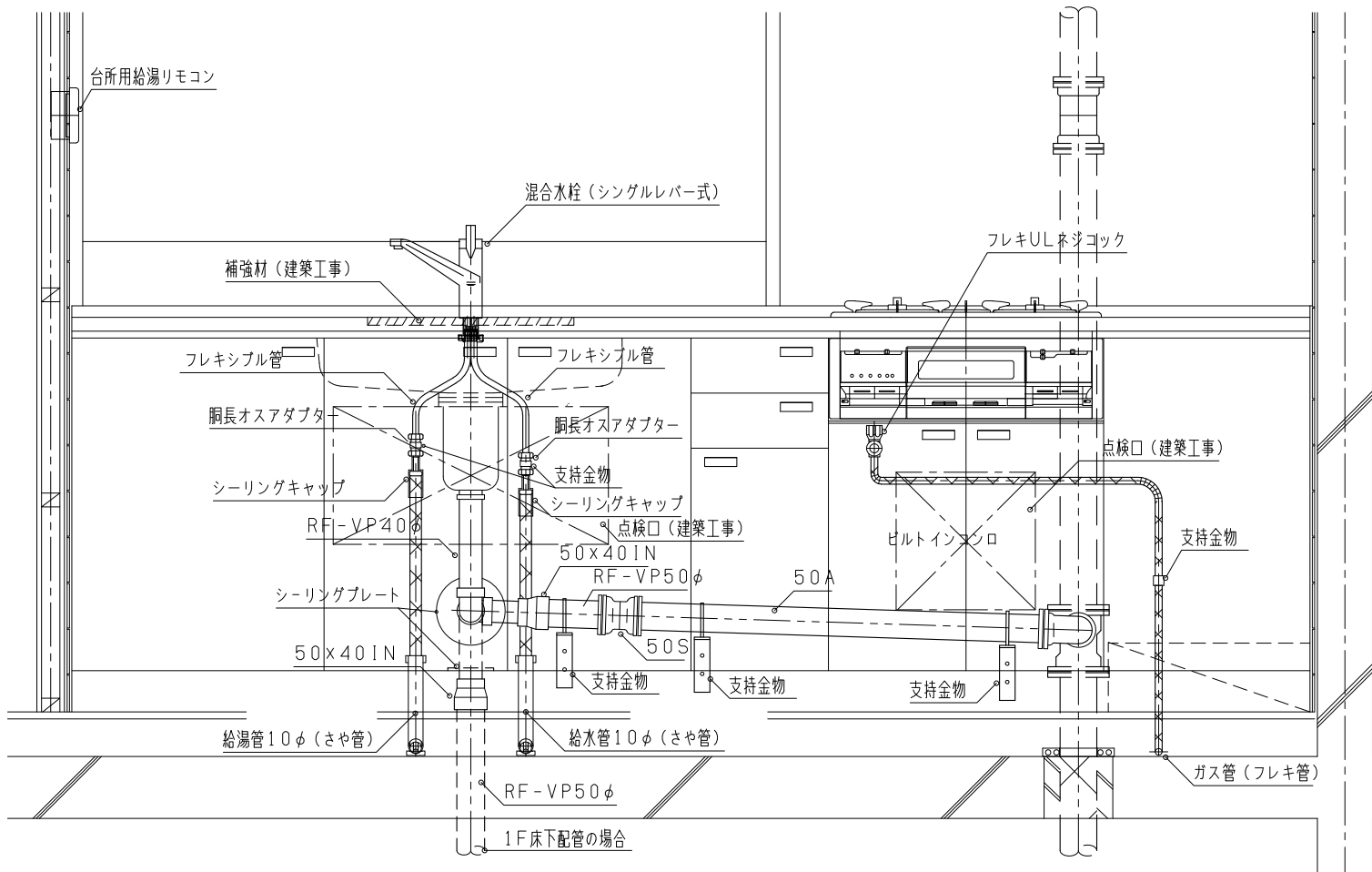
- 1 本図は流し台2700型、対面キッチン
の一例を示す
- 2 共用配管と専用配管の接合部が点検可
な点検口（建築工事）を設ける
- 3 混合水栓の接続はワンタッチ接合方式
でも可とする
- 4 台所用給湯リモコンの設置高さはFLか
ら1,300を標準とし、他の電気設備
がある場合はそれらと整合した高さとし
る
- 5 ビルトインコンロでハイカロリーバーナー
と標準バーナーの両方の機能が備わる
機器を設置する場合は、ハイカロリー
バーナーがシンク側になることを標準
とする
- 6 ビルトインコンロを設置する場合は仕切
り板（建築工事）は隙間のないように
設置する
- 7 流しトラップは建築工事とする
- 8 配管の支持固定は、胴長オスアダプター
を使用し、支持バンド（防振ゴム付き）
で固定する
- 9 立て管への配管接続系統は一例を示す

- ・付記事項9を追加
- ・水栓の逆止弁を削除
- ・文字修正

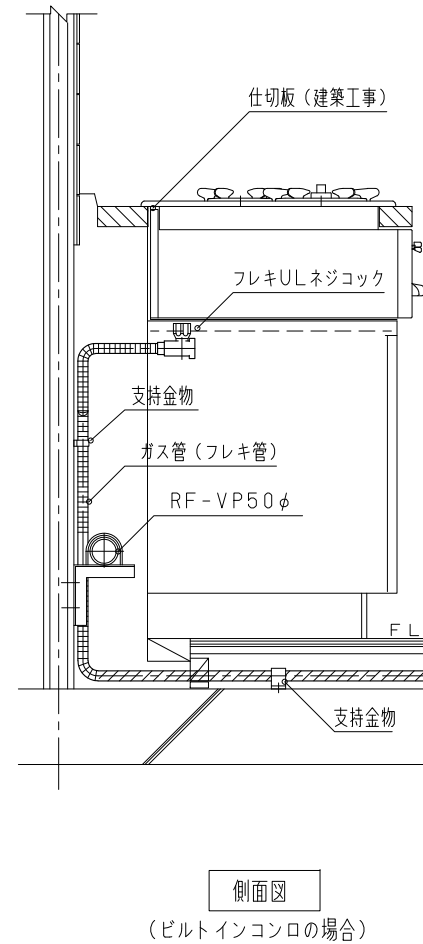
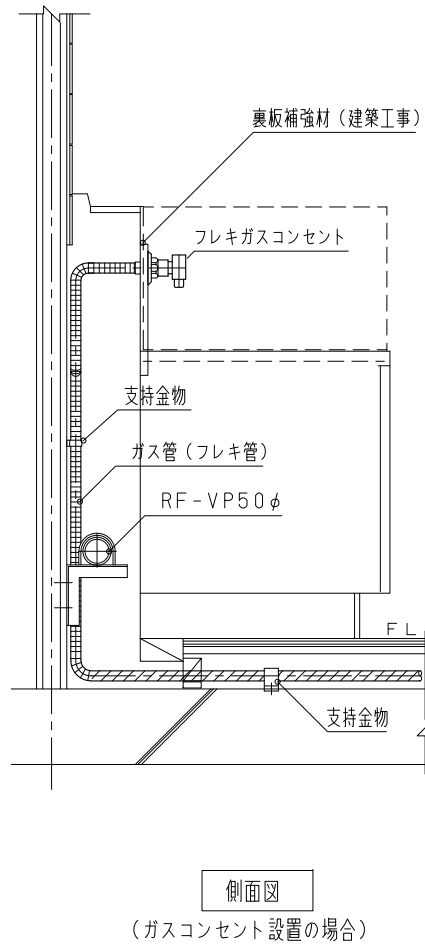
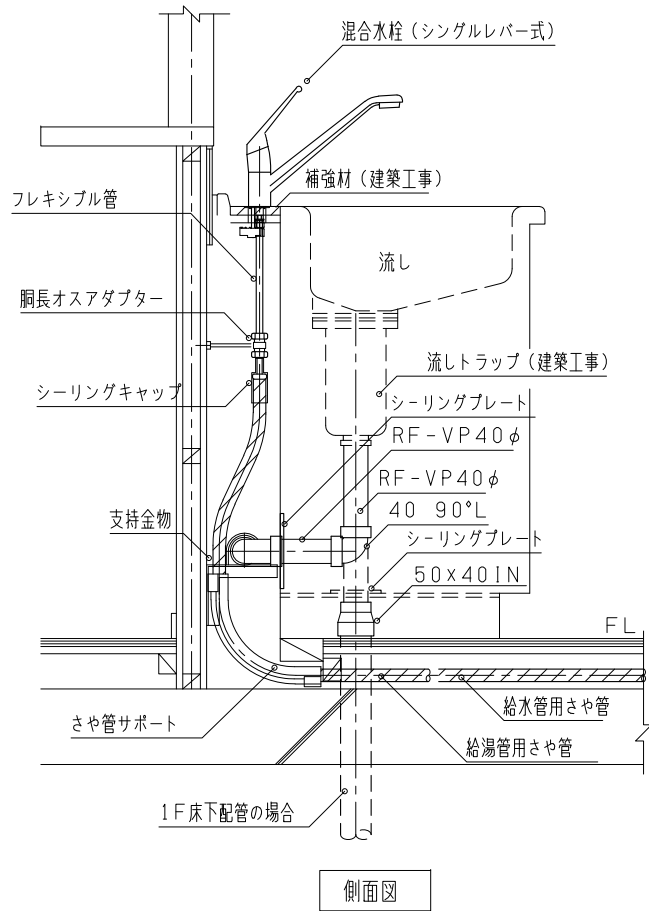
流し廻り（1型）配管図-4

NO SCALE

P-301-4



立面図



仕
様

流し廻り側面図

付
記
事
項

- 1 本図は配管の納まりの一例を示す
- 2 ビルトインコンロを設置する場合の仕切り板 (建築工事) は隙間のないように設置する
- 3 配管の支持固定は、胴長オスアダプターを使用し、支持バンド (防振ゴム付き) で固定する

改
定
事
項

- ・水栓の逆止弁を削除
- ・文字修正

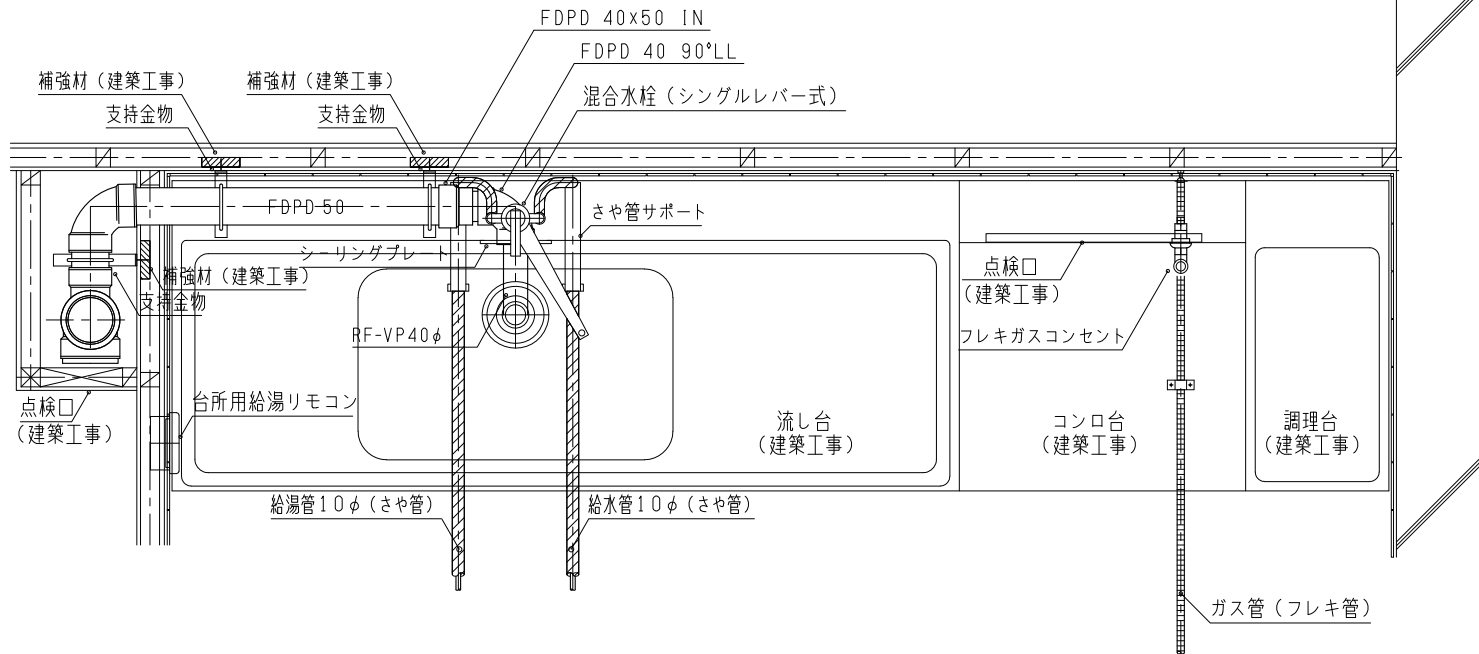
名
称

流し廻り (1型) 配管図-5

縮
尺

NO SCALE

P-301-5



平面図

仕
様

2550 I型配列平面図

付
記
事
項

- 1 本図は流し台2550型の一例を示す
- 2 流しトラップは建築工事とする
- 3 共用配管と専用配管の接合部が点検可能な点検口(建築工事)を設ける
- 4 立て管への配管接続系統は一例を示す

改
定
事
項

- ・付記事項4を追加
- ・文字修正

名
称

流し廻り(I型)配管図-6
(排水用耐火二層管使用時の一例)

縮
尺

NO SCALE

P-301-6

2550 I型配列正面図

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

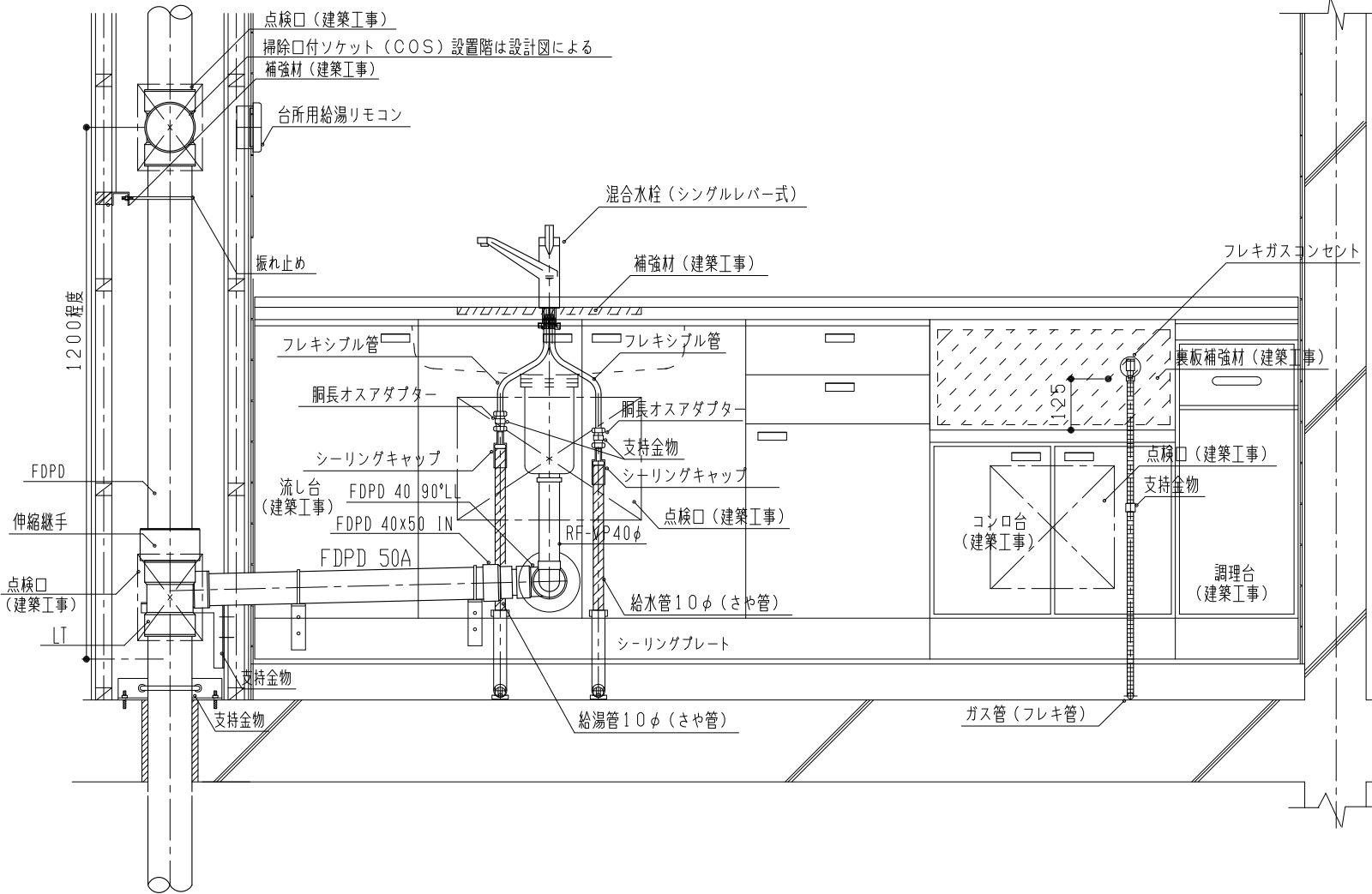
- 1 本図は流し台2550型の一例を示す
- 2 共用配管と専用配管の接合部が点検可能な点検口（建築工事）を設ける
- 3 混合水栓の接続はワンタッチ接合方式でも可とする
- 4 台所用給湯リモコンの設置高さはFLから1,300を標準とし、他の電気設備がある場合はそれらと整合した高さとする
- 5 流しトラップは建築工事とする
- 6 配管の支持固定は、胴長オスアダプターを使用し、支持バンド（防振ゴム付き）で固定する
- 7 立て管への配管接続系統は一例を示す

- ・付記事項7を追加
- ・排水立て管の掃除口高さを変更
- ・水栓の逆止弁を削除
- ・文字修正

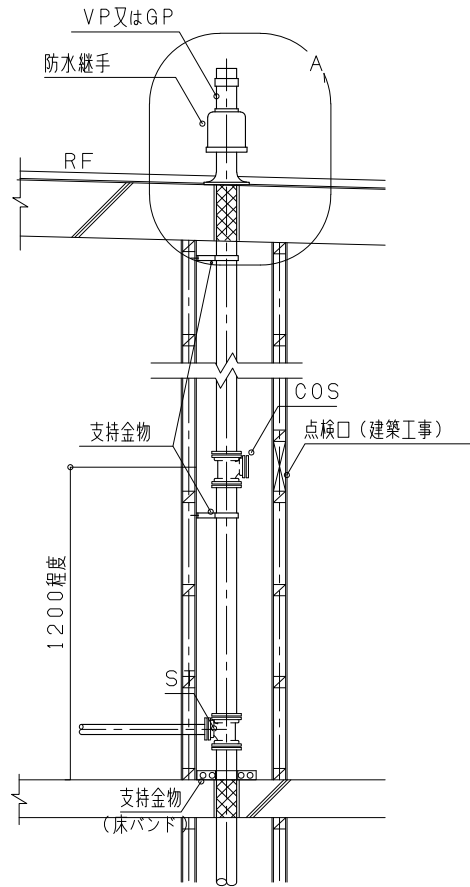
流し廻り(I型)配管図-7
（排水用耐火二層管使用時の一例）

NO SCALE

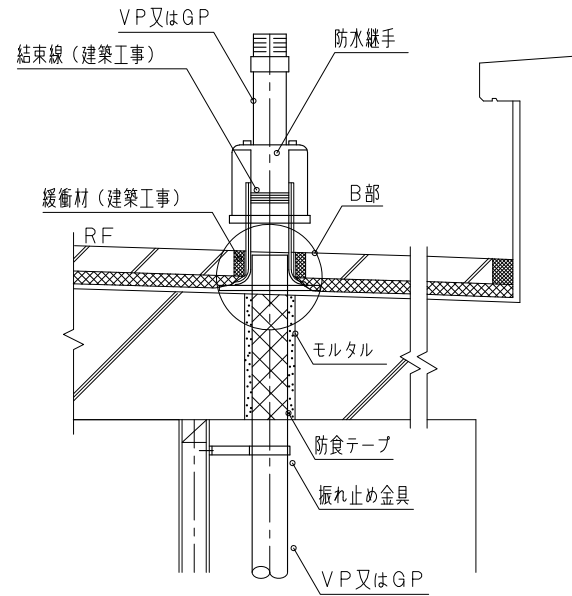
P-301-7



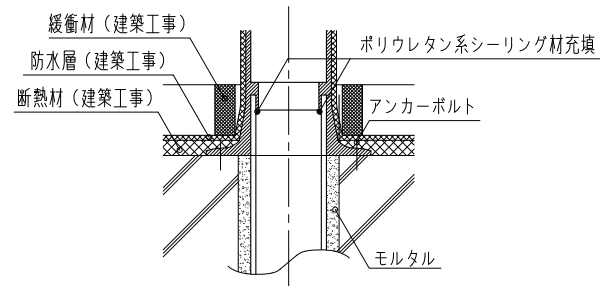
立面図



排水立管詳細図



A部詳細図



B部詳細図

仕様

付記事項

- 1 本図は標準の一例を示す
- 2 取付の際、差込寸法をチェックして施工すること

改定事項

- ・排水立て管の掃除口高さを変更
- ・文字修正

名称

コンクリート貫通部、排水立管及び通気管詳細図

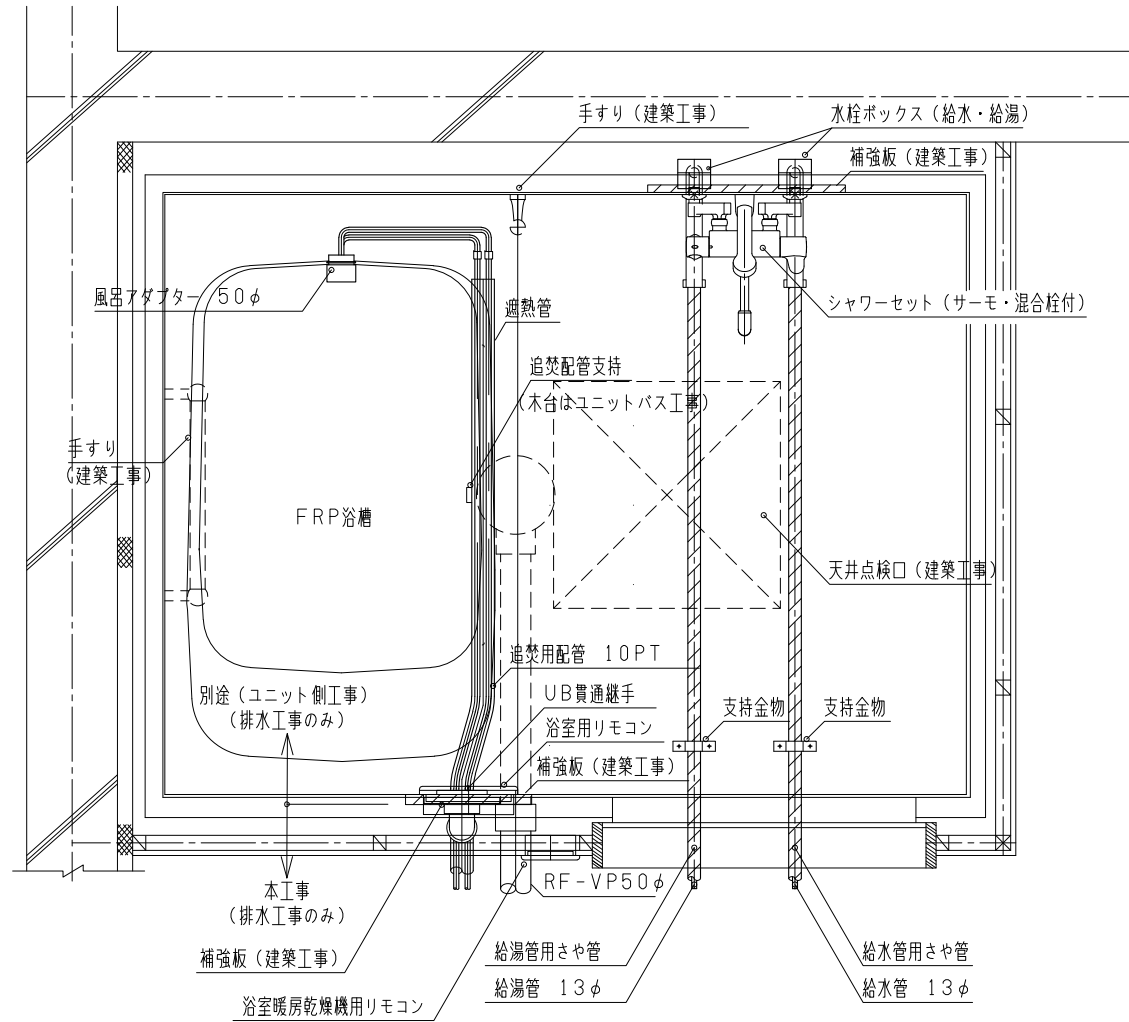
縮尺

NO SCALE

P-303

1216型浴室ユニット平面図

仕
様



平面図

付
記
事
項

- 1 本図は1216型の一例を示す
- 2 浴槽のふた置場がある場合のリモコン設置位置はその高さを考慮すること。

改
定
事
項

・洗い場の手すりを削除

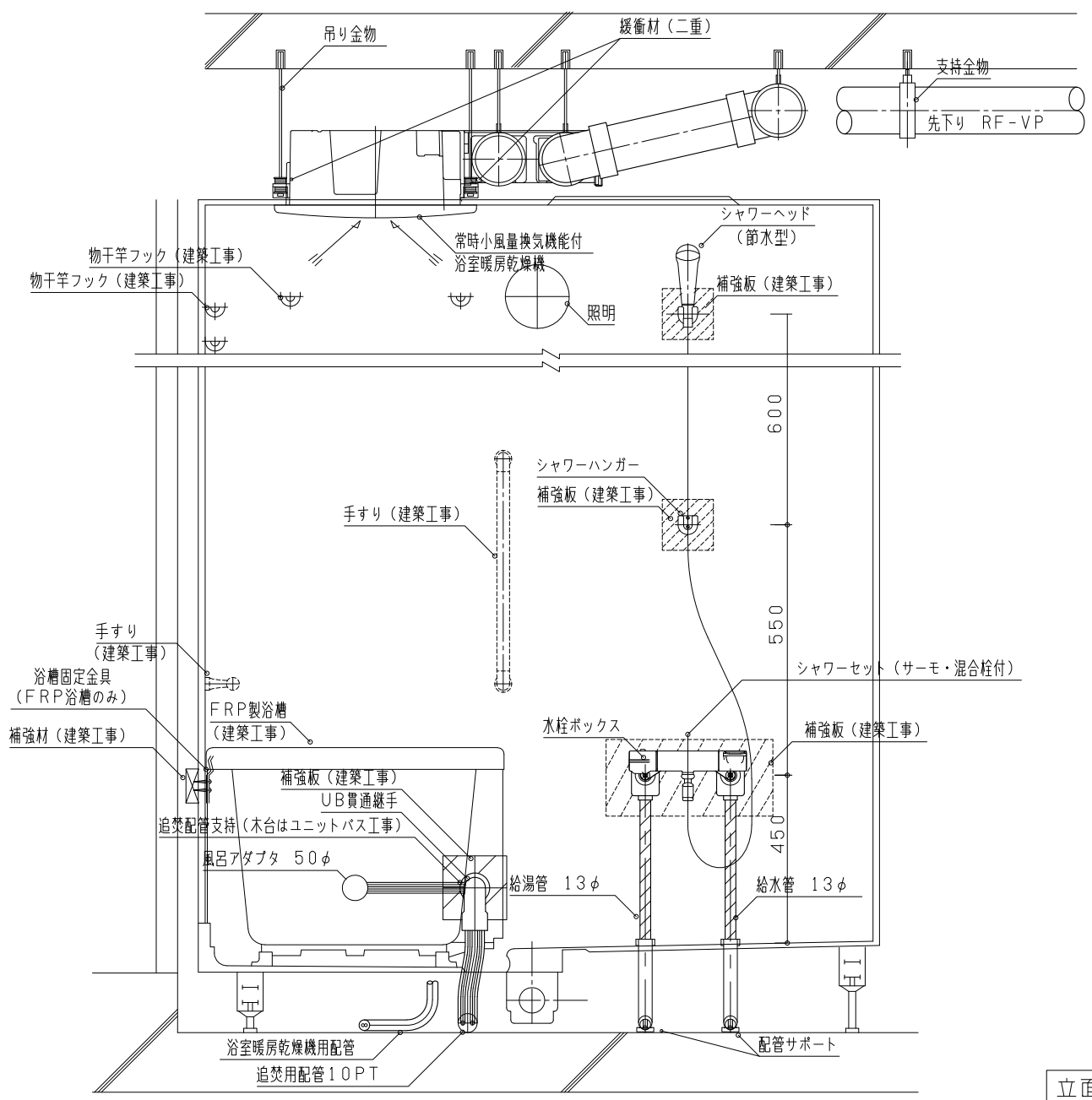
名
称

浴室ユニット配管図-1

縮
尺

NO SCALE

P-401-1



立面図

仕 様	1216型浴室ユニット立面図	
付 記 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1 本図は1216型の一例を示す 2 シャワーホースの長さは1500～1600とする 3 シャワーヘッドは照明と干渉しないこと 4 物干し竿フックの位置は浴室暖房乾燥機設置業者と打合わせの上、位置を決定する 	
改 定 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・排水管をP-401-1に合わせて修正 ・洗い場の手すりを削除 ・バスコイルを削除 	
名 称	浴室ユニット 配管図-2	
縮 尺	NO SCALE	P-401-2

1418型浴室ユニット平面図

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

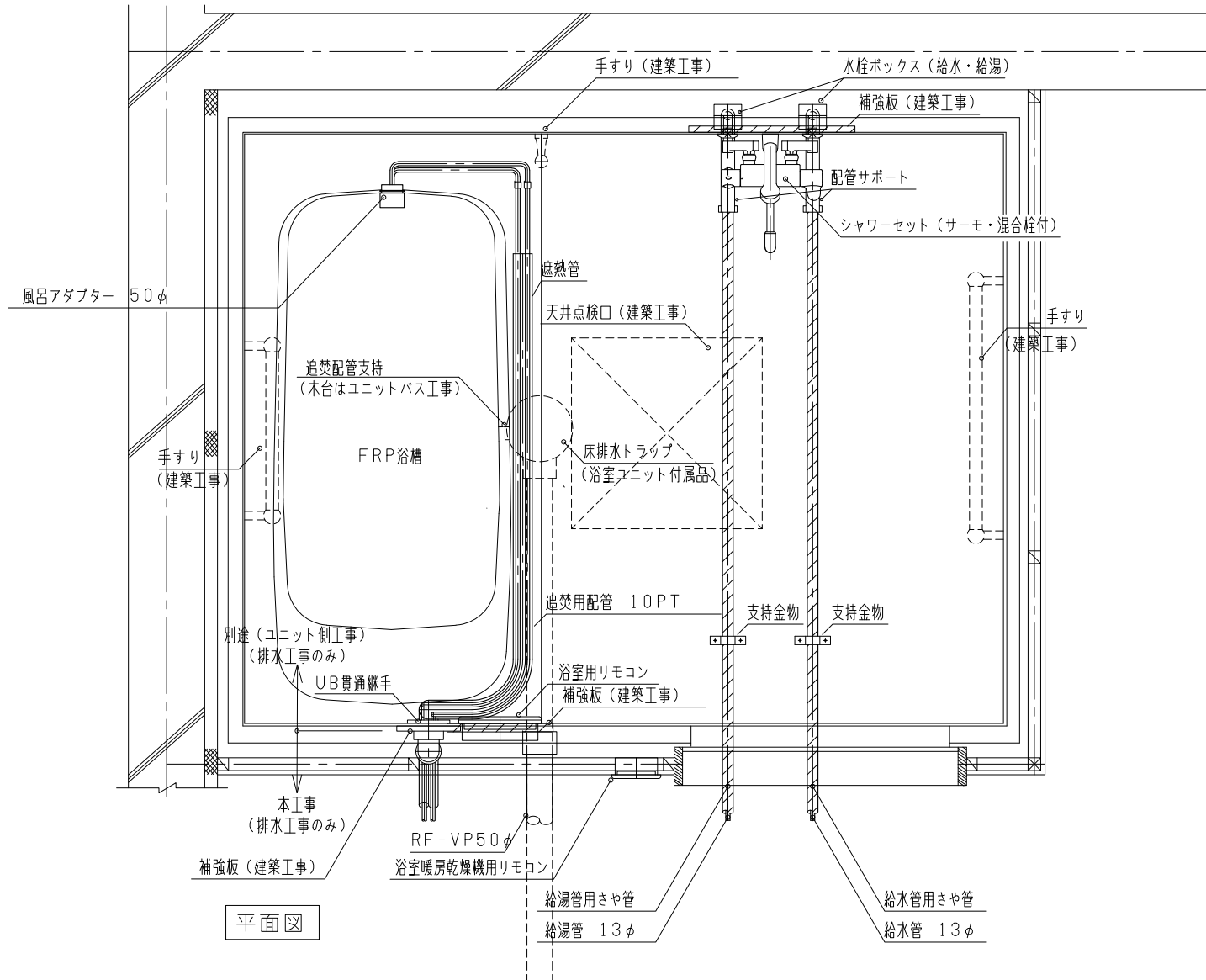
1 本図は1418型の一例を示す

・床排水トラップの位置を変更

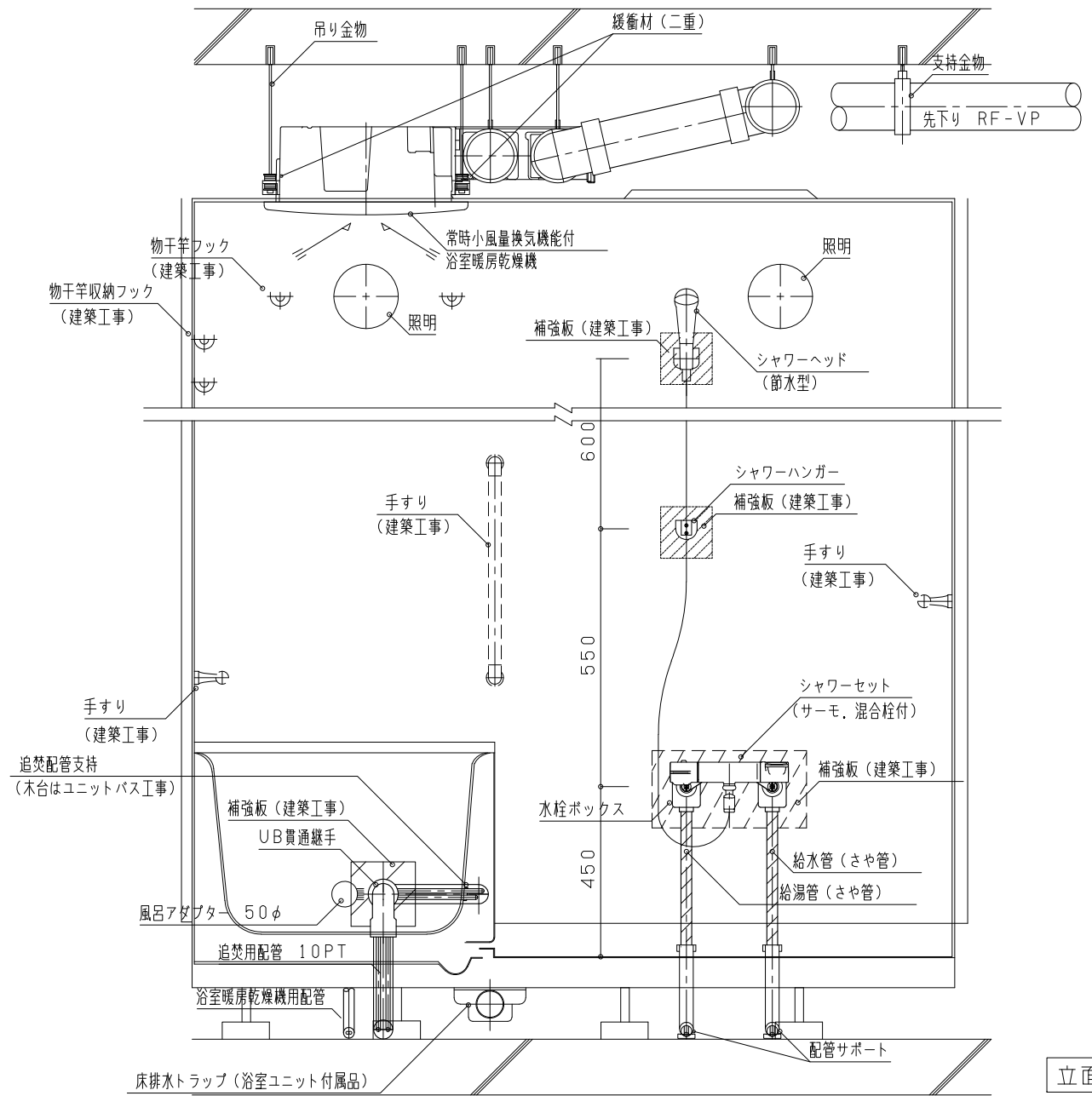
浴室ユニット配管図-3

NO SCALE

P-402-1

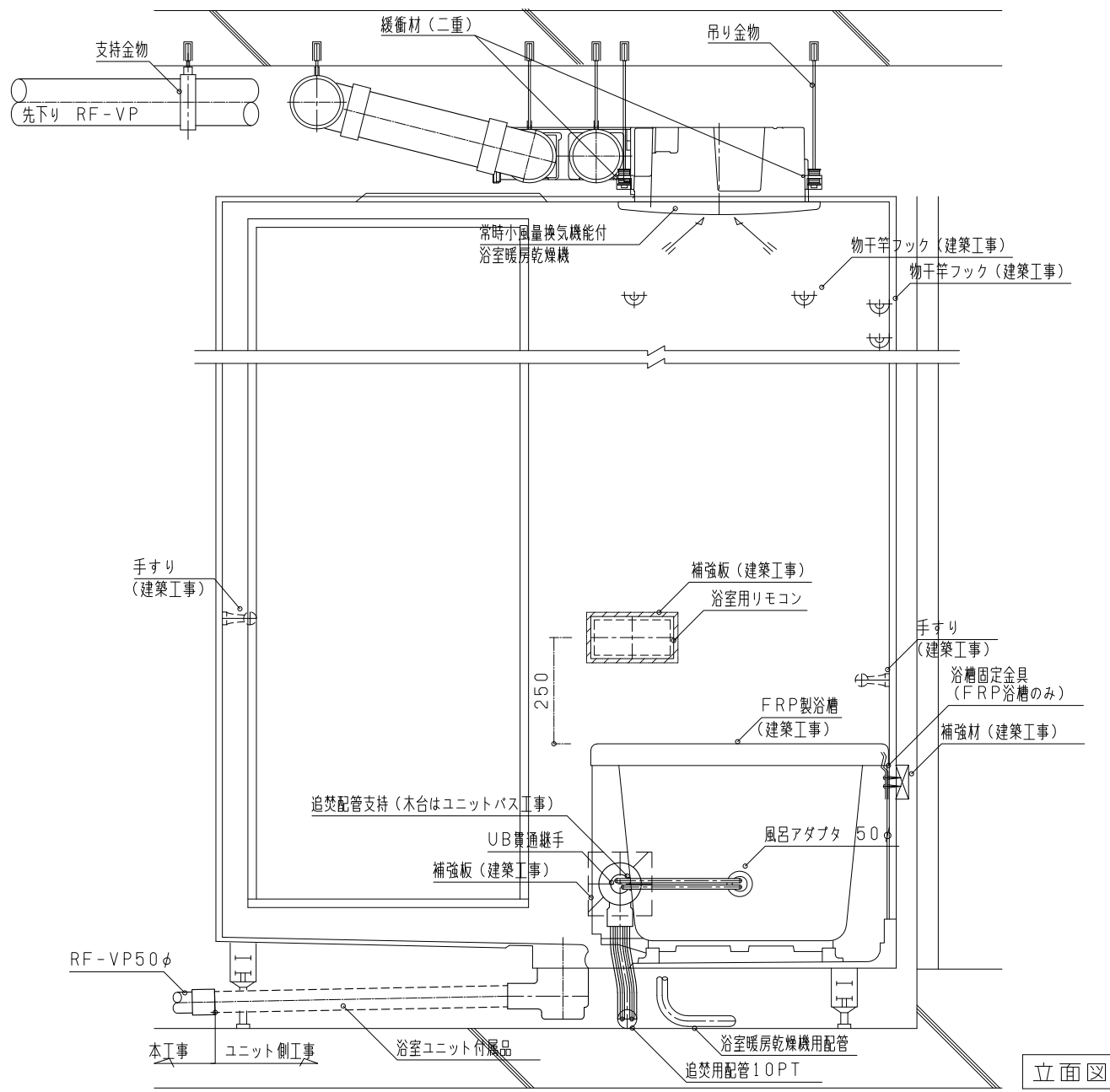


平面図



立面図

仕	1418型浴室ユニット立面図	
様		
付	<ol style="list-style-type: none"> 1 本図は1418型の一例を示す 2 シャワーホースの長さは1500～1600とする 3 シャワーヘッドは照明と干渉しないこと 4 物干し竿フックの位置は浴室暖房乾燥機設置業者と打合わせの上、位置を決定する 	
事		
項	<ul style="list-style-type: none"> ・追焚配管の貫通位置をP-402-1に合わせて修正 ・バスコイルを削除 ・シャワーヘッドの仕様を追加 	
改		
定		
事		
項		
名	浴室ユニット配管図-4	
称		
縮	NO SCALE	P-402-2
尺		



仕
様

1216型浴室ユニット立面図

付
記
事
項

- 1 本図は1216型の一例を示す
- 2 物干し竿フックの位置は浴室暖房乾燥機設置業者と打合わせの上、位置を決定する
- 3 浴槽のふた置場がある場合のリモコン設置位置はその高さを考慮すること。

改
定
事
項

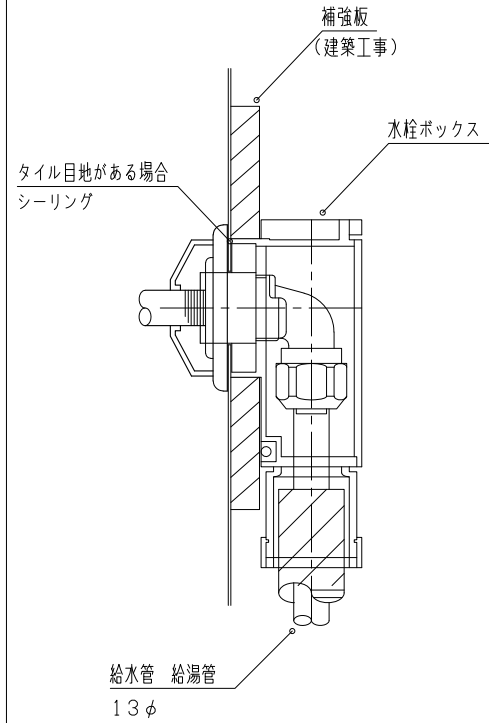
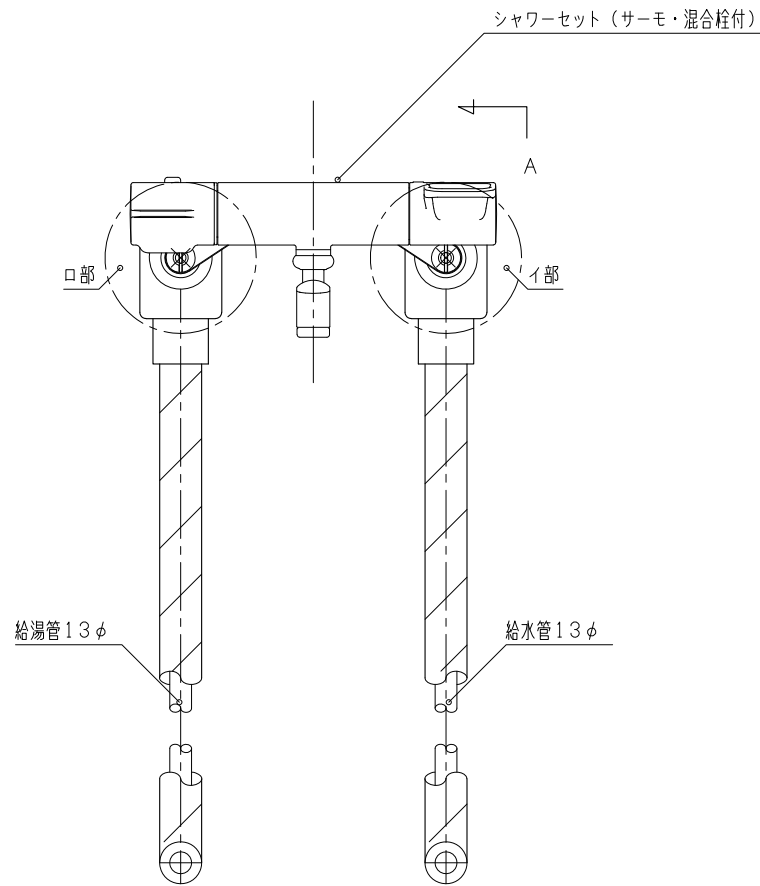
- ・文字修正
- ・付記事項3の※を削除

名
称

浴室ユニット内浴室用リモコン取付図

縮
尺

NO SCALE P-402-3



イ、口部 A 視 断面図 S = 1 / 2

水栓取り出し部の詳細

仕
様

付
記
事
項

1 水栓ボックス廻りにシーリングを行う

改
定
事
項

・表記修正

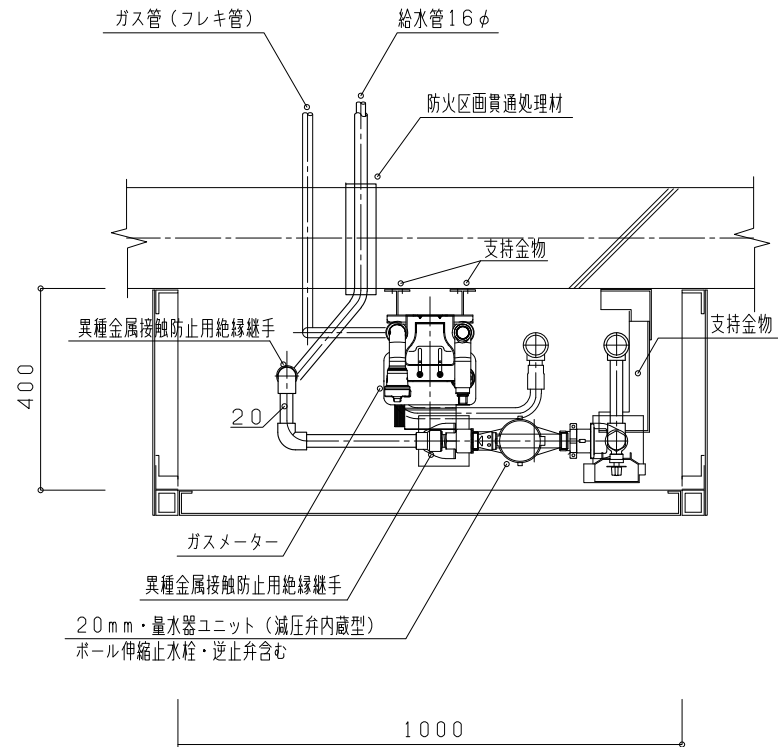
名
称

浴室廻り配管図

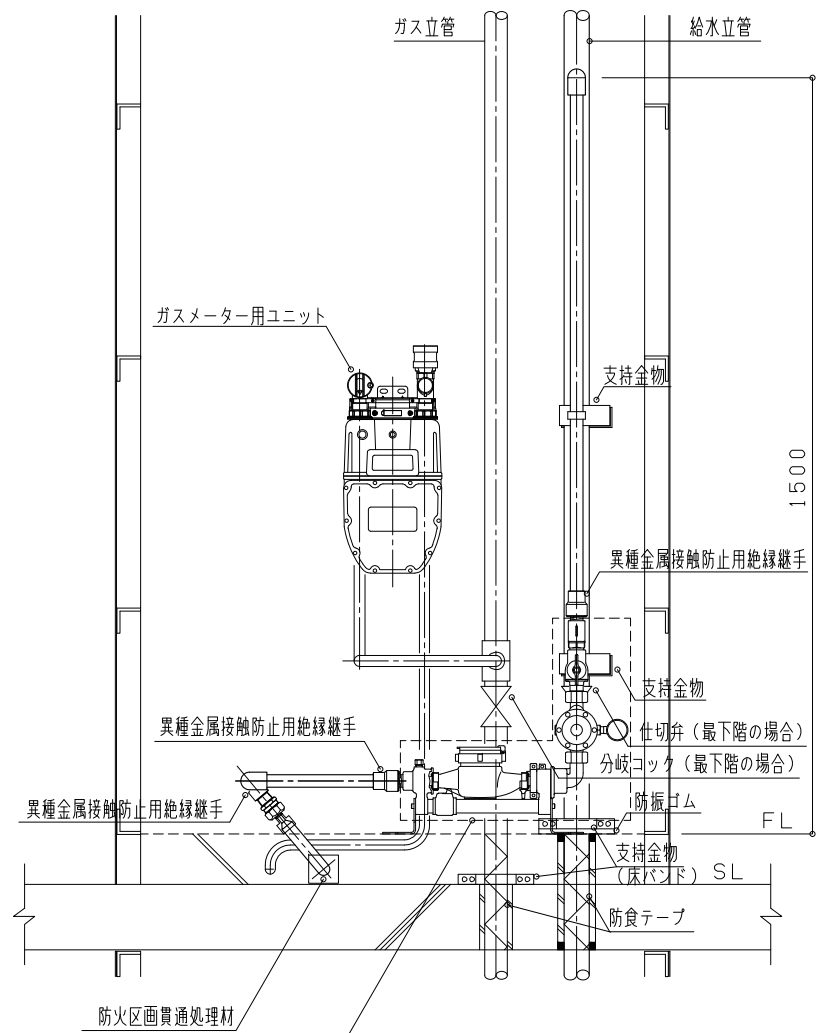
縮
尺

NO SCALE

P - 403



平面図



立面図

仕様

付記事項

改定事項

名称

縮尺

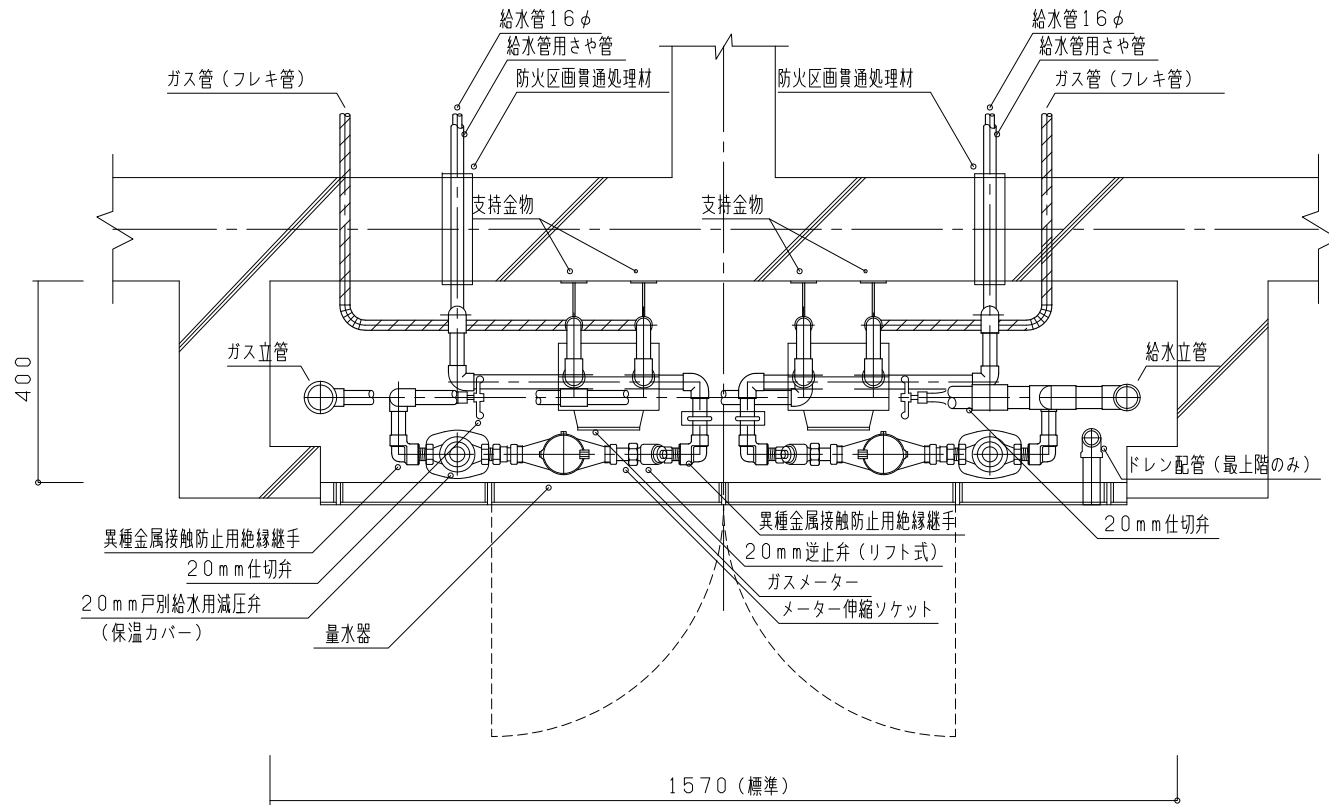
- 1 水道メーターの口径は図面特記による
- 2 本図は水道メーター及びガスメーター廻りを鋼管で配管する場合の納まりの一例を示す
- 3 は防食テープ巻を示す
- 4 減圧弁の取付は設計図による
- 5 水道メーターの保温は図面特記による
- 6 立管系統バルブには常時開の札をつける
- 7 ガスメーター廻りに住戸番号を表示する
- 8 ガスメーター廻りの配管をフレキ管とする場合は、各ガス事業者の仕様による
- 9 スラブ貫通部はZ-114による
- 10 水道メーター廻りに住戸番号を表示する
- 11 水道メーターの保温は図面特記による
- 12 架橋ポリエチレン管又はポリブデン管と鋼管の接続部は、ポリエチレン保温筒又は遮熱管で防露する
- 13 給水立管の最下階には異種金属接触防止用絶縁継手を用いること

- ・付記事項2を修正
- ・付記事項13を追加
- ・文字修正

各戸型パイプシャフト配管図

NO SCALE

P-501



平面図

仕様

付記事項

改定事項

名称

縮尺

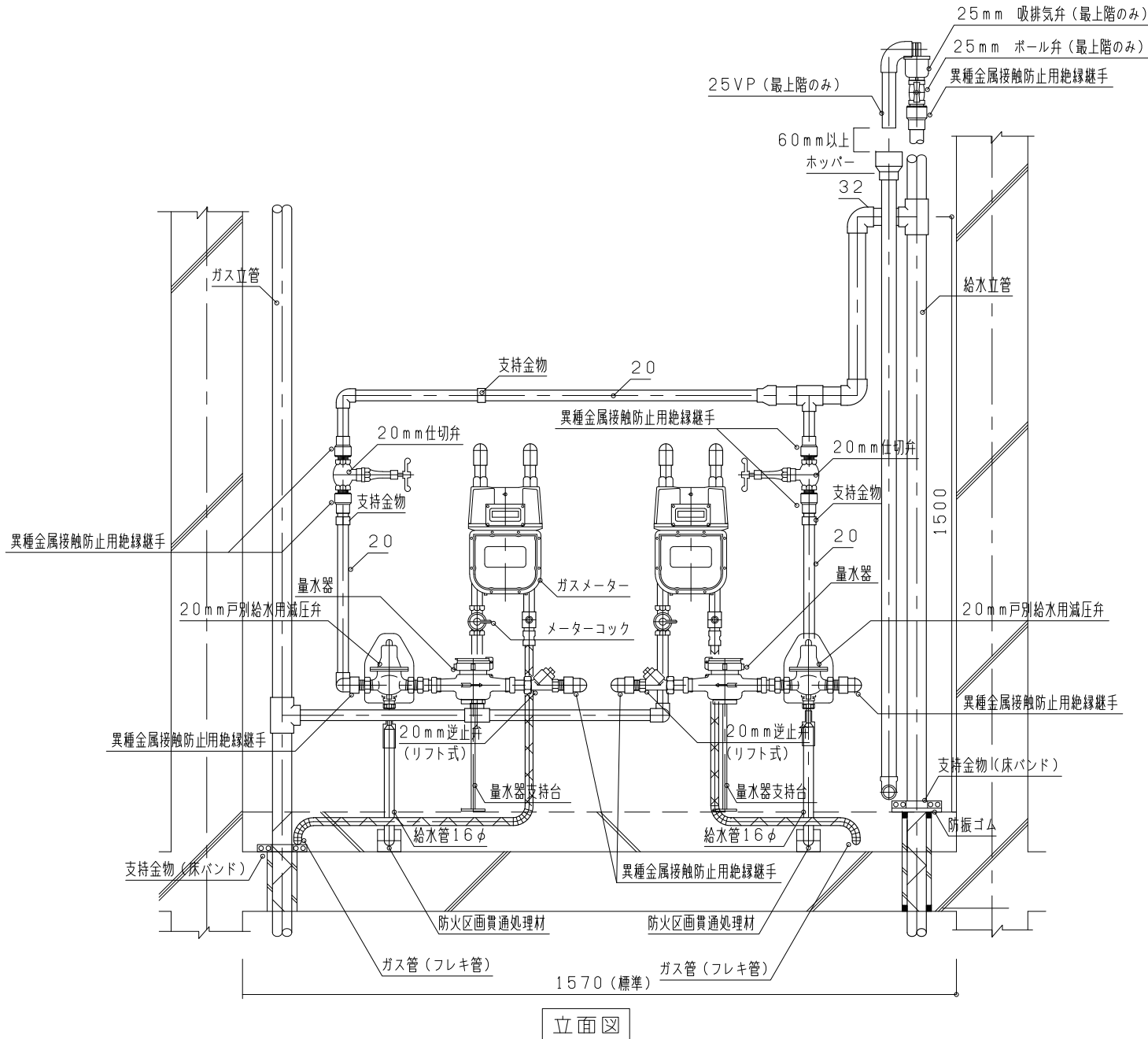
- 1 本図は水道メーター及びガスメーター廻りを鋼管で配管する場合の納まりの一例を示す
- 2 水道メーターの口径は図面特記による
- 3 水道メーター廻りに住戸番号を表示する
- 4 水道メーターの保温は図面特記による
- 5 戸別給水用減圧弁の取付は設計図による
- 6 電気積算電力計の納まりを考慮すること
- 7 ガスメーター廻りに住戸番号を表示する
- 8 ガスメーター廻りの配管をフレキ管とする場合は、各ガス事業者の仕様による
- 9 スラブ貫通部はZ-114による

- ・付記事項2を修正
- ・最上階のドレン配管をパイプシャフトの外まで延長
- ・文字修正

共用型パイプシャフト 配管図-1

NO SCALE

P-502-1



仕様

付記事項

改定事項

名称

縮尺

- 1 本図は水道メーター及びガスメーター廻りを鋼管で配管する場合の納まりの一例を示す
- 2 水道メーターの口径は図面特記による
- 3 水道メーター廻りに住戸番号を表示する
- 4 水道メーターの保温は図面特記による
- 5 戸別給水用減圧弁の取付は設計図による
- 6 電気積算電力計の納まりを考慮すること
- 7 立管系統バルブには常時間の札をつける
- 8 吸排気弁は取外しが可能な位置とすること
- 9 ガスメーター廻りに住戸番号を表示する
- 10 ガスメーター廻りの配管をフレキ管とする場合は、各ガス事業者の仕様
- 11 スラブ貫通部はZ-114による
- 12 吸排気弁ドレン管からの水滴がMB内に飛び散らないよう、ホッパーのサイズ等に配慮すること
- 13 架橋ポリエチレン管又はポリブデン管と鋼管の接続部は、ポリエチレン保温筒又は遮熱管で防露する

・付記事項2を修正
・文字修正

共用型パイプシャフト配管図-2

NO SCALE

P-502-2

給湯暖房機PS内設置例

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

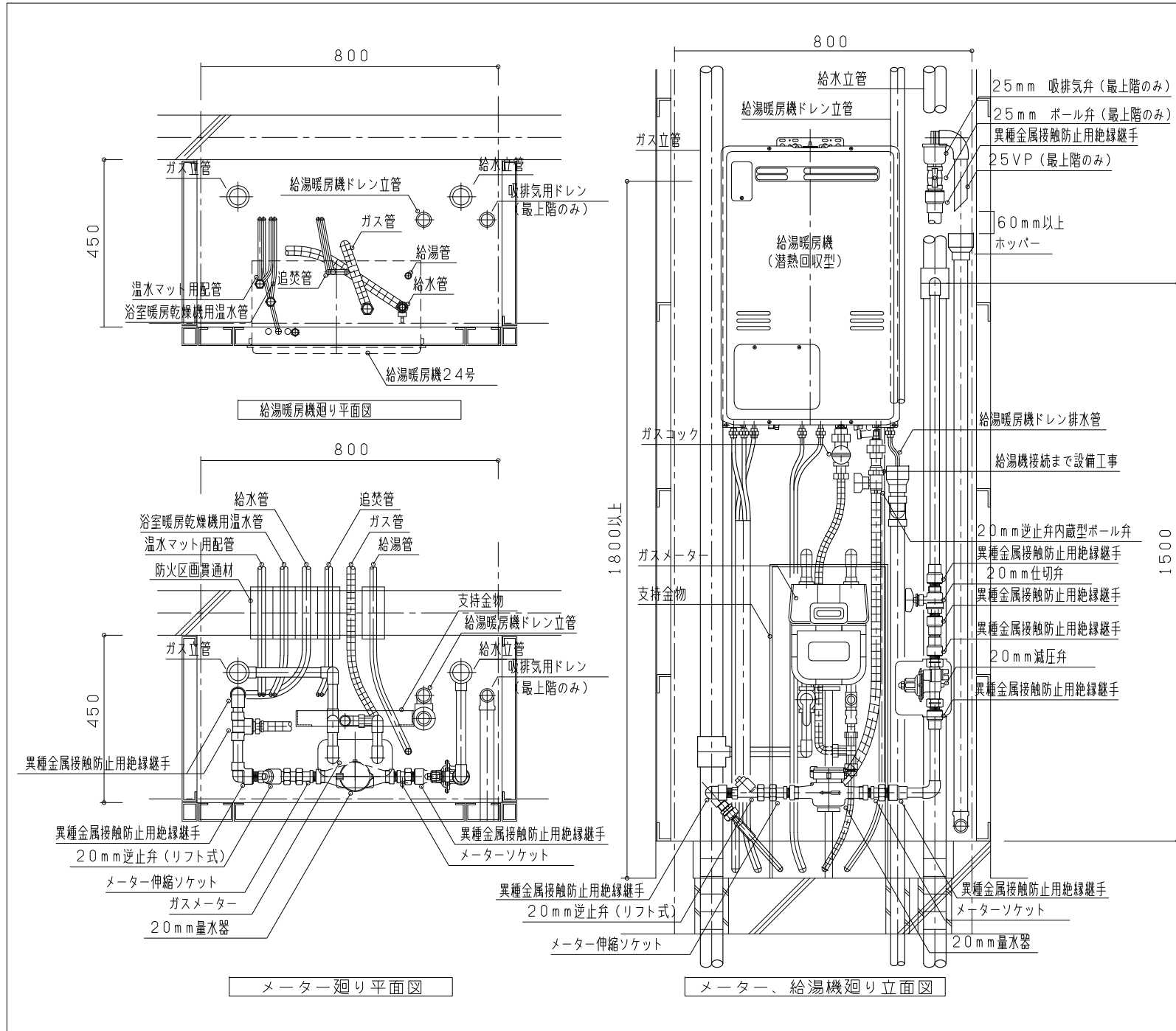
- 1 給湯暖房機廻りの配管も本図に準ずる
- 2 本図はメーターボックスの納まりの一例を示す
- 3 最上階のメーターボックスの扉には吸排気弁の点検が出来る措置をする
- 4 ドレン立管の材質は特記による
- 5 ガスメーター廻りに住戸番号を表示する
- 6 スラブ貫通部の処置はZ-114による
- 7 水道メーター廻りに住戸番号を表示する
- 8 水道メーターの保温は図面特記による
- 9 吸排気弁ドレン管からの水滴がMB内に飛び散らないよう、ホッパーのサイズ等に配慮すること
- 10 ドレン立て管の取付は設計図による
- 11 架橋ポリエチレン管又はポリブテン管と鋼管の接続部は、ポリエチレン保温筒又は遮熱管で防露する

- ・最上階のドレン配管をパイプシャフトの外まで延長
- ・メーターボックスの奥行寸法の取り方を修正
- ・文字修正、追加

給湯暖房機設置型
戸別メーターボックス配管図

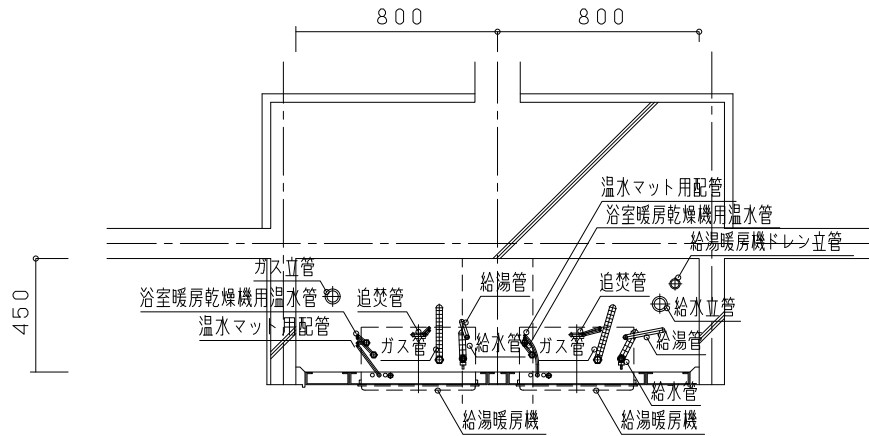
NO SCALE

P-503

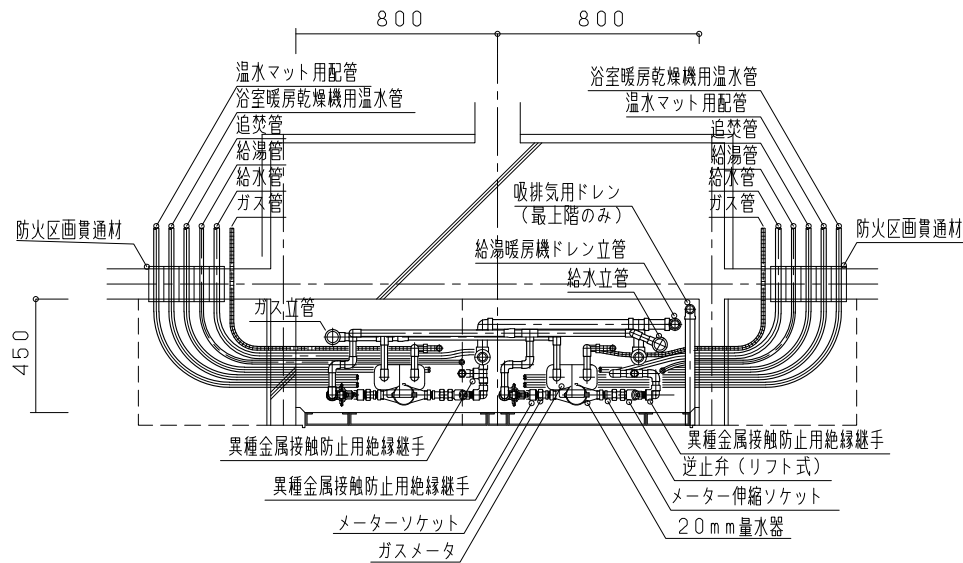


給湯暖房機PS内設置例

仕
様



給湯暖房機廻り平面図



メーター廻り平面図

付
記
事
項

- 1 給湯暖房機廻りの配管も本図に準ずる
- 2 本図はメーターボックスの納まりの一例を示す
- 3 ドレン立て管の取付は設計図による
- 4 水道メーターの保温は図面特記による
- 5 水道メーター廻りに住戸番号を表示する
- 6 ガスメーター廻りに住戸番号を表示する

改
定
事
項

- ・付記事項3削除
- ・最上階のドレン配管をパイプシャフトの外まで延長
- ・文字修正

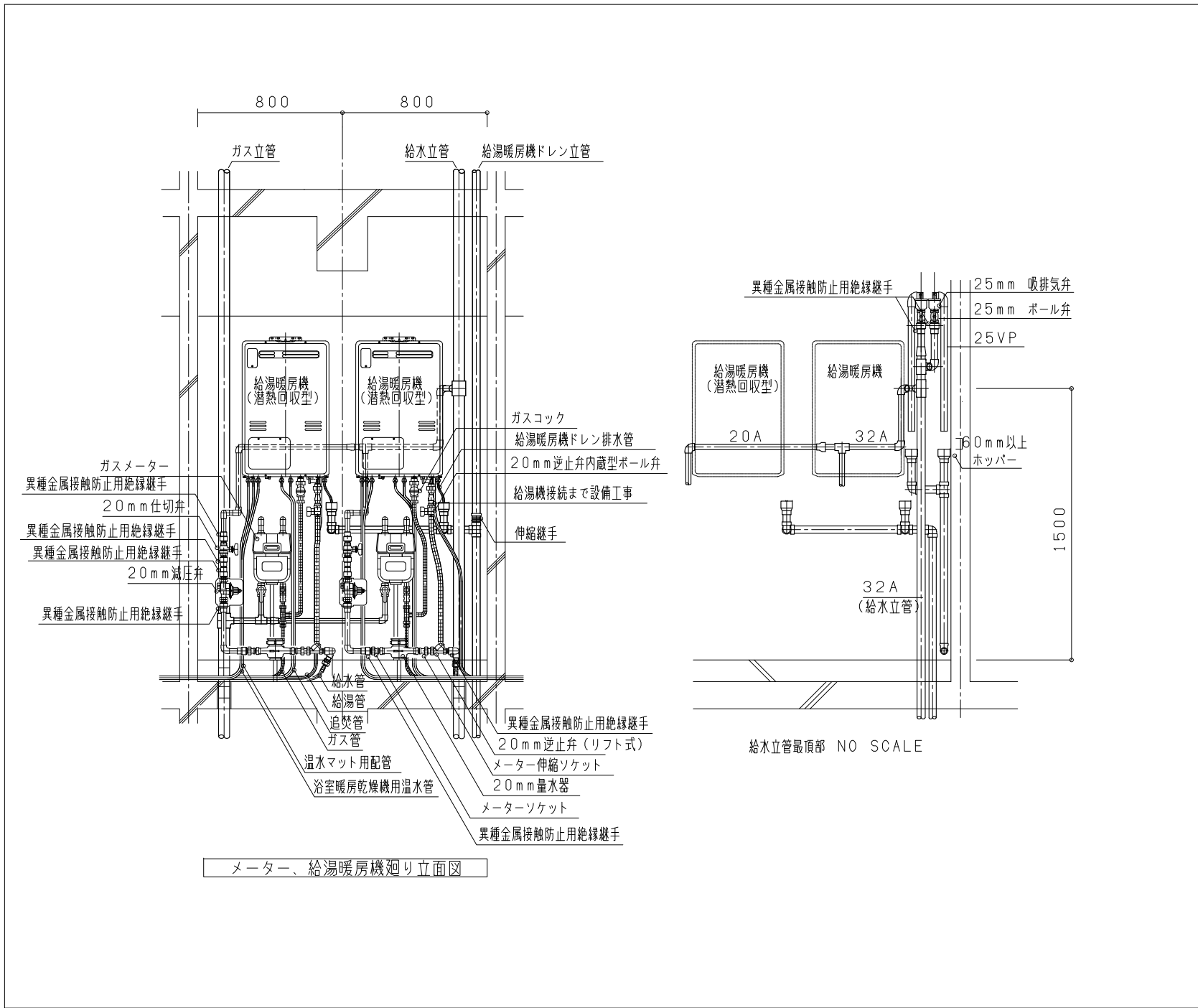
名
称

給湯暖房機設置型
共用メーターボックス配管図-1

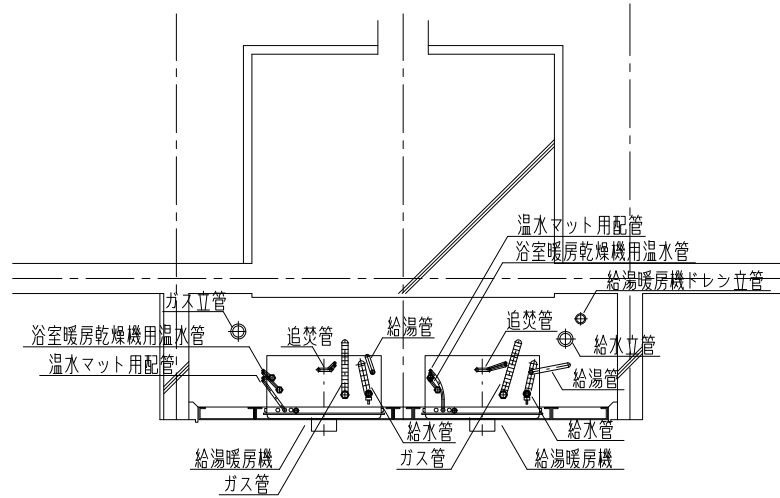
縮
尺

NO SCALE

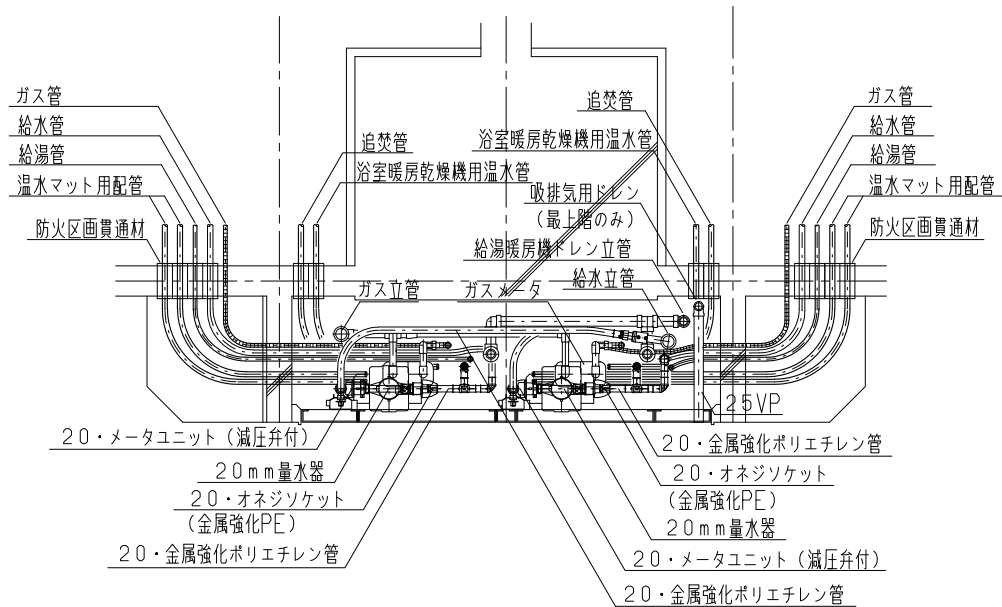
P-504-1



仕 様	給湯暖房機PS内設置例	
	付 記 事 項	<ol style="list-style-type: none"> 1 給湯暖房機廻りの配管も本図に準ずる 2 本図はメーターボックスの納まりの一例を示す 3 最上階のメーターボックスの扉には吸排気弁の点検口を設ける 4 ドレン立管の材質は特記による 5 ガスメーター廻りに住戸番号を表示する 6 スラブ貫通部の処置はZ-114による 7 水道メーター廻りに住戸番号を表示する 8 水道メーターの保温は図面特記による 9 吸排気弁ドレン管からの水滴がMB内に飛び散らないよう、ホッパーのサイズ等に配慮すること 10 ドレン立て管の取付は設計図による 11 架橋ポリエチレン管又はポリブデンと鋼管の接続部は、ポリエチレン保温筒又は遮熱管で防露する
改 定 事 項	<ul style="list-style-type: none"> ・ドレン立て管の管種を修正 ・文字修正 	
名 称	給湯暖房機設置型 共用メーターボックス配管図-2	
縮 尺	NO SCALE	P-504-2



給湯暖房機廻り平面図



メーター廻り平面図

仕様

給湯暖房機PS内設置例
(高密度ポリエチレン管+金属強化ポリエチレン管)

付記事項

- 1 給湯暖房機廻りの配管も本図に準ずる
- 2 本図はメーターボックスの納まりの一例を示す
- 3 ドレン立て管の取付は設計図による
- 4 水道メーターの保温は図面特記による
- 5 水道メーター廻りに住戸番号を表示する
- 6 ガスメーター廻りに住戸番号を表示する

改定事項

・新規作成

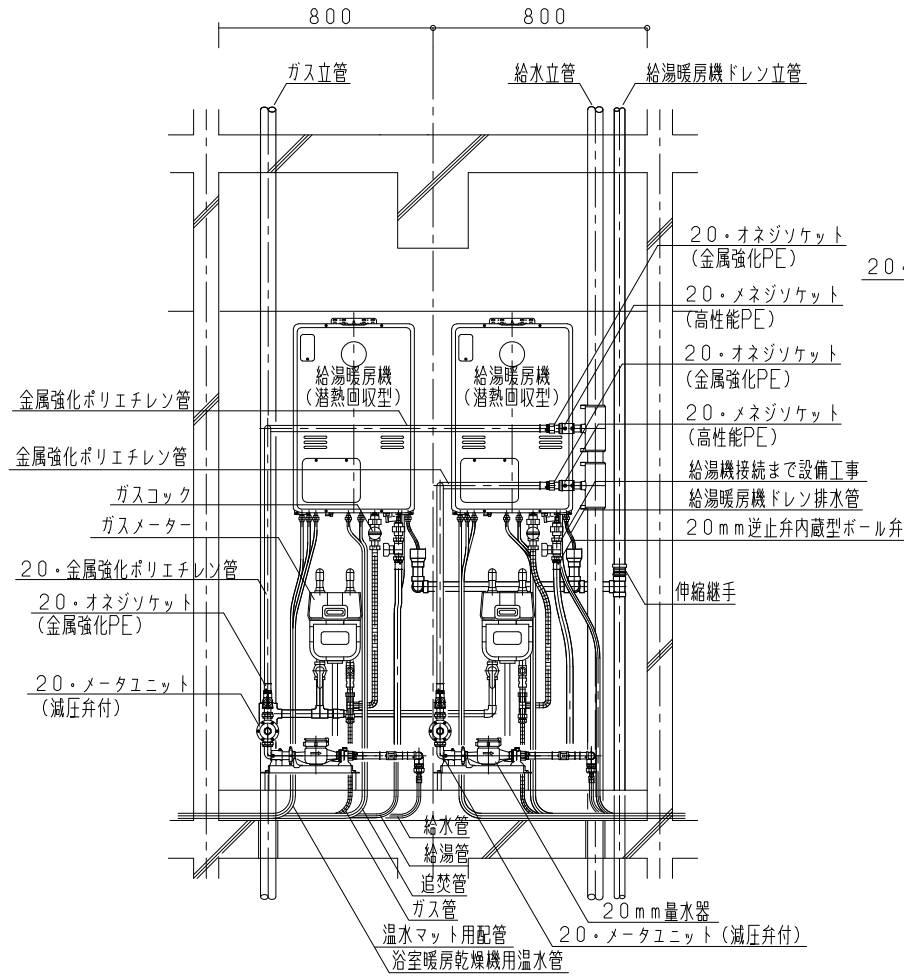
名称

給湯暖房機設置型
共用メーターボックス配管図-3

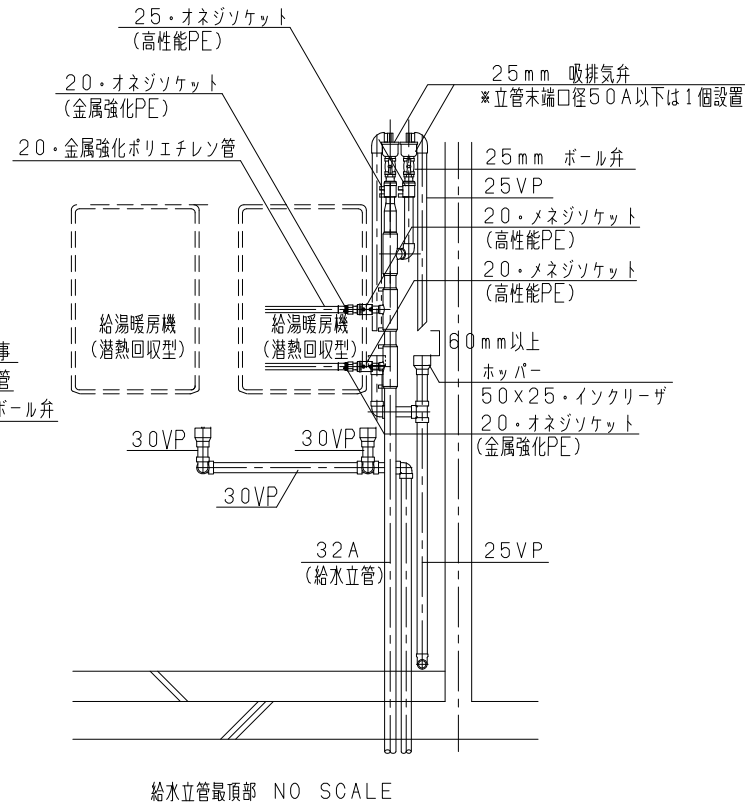
縮尺

NO SCALE

P-504-3



メーター、給湯暖房機廻り立面図



仕
給湯暖房機PS内設置例
(高密度ポリエチレン管+金属強化ポリエチレン管)

様

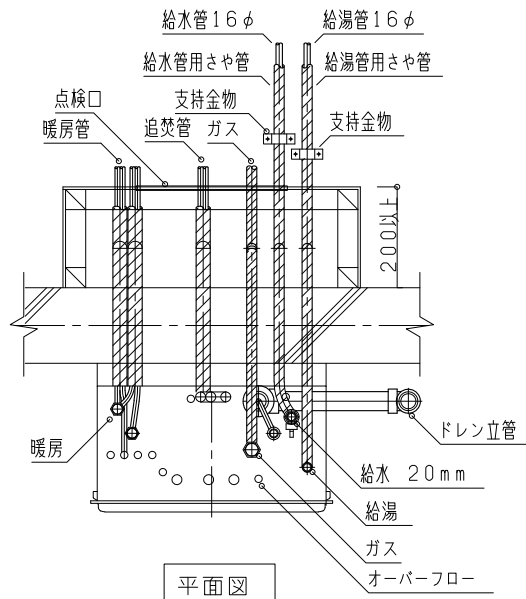
- 付
記
事
項
- 1 給湯暖房機廻りの配管も本図に準ずる
 - 2 本図はメーターボックスの納まりの一例を示す
 - 3 最上階のメーターボックスの扉には吸排気弁の点検口を設ける
 - 4 ドレン立管の材質は特記による
 - 5 ガスメーター廻りに住戸番号を表示する
 - 6 スラブ貫通部の処置はZ-114による
 - 7 水道メーター廻りに住戸番号を表示する
 - 8 水道メーターの保温は図面特記による
 - 9 吸排気弁ドレン管からの水滴がMB内に飛び散らないよう、ホッパーのサイズ等に配慮すること
 - 10 ドレン立て管の取付は設計図による

改
定
事
項

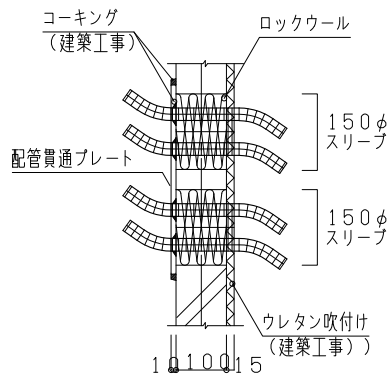
・新規作成

名
称
給湯暖房機設置型
共用メーターボックス配管図-4

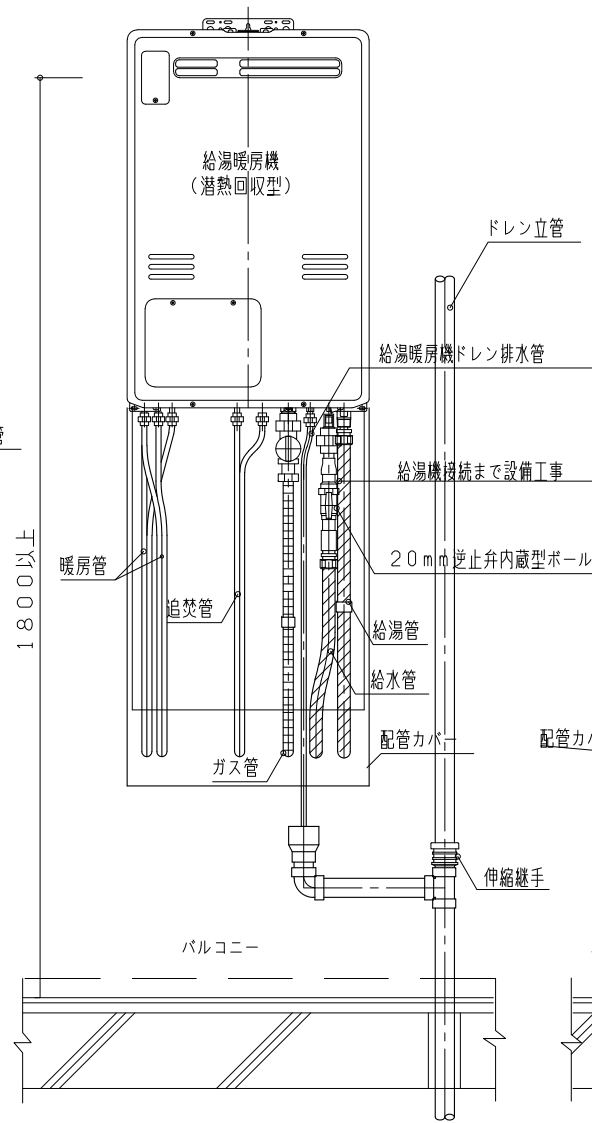
縮
尺
NO SCALE P-504-4



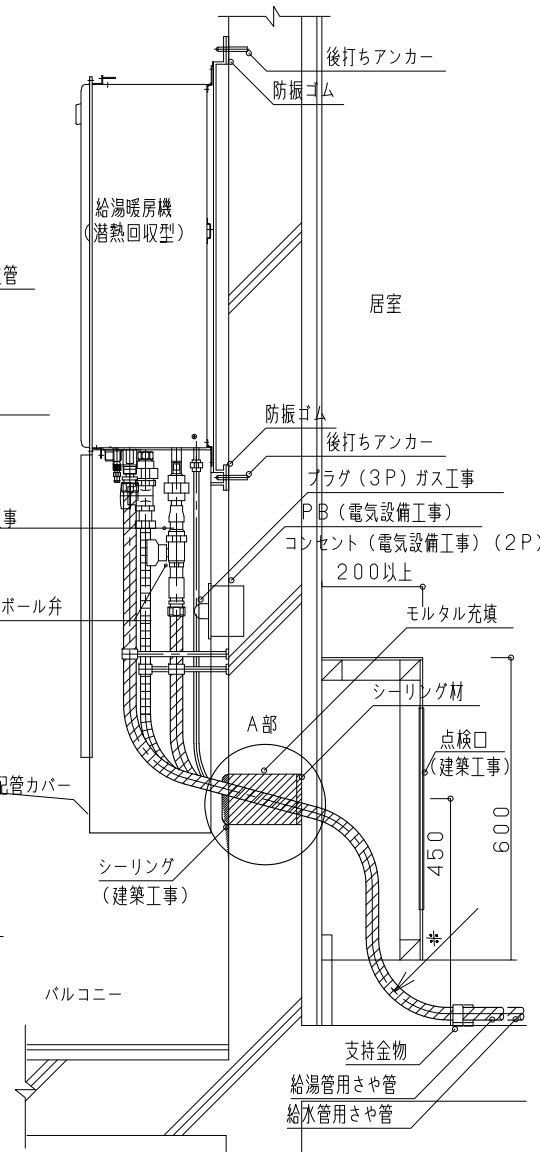
平面図



A部 (壁面がALCの場合)



立面図



側面図

*: ポリエチレン管 R250
ポリブデン管 R150

仕様

付記事項

改定事項

名称

縮尺

給湯暖房機バルコニー設置例

- 1 給湯暖房機廻りの配管も本図に準ずる設計図による
- 2 本図は配管の納まりの一例を示す
- 3 給湯暖房機取付壁がALC板の場合の本体支持方法はP-505-3による
- 4 配管カバーの仕様は各ガス事業者による
- 5 ドレン立管の材質は特記による
- 6 給湯器の設置高さ、給湯器前のメンテナンスはガス事業者と協議による
- 7 ドレン立て管の取付は設計図による

- ・側面図に点検口を追加
- ・給湯暖房機ドレン排水管の末端を修正
- ・給湯暖房機の排気口下端の高さを変更

バルコニー設置型給湯暖房機廻り配管-1

NO SCALE P-505-1

給湯暖房機バルコニー設置例

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

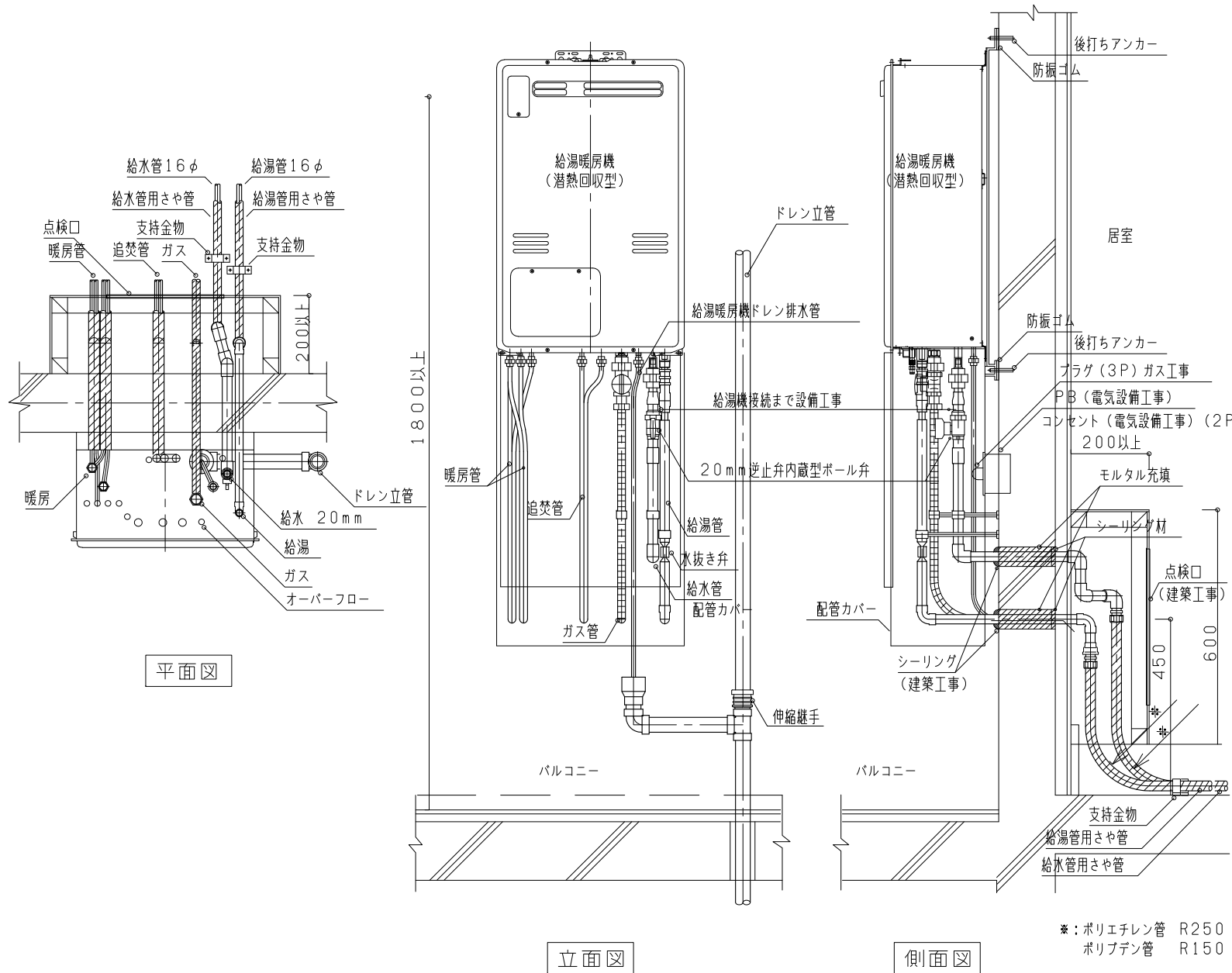
- 1 給湯暖房機廻りの配管も本図に準ずる設計図による
- 2 本図は配管の納まりの一例を示す
- 3 給湯暖房機取付壁がALC板の場合の本体支持方法はP-505-3による
- 4 配管カバーの仕様は各ガス事業者による
- 5 ドレン立管の材質は特記による
- 6 給湯器の設置高さ、給湯器前のメンテナンス法はガス事業者と協議による
- 7 ドレン立て管の取付は設計図による

- ・給湯暖房機ドレン排水管の末端を修正
- ・給湯暖房機の排気口下端の高さを変更

バルコニー設置型給湯暖房機廻り配管-2

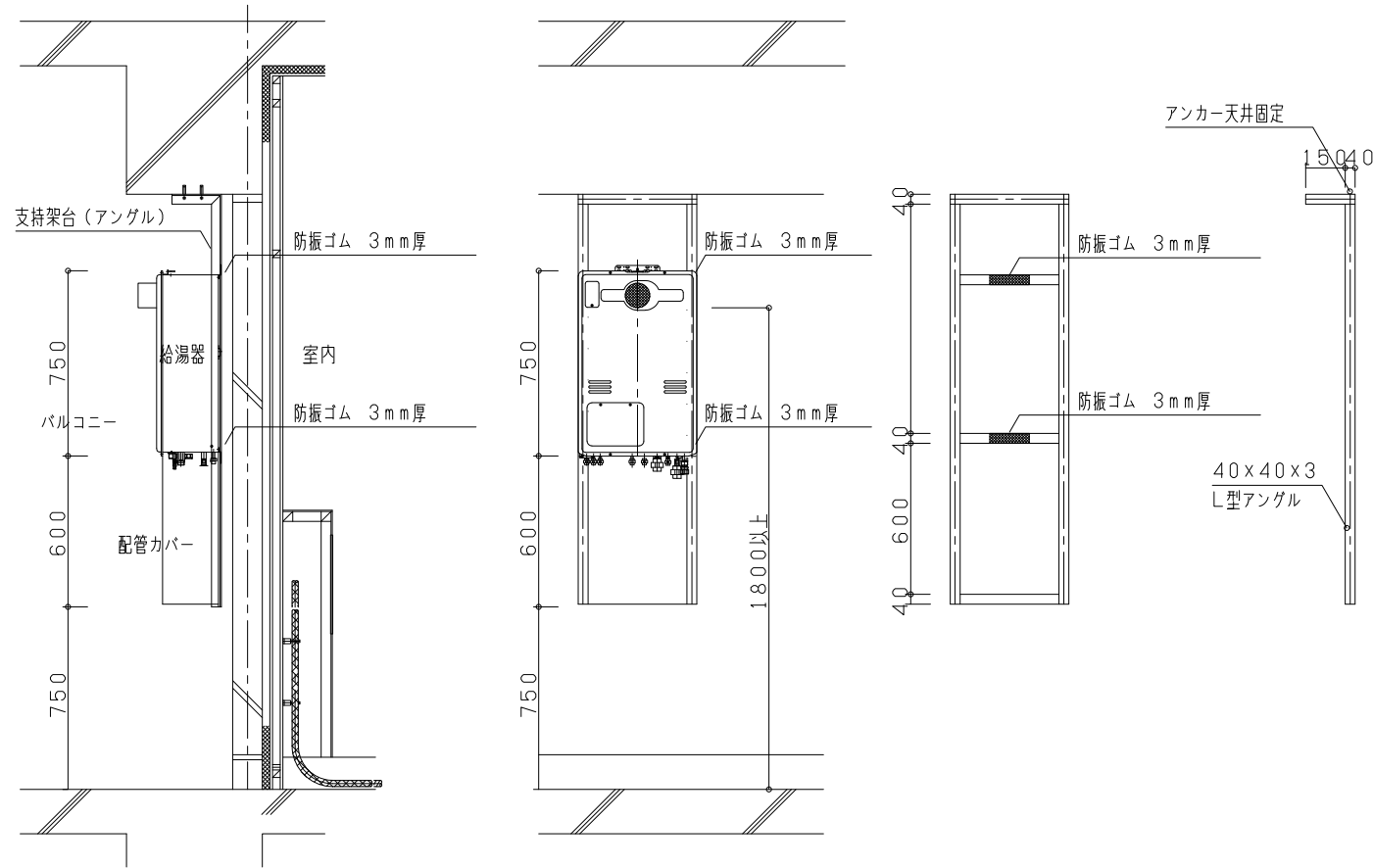
NO SCALE

P-505-2



*: ポリエチレン管 R250
ポリブテン管 R150

A : 熱源機上部躯体吊型金物取付方式



仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

- 1 本図の機器、排気トップ及びL型アングルの仕様は一例を示す
- 2 給湯暖房機の場合も本図に準ずる
- 3 配管はバルコニー設置に準ずる
- 4 本図は外壁がALC板の場合の給湯暖房機のバルコニー設置の一例を示す
- 5 支持架台の材質は特記による
- 6 給湯器の設置高さ、給湯器前のメンテナンスはガス事業者と協議による

・給湯器の排気口下端の高さを追記

バルコニー設置型熱源機取付方式

NO SCALE

P-505-3

①固定方法 ・躯体(梁又はスラブ)にアンカーボルトにて固定

②防振方法 ・アングル支持架台の給湯器固定部分には防振ゴムをつける。ALC板とは縁を切る

③外観意匠 ・熱源機下部までL型アングルが設置される

④材 質 ・溶融亜鉛メッキ鋼板又はステンレス

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

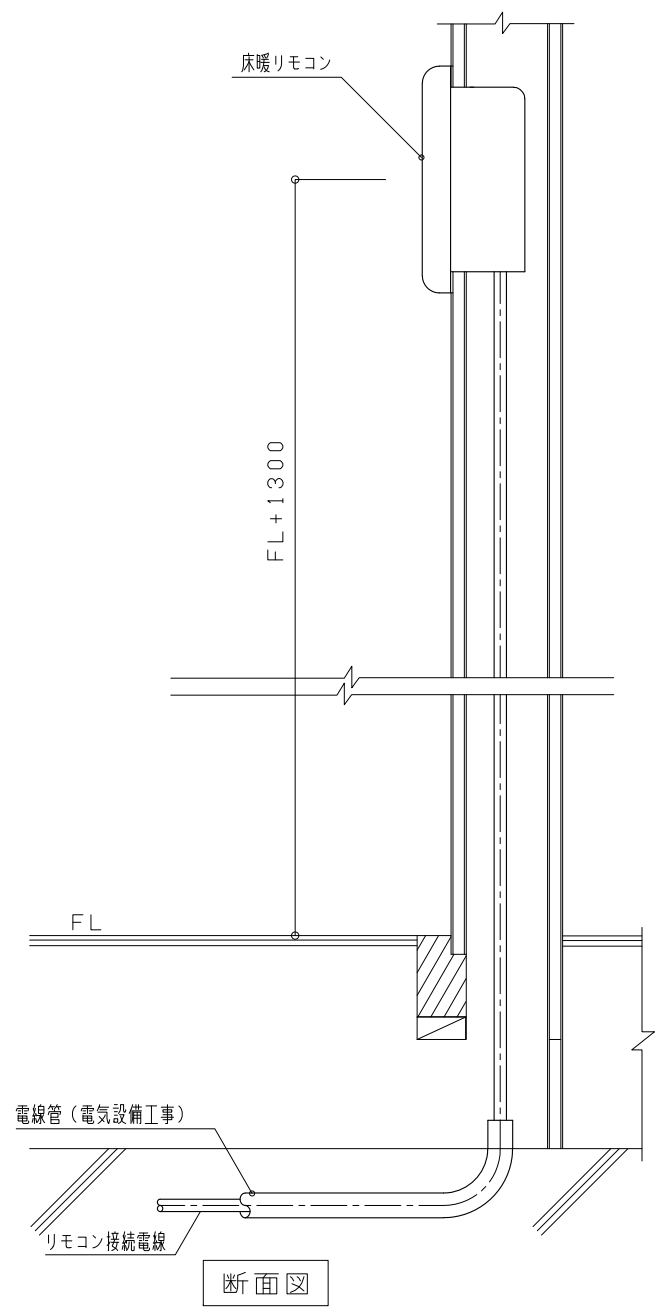
- 1 リモコン設置高さは1300を標準とし、他の電気設備がある場合はそれらと整合した高さとする
「電気 [EC-119-5・6] 参照」
- 2 躯体埋込部分電線管は電気設備工事とする

- ・文字修正
- ・付記事項1を修正
- ・床暖リモコンの高さを追記

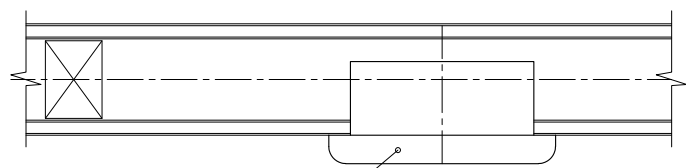
床暖リモコン取付図

NO SCALE

P-605



断面図



平面図

床暖リモコン

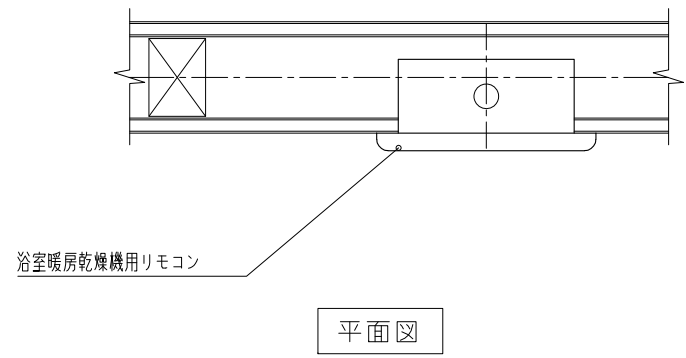
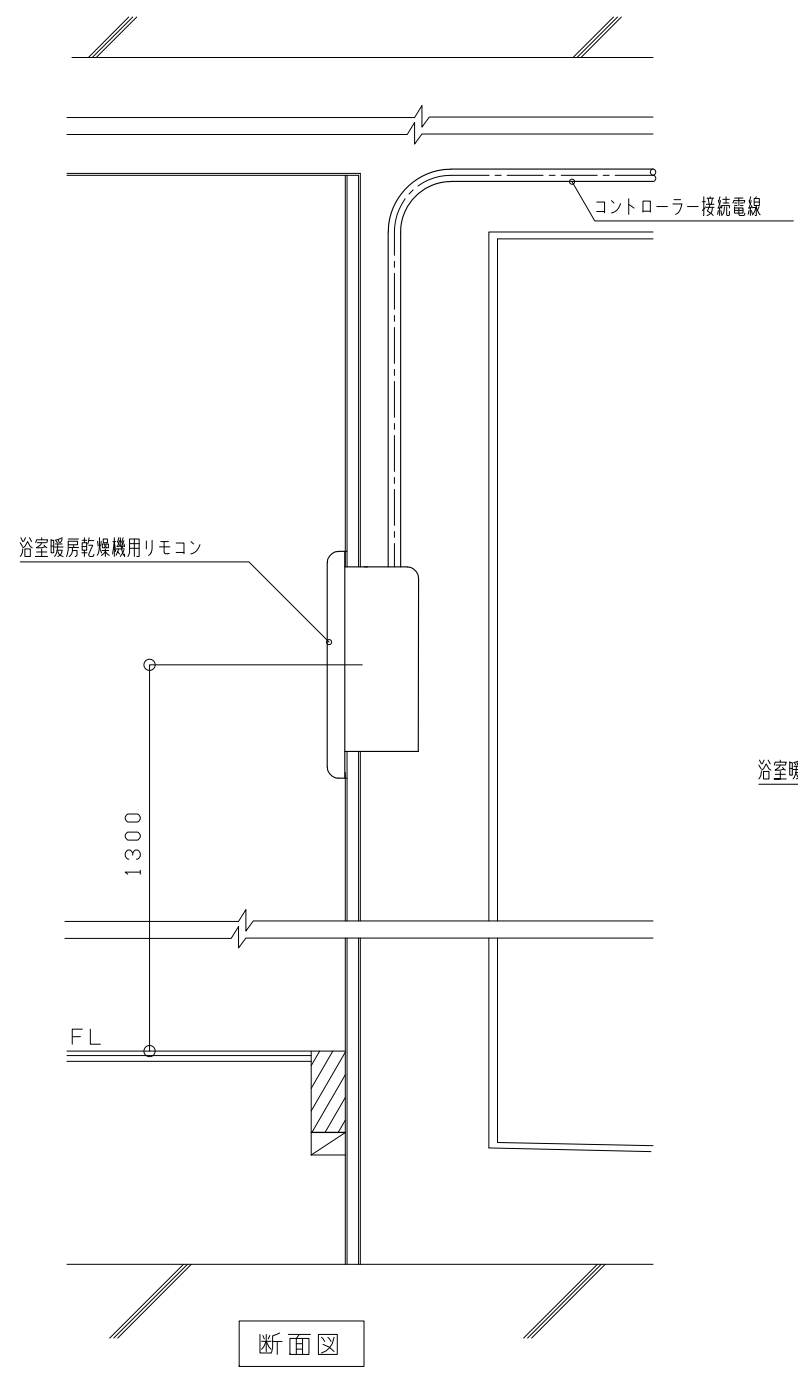
床暖リモコン

FL + 1300

FL

電線管 (電気設備工事)

リモコン接続電線



仕
様

付
記
事
項

1 リモコン設置高さは1300を標準とし、他の電気設備がある場合はそれらと整合した高さとする

改
定
事
項

・リモコン設置高さを追記

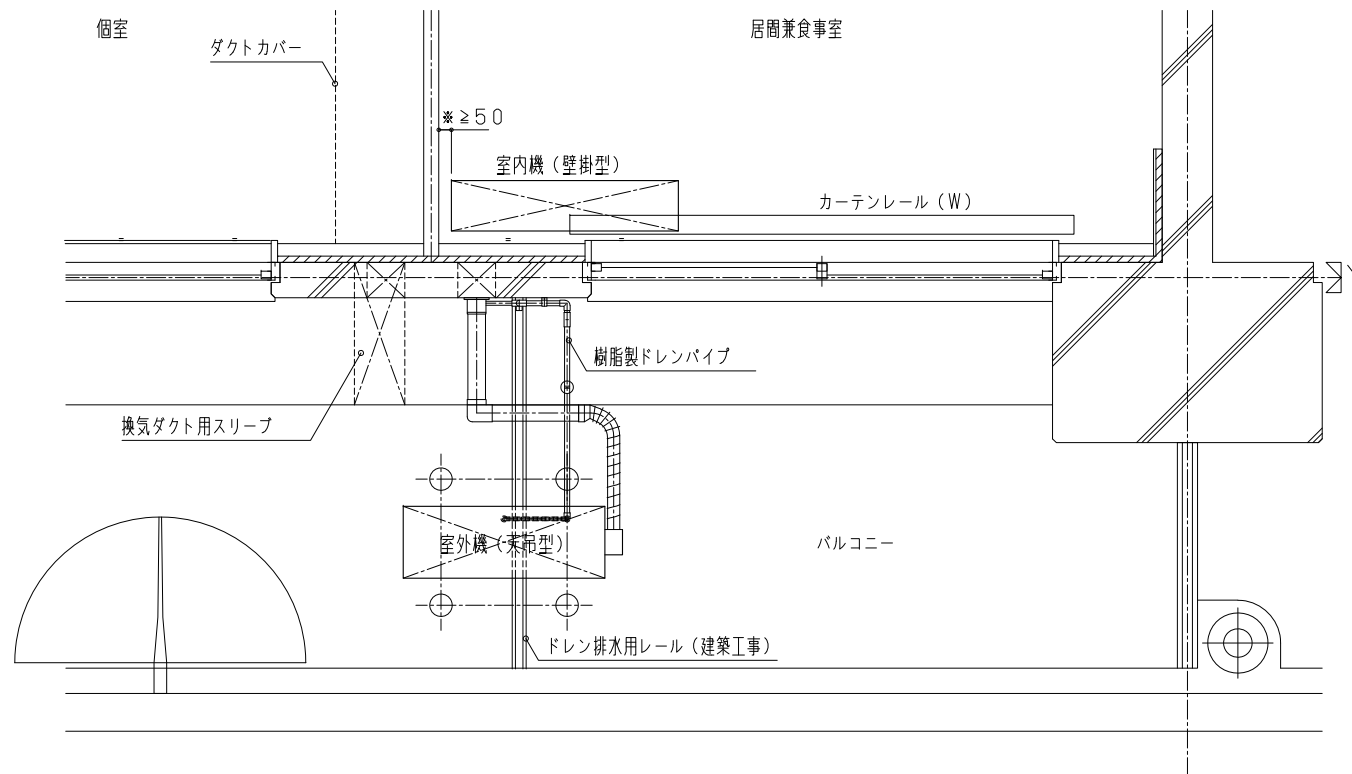
名
称

浴室暖房乾燥機用リモコン取付図
(浴室暖房乾燥機リモコン)

縮
尺

NO SCALE

P-606



仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

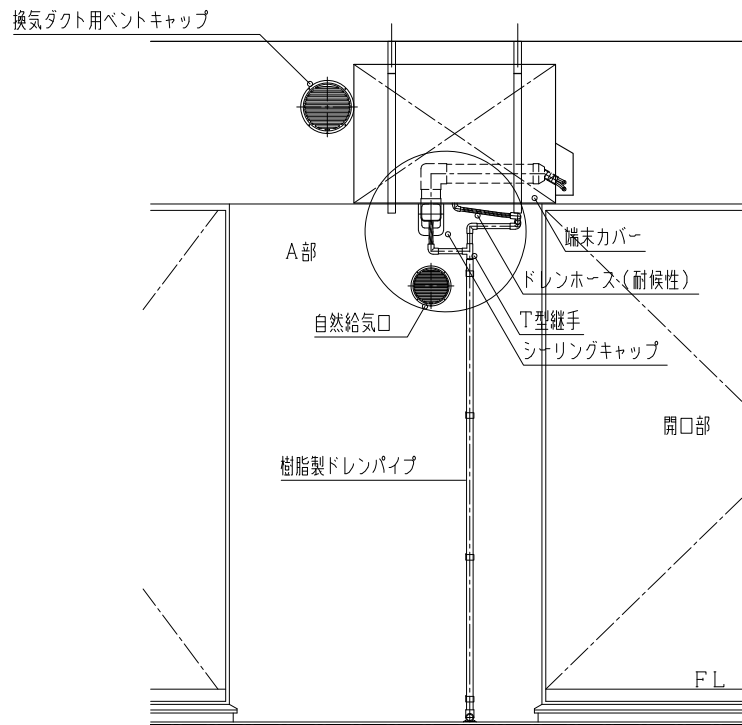
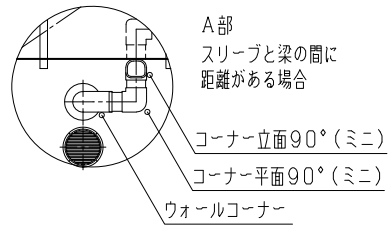
- 1 *部寸法は最少確保寸法を示す
離隔はメーカーの推奨値を参考
にする
- 2 エアコン運転時にフラップとカーテン
レールが干渉しないよう施工すること

・付記事項2を追加

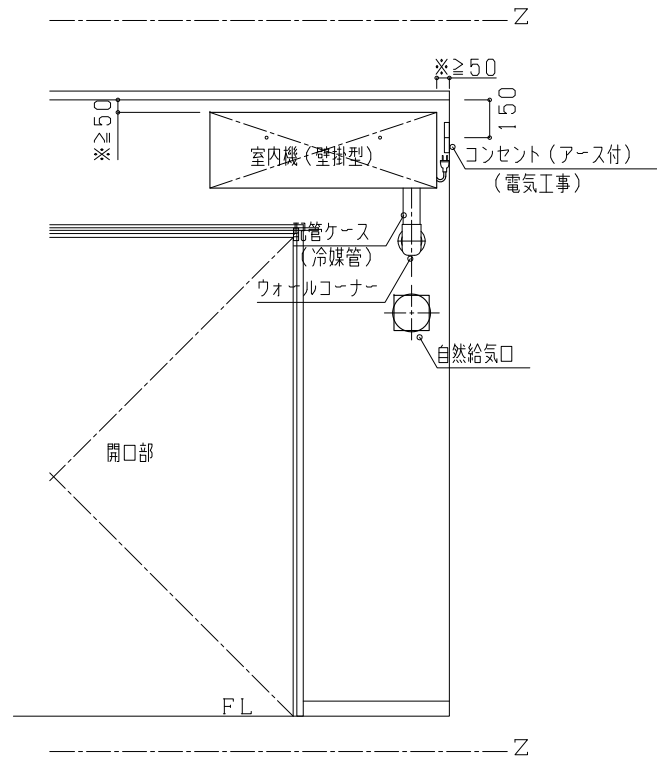
エアコン設備据付要領図(天吊型) - 1

NO SCALE

P-751-1



室外機側概要図(バルコニー設置)



室内機側概要図

仕様

付記事項

改定事項

名称

縮尺

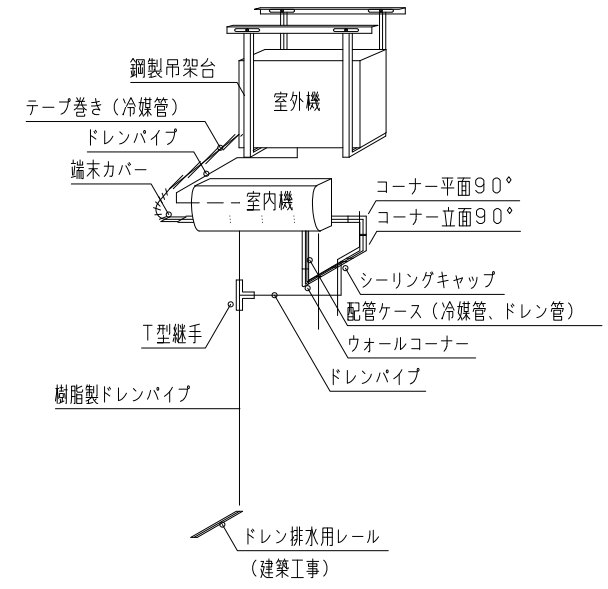
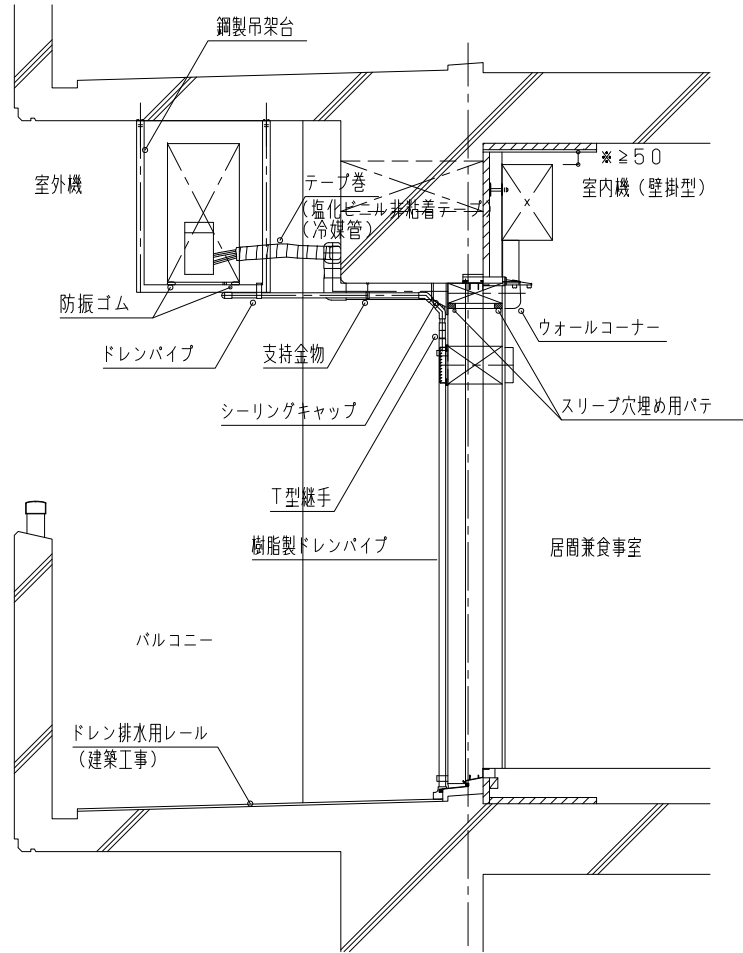
- 1 ※部寸法は最少確保寸法を示す
 離隔はメーカーの推奨値を参考に
 にする
- 2 配線とアース線は結束バンド
 で結束する
- 3 コンセントの位置
 「電気 EC-110-9-A~C 参照」
- 4 特記なき限りリモコンホルダー
 は設置しない
- 5 エアコン運転時にフラップとカーテン
 レールが干渉しないよう施工すること

- ・付記事項2を修正
- ・付記事項5を追加

エアコン設備据付要領図(天吊型)-2

NO SCALE

P-751-2



仕
様

・スリーブ穴埋め用パテは、不乾性樹脂（参考：ポリブデン樹脂を主成分とした無毒性のもの）を標準とする。

付
記
事
項

- 1 *部寸法は最少確保寸法を示す
離隔はメーカーの推奨値を参考にする
- 2 スリーブ穴埋め用パテは室内及び室外側を隙間なく埋めること
- 3 消防法施行令第8条及び共住区画を貫通する配管の取扱いについては、各法令・通達等に準拠する
- 4 エアコン運転時にフラップとカーテンレールが干渉しないよう施工すること

改
定
事
項

・付記事項4を追加
・文字修正

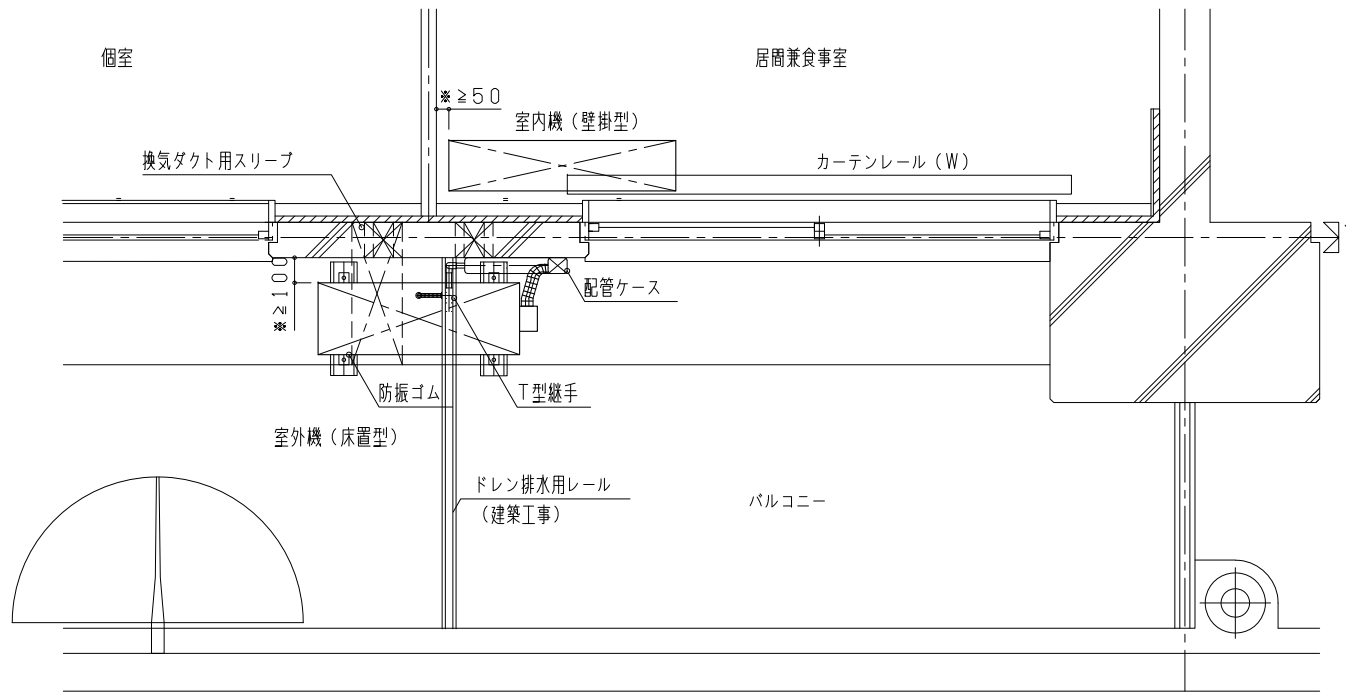
名
称

エアコン設備据付要領図（天吊型）-3

縮
尺

NO SCALE

P-751-3



仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

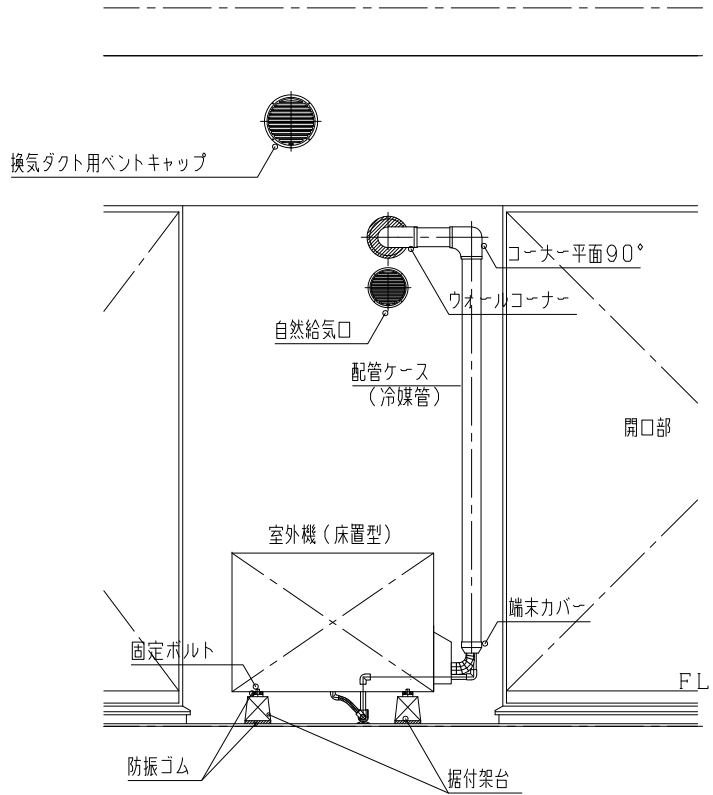
- 1 *部寸法は最少確保寸法を示す
離隔はメーカーの推奨値を参考
にする
- 2 室外機ドレンはドレン排水用レ
ールまで導くこと
- 3 室外機の頂部を固定する場合は
図面特記による
- 4 エアコン運転時にフラップとカーテン
レールが干渉しないよう施工すること

・付記事項4を追加

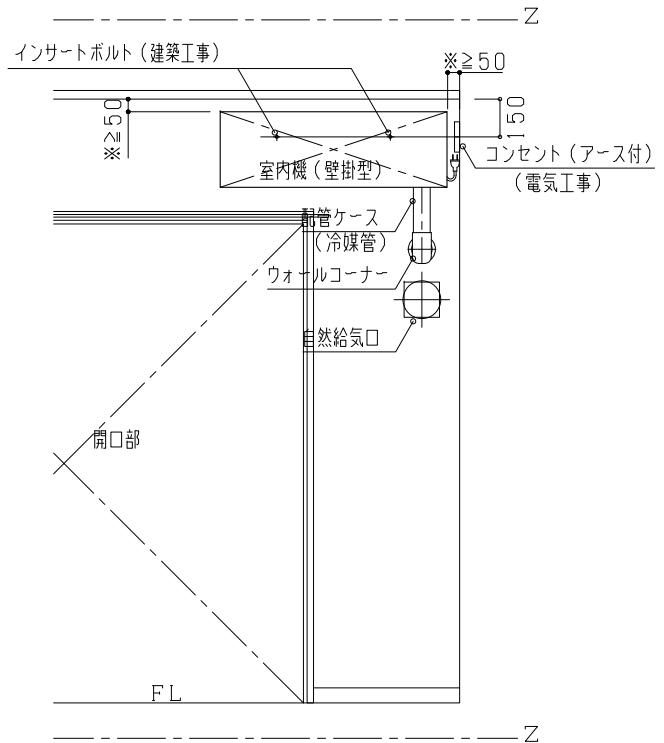
エアコン設備据付要領図（床置型）- 1

NO SCALE

P - 751 - 4



室外機側概要図 (バルコニー設置)



室内機側概要図

仕様

付記事項

改定事項

名称

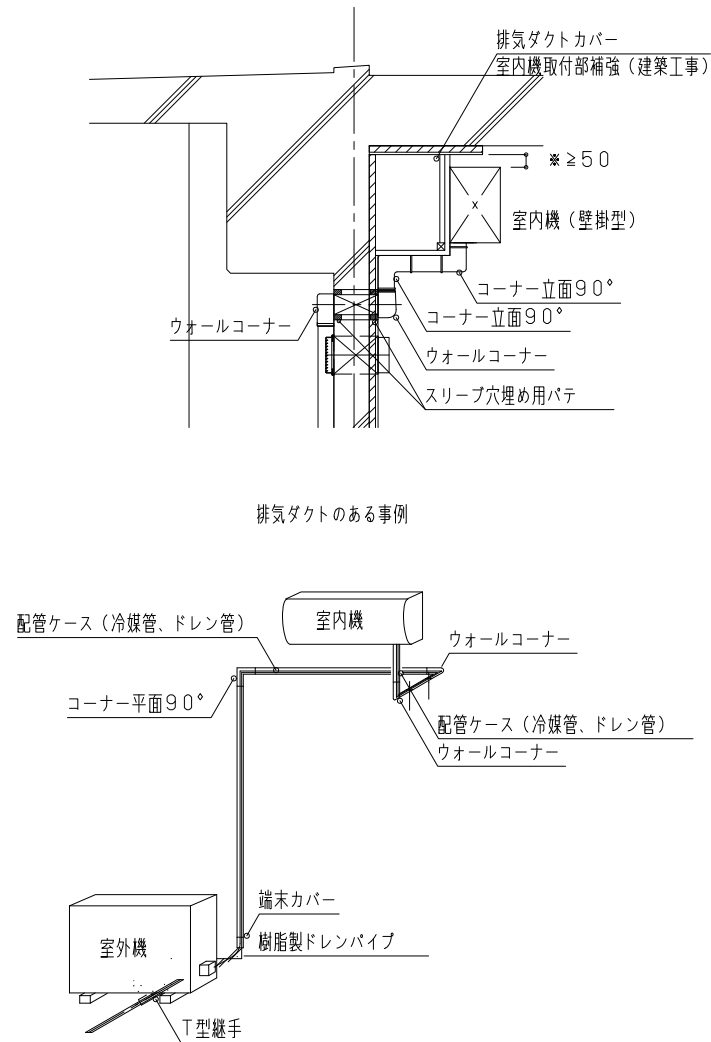
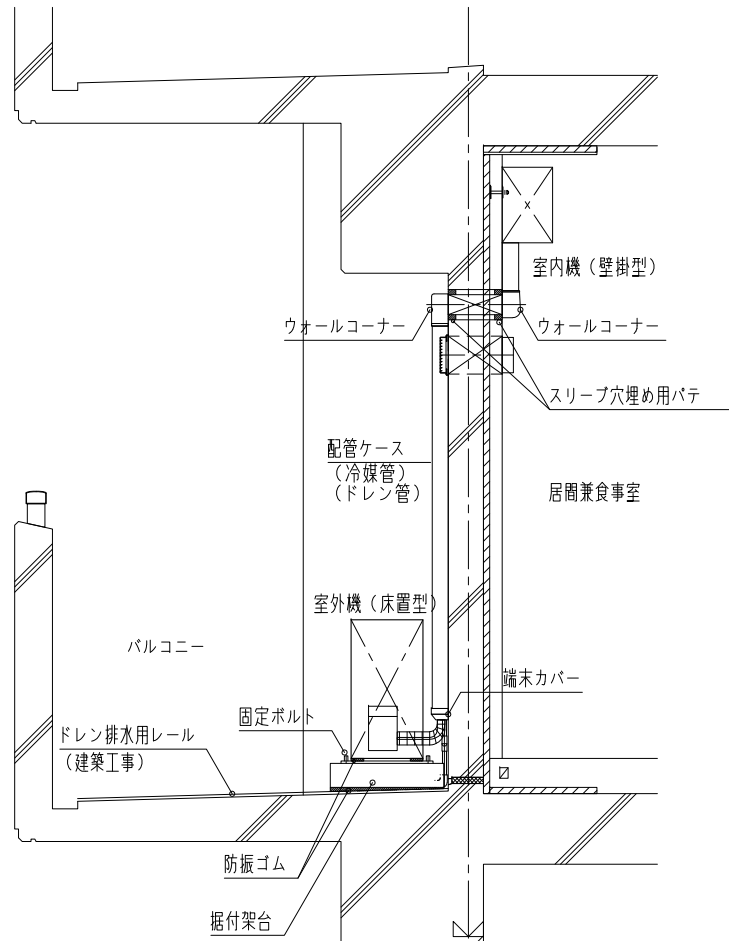
縮尺

- 1 ※部寸法は最少確保寸法を示す
 離隔はメーカーの推奨値を参考に
 にする
- 2 室外機ドレンはドレン排水用レ
 ールまで導くこと
- 3 配線とアース線は結束バンド
 で結束する
- 4 コンセントの位置
 「電気 EC-110-1-A~C参照」
- 5 特記なき限りリモコンホルダー
 は設置しない
- 6 室外機の頂部を固定する場合は
 図面特記による
- 7 エアコン運転時にフラップとカーテン
 レールが干渉しないよう施工すること

- ・付記事項3を修正
- ・付記事項7を追加
- ・文字追記

エアコン設備据付要領図 (床置型) - 2

NO SCALE P-751-5



仕
様

・スリーブ穴埋め用パテは、不乾性樹脂（参考：ポリブテン樹脂を主成分とした無毒性のもの）を標準とする。

付
記
事
項

- 1 ※部寸法は最少確保寸法を示す。離隔はメーカーの推奨値を参考にする。
- 2 エアコン用パテは室内及び室内側を隙間なく埋めること。
- 3 消防法施行令第8条及び共住区画を貫通する配管の取扱いについては、各法令・通達等に準拠する。
- 4 室外機の頂部を固定する場合は図面特記による。
- 5 ドレン配管の勾配に留意すること。
- 6 エアコン運転時にフラップとカーテンレールが干渉しないよう施工すること。

改
定
事
項

・付記事項6を追加

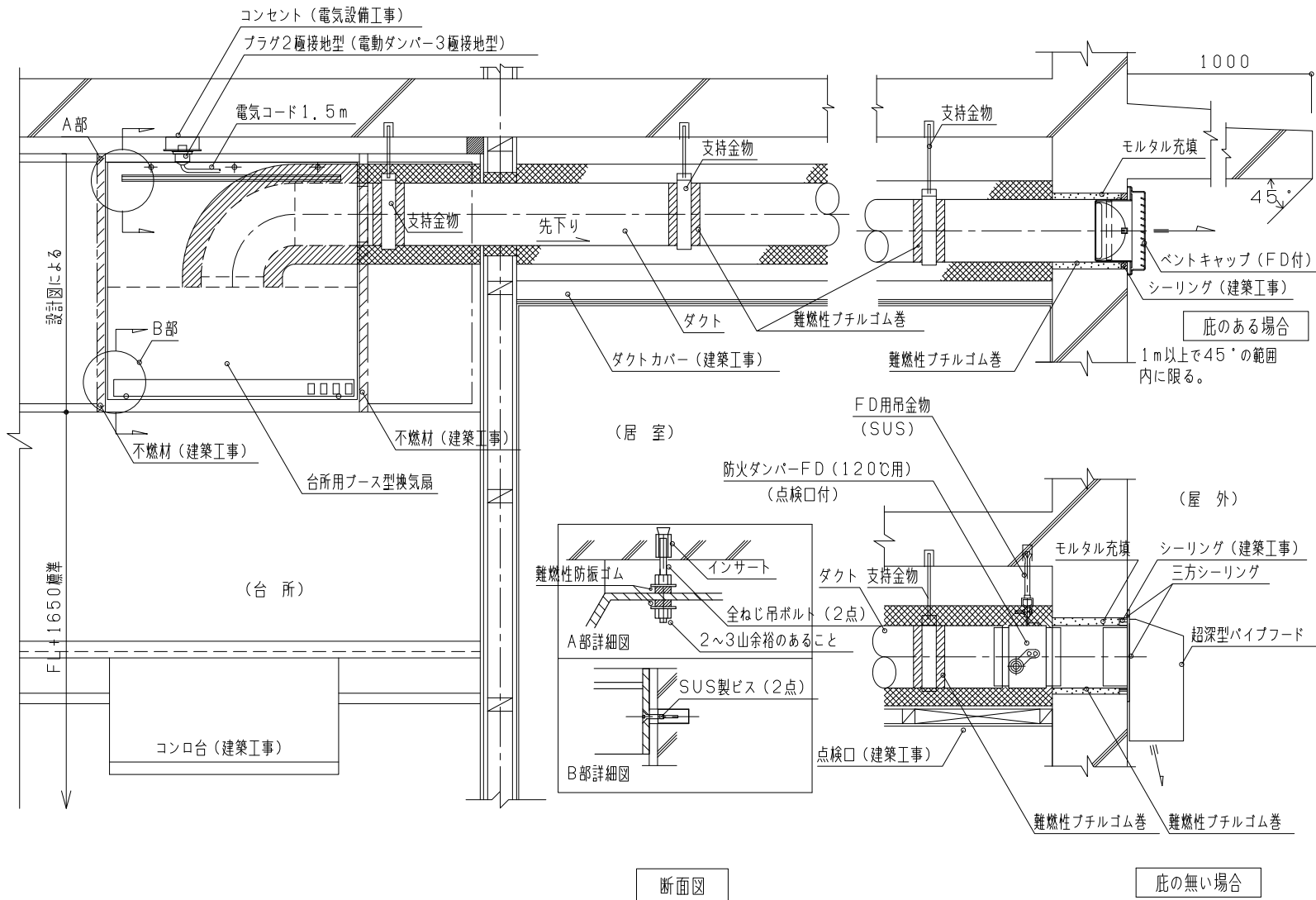
名
称

エアコン設備据付要領図（床置型）- 3

縮
尺

NO SCALE

P-751-6



仕
様

ブース型換気扇の場合

付
記
事
項

- 1 機器の形状及び寸法は一例を示す
- 2 換気扇グリッドフィルター部分より火源との離隔は800mm以上、1m以下とする
- 3 断熱材及び防露材の仕様は図面特記による
- 4 ダクト及び吹出口の材質、防火ダンパーの取付は図面特記による
- 5 パイプフード及びベントキャップにFDを設ける場合は外部に足掛かり部がある場合のみ設置可能とする
- 6 ダクトの支持金物接触部、コンクリート貫通部は難燃性プテリウム巻を施す
- 7 換気扇とダクトの接続部は難燃性プテリウム巻シーリング+アルミ粘着テープ2回巻とする
- 8 FDの防露は、外ヒューズの復旧操作に支障がないように施工する

改
定
事
項

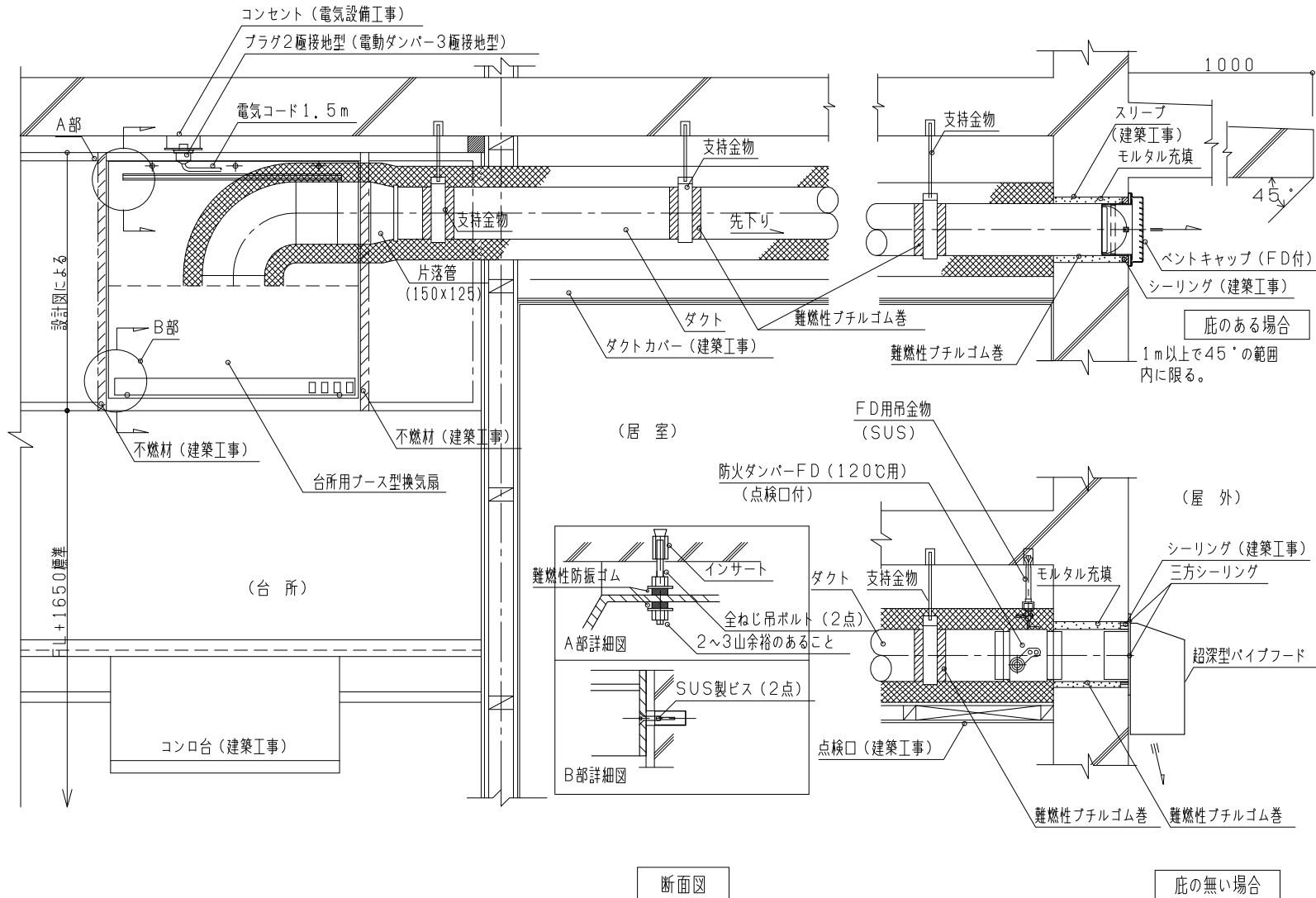
・名称を修正

名
称

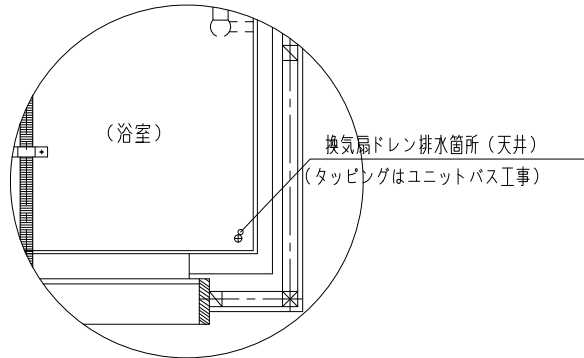
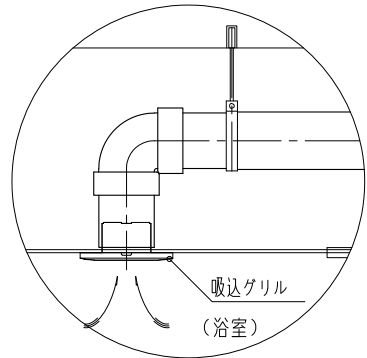
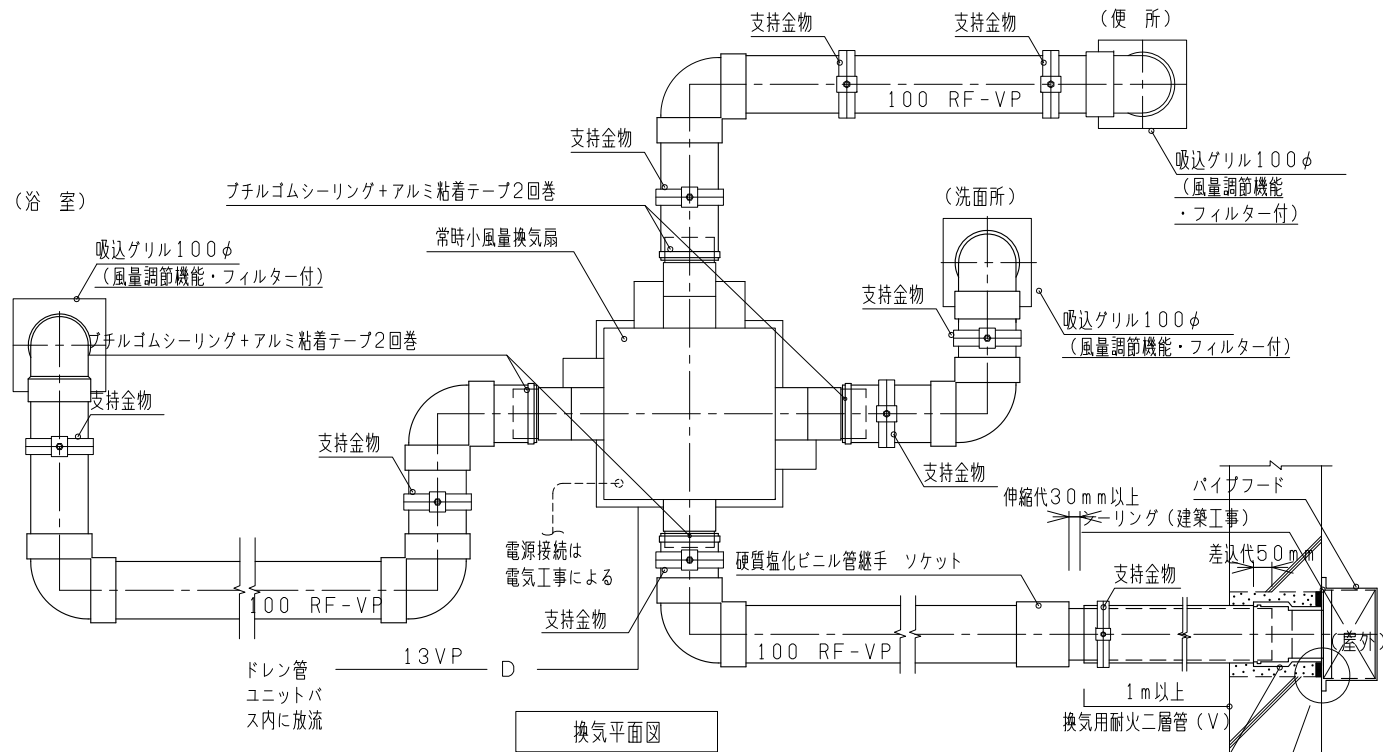
台所換気扇取付図 (150φ)

縮
尺

NO SCALE P-801-1



仕様	ブース型換気扇の場合	
	付記事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 機器の形状及び寸法は一例を示す 2 換気扇グリッドフィルター部分より火源との離隔は800mm以上、1m以下とする 3 断熱材及び防露材の仕様は図面特記による 4 ダクト及び吹出口の材質、防火ダンパーの取付は図面特記による 5 パイプフード及びベントキャップにFDを設ける場合は外部に足掛かり部がある場合のみ設置可能とする 6 ダクトの支持金物接触部、コンクリート貫通部は難燃性プチルゴム巻を施す 7 換気扇とダクトの接続部は難燃性プチルゴムシーリング+アルミ粘着テープ2回巻とする 8 FDの防露は、外ヒューズの復旧操作に支障がないように施工する
改定事項	・片落管の仕様を追加	
名称	台所換気扇取付図 (125φ)	
縮尺	NO SCALE	P-801-2



浴室平面図

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

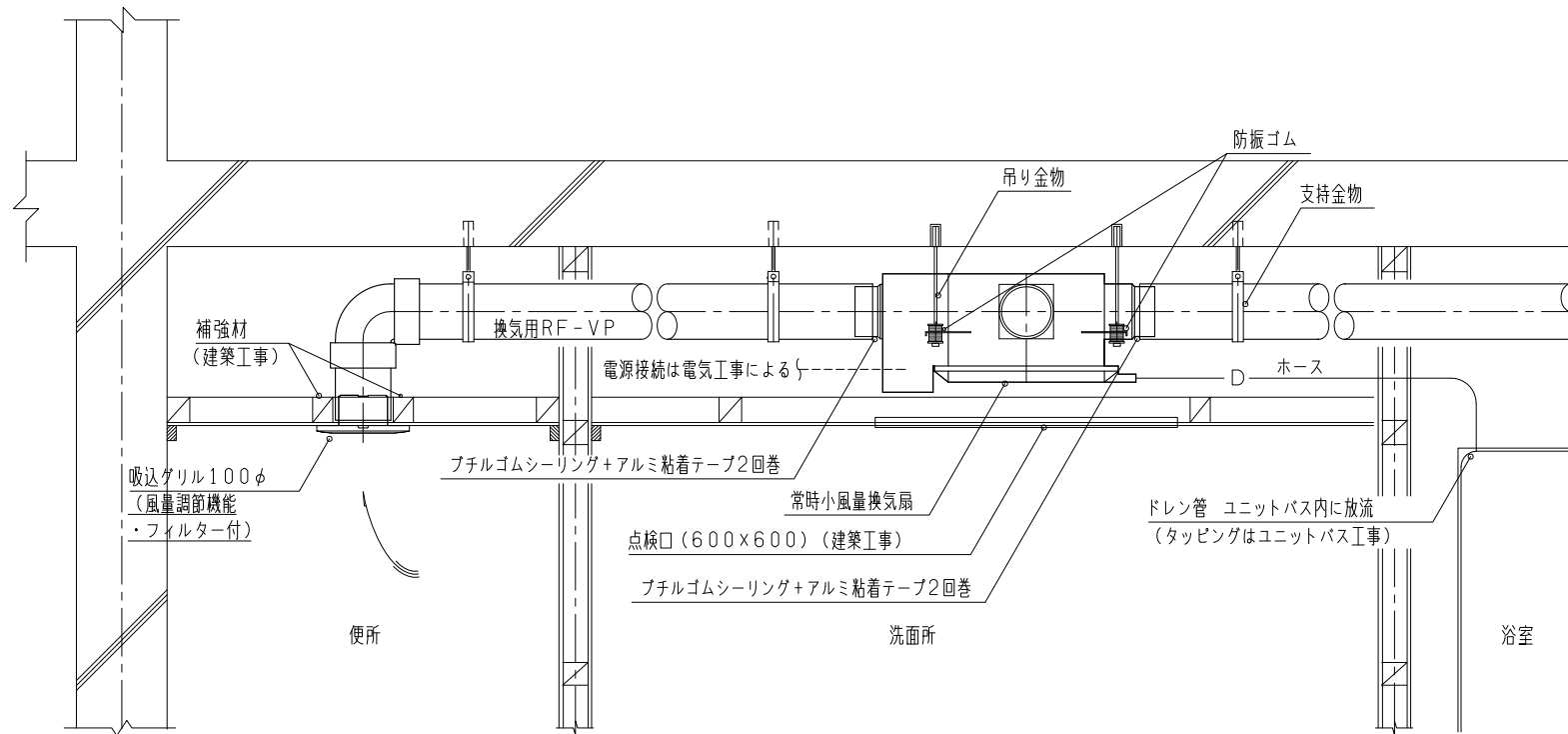
- 1 本図の形状及び寸法は一例を示す
- 2 パイプフードの材質は図面特記による
- 3 防火ダンパーの取付及び仕様は図面特記による
- 4 中間ダクトファンのドレンは浴室内へ適切に処理すること

- ・名称を変更
- ・電源について追加
- ・文字変更

換気平面図
(常時小風量換気扇)

NO SCALE

P-802-1



仕様

天井埋込型の場合

付記事項

- 1 機器の形状及び寸法は一例を示す
- 2 防露仕様は図面特記による
- 3 ジョイント部はブチルゴムシーリング+アルミ粘着テープ2回巻とする
- 4 天井扇とダクトの接続に樹脂製フレキシブルダクトを使用する場合は図面特記による
- 5 中間ダクトファンのドレンは浴室内へ適切に処理すること

改定事項

- ・名称を変更
- ・付記事項3を修正
- ・電源について追加
- ・文字変更、修正

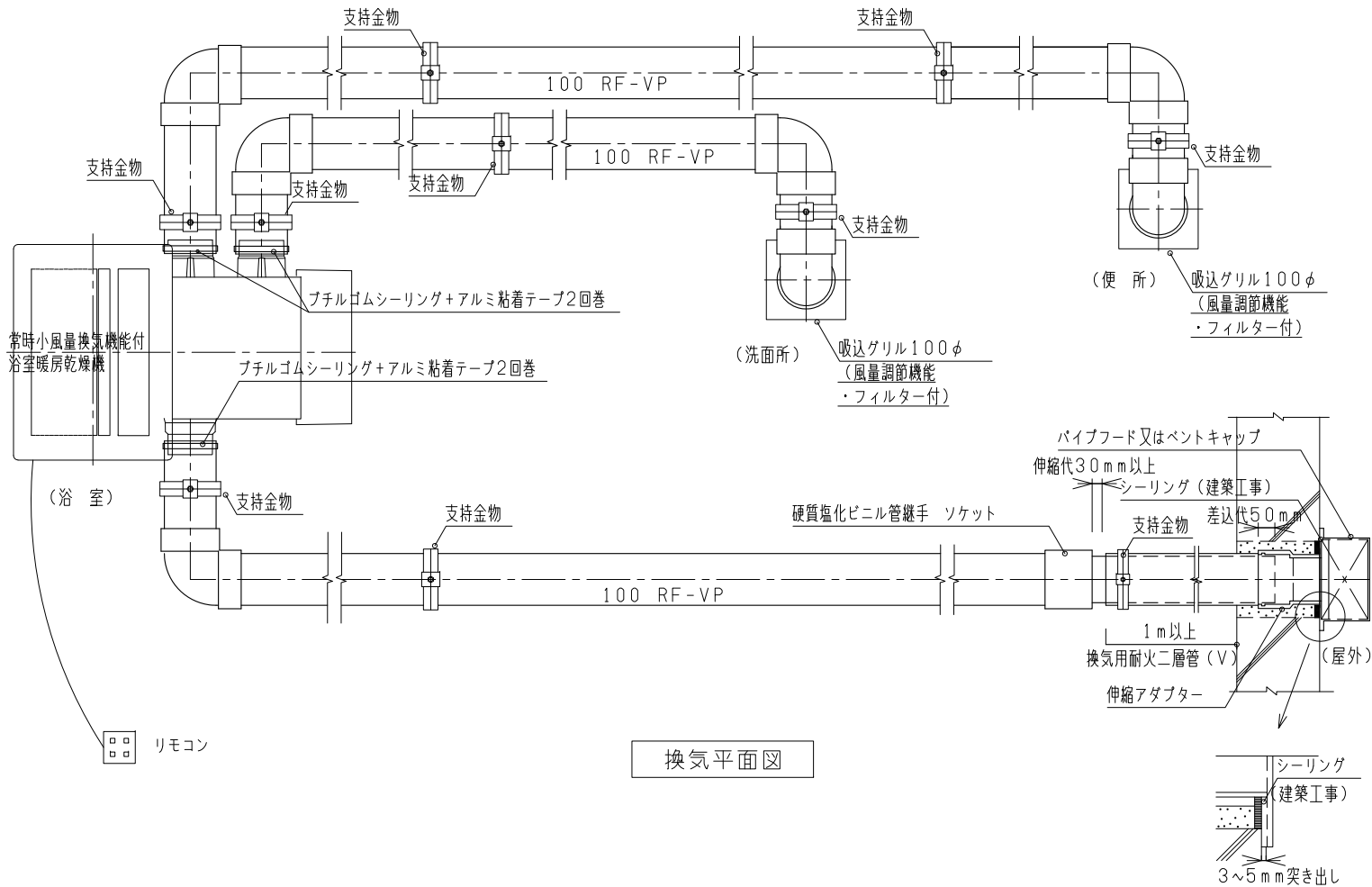
名称

換気立面図
(常時小風量換気扇)

縮尺

NO SCALE

P-802-2



換気平面図

仕
様

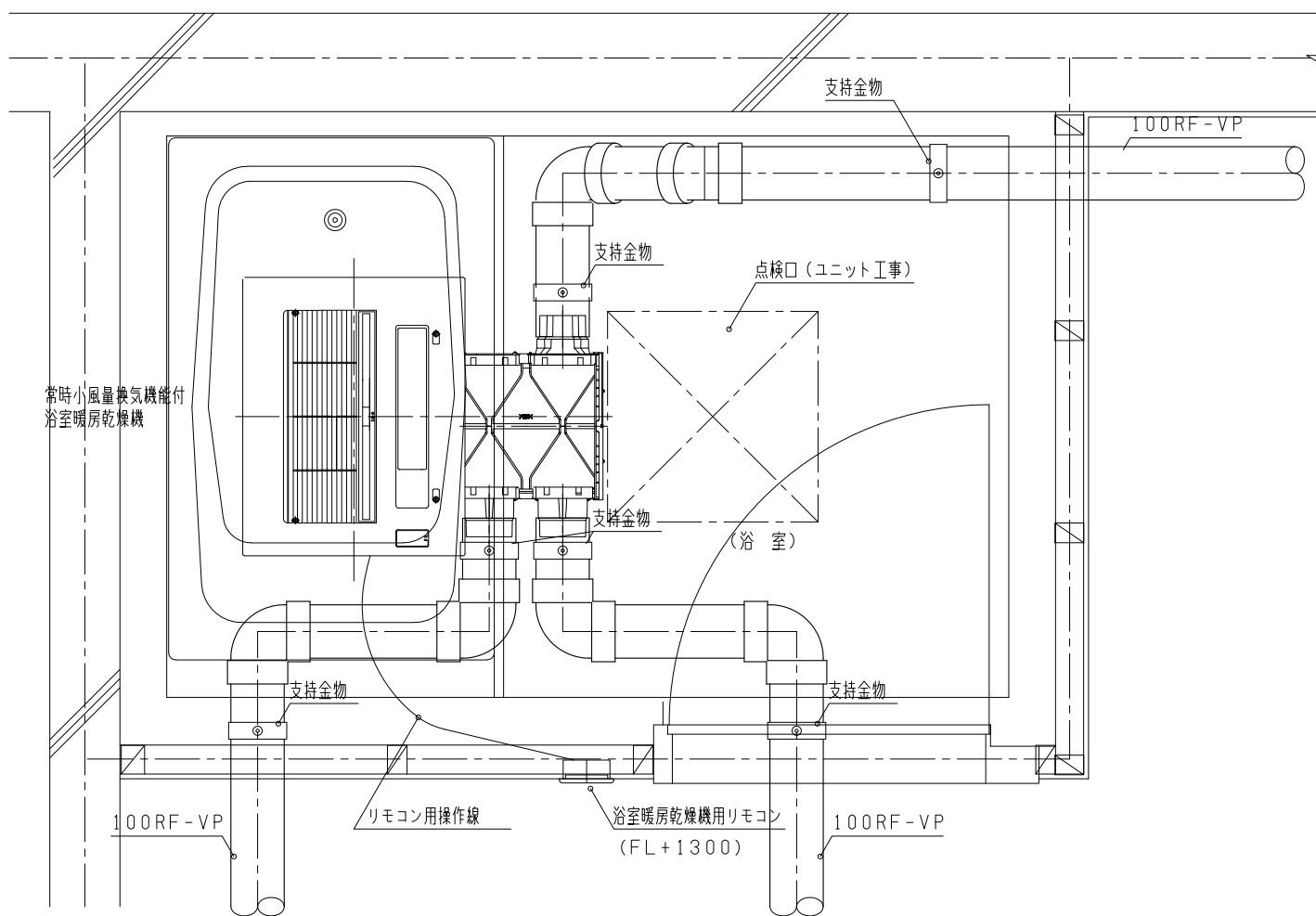
付
記
事
項

改
定
事
項

名称
換気平面図
(常時小風量換気機能付浴室暖房乾燥機)

縮尺
NO SCALE
P-806-1

- 1 本図の形状及び寸法は一例を示す
- 2 パイプフードの材質は図面特記による
- 3 防火ダンパーの取付及び仕様は図面特記による
- 4 ダクトの吊金物は機器の側近にする



平面図

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

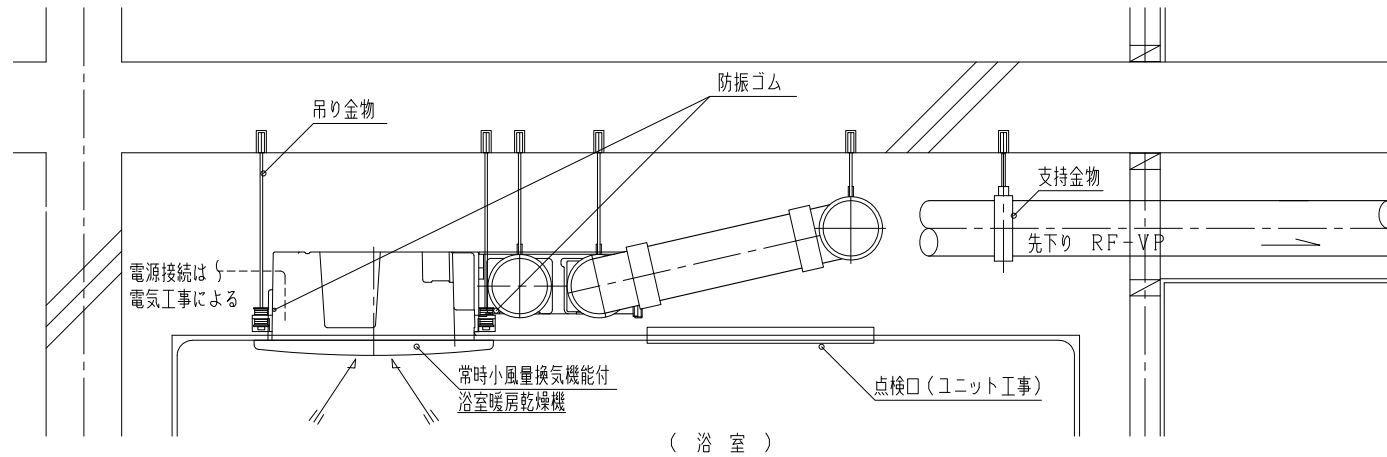
縮
尺

- 1 機器の形状及び寸法、ダクト接続位置については一例を示す
- 2 浴室暖房乾燥機とダクトの接続はブチルゴムシーリング+アルミ粘着テープ2回巻とする
- 3 浴室暖房乾燥機とダクトの接続に樹脂製フレキシブルダクトを使用する場合は、図面特記による

浴室上部換気平面図
(常時小風量換気機能付浴室暖房乾燥機)

NO SCALE

P-806-2



断面図

仕様

付記事項

改定事項

名称

縮尺

1 機器の形状及び寸法は一例を示す

- ・電源について追加
- ・文字修正

浴室上部換気立面図
(常時小風量換気機能付浴室暖房乾燥機)

NO SCALE

P-806-3

天井埋込型の場合

仕
様

付
記
事
項

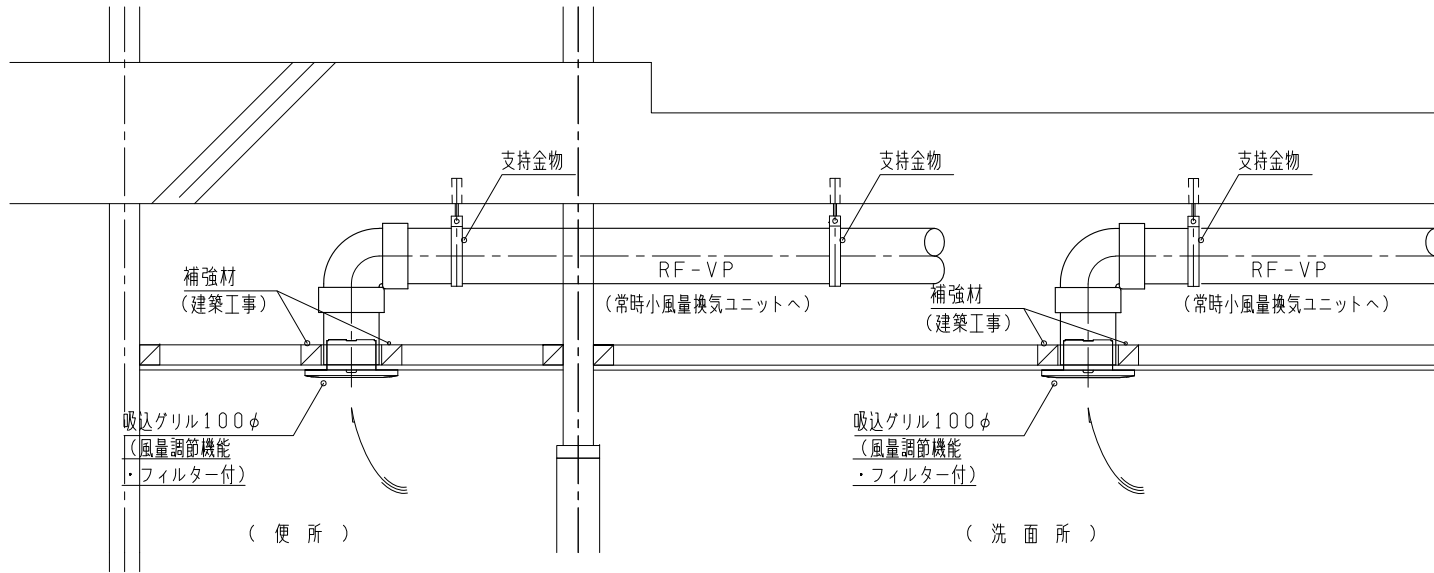
改
定
事
項

名
称

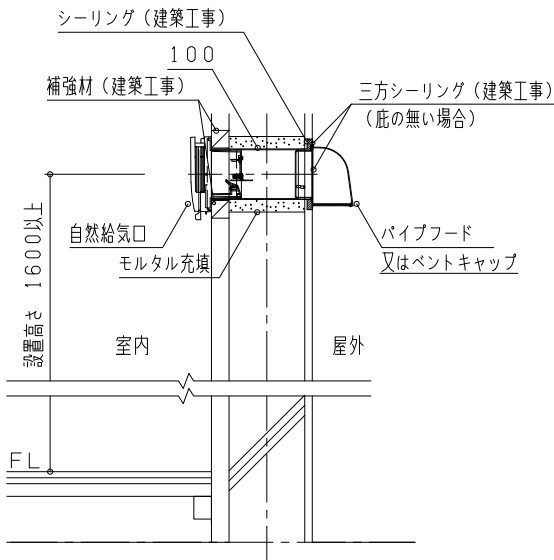
縮
尺

吸込グリル 排気口 自然給気口
設置要領図

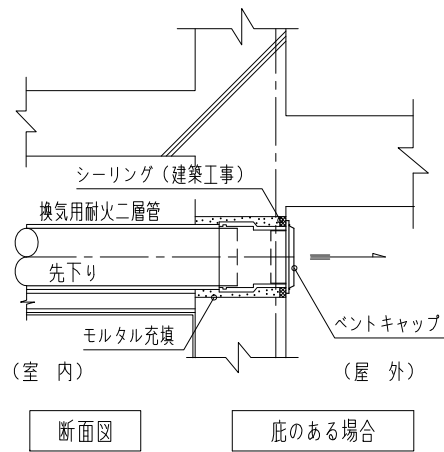
NO SCALE P-806-4



吸込グリル取付要領図



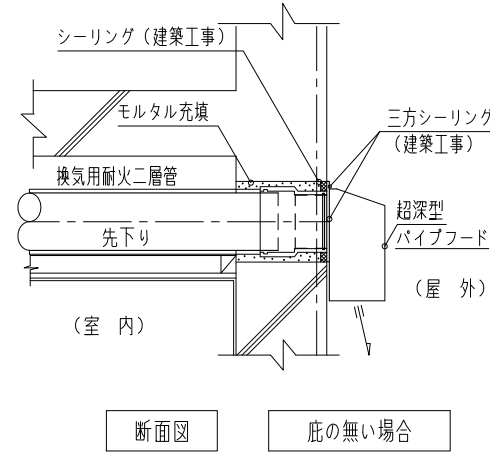
常時小風量換気用自然給気口取付高さ



断面図

底のある場合

1m以上で45°の範囲
内に限る。

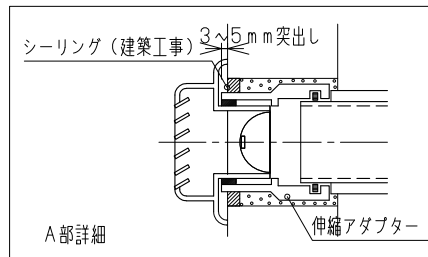
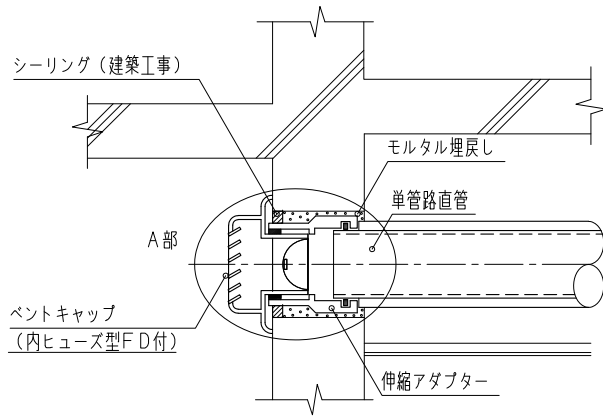


断面図

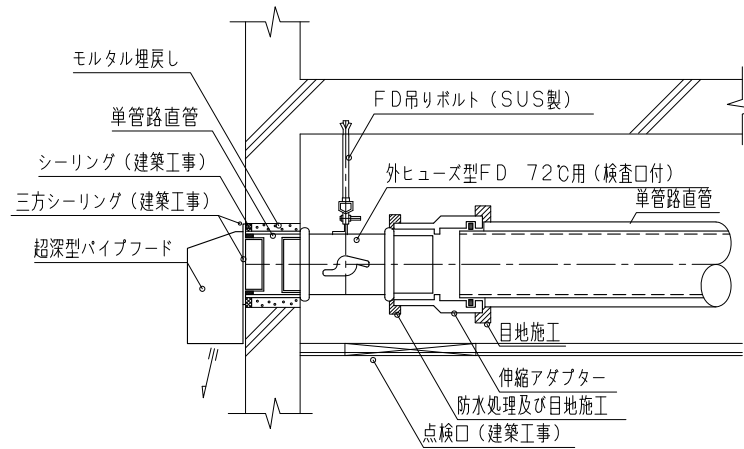
底の無い場合

排気口取付要領図

・文字追記



バルコニーのある場合



バルコニーのない場合

断面図

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

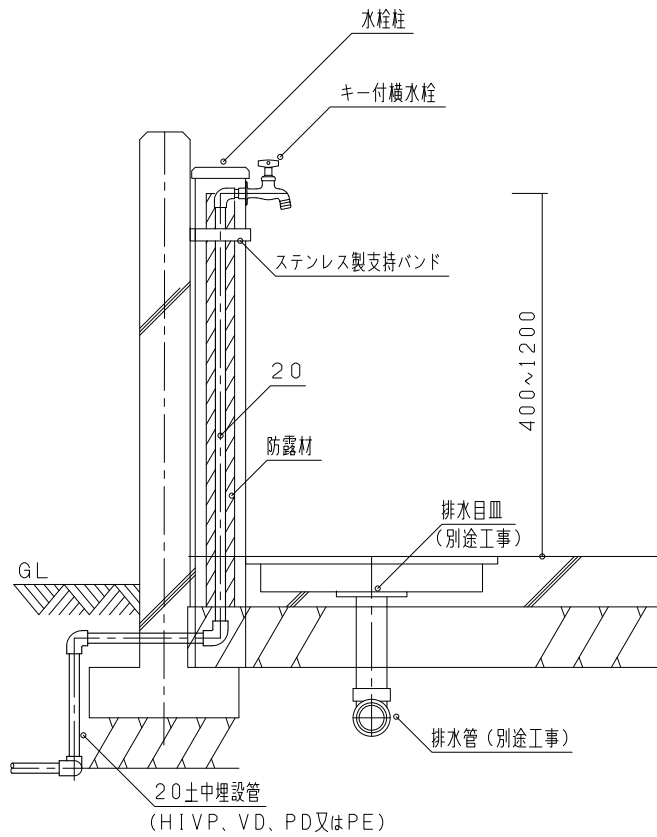
- 1 換気ダクトは、外壁仕上り面より3~5mm突出し、外壁面との接触部をシーリング仕上げ（建築工事）する
- 2 FDの防露は、外ヒューズの復旧操作に支障がないように施工する
- 3 パイプフード及びベントキャップにFDを設ける場合は外部に足掛かり部がある場合のみ設置可能とする
- 4 外ヒューズ型FDと点検口（建築工事）の位置は整合をとる

・文字追記

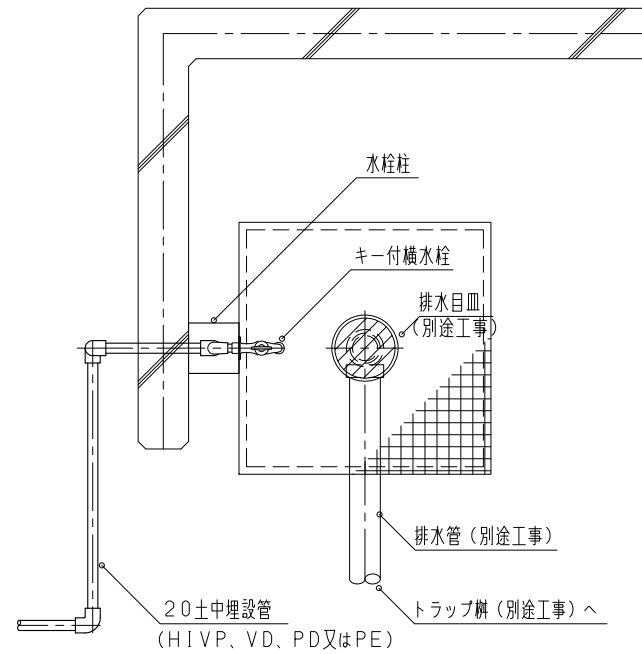
FD付排気口及び耐火二層管施工要領

NO SCALE

P-806-5



断面図



平面図

仕様

付記事項

改定事項

名称

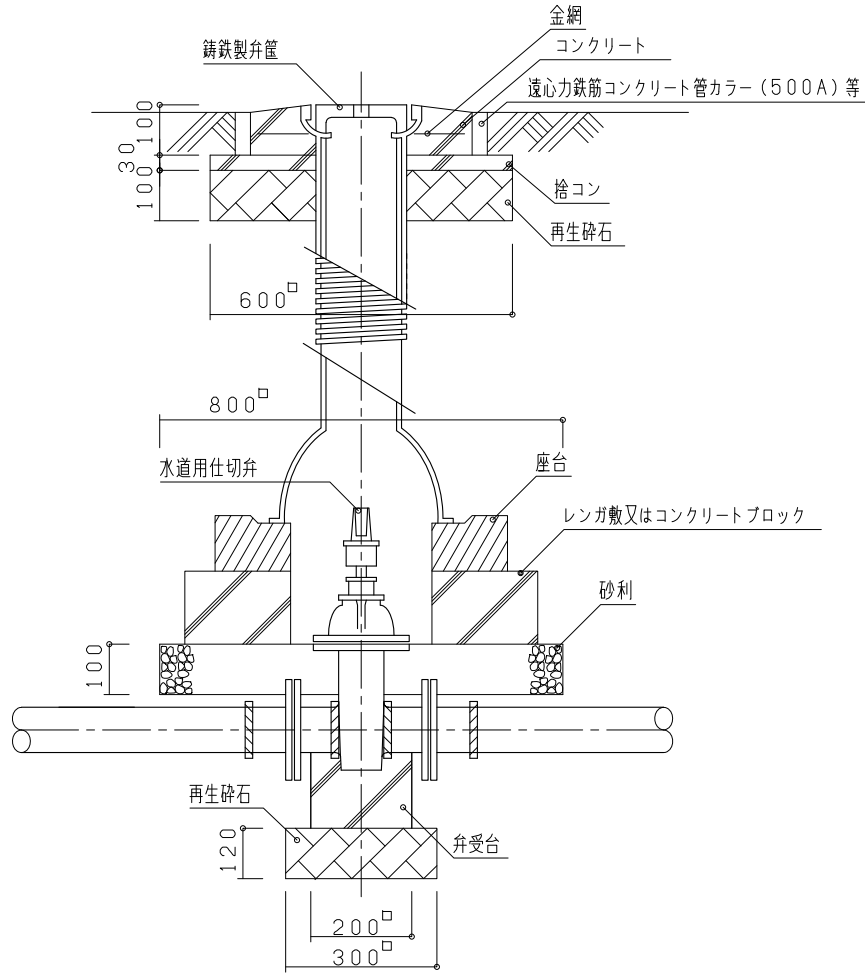
縮尺

- 1 本図は外部ごみ置場の配管の一例を示す
- 2 水栓柱の材質は設計図による

ごみ置場配管図

NO SCALE

P-901



断面図

大口径125~300用 (MB-6)

仕

様

付
記
事
項

- 1 本図の形状及び寸法は一例を示す
- 2 防食の施工はZ-111を参照のこと

改
定
事
項

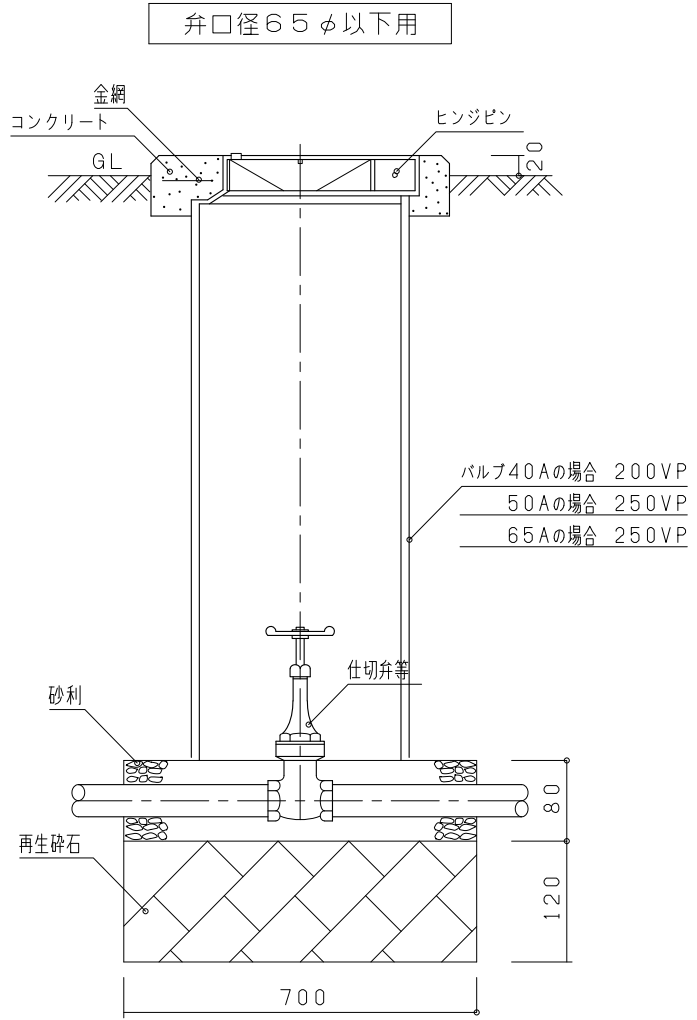
名
称

バルブ及びボックス据付図-1

縮
尺

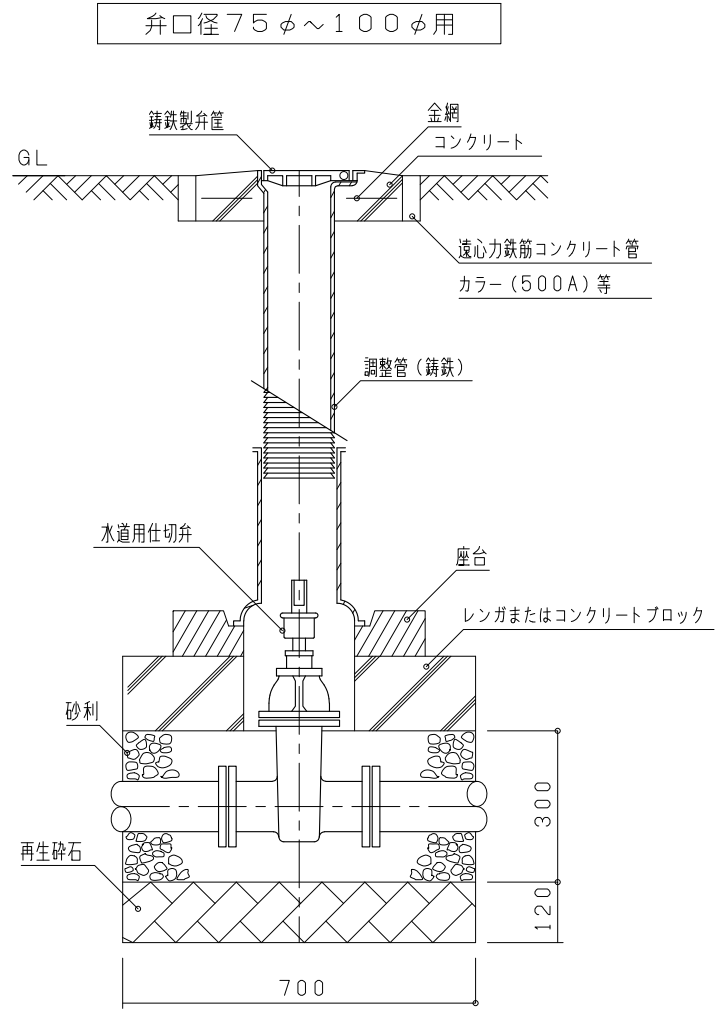
NO SCALE

P-902



B-1

断面図



B-6

断面図

仕
様

付
記
事
項

- 1 本図の形状及び寸法は一例を示す
- 2 防食の施工はZ-111を参照のこと

改
定
事
項

・調整管の材質を追記

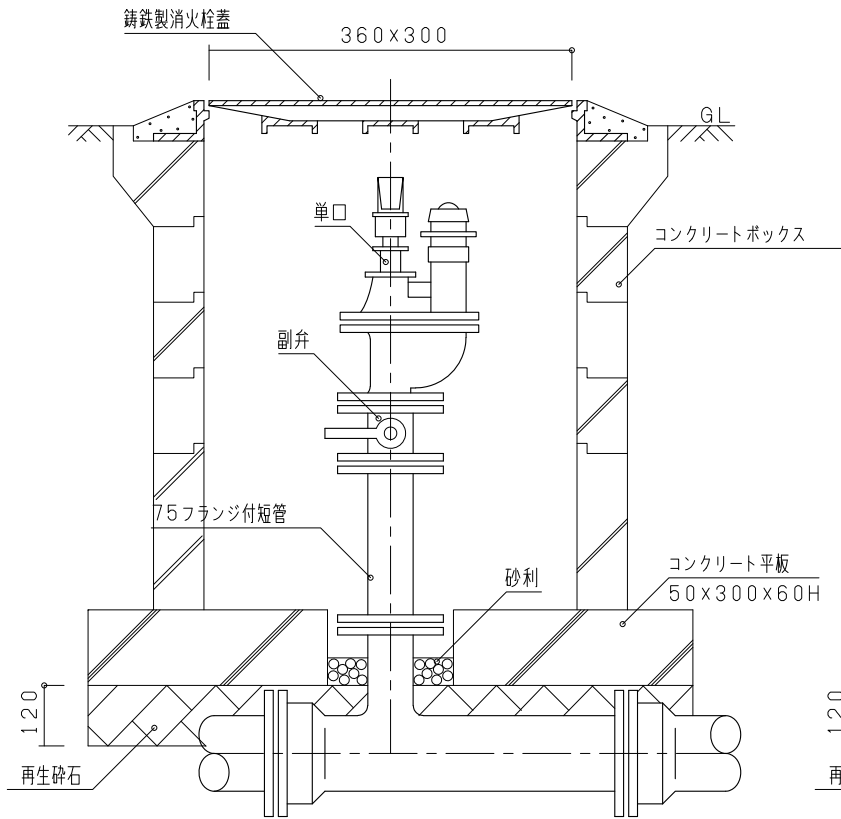
名
称

バルブ及びボックス据付図-2

縮
尺

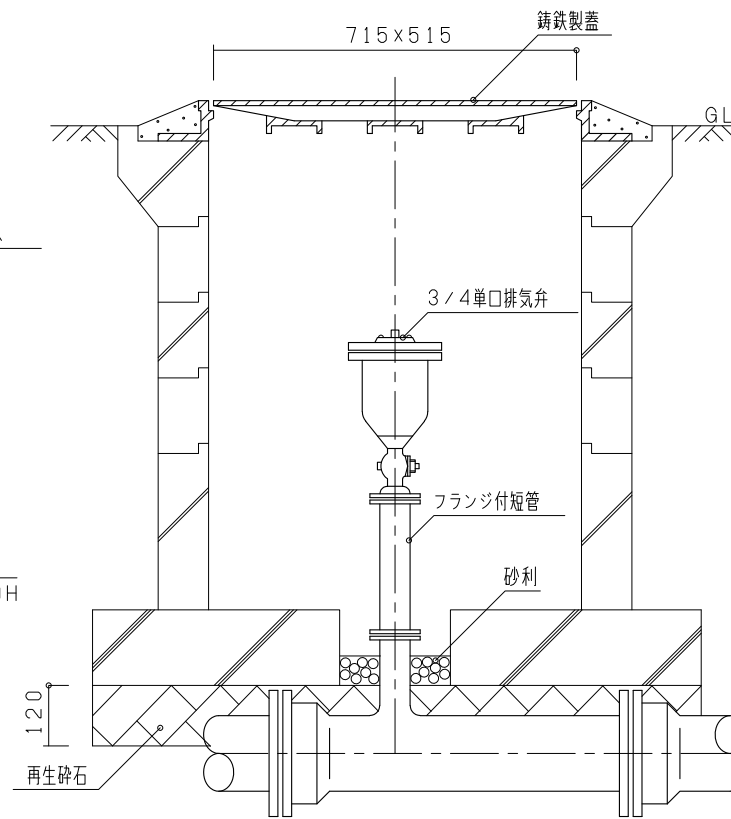
NO SCALE P-903

地下式単口消火栓



断面図

水道用空気弁単口



断面図

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

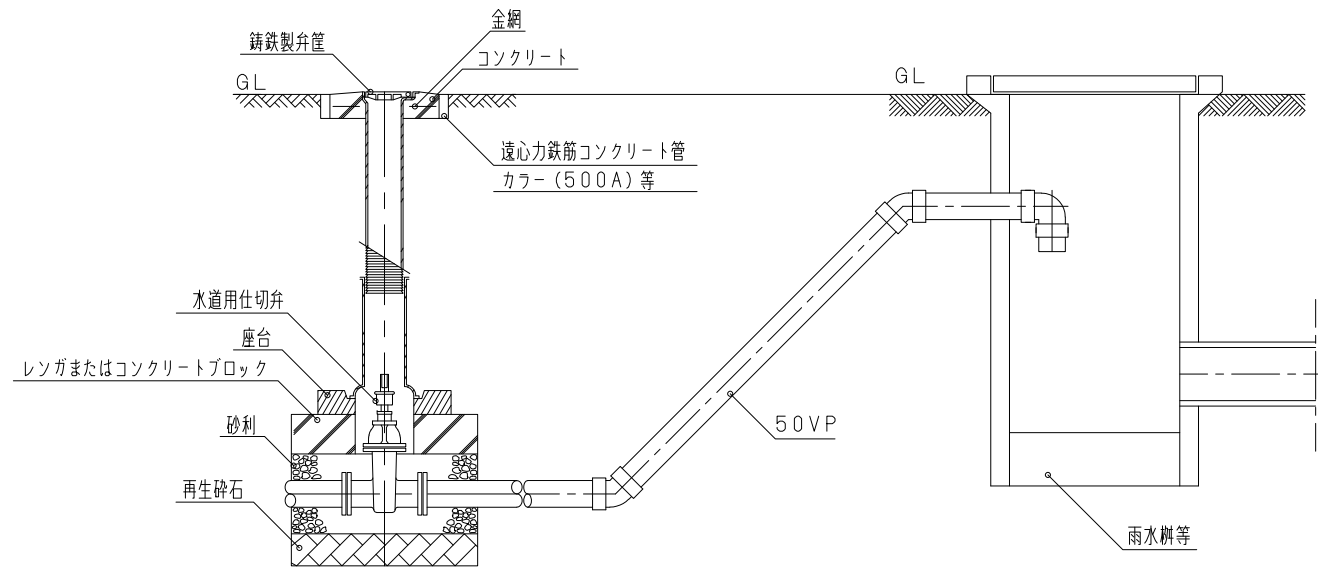
1 防食の施工はZ-111を参照のこと

・文字追記

消火栓・空気弁取付図

NO SCALE

P-904-1



仕
様

付
記
事
項

- 1 本図の形状及び寸法は一例を示す
- 2 泥吐弁の構造及び放流先については水道事業者の指導による

改
定
事
項

・水道仕切弁廻りを変更

名
称

排泥弁取付図

縮
尺

NO SCALE

P-904-2

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

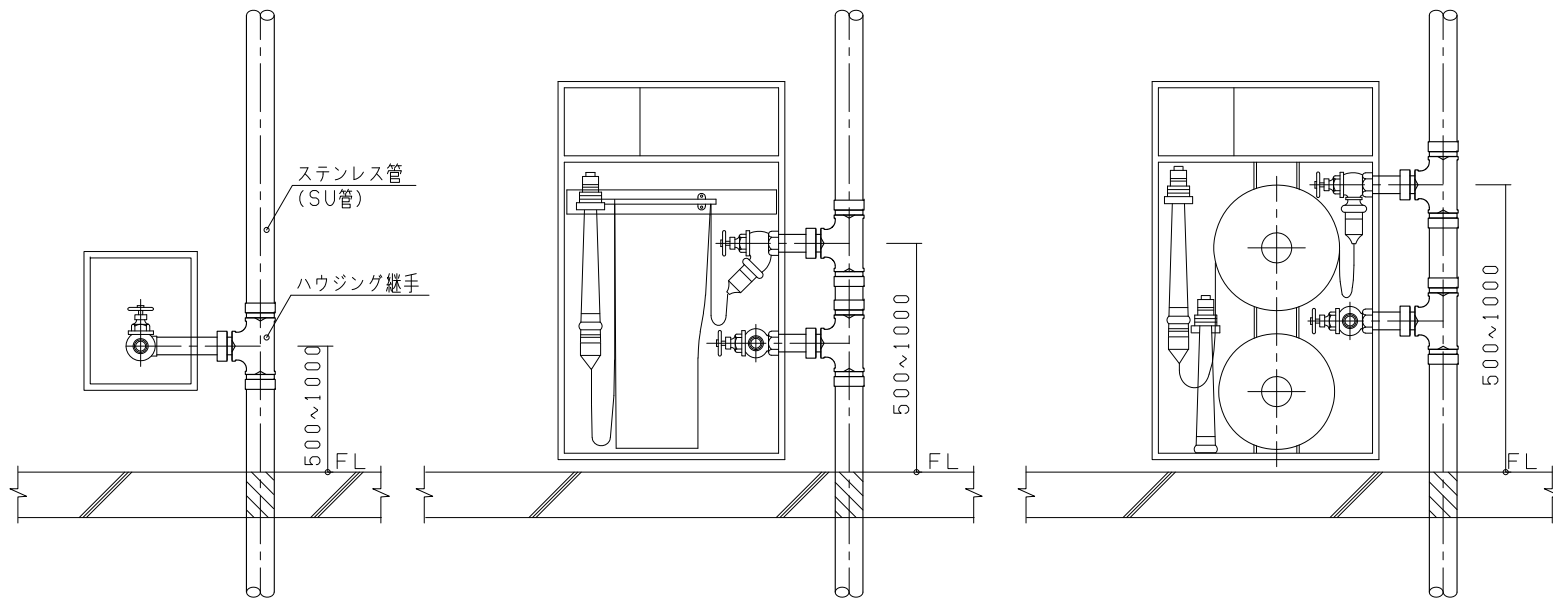
- 1 雨掛りとなる露出型ボックスについては、壁と接するボックス周囲についてもコーキングを施す

- ・付記事項2を削除
- ・管種記載、ハウジング継手へ変更

放水口取付図

NO SCALE

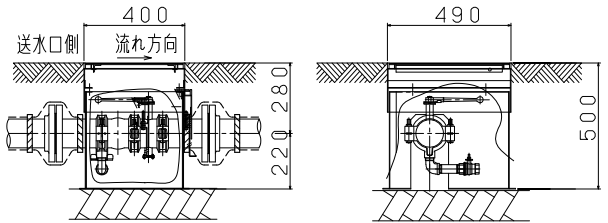
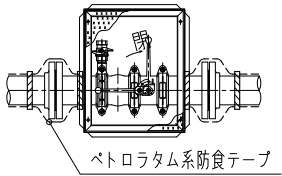
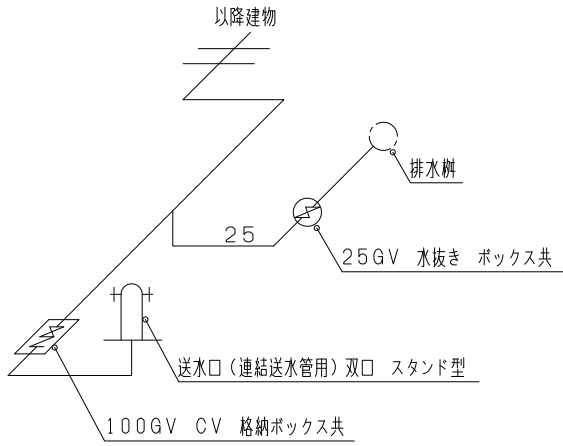
P-905-1



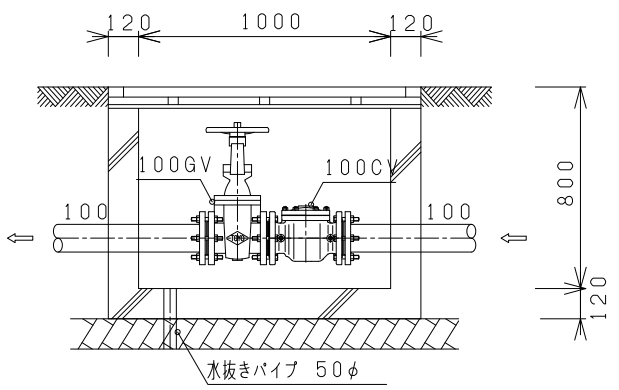
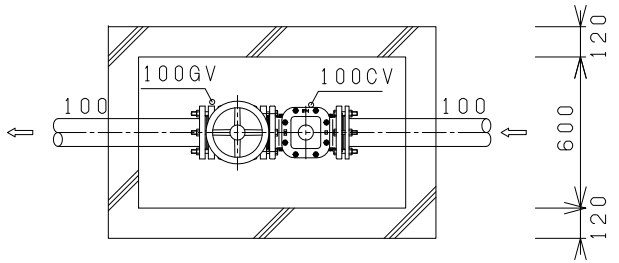
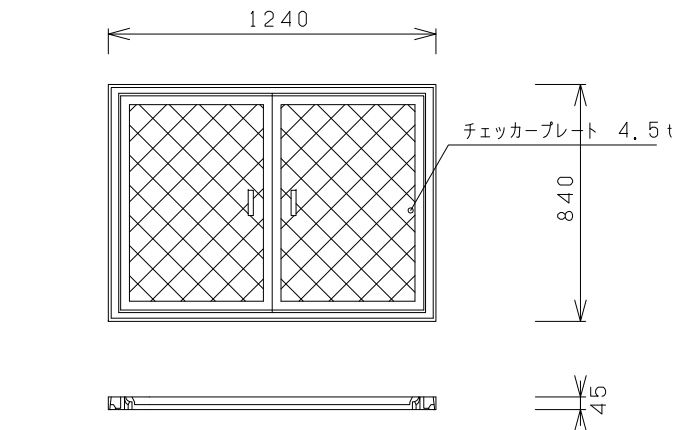
放水口（単口型）D型

放水口（双口型）C型

放水口（双口型）A型



送水口用バルブユニット要領図



バルブ格納ボックス要領図

仕
様

付
記
事
項

1 本図は連結送水管の送水口廻りの要領図の一例を示す

改
定
事
項

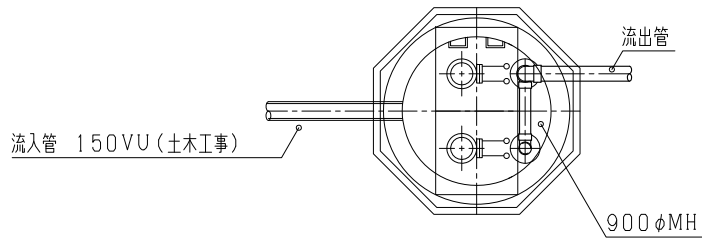
名
称

送水口廻り要領図

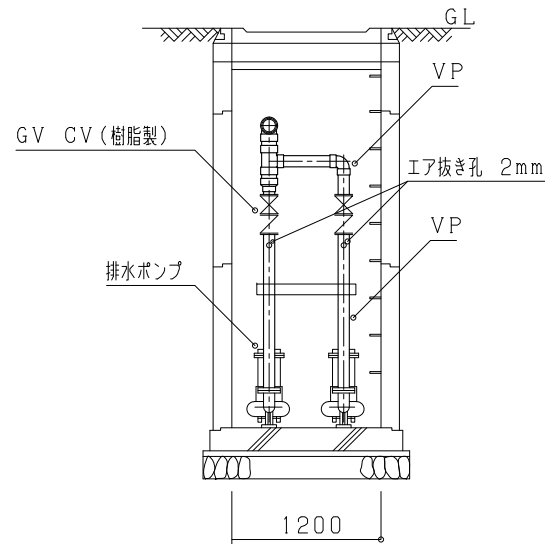
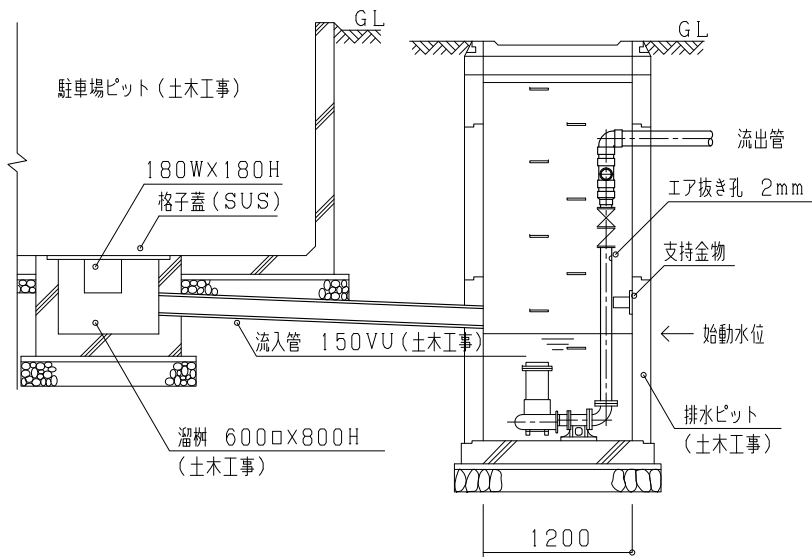
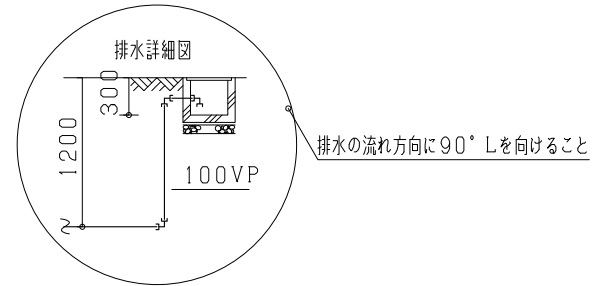
縮
尺

NO SCALE

P-905-2



平面図 NOSCALE



断面図

仕様

付記事項

改定事項

名称

縮尺

- 1 排水ポンプはノンロック型とする
- 2 ポンプは自動交互並列運転とする
- 3 本図の寸法及び大きさは一例を示す
- 4 制御及び警報設備工事は別途（電気設備）工事とする

・付記事項2を修正

排水ピットポンプ廻り配管詳細図
(参考図)

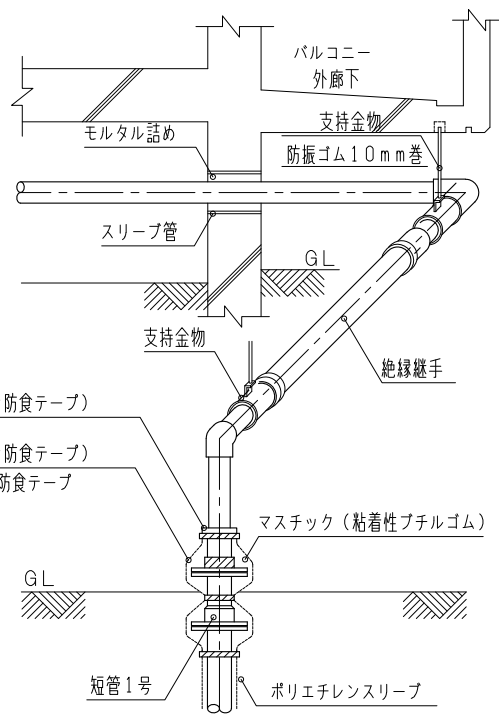
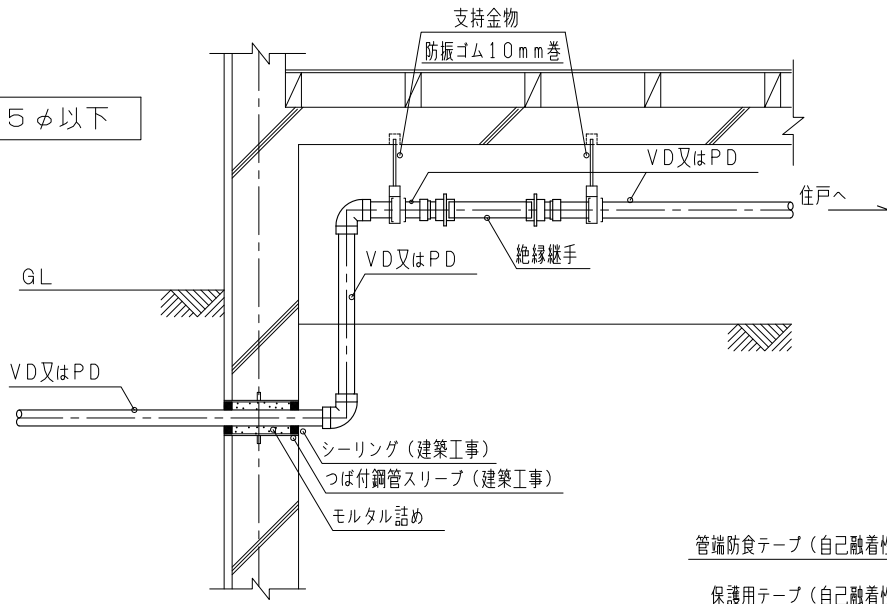
NO SCALE

P-906

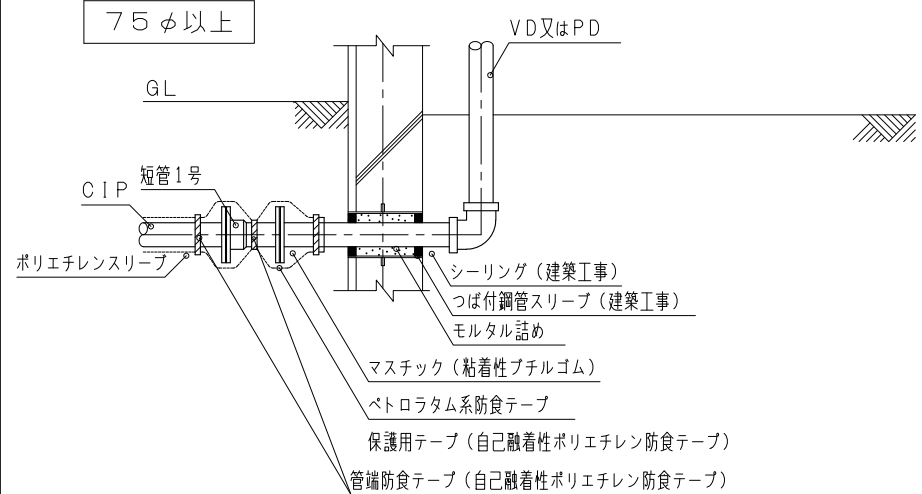
土中引込の場合

バルコニー（外廊下）のある場合

65φ以下



75φ以上



管端防食テープ (自己融着性ポリエチレン防食テープ)
 保護用テープ (自己融着性ポリエチレン防食テープ)
 ベトラタム系防食テープ

仕様

付記事項

改定事項

名称

縮尺

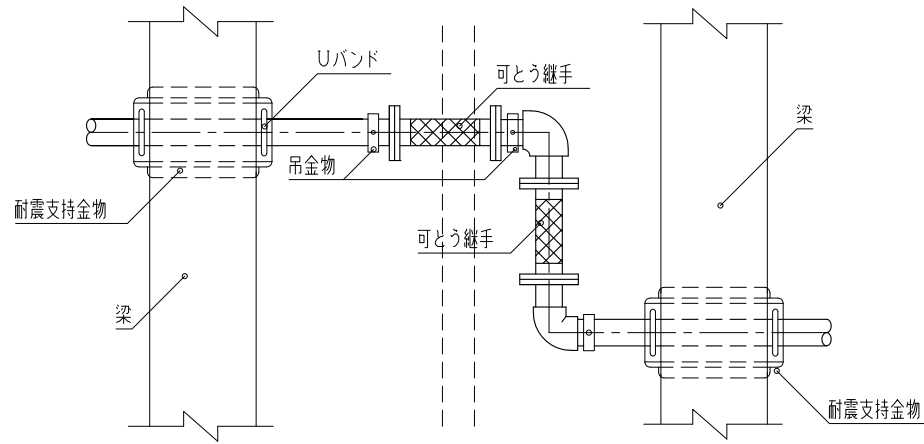
- 1 土中埋設部分の配管材料は特記による
- 2 支持金物はSUS又は防錆処理を施したもの
- 3 鋼管類のコンクリート貫通部は、ビニル粘着テープ又はプラスチックテープ1/2重ね1回巻きを行う

・付記事項3を追加

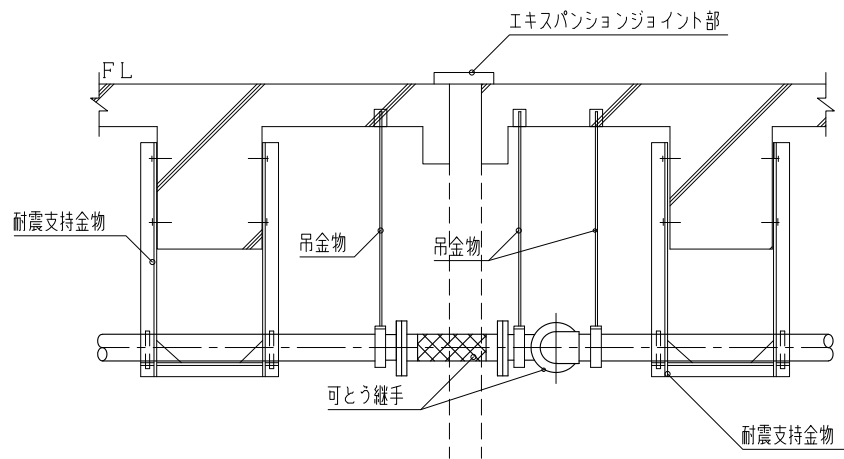
給水管建物引込部分配管例防食対策

NO SCALE

Z-101



平面図



断面図

仕様

付記事項

改定事項

名称

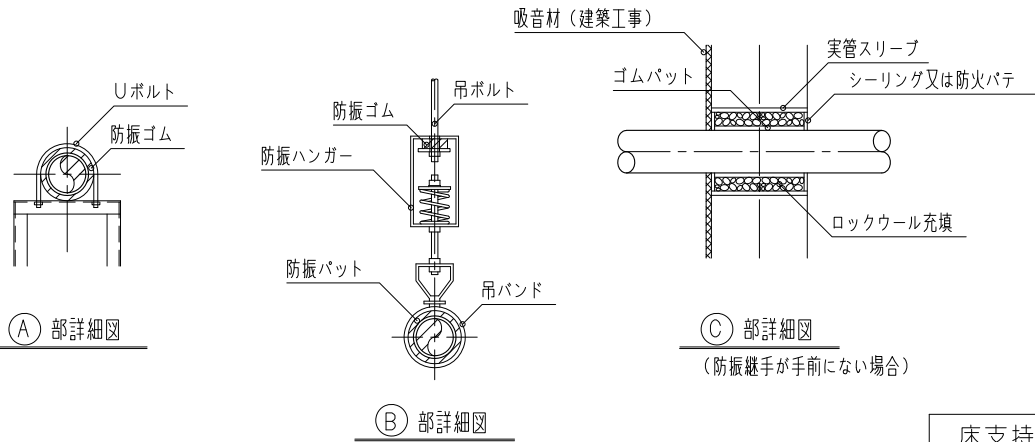
縮尺

1 層間変形角を確認の上、可とう継手を選定すること

エキスパンションジョイント部を通過する配管例

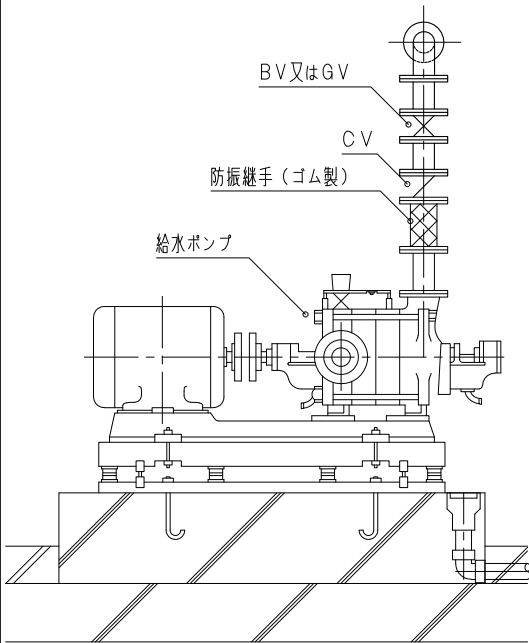
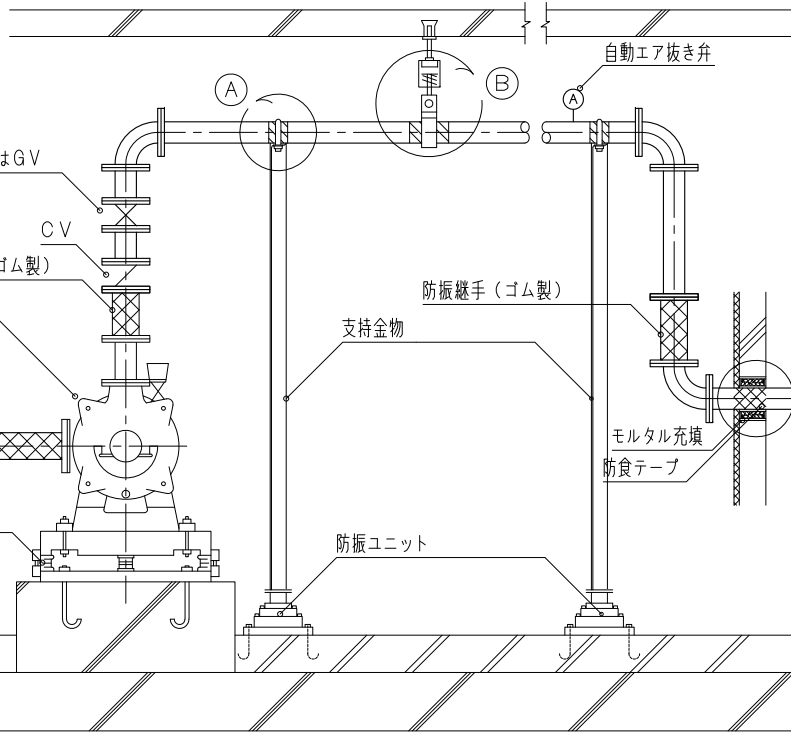
NO SCALE

Z-102



床支持の場合

天井吊の場合



側面図

正面図

仕
様

付
記
事
項

- 1 配管支持方法は原則として床支持とする。天井吊が生じた場合はB部を参照する
- 2 配管支持金物は溶融垂鉛メッキ (2種35) 仕上げとする
- 3 重量機器の上部の天井にメンテナンス用フック (フックは建築工事) を取付ける

改
定
事
項

- ・文字修正
- ・自動エア抜き弁を追加

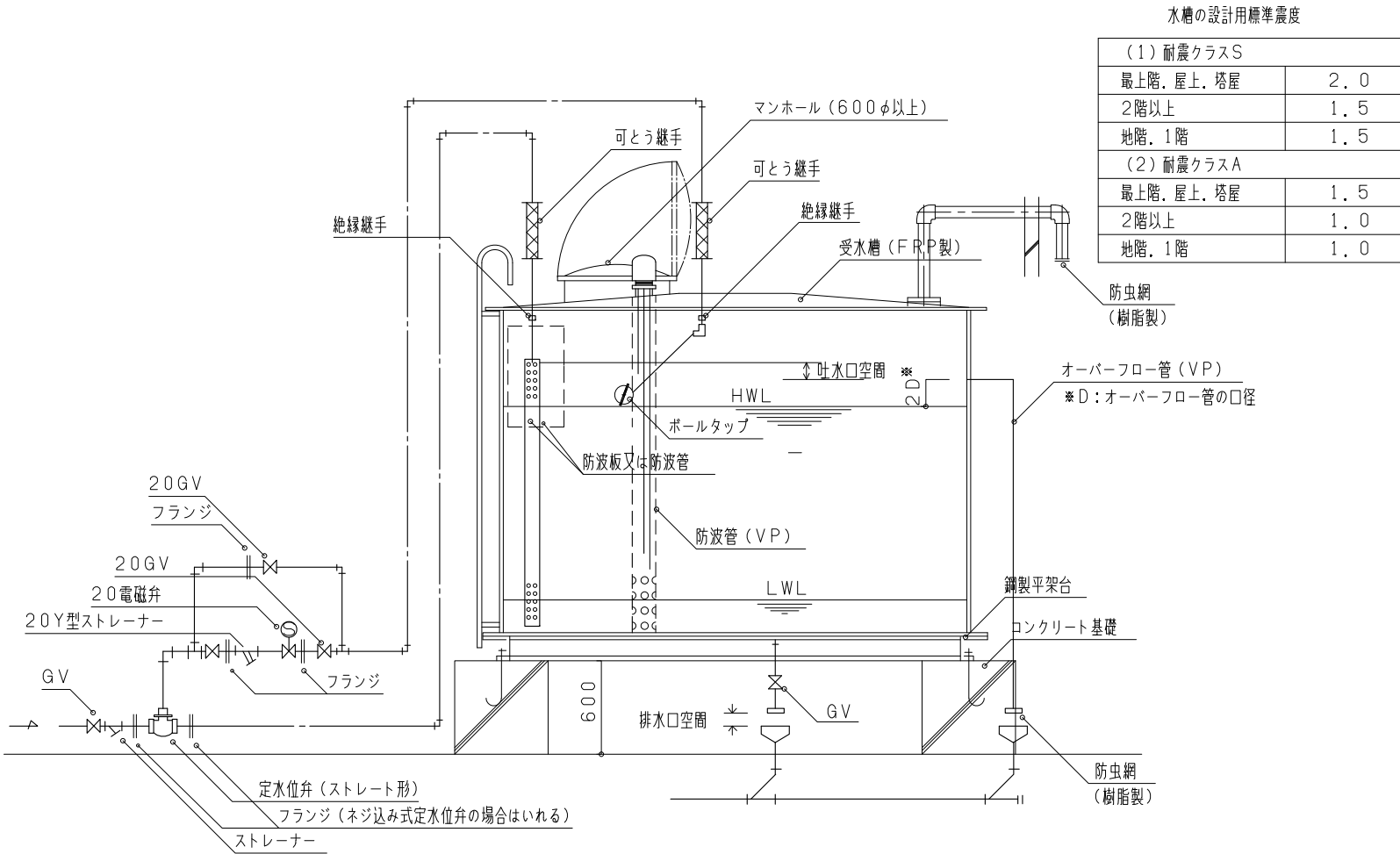
名
称

給水ポンプ廻り防振配管例

縮
尺

NO SCALE

Z - 103



水槽の設計用標準震度

(1) 耐震クラスS	
最上階、屋上、塔屋	2.0
2階以上	1.5
地階、1階	1.5
(2) 耐震クラスA	
最上階、屋上、塔屋	1.5
2階以上	1.0
地階、1階	1.0

仕
様

付
記
事
項

- 1 水槽の設計用標準震度は「建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）」の建築設備機器の耐震クラスSと耐震クラスAによる。
- 2 排水口吐水口空室は口径の2倍以上とする。但し、各種飲料用タンクなどは150mm以上とする
- 3 水槽の設計震度は設計図による
- 4 受水槽の通気は外壁まで配管し開放する
- 5 電極長さ等は、電気設備工事と調整する
- 6 転落防止措置（水槽上部手摺り、背かこ）は、受水槽の全高（基礎を含む）が4m以上に設置する

改
定
事
項

・付記事項6追加を変更

名
称

受水槽廻り配管要領図

縮
尺

NO SCALE Z-104-1

吐水口空室の寸法 (mm) ※呼び径25A以上で適用

近接壁の影響がない場合	近接壁の影響がある場合						
	d : 吐水口の内径 (mm)			d' : 排水口の内径 (mm)			
	近接壁1面の場合 吐水口の壁からの離れ			近接壁2面の場合 吐水口の壁からの離れ			
1.7d' + 5	3d以下	3dを超えるもの	5dを超えるもの	4d以下	4dを超え6d以下	6dを超え7d以下	7dを超えるもの
	3.0d'	2.0d' + 5	1.7d' + 5	3.5d'	3.0d'	2.0d' + 5	1.7d' + 5

試験配管の口径

同時開口数	試験配管の呼び径
1	25
2	32

仕様

付記事項

改定事項

名称

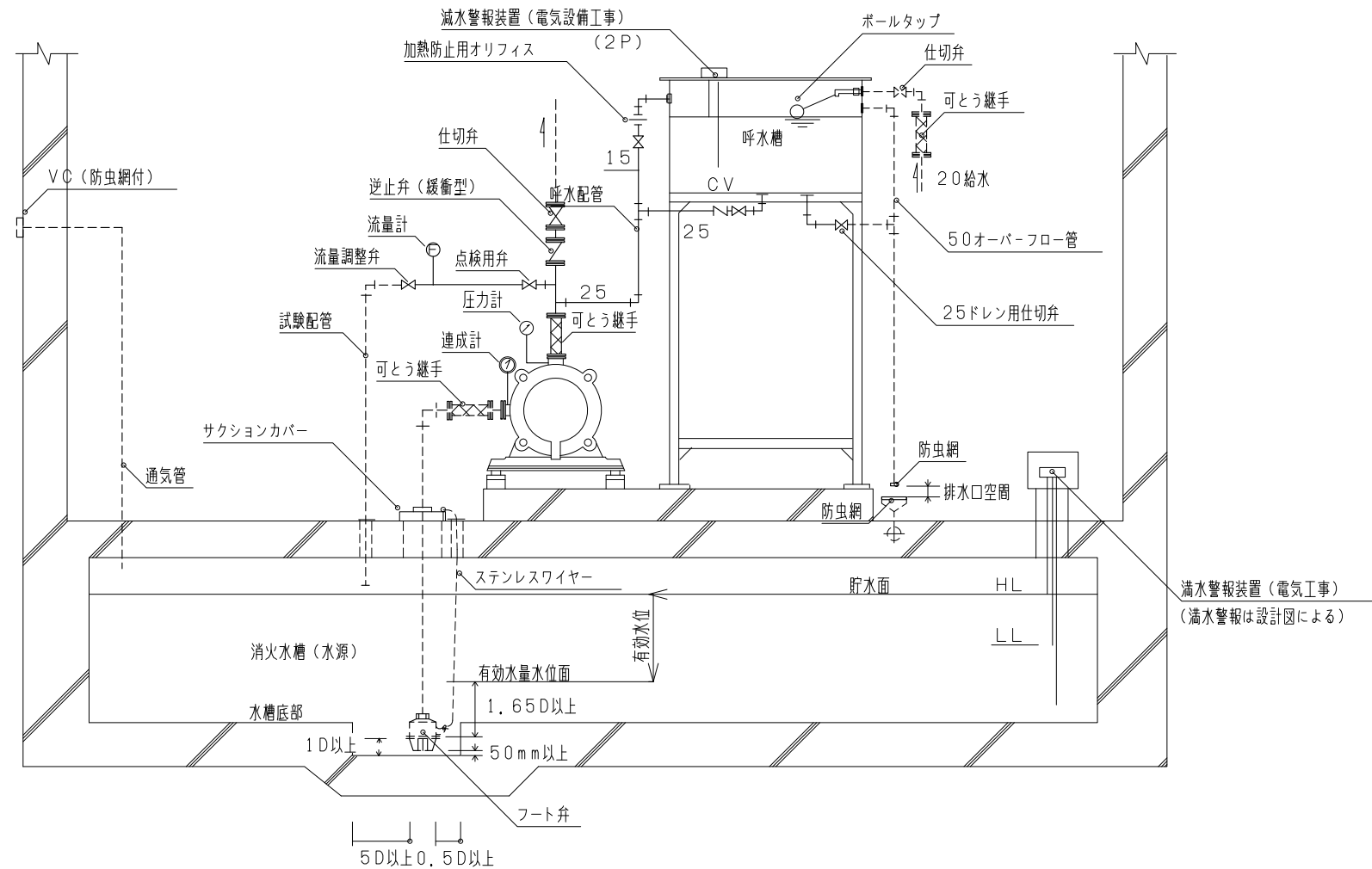
縮尺

- 1 本図は東京消防庁の一例を示す
- 2 消火ポンプユニットを使用する場合、ユニット範囲は実線部分を示す
- 3 フレキシブルジョイントの長さは各地方自治体の基準に準拠すること
- 4 H寸法が1m以下の場合には呼水配管は40Aとする
- 5 点線部分は消火ポンプユニット以外を示す

- ・付記事項6を削除
- ・文字修正
- ・図面修正

消火ポンプ廻り配管要領図

NO SCALE Z-104-2



住棟1階にポンプ室設置の場合

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

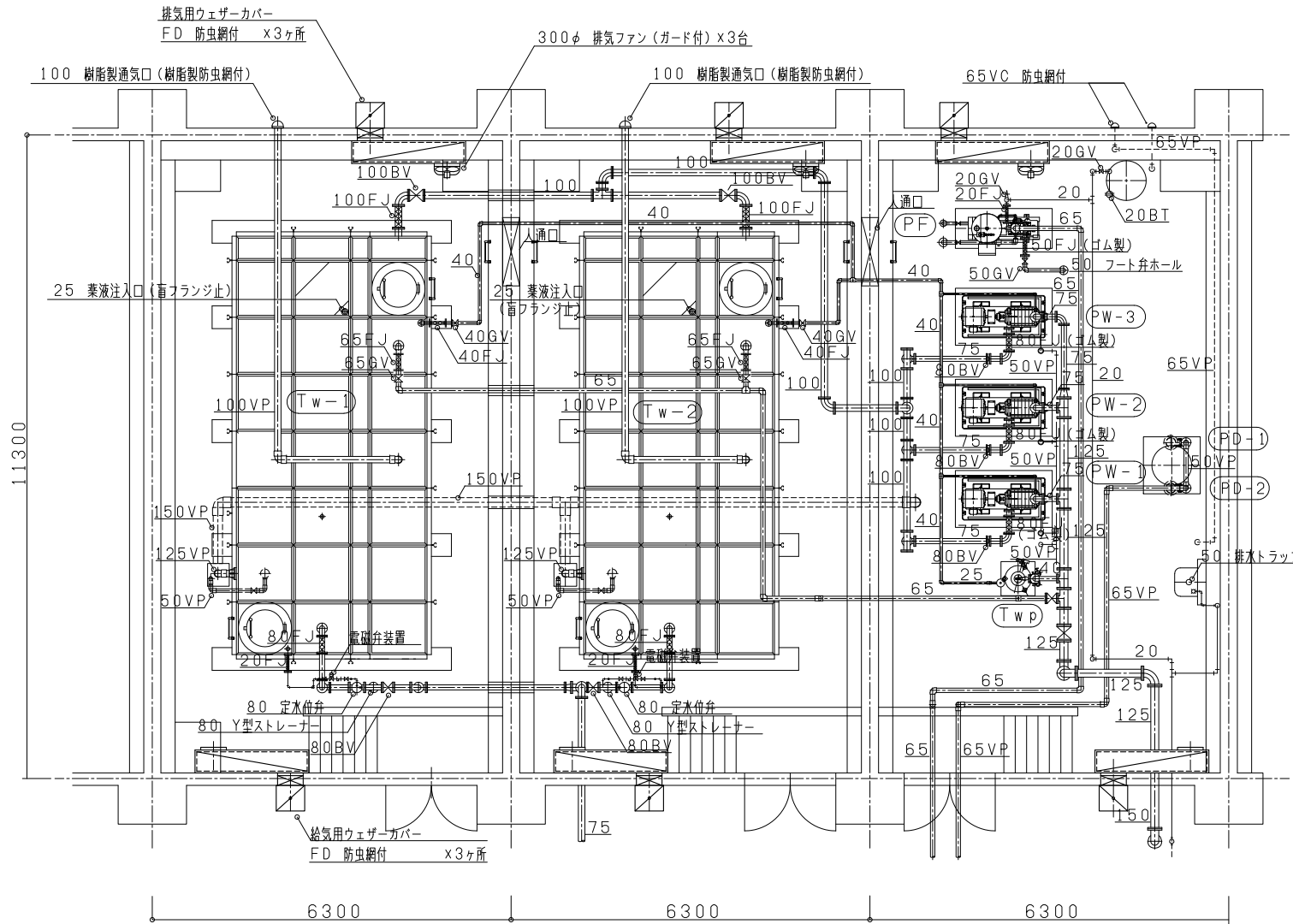
- 1 本図は給水施設内の配管の収まりの一例を示す
- 2 受水槽の通気は外壁まで配管し開放する
- 3 間仕切壁の人通口の大きさは1800H×900W以上とする

・バルブ表記を修正

給水施設内配管設計要領図
(平面図)

NO SCALE

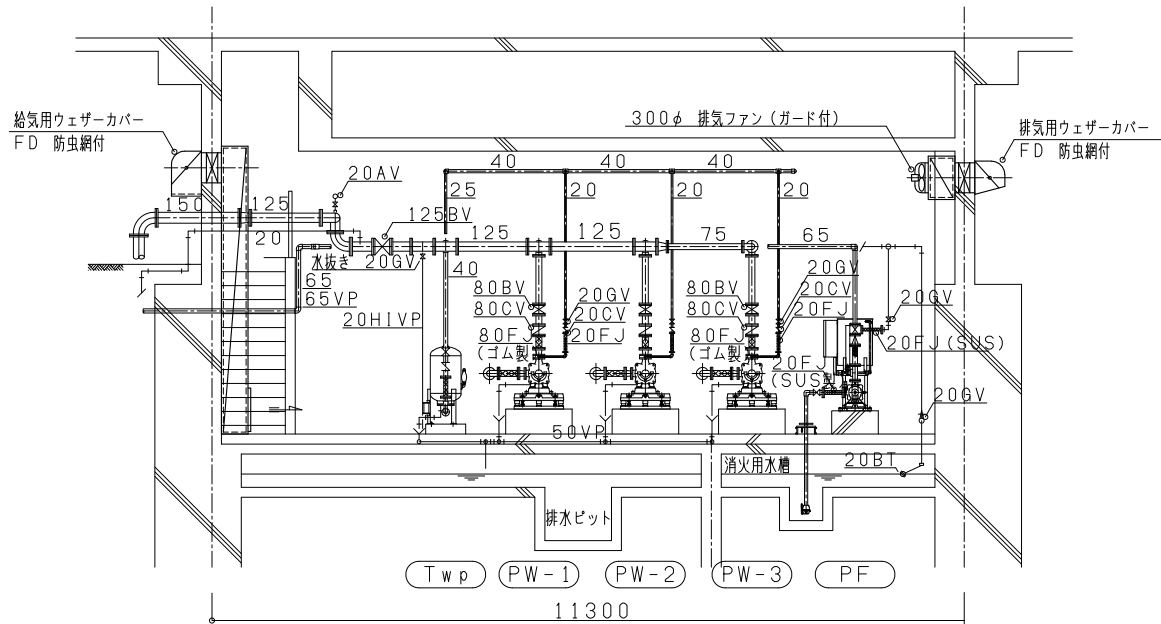
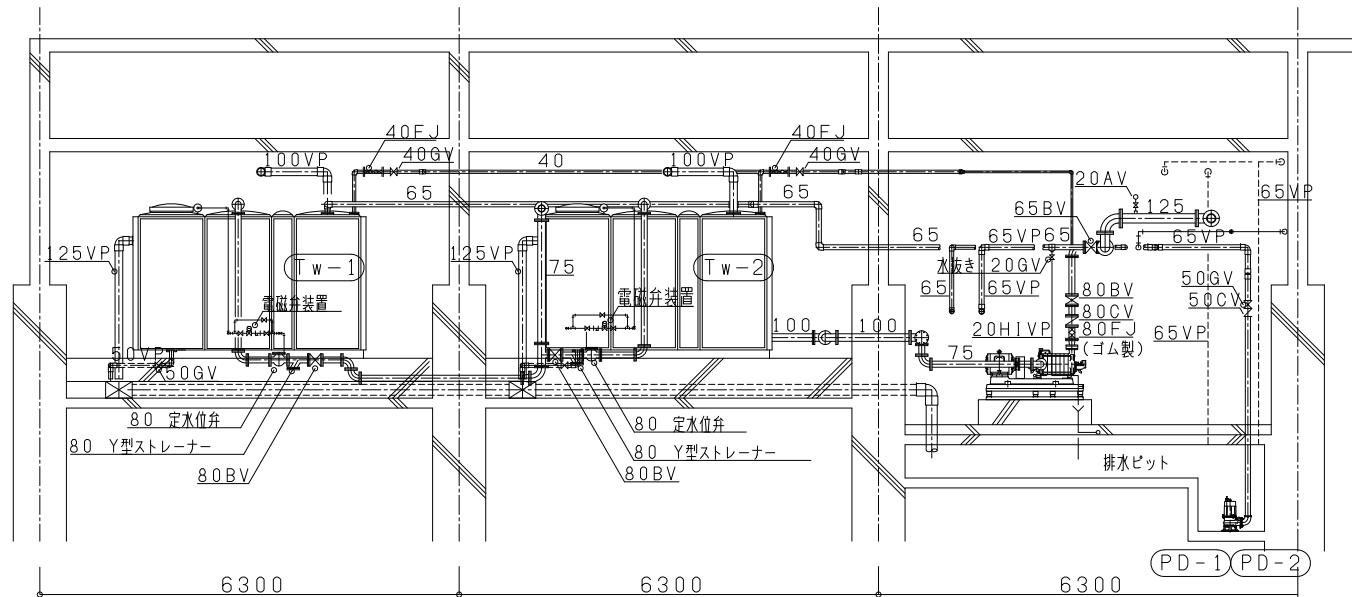
Z-105-1



20	電磁弁装置	
20	電磁弁	x1
20	ストレーナー (Y型)	x1
20	GV	x3 x 2組

住棟1階にポンプ室設置の場合

仕
様



付
記
事
項

- 1 本図は給水施設内の配管の収まりの一例を示す
- 2 受水罐の通気は外壁まで配管し開放する
- 3 間仕切壁の人通口の大きさは $1800^H \times 900^W$ 以上とする

改
定
事
項

・バルブ表記を修正

名
称

給水施設内配管設計要領図
(立面・側面図)

縮
尺

NO SCALE Z-105-2

増圧給水ポンプユニット設置の場合

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

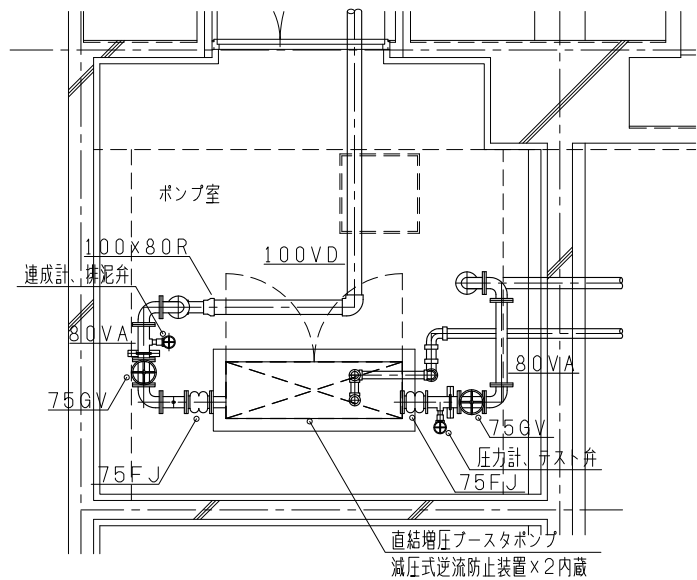
縮
尺

1 本図は75A水道直結増圧給水装置(ユニット型)を用いた場合の給水施設内の配管収まりの一例を示す

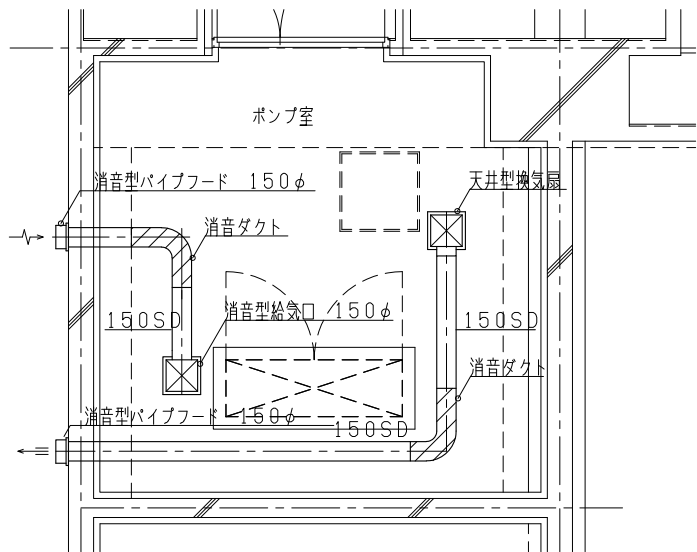
・圧力計、排泥弁を追加

水道直結増圧ポンプ配管要領図
(配管平面立面図)

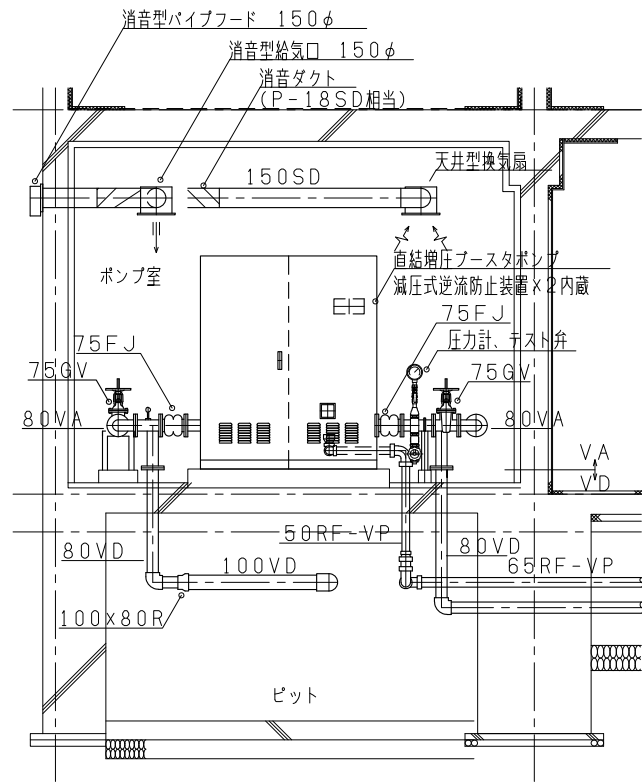
NO SCALE Z-105-3



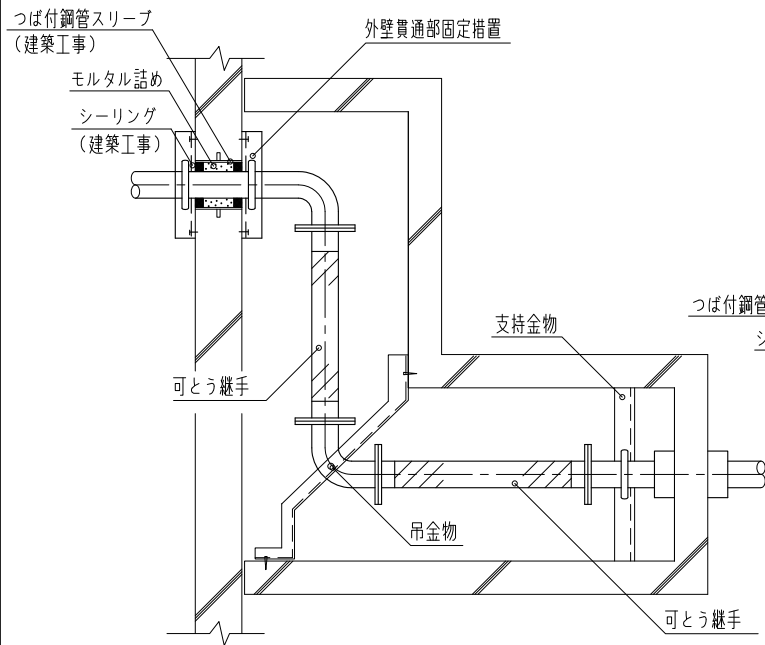
ポンプ廻り平面図



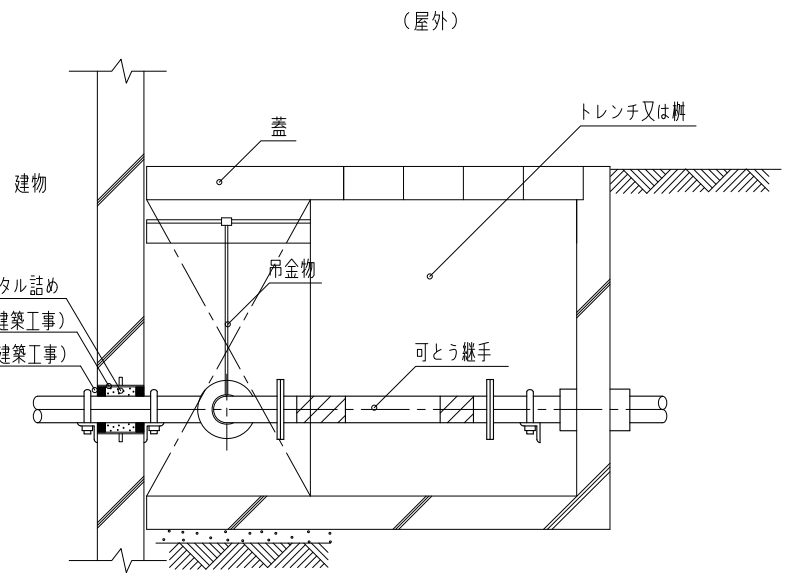
換気平面図



立面図



平面図



断面図

仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

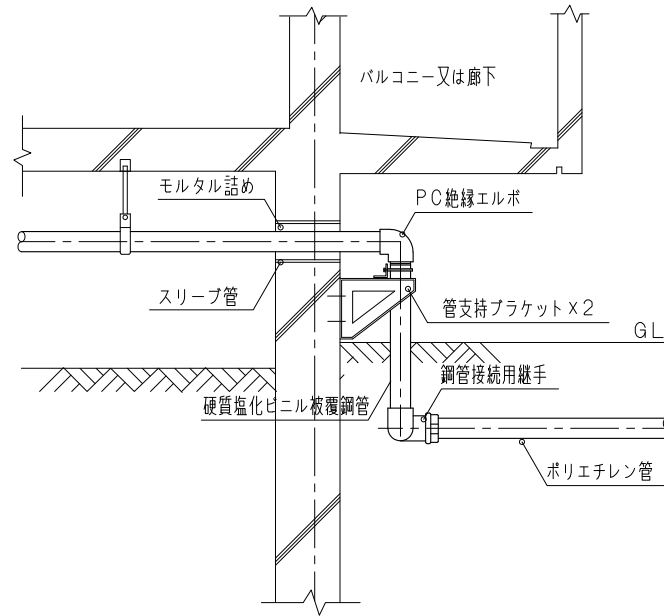
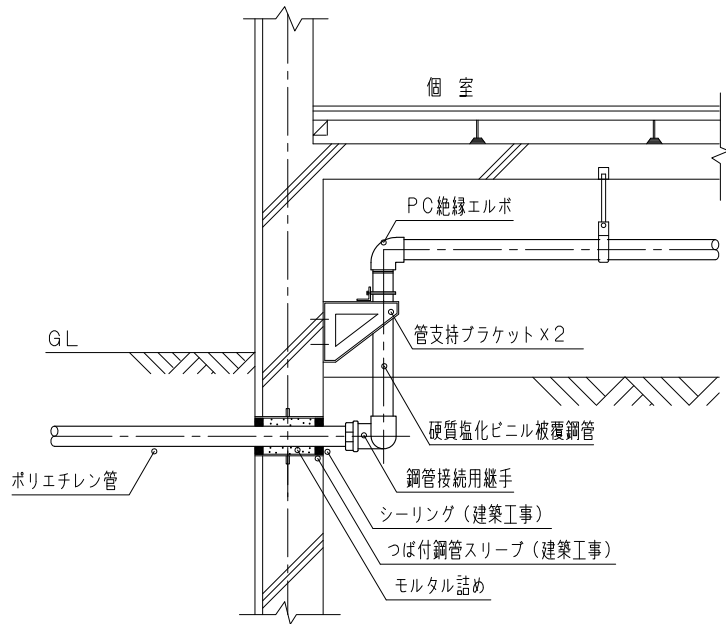
縮
尺

- 1 ねじ接合の場合の住棟引込配管はスリークッションとすること
この場合は継手部分は砂埋とする
- 2 住棟内の引込箇所は特記による
- 3 支持金物はSUS又は防錆処理を施したもの

建物導入部の地盤対策用配管例

NO SCALE

Z - 1 0 6



仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

- 1 本図の工法は一例を示す
尚、取付はガス事業者の設置基準
による。
- 2 見掛り部分の硬質塩化ビニル被覆
鋼管はアイボリー色とする

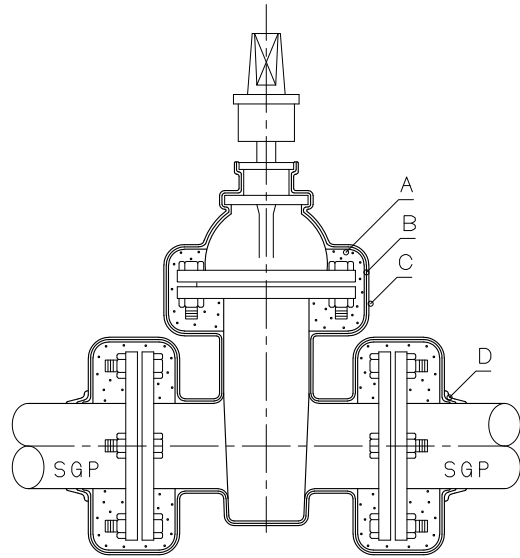
- ・付記事項1を修正
- ・文字修正、削除

ガス配管建物引込部分配管要領図

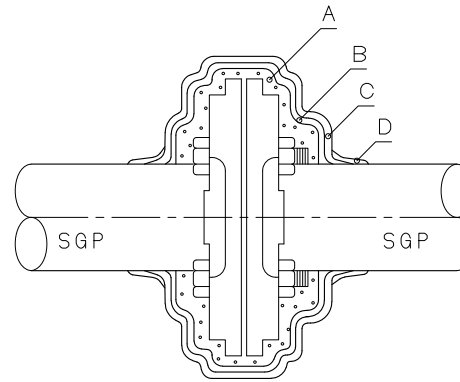
NO SCALE

Z - 1 1 0

仕切弁（バルブ）



フランジ（SGP）



仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

- 1 バルブ、パイプ等の表面の錆、土砂、水分、油脂等は適切な方法で除去すること
- 2 凸凹の著しいボルト部等の隙間には細いマスチックを充分充填すること

・ 鑄鉄異形管片受管（CIP）を削除

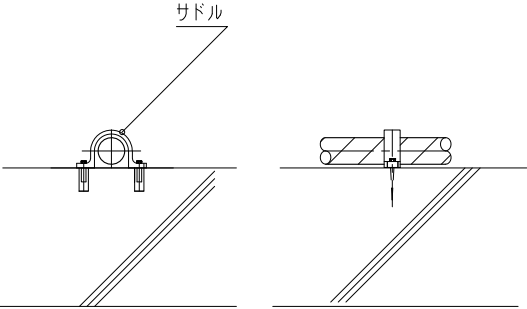
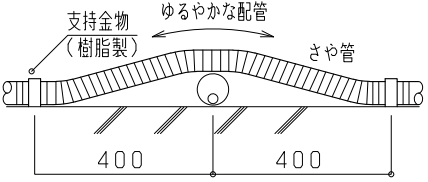
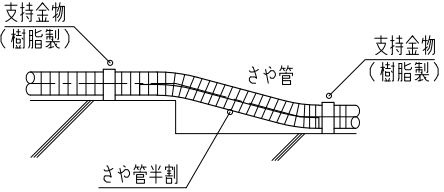
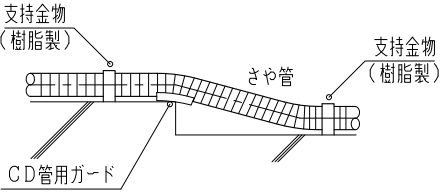
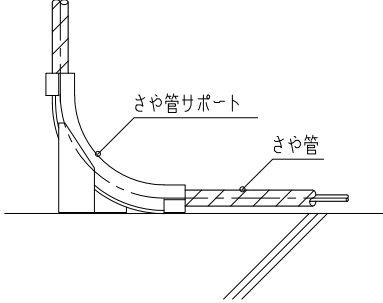
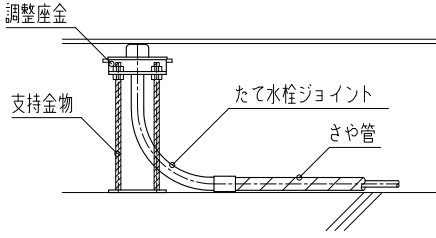
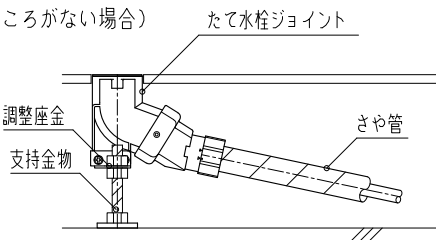
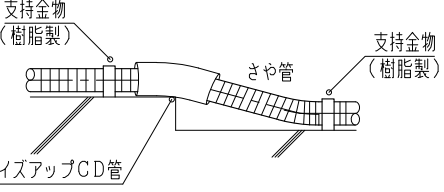
防食テープ施工要領図

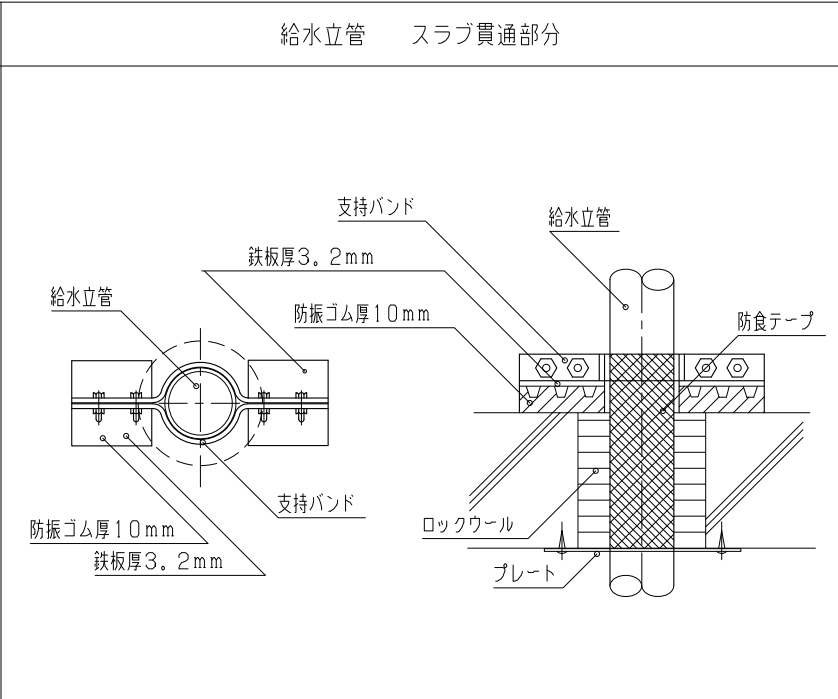
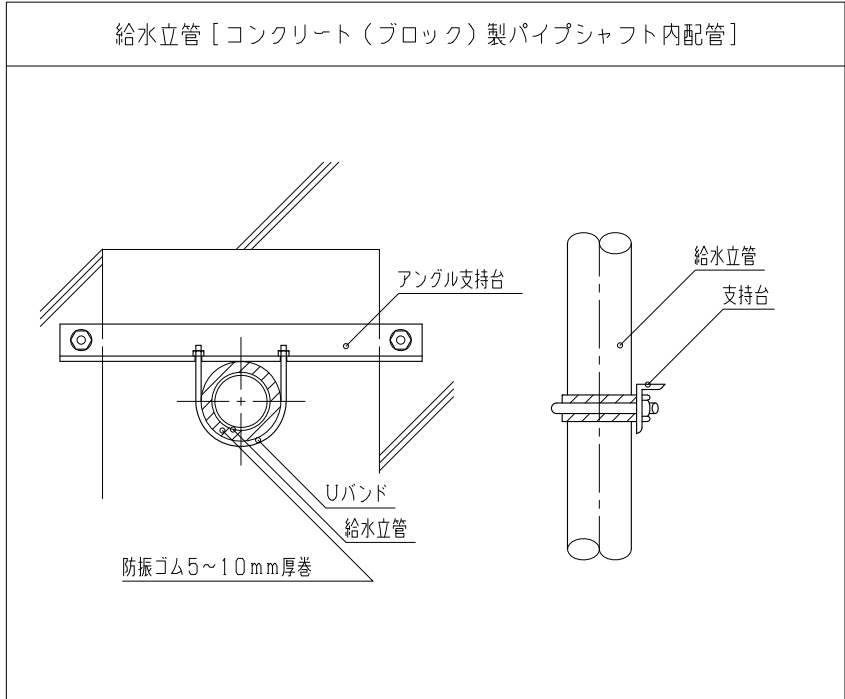
NO SCALE

Z - 1 1 1

凡
例

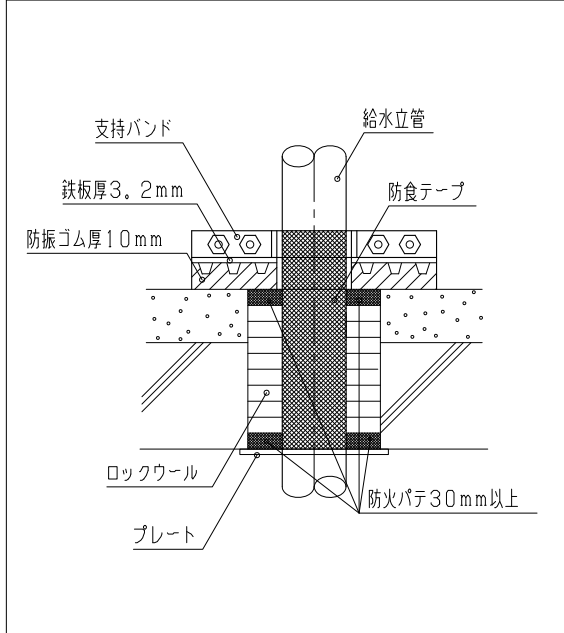
- A. マスチック（粘着性ブチルゴム）
- B. ペトロラタム系防食テープ
- C. 保護用テープ（自己融着性ポリエチレン防食テープ 0.4 t）
- D. 防食テープ（自己融着性ポリエチレン防食テープ 0.4 t × 50 mm）

<p>床下転がし配管</p> 	<p>交差配管</p> 	<p>段差部分配管</p> 	<p>仕 様</p>
<p>配管立上り部 (CDサポート)</p>	<p>たて水栓ジョイント</p>		<p>付 記 事 項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本図は住戸内配管に対応する 2 交差する場合は、できるだけ段差スラブの下がり範囲内で交差する 3 さや管の配管ルートは建築の床工法を考慮する
	<p>(床ふところがある場合)</p>  <p>(床ふところがない場合)</p> 		<p>改 定 事 項</p> <p>・文字修正</p>
			<p>名 称</p> <p>住戸内配管支持要領 (さや管ヘッダー工法)</p> <p>縮 尺</p> <p>NO SCALE</p> <p>Z-113</p>

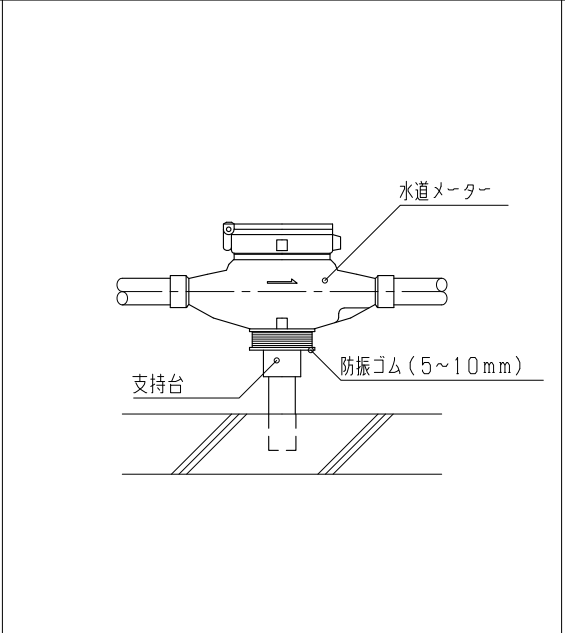


仕
様

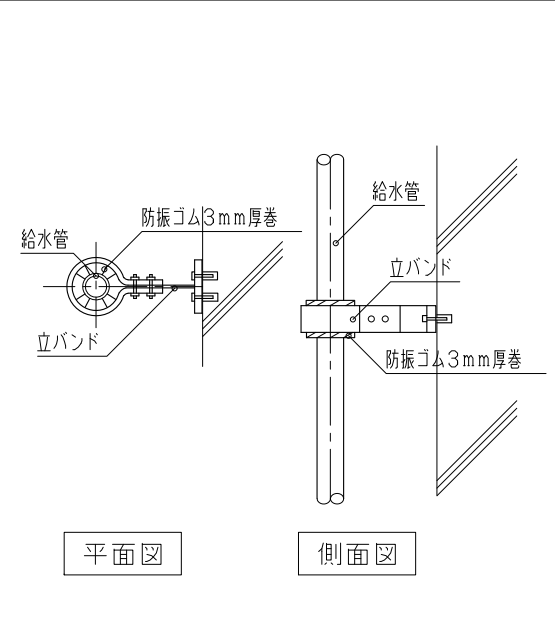
給水立管 スラブ貫通部分 (シンダーのある場合)



水道メーター廻り



コンクリート壁露出配管



付
記
事
項

改
定
事
項

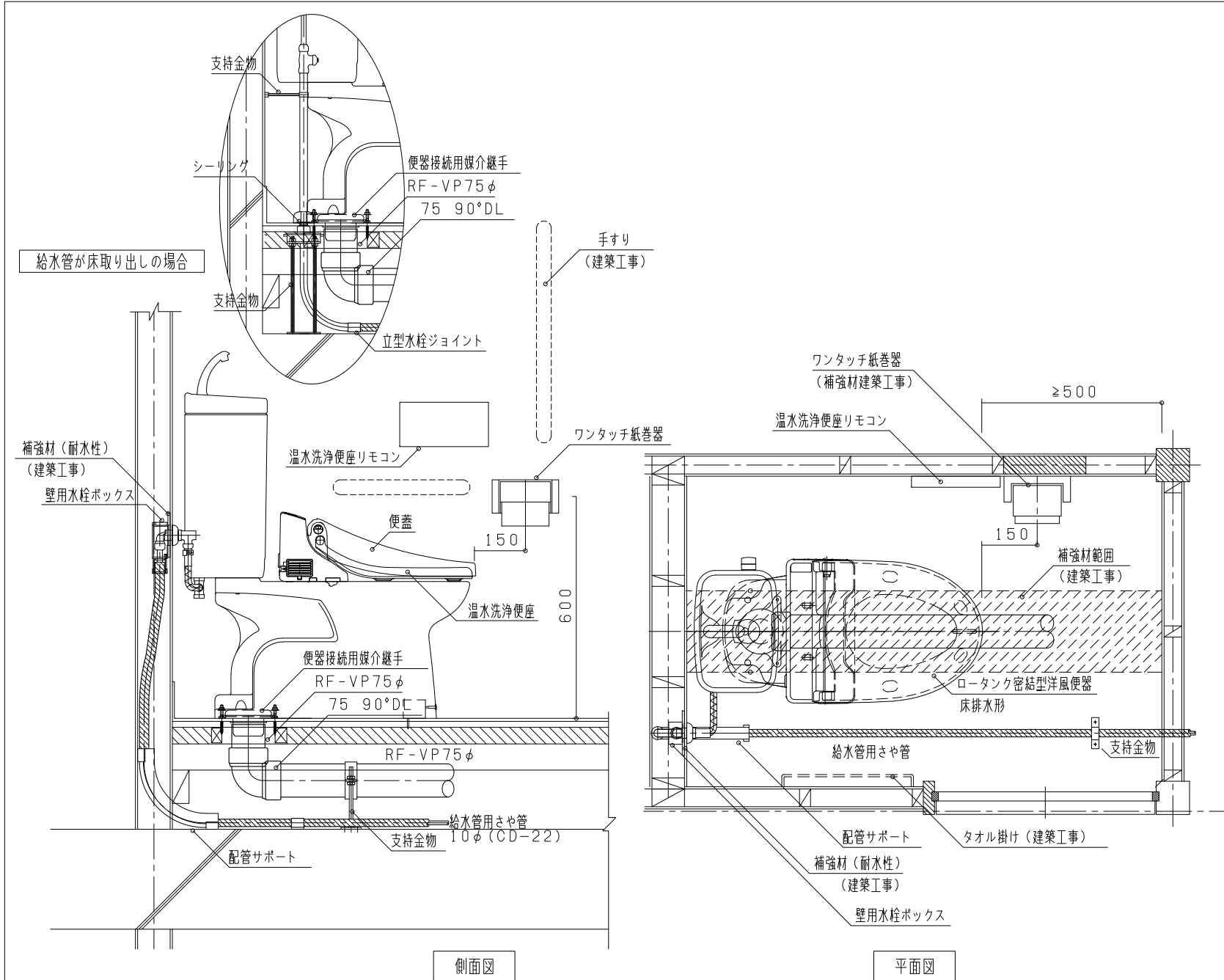
名
称

縮
尺

防振支持要領

NO SCALE

Z-114



仕
様

給水壁取り出し

付
記
事
項

- 1 本図はロータンク密結型洋風便器(温水洗浄便座付)床下排水型の一例を示す
- 2 補強材(建築工事)の設置位置は便器の選定段階で調整をはかること
- 3 大引きの切欠きに注意を要す

改
定
事
項

- ・ヘリユーズ管接続の場合を削除
- ・便器の名称を変更
- ・文字修正

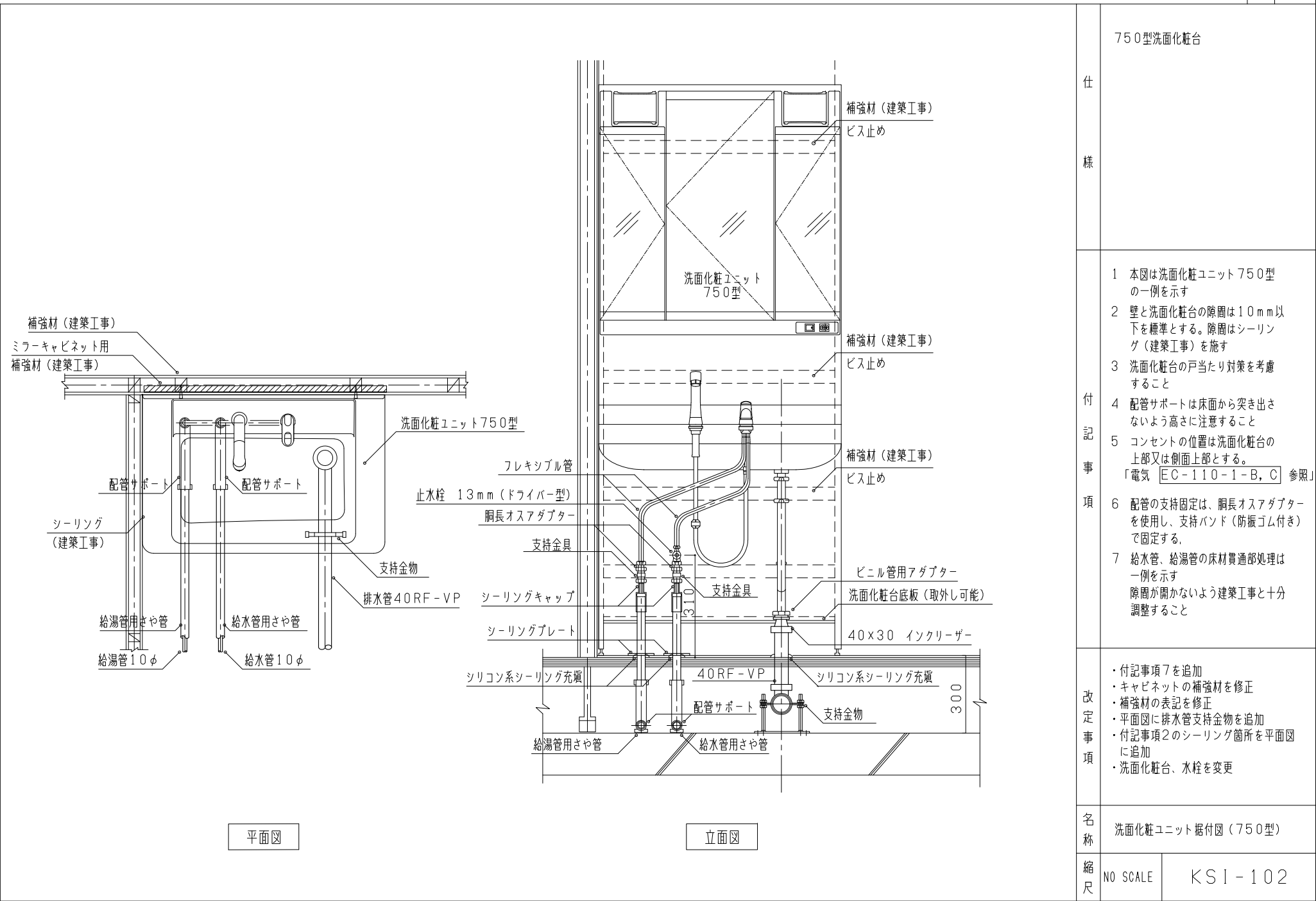
名
称

ロータンク密結型洋風便器据付図

縮
尺

NO SCALE

KSI-101



仕
様

750型洗面化粧台

付
記
事
項

- 1 本図は洗面化粧ユニット750型の一例を示す
- 2 壁と洗面化粧台の隙間は10mm以下を標準とする。隙間はシーリング(建築工事)を施す
- 3 洗面化粧台の戸当たり対策を考慮すること
- 4 配管サポートは床面から突き出さないよう高さに注意すること
- 5 コンセントの位置は洗面化粧台の上部又は側面上部とする。
「電気 EC-110-1-B, C 参照」
- 6 配管の支持固定は、胴長オスアダプターを使用し、支持バンド(防振ゴム付き)で固定する。
- 7 給水管、給湯管の床材貫通部処理は一例を示す
隙間が開かないよう建築工事と十分調整すること

改
定
事
項

- ・付記事項7を追加
- ・キャビネットの補強材を修正
- ・補強材の表記を修正
- ・平面図に排水管支持金物を追加
- ・付記事項2のシーリング箇所を平面図に追加
- ・洗面化粧台、水栓を変更

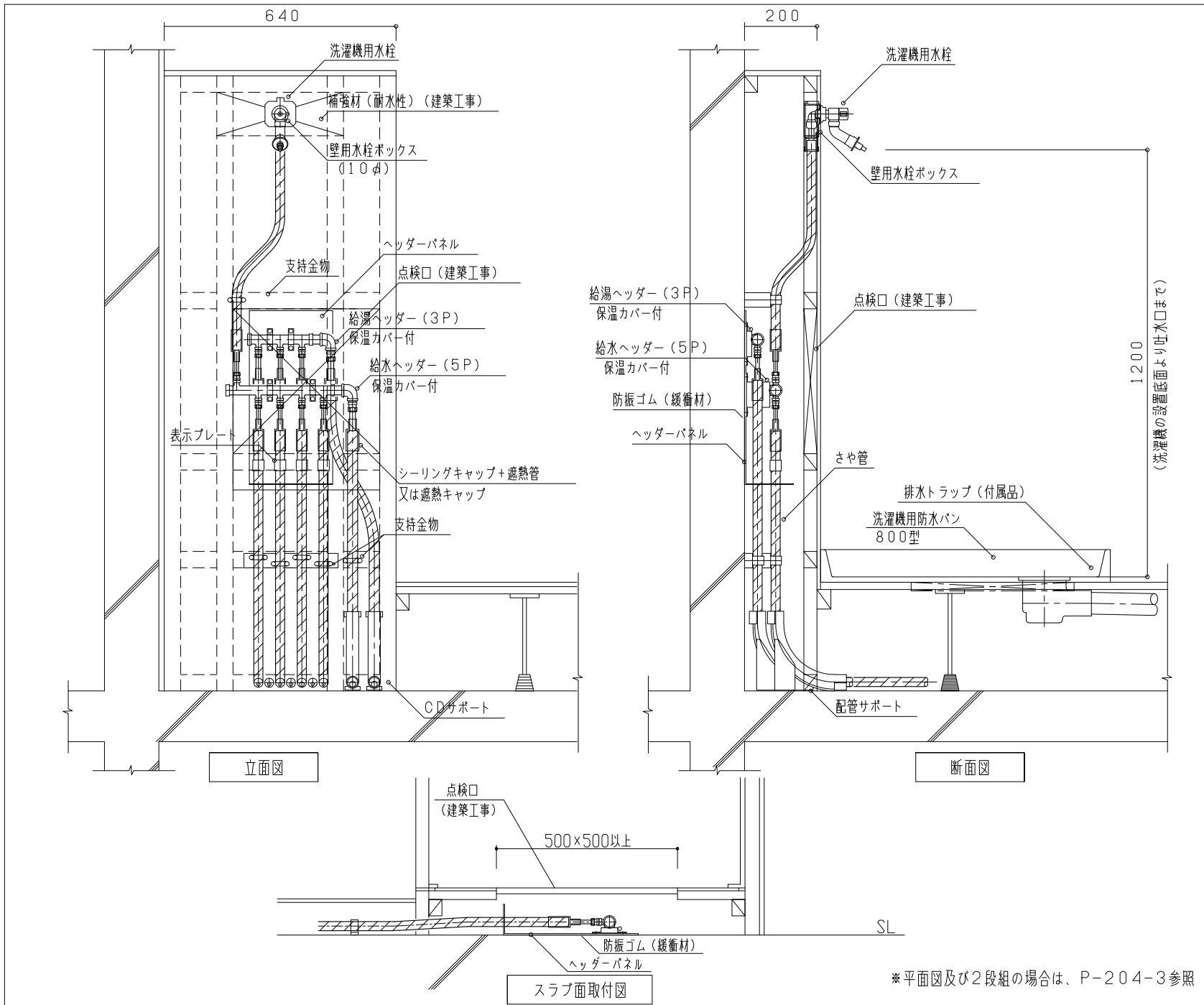
名
称

洗面化粧ユニット据付図(750型)

縮
尺

NO SCALE

KSI-102



仕様

付記事項

改定事項

名称

縮尺

- 1 ヘッダー取付配管には行先名を表示すること
- 2 洗濯水栓接続の場合は上向き取出しとする（ヘッダー末端）
- 3 ヘッダー固定部の架台はゴム付とする
- 4 点検口は、樹脂管が取替え可能な大きさ、形状、場所とし、ヘッダーの納まりよりも大きなもので行先名が容易に確認できるようにする
- 5 ヘッダーがBL認定品の場合のBLマークは、ヘッダーの保温材の上、又はバンド（ステンレス又はアルミ板）を巻き、その上に貼る

- ・水洗用補強材表記を修正
- ・付記事項4を修正
- ・排水トラップの位置を修正
- ・断面図を立面図に合わせて修正
- ・文字を修正

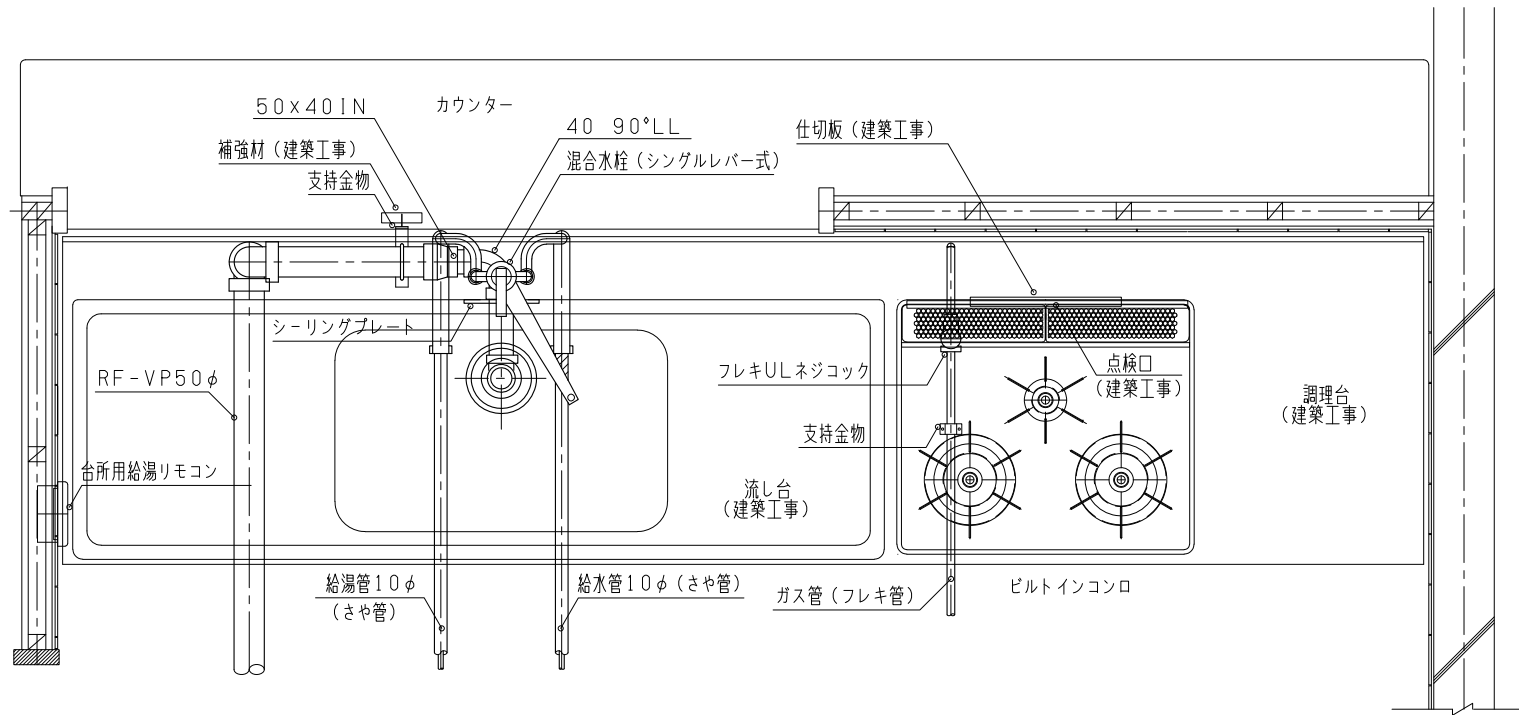
洗濯機場廻り配管図

NO SCALE KSI-103

※平面図及び2段組の場合は、P-204-3参照

2700対面キッチン平面図

仕
様



平面図

付
記
事
項

- 1 本図は流し台2700型、対面キッチンの一例を示す
- 2 流しトラップは建築工事とする
- 3 ビルトインコンロでハイカロリーバーナーと標準バーナーの両方の機能が備わる機器を設置する場合は、ハイカロリーバーナーがシンク側になることを標準とする
- 4 ビルトインコンロを設置する場合の仕切り板 (建築工事) は隙間のないように設置する

改
定
事
項

- ・排水管継手寸法を追記
- ・文字修正

名
称

流し廻り (I型) 配管図
(平面図)

縮
尺

NO SCALE

K S I - 1 0 4 - 1

2700対面キッチン正面図

仕様

付記事項

改定事項

名称

縮尺

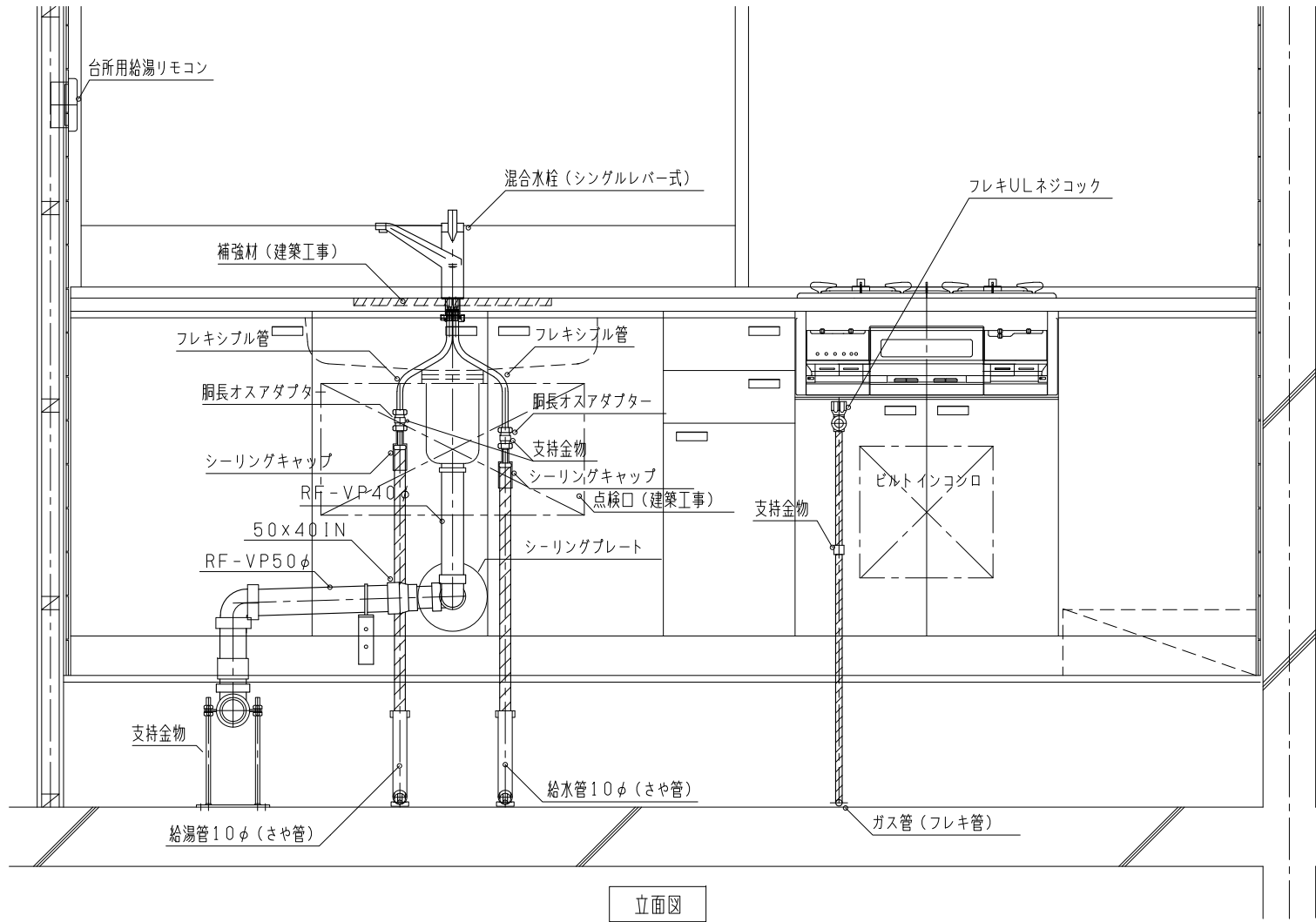
- 1 本図は流し台2700型、対面キッチンの一例を示す
- 2 台所用給湯リモコンの設置高さはFLから1,300を標準とし、他の電気設備がある場合はそれらと整合した高さとする
- 3 ビルトインコンロでハイカロリーバーナーと標準バーナーの両方の機能が備わる機器を設置する場合は、ハイカロリーバーナーがシンク側になることを標準とする
- 4 ビルトインコンロを設置する仕切り板（建築工事）は隙間のないように設置する
- 5 流しトラップは建築工事とする
- 6 混合水栓の接続はワンタッチ接合方式でも可とする
- 7 配管の支持固定は、胴長オスアダプターを使用し、支持バンド（防振ゴム付き）で固定する

- ・水栓の逆止弁を削除
- ・文字修正、追加

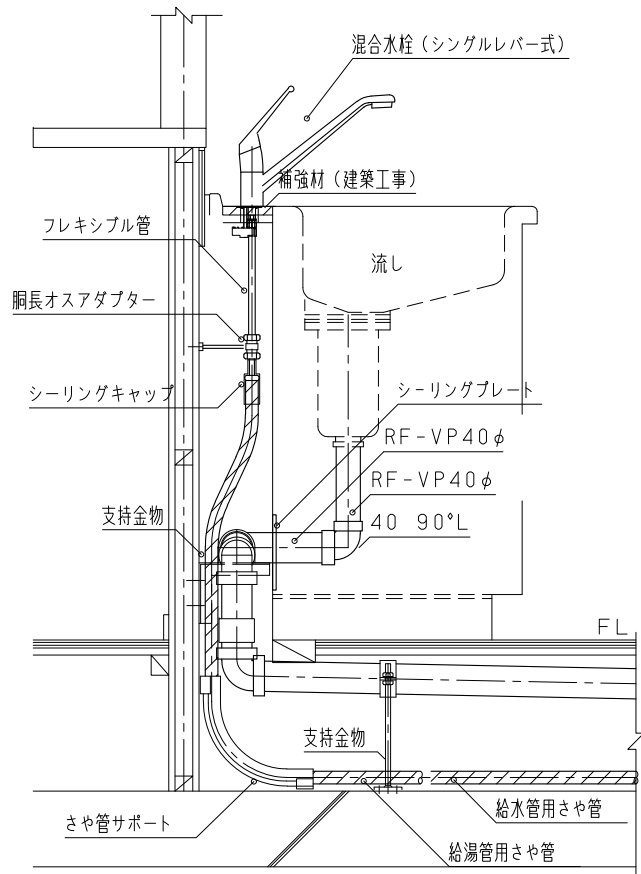
流し廻り（1型）配管図
（正面図）

NO SCALE

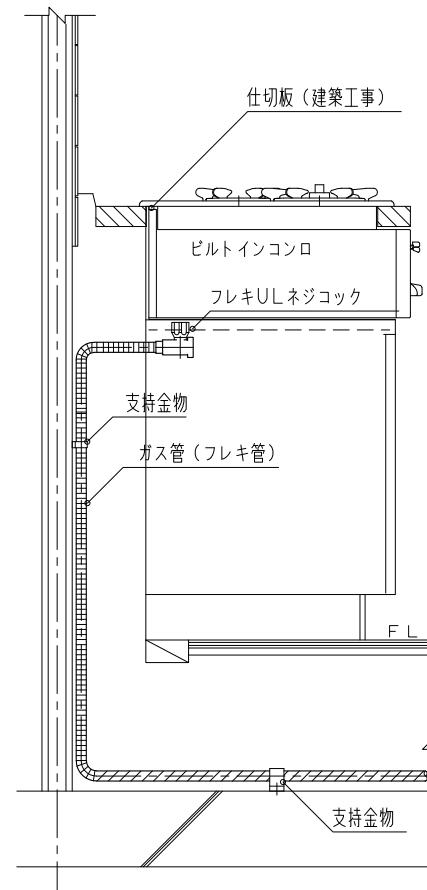
KSI-104-2



立面図



側面図



側面図

仕
様

流し回り側面図

付
記
事
項

- 1 本図は配管の納まりの一例を示す
- 2 ビルトインコンロを設置する場合の仕切り板 (建築工事) は隙間のないように設置する
- 3 配管の支持固定は、胴長オスアダプターを使用し、支持バンド (防振ゴム付き) で固定する

改
定
事
項

- ・水栓の逆止弁を削除
- ・文字修正

名
称

流し廻り (1型) 配管図
(側面図)

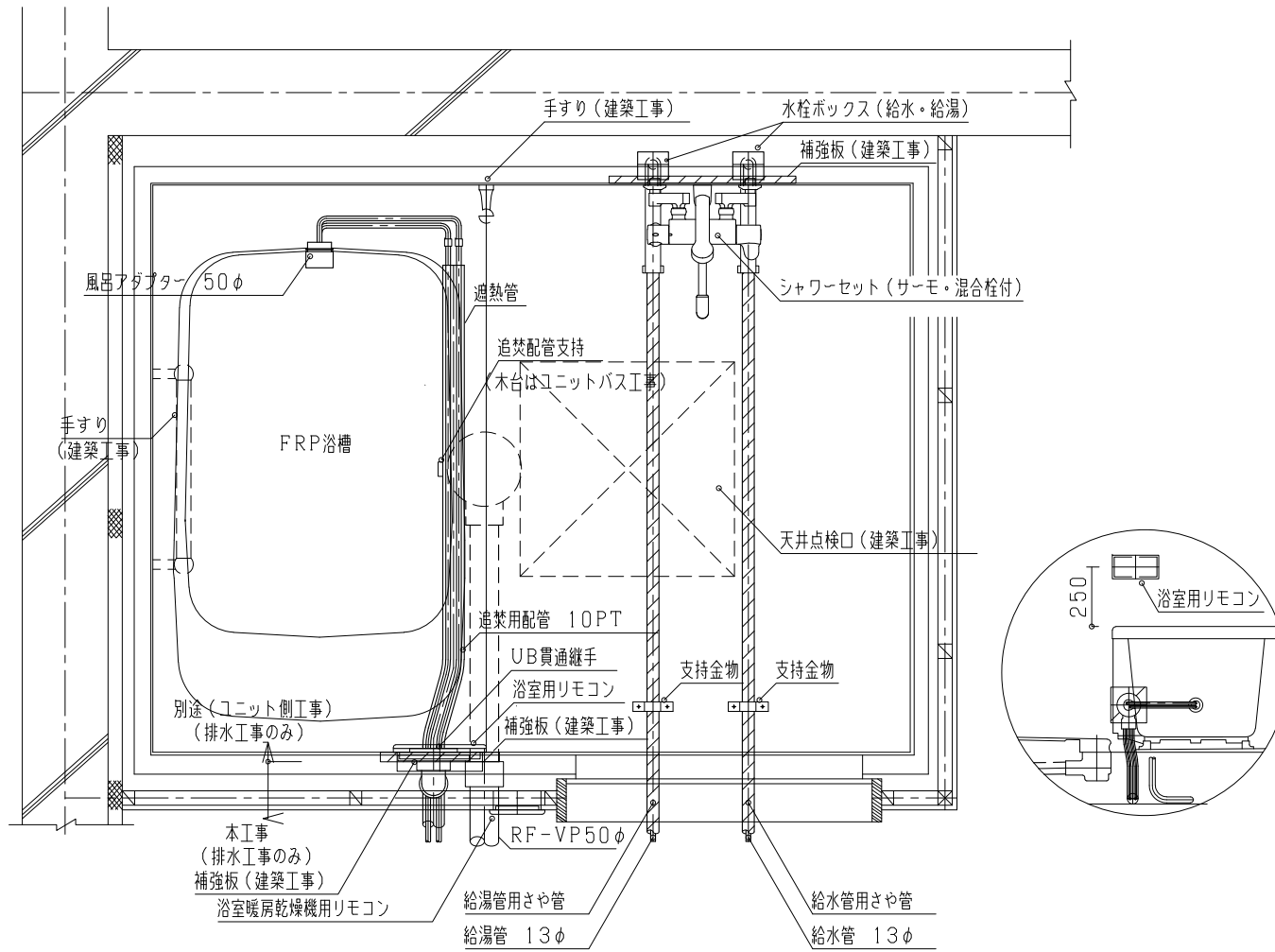
縮
尺

NO SCALE

KSI-104-3

1216型浴室ユニット平面図

仕
様



平面図

付
記
事
項

- 1 本図は1216型の一例を示す
- 2 シャワーセットの給湯配管は水栓ボックスの接続まで給湯設備工事とする
- 3 浴槽のふた置場がある場合のリモコン設置位置はその高さを考慮すること。

改
定
事
項

- ・洗い場の手すりを削除
- ・付記事項3の※を削除

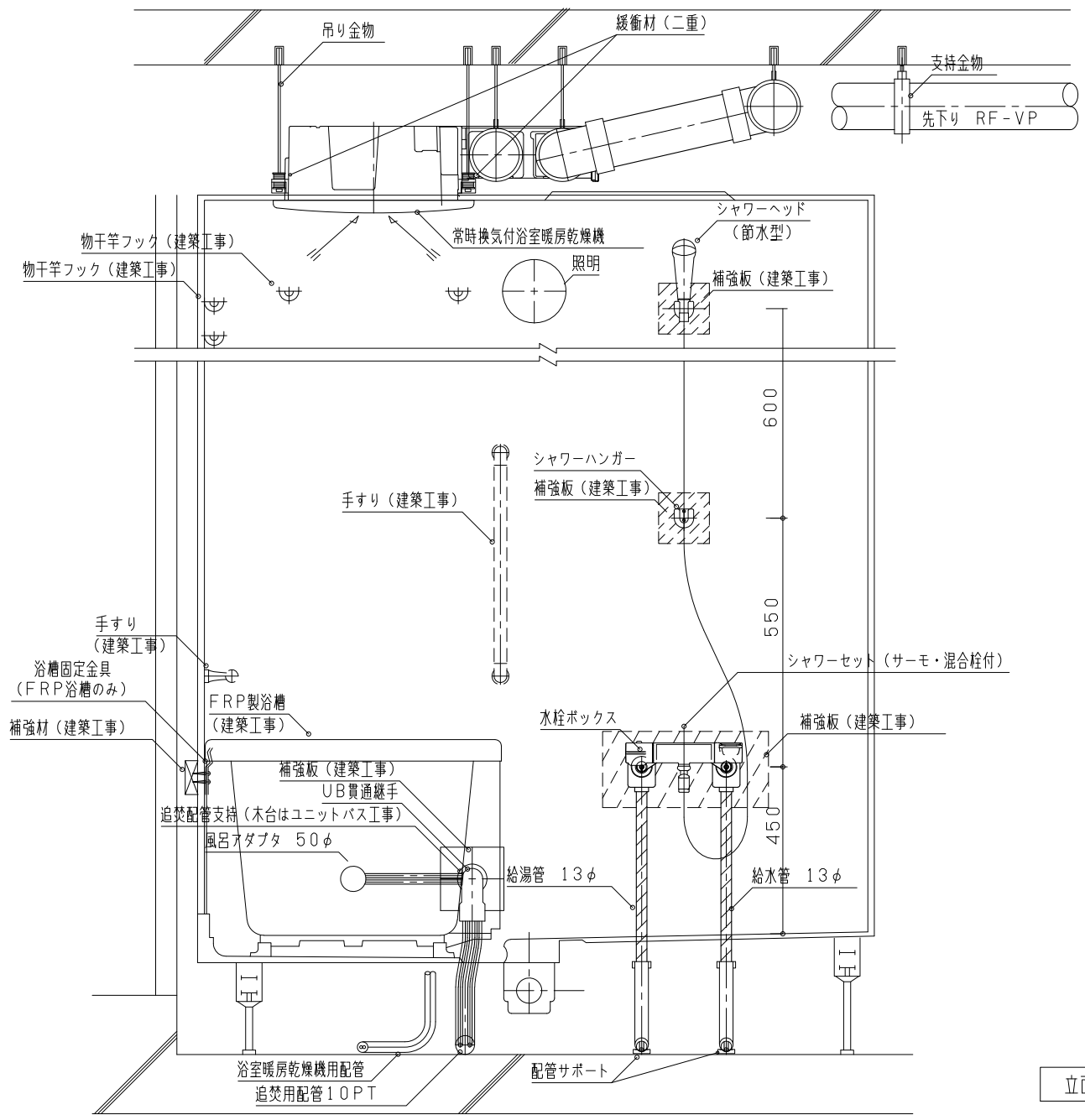
名
称

浴室ユニット配管図
(平面図)

縮
尺

NO SCALE

KS1-105-1



仕
様

1216型浴室ユニット立面図

付
記
事
項

- 1 本図は1216型の一例を示す
- 2 シャワーホースの長さは1500～1600とする
- 3 シャワーヘッドは照明と干渉しないこと
- 4 物干し竿フックの位置は浴室暖房乾燥機設置業者と打合わせの上、位置を決定する

改
定
事
項

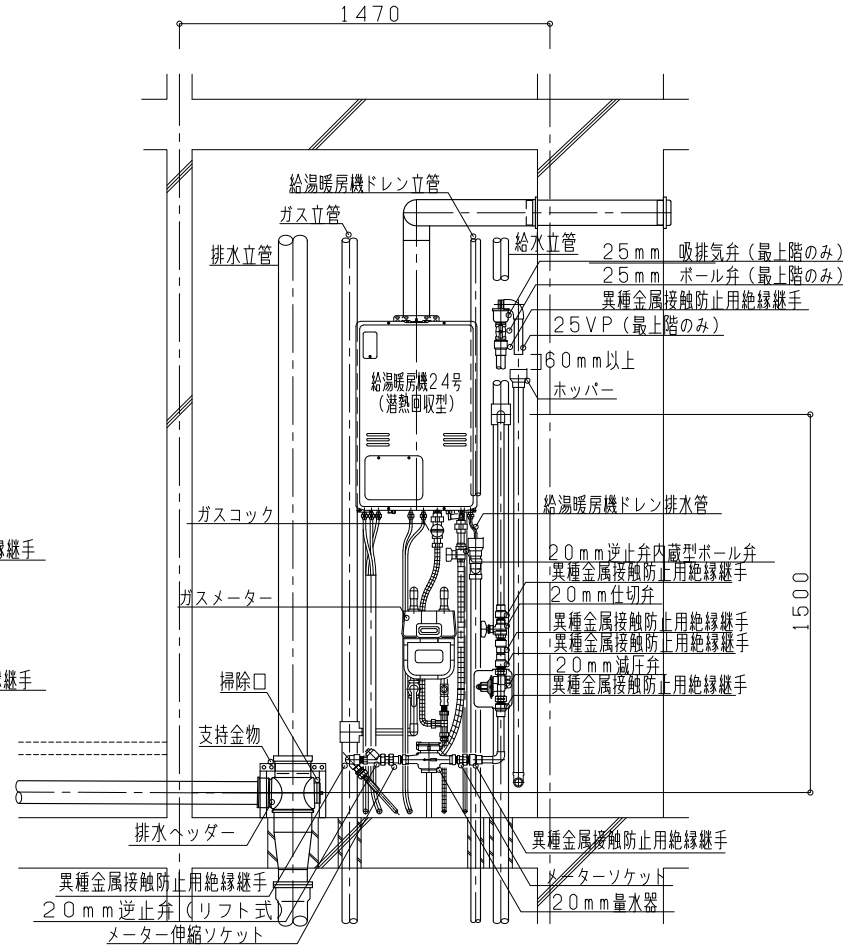
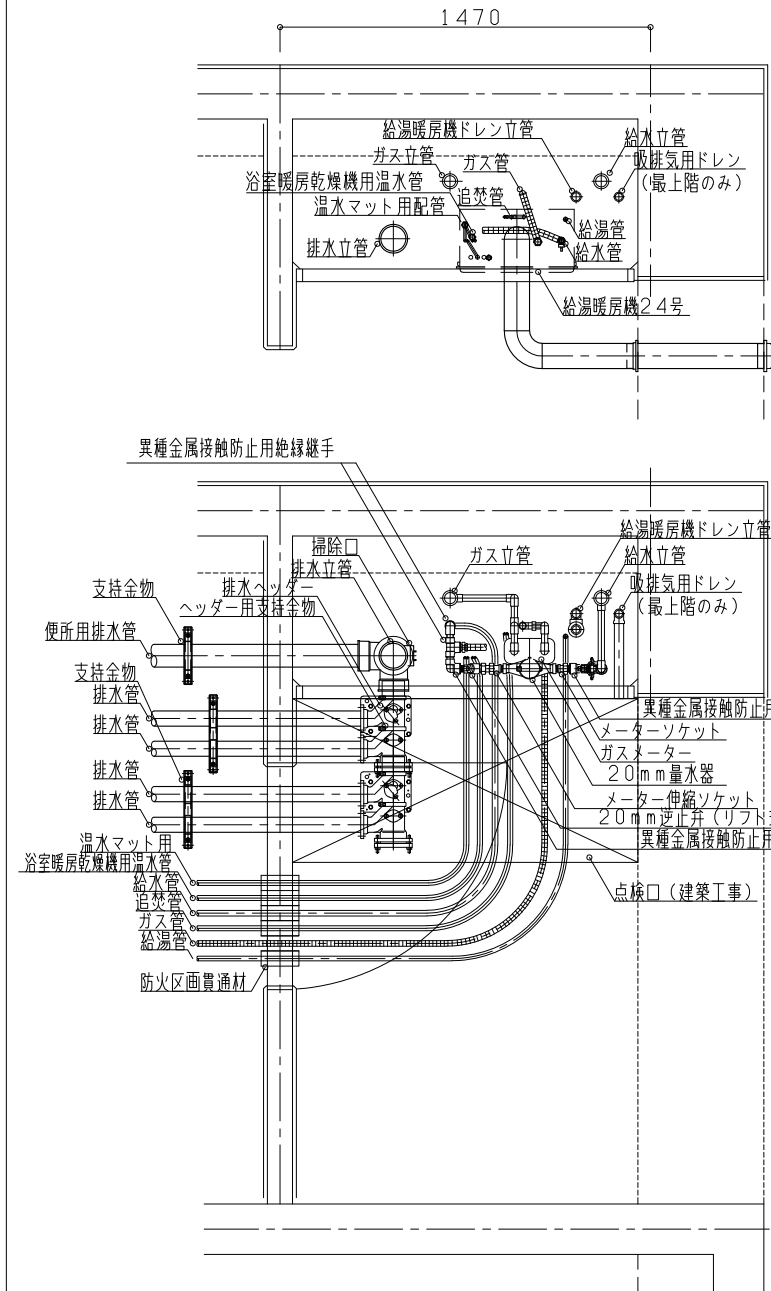
- ・排水管をP-401-1に合わせて修正
- ・洗い場の手すりを削除
- ・バスコールを削除
- ・文字修正

名
称

浴室ユニット配管図
(正面図)

縮
尺

NO SCALE KSI-105-2



仕
様

付
記
事
項

- 1 本図はメーターボックスの納まりの一例を示す
- 2 給湯暖房機ドレン立管を建築の排水立管と共用する場合は、設計図による
- 3 ドレン立管の材質は特記による
- 4 ガスメーター廻りに住戸番号を表示する
- 5 水道メーター廻りに住戸番号を表示する
- 6 スラブ貫通部はZ-114を参照
- 7 水道メーターの保温は図面特記による
- 8 吸排気弁ドレン管からの水滴がMB内に飛び散らないよう、ホッパーのサイズ等に配慮すること
- 9 架橋ポリエチレン管又はポリブデン管と鋼管の接続部は、ポリエチレン保温筒又は遮熱管で防露する

改
定
事
項

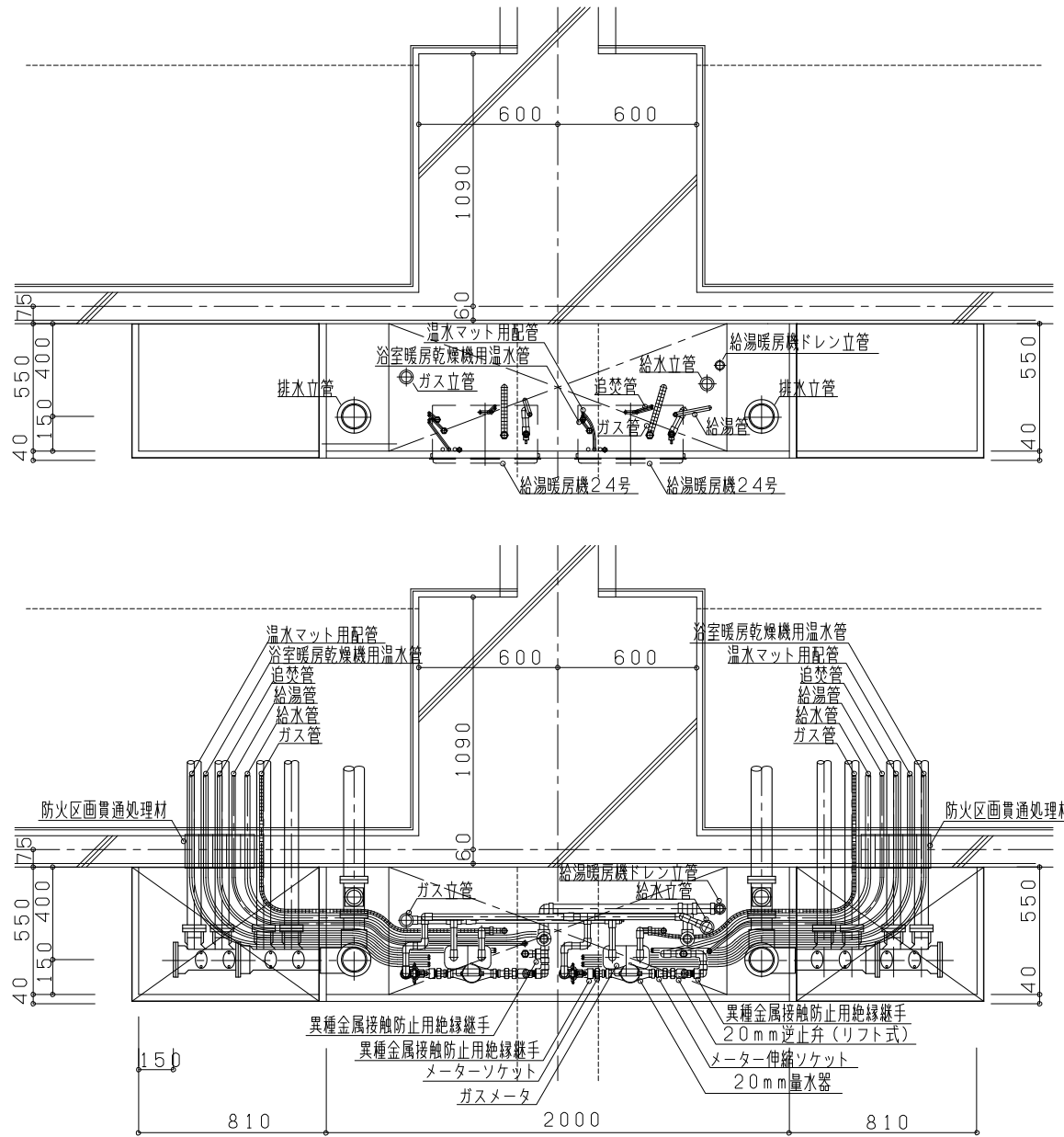
- ・最上階のドレン配管をパイプシャフトの外まで延長
- ・付記事項9を削除
- ・文字修正

名
称

1戸用メーターボックス配管図
(アルコーフ・タイプ 平面図 正面図)

縮
尺

1/30 KSI-106



仕
様

付
記
事
項

- 1 本図はメーターボックスの納まりの一例を示す
- 2 給湯暖房機ドレン立管を建築の排水立管と共用する場合は、設計図による
- 3 ガスメーター廻りに住戸番号を表示する
- 4 スラブ貫通部の処置はZ-114による
- 5 水道メーター廻りに住戸番号を表示する
- 6 水道メーターの保温は図面特記による

改
定
事
項

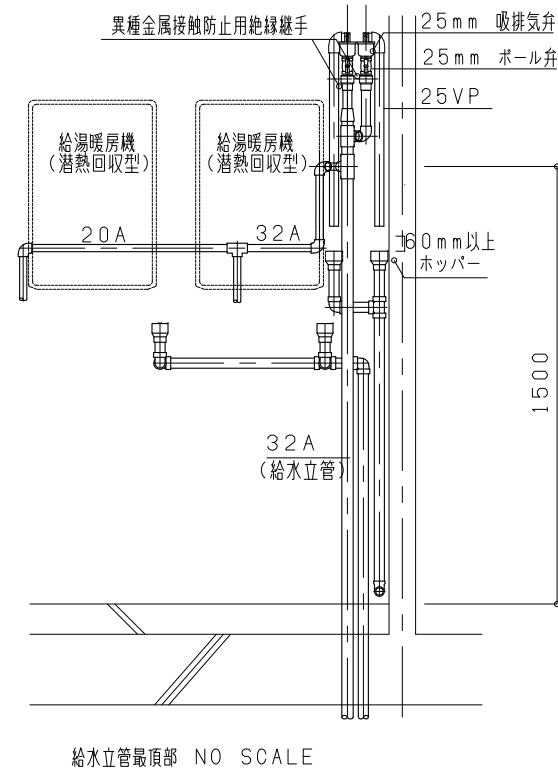
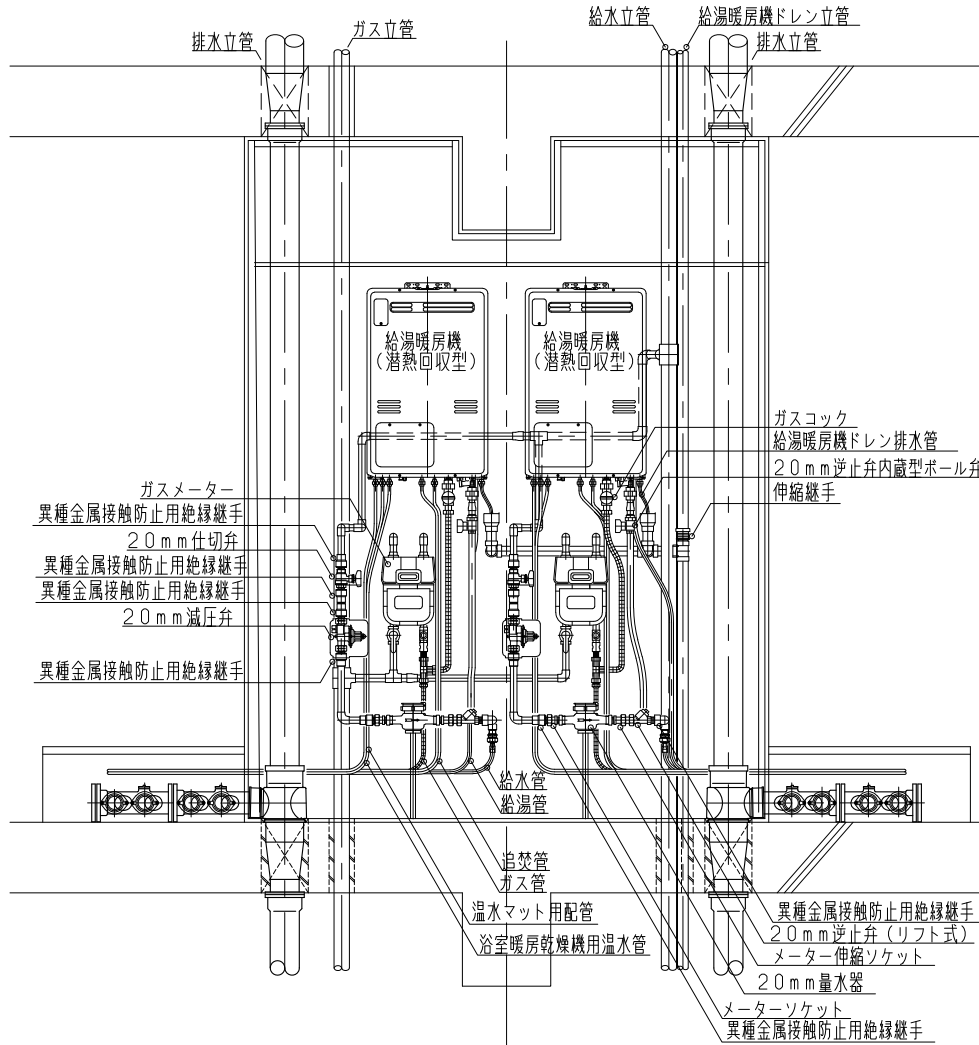
・文字修正

名
称

2戸用メーターボックス配管図
(純ラーメン構造平面図)

縮
尺

1/30 KSI-107-1



仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

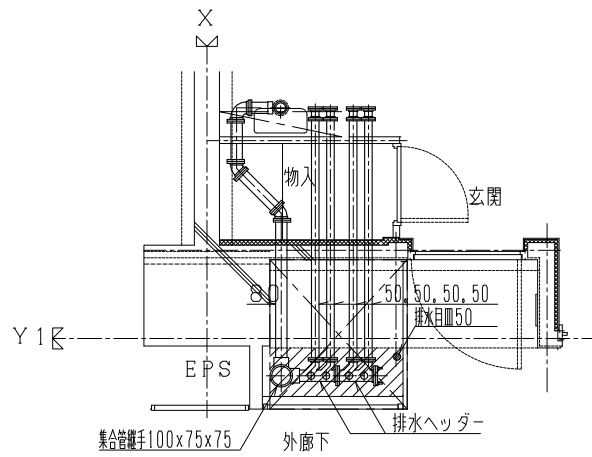
- 1 本図はメーターボックスの納まりの一例を示す
- 2 給湯暖房機ドレン立管を建築の排水立管と共用する場合は、設計図による
- 3 最上階のメーターボックスの扉には吸排気弁の点検口を設ける
- 4 ドレン立管の材質は特記による
- 5 ガスメーター廻りに住戸番号を表示する
- 6 スラブ貫通部の処置はZ-114による
- 7 水道メーター廻りに住戸番号を表示する
- 8 水道メーターの保温は図面特記による
- 9 吸排気弁ドレン管からの水滴がMB内に飛び散らないよう、ホッパーのサイズ等に配慮すること
- 10 架橋ポリエチレン管又はポリブデン管と鋼管の接続部は、ポリエチレン保温筒又は遮熱管で防露する

- ・ドレン立て管の管種を修正
- ・文字修正

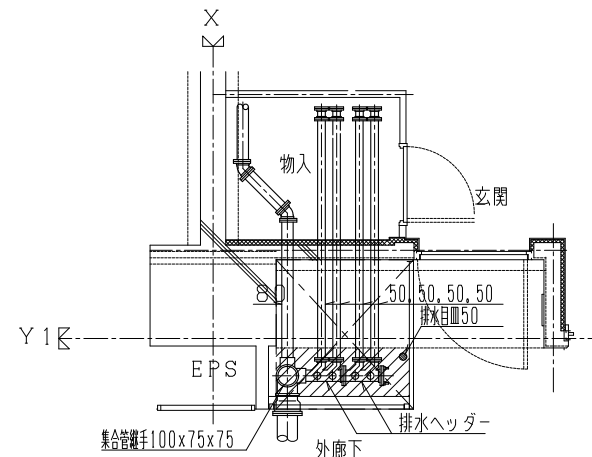
2戸用メーターボックス配管図
(純ラーメン構造正面図)

1/30

KSI-107-2



平面詳細図



平面詳細図

仕
様

付
記
事
項

- 1 本図は排水ヘッダーの納まりの一例を示す
- 2 脚部継手の支持は防振対策を施す

改
定
事
項

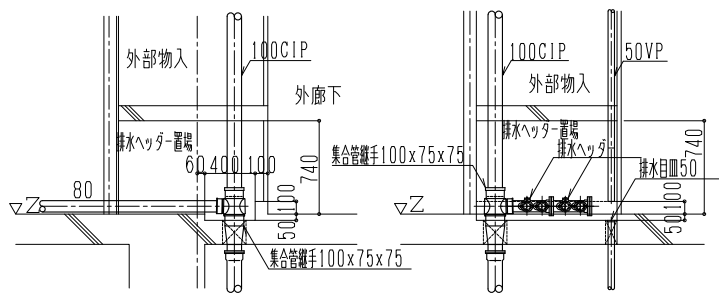
名
称

排水ヘッダー設置参考図
(1階配管取り合い)

縮
尺

1/60

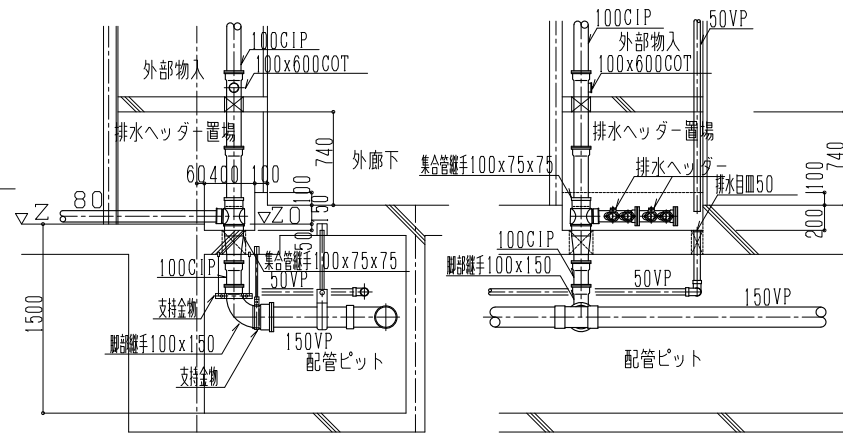
KSI-108



断面詳細図(1)

断面詳細図(2)

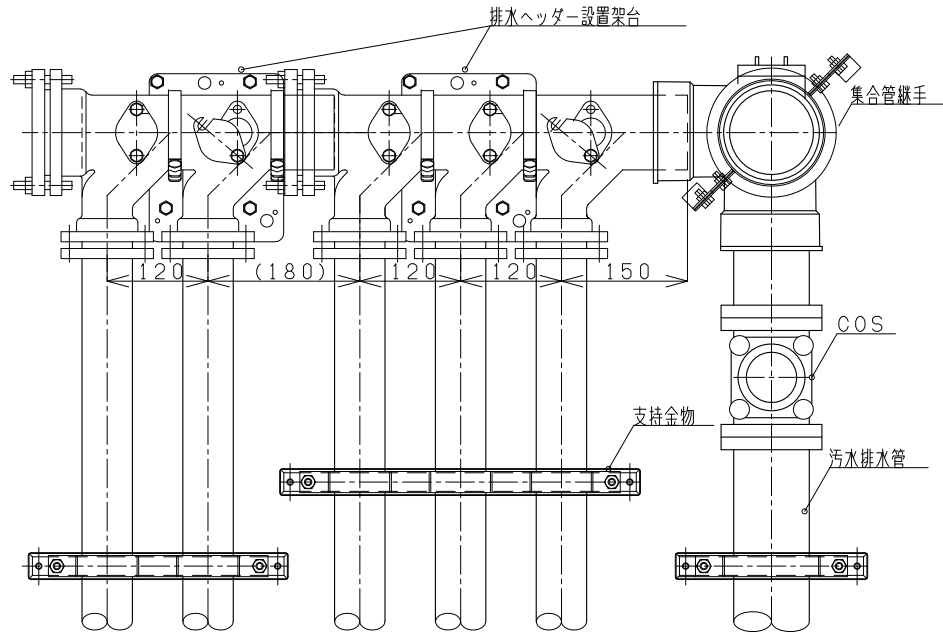
排水ヘッダー廻り詳細図(1)



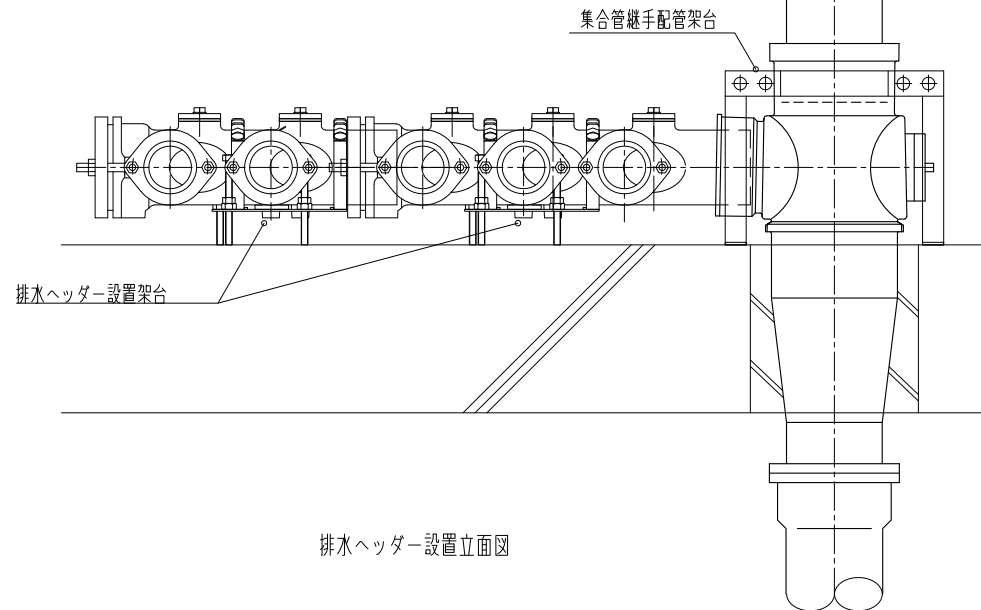
断面詳細図(1)

断面詳細図(2)

排水ヘッダー廻り詳細図(2)



排水ヘッダー設置平面図



排水ヘッダー設置立面図

仕
様

付
記
事
項

- 1 本図は排水ヘッダーの設置要領の一例を示す
- 2 排水ヘッダーの横枝管接続口には、接続される排水金具の名称および排水器具までの距離を、ヘッダーに貼付するかその近傍に表示する

改
定
事
項

・名称を修正

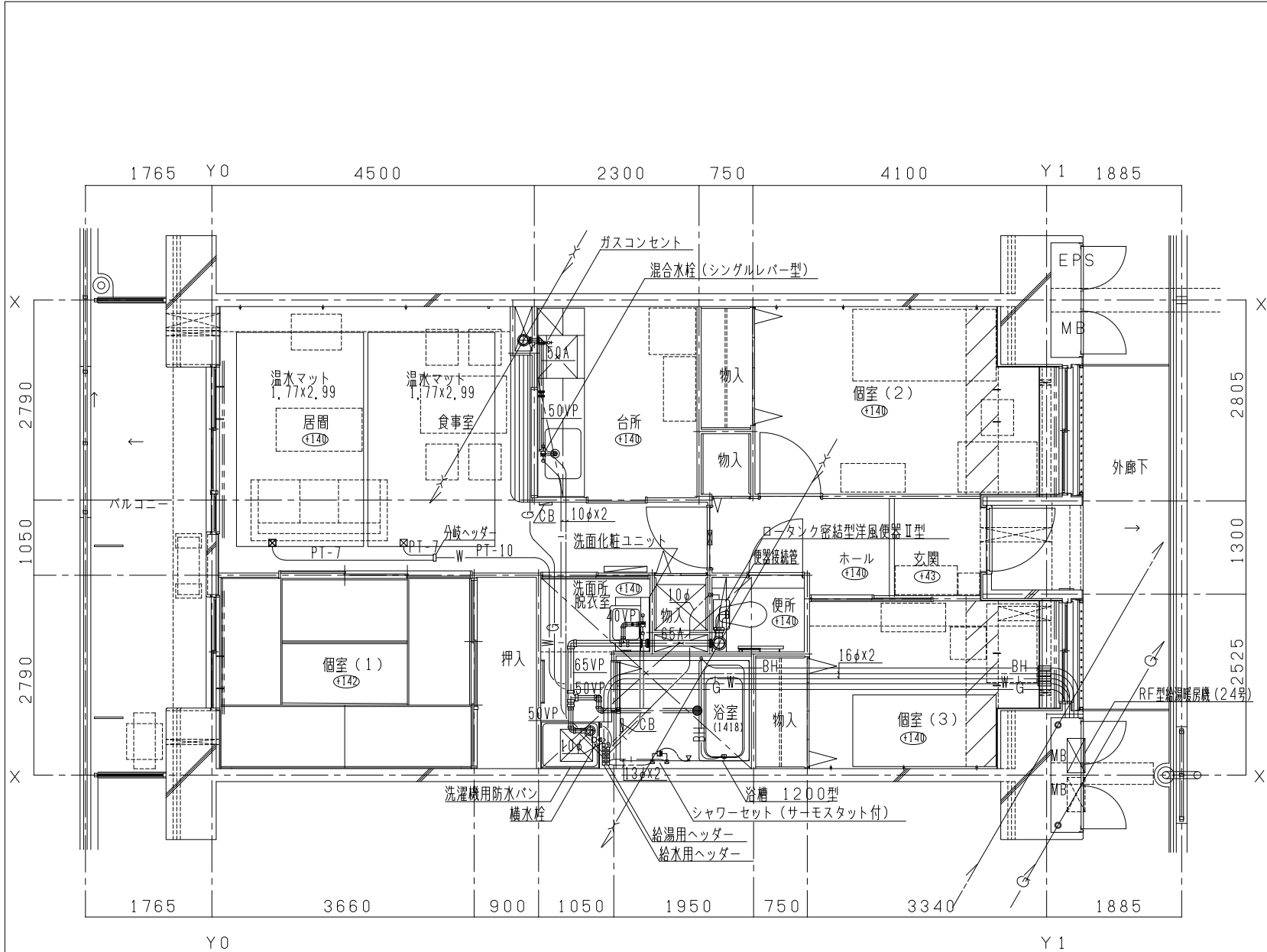
名
称

排水ヘッダー廻り支持要領図

縮
尺

NO SCALE

KSI-109



仕
様

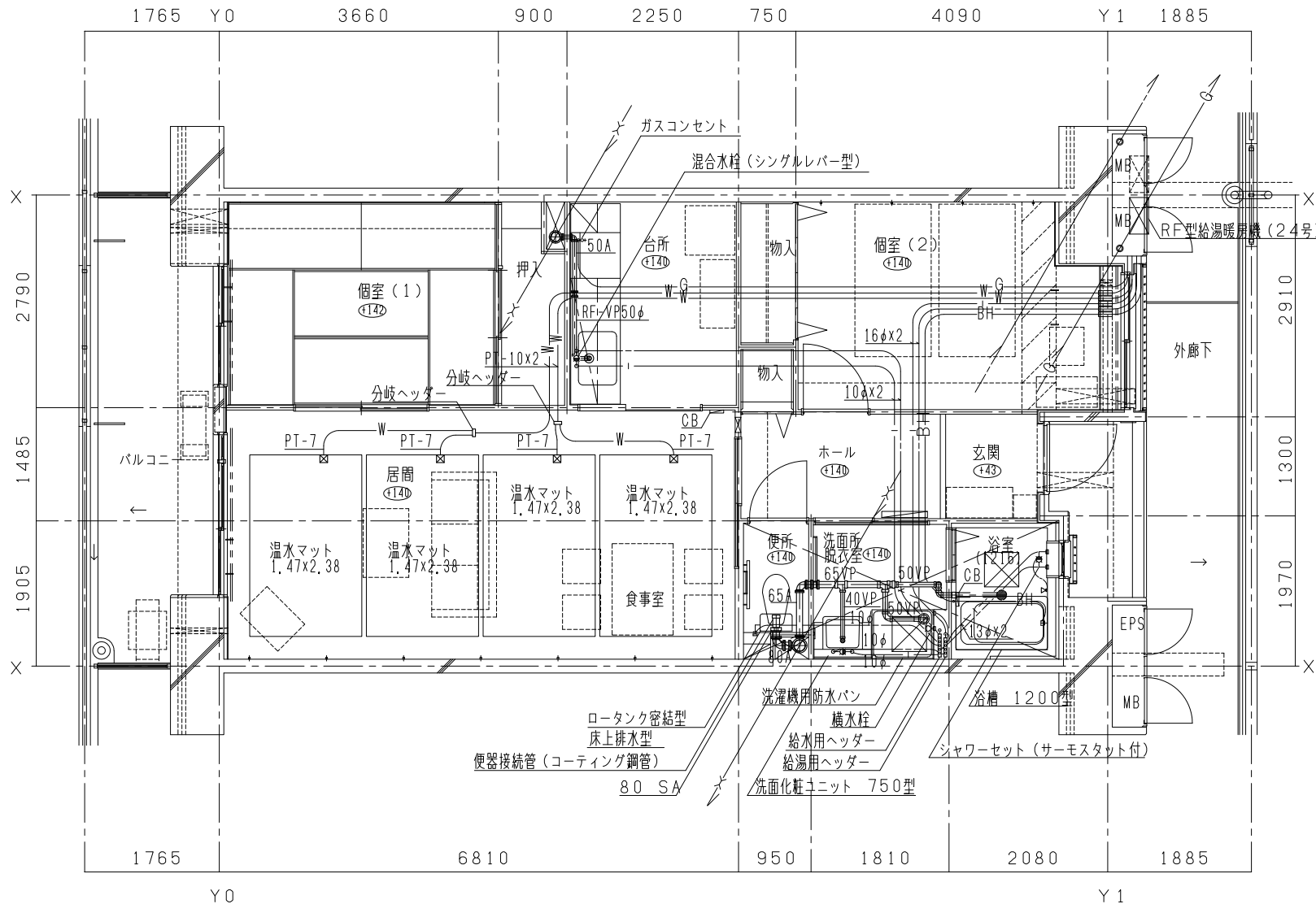
付
記
事
項

1 本図は住戸内の給排水、ガス、給湯、暖房の配管図例である

改
定
事
項

名称 給排水、ガス給湯暖房配管概念図-1

縮尺 NO SCALE X-001



仕様

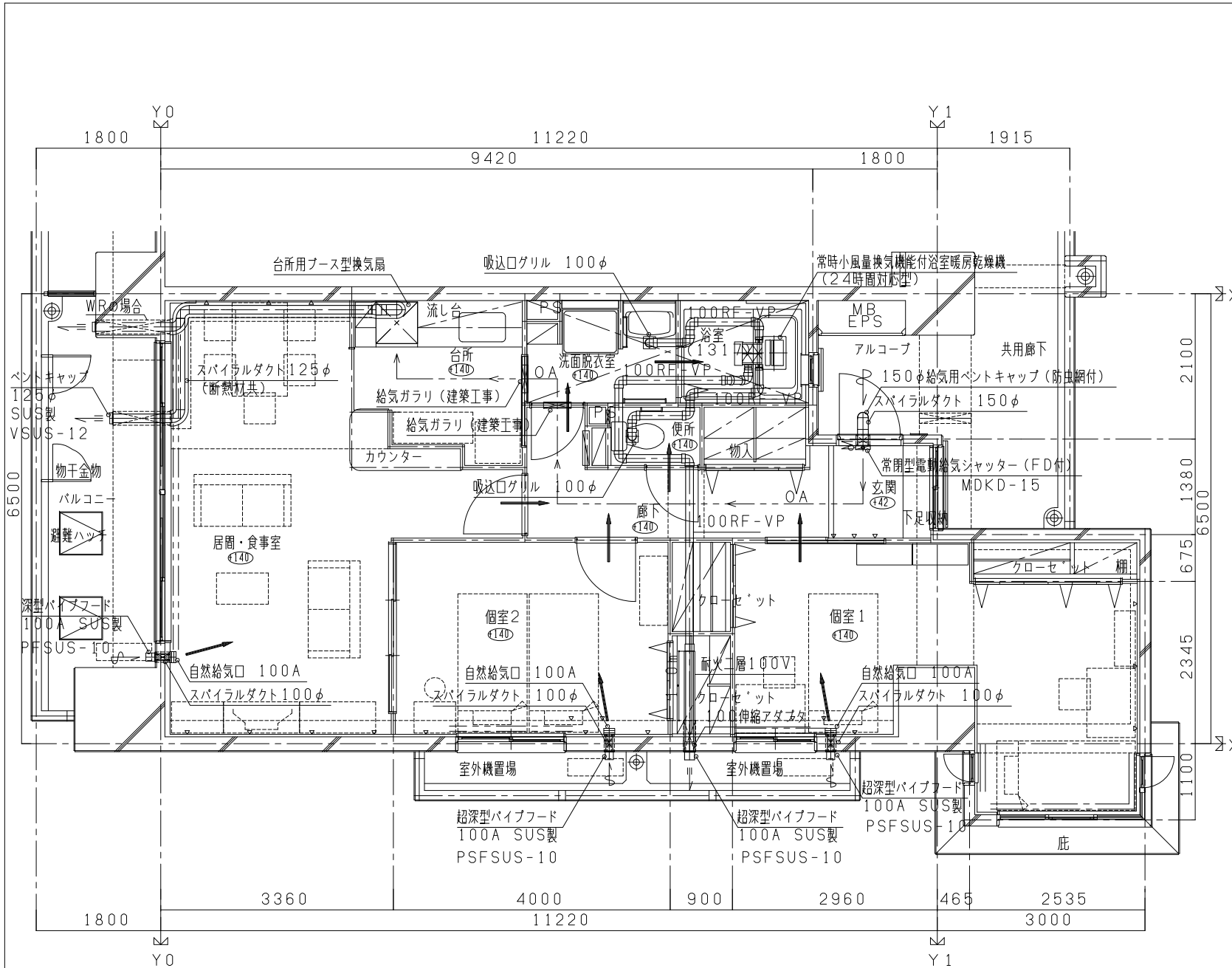
付記事項

1 本図は住戸内の給排水、ガス、給湯、暖房の配管図例である

改定事項

名称 給排水、ガス給湯暖房配管概念図-2

縮尺 NO SCALE X-002



仕
様

付
記
事
項

改
定
事
項

名
称

縮
尺

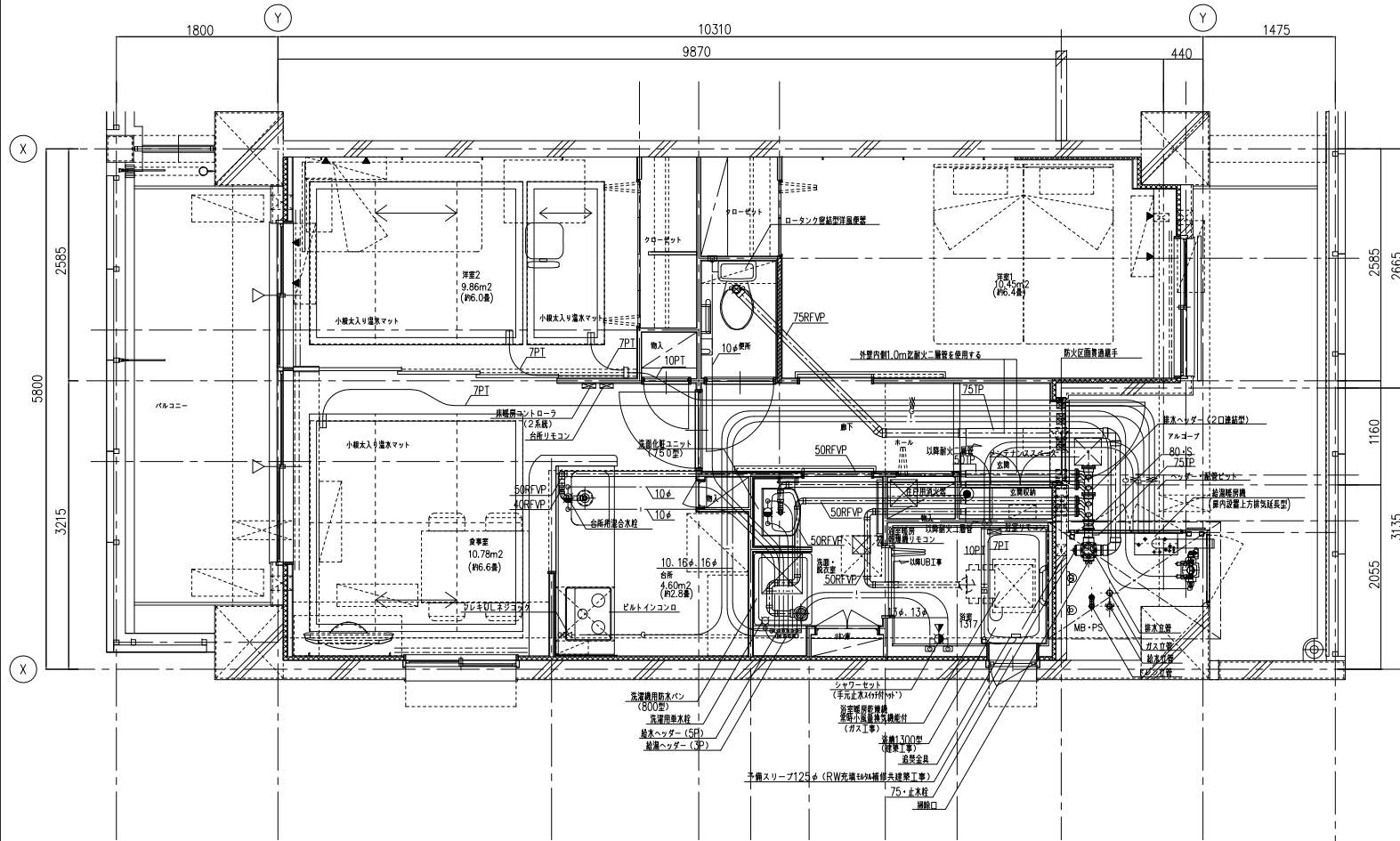
1 本図は住戸内の換気設備の配管図例である

常時小風量換気設備概念図

NO SCALE

X-003

→ 小風量換気用給気経路
→ 台所用給気経路



仕
様

付
記
事
項

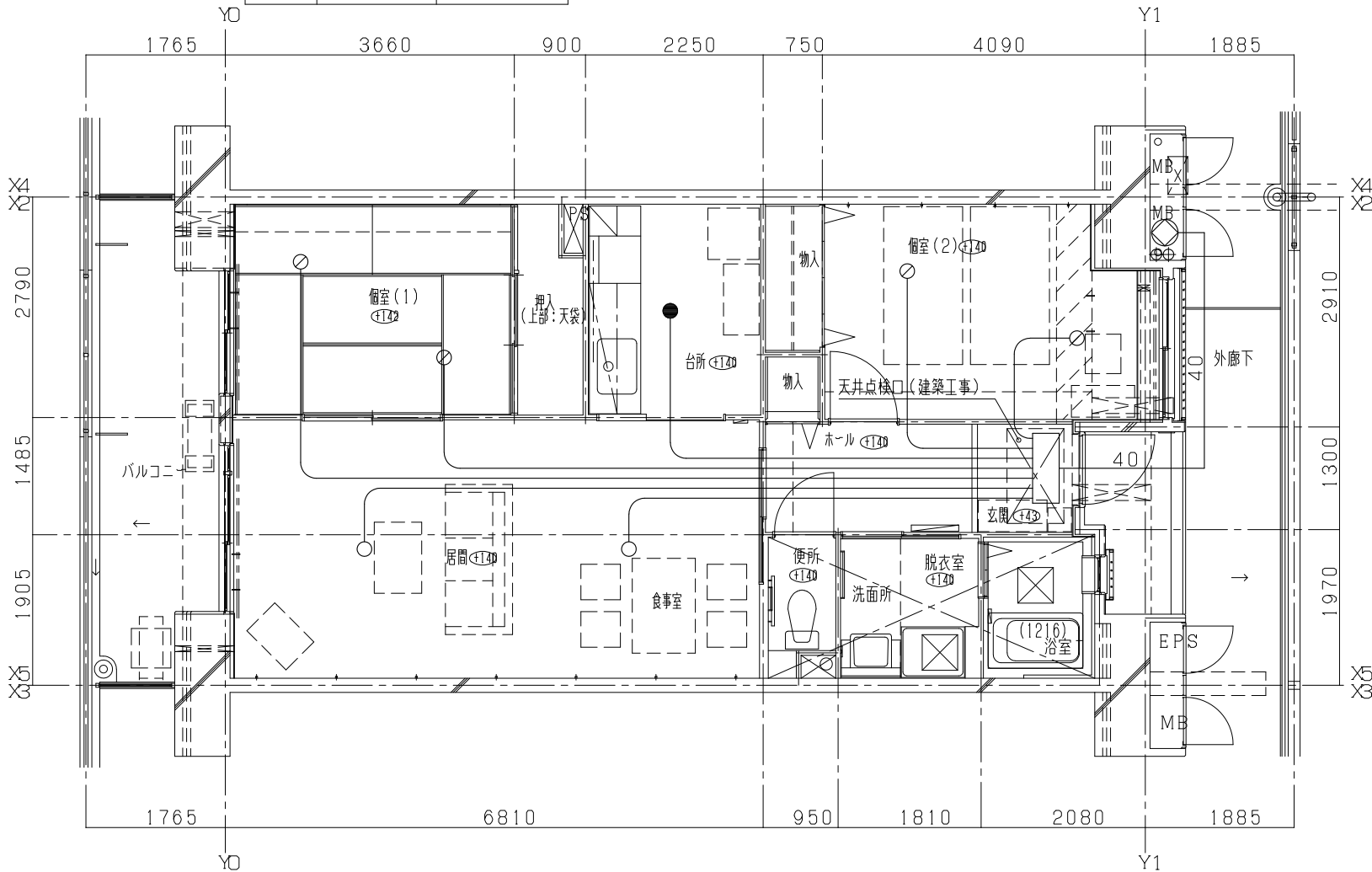
1 本図は住戸内の給排水、ガス、給湯、暖房の配管図例である

改
定
事
項

名称 給排水管、ガス給湯暖房配管概念図-3 (KSI住宅)

縮尺 NO SCALE X-004

凡例		
記号	名称	備考
○	スプリンクラーヘッド	小径標準1種・72mm・R2.6
⊙	スプリンクラーヘッド	小径標準1種・72mm・R2.6(樹形法取付時)
●	スプリンクラーヘッド	小径標準1種・104mm・R2.6
□	放水検知装置	共用住宅スプリンクラー用(形水干作動方式)
○	ヘッダー	40A
—	配管	JIS-G-3452



仕様

付記事項

改定事項

名称

縮尺

1 本図は集合住宅用スプリンクラー配管の一例である

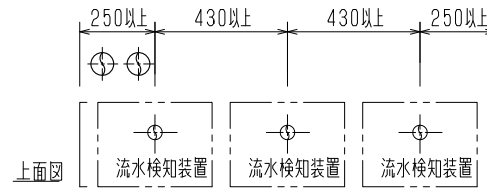
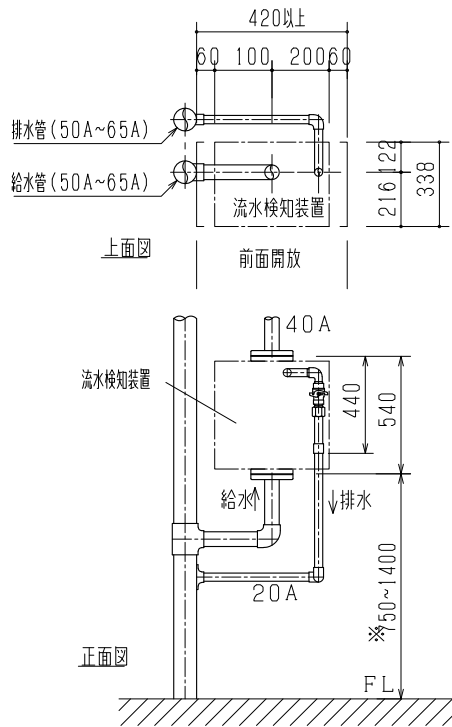
集合住宅用スプリンクラー概念図

NO SCALE

X-007-1

※注記
 1. 住戸内に設けるスプリンクラーヘッドの個数が9個を超える場合はヘッダーを2個設置することとする。
 2. ヘッダーからスプリンクラーヘッドまでの配管は全て樹脂管(16A)とする。

充水予作動式流水検知装置廻り詳細図



複数台設置する場合 (上面図)

点線内は操作・点検スペースを示す。

仕
様

付
記
事
項

1 本図の形状及び寸法は流水検知装置の一例を示す

改
定
事
項

名
称

充水予作動流水検知装置納まり参考図

縮
尺

NO SCALE

X-007-2